

# 平成27年度 飯田市公民館活動記録



こども桜ガイド  
～地域の宝をご案内～  
(座光寺公民館)



最期まで輝く人生のために  
～エンディングノート学習会～  
(南信濃公民館)



いいだ人形劇フェスタ  
～高齢者学級有志が小学生の人形製作を  
お手伝い～ (上郷公民館)



橋南ウォークラリー大会  
～地域を学ぼう～  
(橋南公民館)



橋北再発見ウォーキング  
「すたてくさっさ」×地域人教育  
～高校生と創る地域のかたち～ (橋北公民館)



日本語教室  
～りんご並木と飯田のお祭り～  
(飯田市公民館)

飯田市公民館

# 平成27年度 飯田市公民館活動記録

## 目 次

平成27年度飯田市公民館基本方針	1
平成27年度飯田市公民館の事業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織	5
飯田市公民館の活動・事業	6
飯田市公民館の運営組織図	7
地区公民館の専門委員会設置状況	8
飯田市の分館	9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	10
飯田市各地区公民館利用状況	11
学級・講座実施状況一覧表	12
専門委員会等事業一覧表	16
各公民館事業報告	20
飯田市公民館	20
橋北公民館	33
橋南公民館	39
羽場公民館	47
丸山公民館	53
東野公民館	62
座光寺公民館	69
松尾公民館	76
下久堅公民館	81
上久堅公民館	87
千代公民館	93
龍江公民館	98
竜丘公民館	105
川路公民館	112
三穂公民館	117
山本公民館	126
伊賀良公民館	132
鼎公民館	137
上郷公民館	144
上村公民館	152
南信濃公民館	156
Aブロック事業	163
Bブロック事業	164
Cブロック事業	164
Dブロック事業	165
飯田市の公民館略年表	166
飯田市公民館大会の経過	173

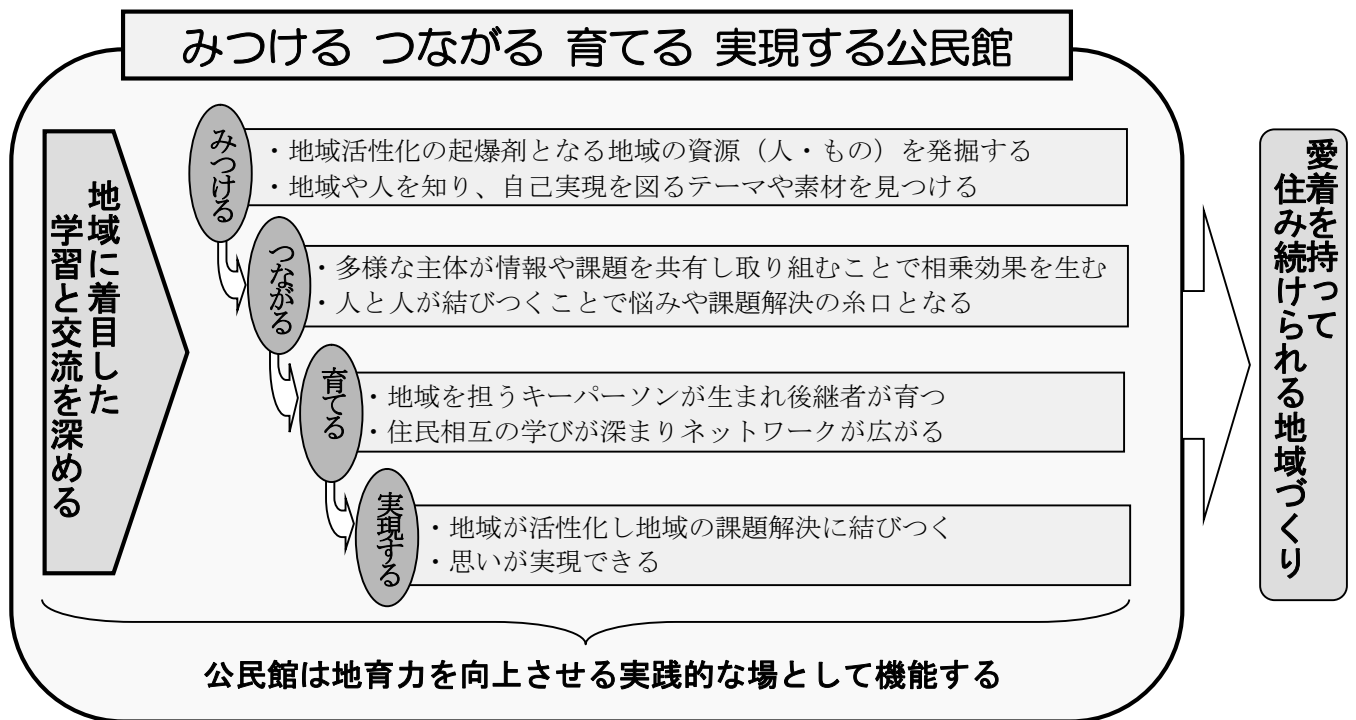
# 平成27年度飯田市公民館基本方針

## 1 目指す都市像の実現に向けて公民館が果たすべきこと

飯田市では、平成19年度から「住み続けたいまち 住んでみたいまち 飯田 人も自然も輝く 文化経済自立都市」を目指す都市像に掲げた第5次基本構想基本計画、自治基本条例、地域自治組織など市政の新しい枠組みがスタートしました。飯田市の公民館は、まちづくり委員会の構成団体であるとともに、社会教育法に基づく教育機関としての2面性を持っています。地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由な学習活動を支援する地育力向上の拠点となっています。

戦後まもなく発足した飯田市の公民館は、地域に密着して、市民の自由な文化学習活動を支援し、地域づくりの基盤である人づくりに大きな役割を果たしてきましたが、社会、経済など公民館を取り巻く環境は大きく変容しています。とりわけ、三遠南信自動車道の全通と2027年開通をめざしルート・駅位置が確定したりニア中央新幹線時代を見据えた持続可能な地域づくりが今後益々重要になります。そのためには、東日本大震災から地域の絆の大切さを再認識した今、公民館活動から「結いの心」を紡いでいく必要があります。

そこで飯田市の公民館は、住民による自立した地域経営に向けて、今後も引き続き地域に着目した学習と交流を深める役割を担い、「みつける つながる 育てる 実現する場」として愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づくりの一翼を担っていきます。



## 2 公民館の具体的な役割

公民館は、地育力向上の拠点として地域の特色ある自然や文化を基底に、地域住民の学習と交流を図ります。少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化など様々な地域の課題解決に向けた学習を支援することで、コミュニティ意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。公民館の具体的な役割は次のとおりです。

- (1) だれもが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を活かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に活かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 住民の生涯にわたる学習や学習のグループ化を支援し様々な地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として尊ばれ差別なく暮らせる「人間尊重の精神を学びあう場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子どもたちが健やかに育つとともに故郷に愛着と誇りを持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域のさまざまな出来事を記録し情報を提供・発信する「情報授受と発信の場」

### 3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

昭和46年、飯田市は文部省の委嘱を受けて「公民館運営基準の研究」（管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項）を始め、昭和48年にまとめました。この運営基準研究の中で次に掲げる「公民館運営の4原則」が確認されました。時代は変化してもこの理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

#### (1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

#### (2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

#### (3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

#### (4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

### 4 「4つの運営原則」に基づく主体的な公民館活動の展開に向けて

地域自治組織のまちづくり委員会で各地区の公民館は、引き続き学習と交流を起点に地域内の連携協力を図り、住民自治の充実に必要な地域の社会教育機関として地育力向上の拠点を担います。

- (1) 各地区の公民館が設置する専門委員会は、「住民参画の原則」に基づいて地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (2) 分館は、最も身近なコミュニティ形成の場であり日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど住民同士のふれあいを大切にしながら主体的な活動を展開します。

### 5 重点目標

以上を踏まえ、以下の事項を平成27年度の重点目標として取り組みます。

- (1) NPO法人を始めとした志縁団体や、地域で活動する地縁団体などの多様な主体との連携を強化し、それら団体と地域を結ぶ媒介機能の構築を目指します。
- (2) 地域内だけでなく幅広い交流を図りながら学習を起点に地域の資源を再認識して、地域の価値を文化的、経済的に高める取り組みを進めます。
- (3) 地域で最も身近な社会教育機関として、「飯田市小中連携・一貫教育」を地域から支え、学校と地域や多様な主体がつながるために実践的に取り組みます。
- (4) 地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材を育てる「地域人教育」及び「高校生講座」に積極的に取り組みます。
- (5) 共通の地域課題に取り組む公民館をネットワークし、新たな枠組みによる学習と交流活動を推進するとともに、課題解決につなげる高等教育機関等内外の知見を取り入れた学習活動を展開します。
- (6) 各地区に内在する様々な地域の課題解決のために次の事業に取り組みます。
  - ① 子どもを持つ親を対象に親や子の仲間づくりを図るとともに、子どもが健やかに育ち、発達段階に応じた基本的な生活習慣の習得を支援する学習の機会を提供します。
  - ② 国籍にかかわらず住民相互に理解し合える関係をつくるために、多文化交流や日本語や外国語の学習の機会を提供します。
  - ③ 「いいだ人形劇フェスタ」を地域から支えてまちづくりにつなげる取組を推進するほか、身近なところで様々な芸術文化に触れ、創造する機会を提供します。
  - ④ 住民が郷土への関心を高め、愛着を持てるような多彩な学習の機会を提供します。
  - ⑤ 食育、親子の栄養と健康、生活習慣病予防、習慣的な運動等の面から健康学習の機会を提供します。
  - ⑥ 身近な自然体験型活動から世界規模の地球温暖化防止まで多彩な環境学習の機会を提供します。

## 平成27年度 飯田市公民館の事業計画

平成27年度飯田市公民館基本方針に基づいて、飯田市公民館（連絡調整を担う飯田市公民館（以下「市公民館」という。）と20地区公民館）が展開する主な事業を次のとおり計画します。

### 1 20地区公民館と市公民館は合同して以下の事業を展開します。

#### (1) 第53回飯田市公民館大会

公民館関係者や広く市民を対象にして、1年間の公民館活動を総括して更なるステップアップを図る機会として、平成28年2月21日（日）に開催します。

#### (2) いいだ人形劇フェスタ2015

いいだ人形劇フェスタは、8月4日（火）～9日（日）に開催されます。いいだ人形劇フェスタ実行委員会と連携した取組を行うとともに、地区実行委員会の充実を図って地区からフェスタを盛り上げ、人形劇を通じた地域づくりの土壌を醸成します。

#### (3) 飯田市成人式

飯田市成人式は、平成28年1月10日（日）に新成人の一番身近な居住地域・出身地域を単位に全市一斉で開催します。各地区では、新成人を含めた成人式実行委員会を組織し、新成人が多様な活動を通じて地域を知り、地域との関わりを持てる学習を深めることで、地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

#### (4) 小中連携・一貫教育推進

平成25年度から全中学校区に導入された小中連携・一貫教育を地域から支え、地域と学校の特色を生かした取り組みを推進します。

### 2 20地区公民館は、専門委員会が主体的に事業を企画して展開するほか、多様な分野で学びの機会を設けることで、地域で学習と交流を深めます（カッコ内は例示。）。

- |                                    |            |
|------------------------------------|------------|
| (1) 乳幼児親子が学ぶ（乳幼児学級など）              | …重点目標(6)-① |
| (2) 学齢期親子が学ぶ（家庭教育講座・講演会など）         | …重点目標(6)-① |
| (3) 人権平和や多文化を学ぶ（人権講座、中国帰国者支援事業など）  | …重点目標(6)-② |
| (4) 地域で芸術文化に触れる（ふるさとコンサート、人形劇公演など） | …重点目標(6)-③ |
| (5) 身近な地域を素材に学ぶ（ふるさと探訪、歴史学習会など）    | …重点目標(6)-④ |
| (6) 健康で生き生き暮せる学び（男の料理教室、健康教室など）    | …重点目標(6)-⑤ |
| (7) 身近に環境を学ぶ（みんなの環境学習講座、水生生物観察会など） | …重点目標(6)-⑥ |
| (8) 多彩な学びと交流（女性学級、高齢者学級など）         | …重点目標全て    |

### 3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

#### (1) 地域人教育支援事業

飯田OIDE長姫高校、松本大学、飯田市の3者が平成24年度に締結した「地域人教育パートナーシップ協定」に基づき、地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材育成に取り組みます。

#### (2) 高校生講座

海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再認識し、地域に誇りと愛着を持ちつつ、グローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインできる人材を育成します。

### (3) 飯田市民大学講座

引き続き「伊那谷の自然と文化」をテーマにして第39回飯田市民大学講座を開講します。講座の内容等は運営委員会で企画します。

### (4) 人権平和・多文化学習事業

地域の国際化に対応するために、平和学習を通じた人権・平和の意識向上を図るとともに、外国籍住民への日本語教育を柱とした多文化共生事業を展開します。

### (5) 子育てカレッジと子育てサークル支援事業

子育てリーダーグループ「トライアングル」の支援を軸とした子育てネットワークの充実を図るとともに、飯田女子短期大学と連携しその専門的な知見を活かした子育てカレッジを開催します。

### (6) 小学生の基本的な生活習慣に関するアンケート調査

市内の小学生の基本的な生活習慣の習得状況などを把握し、公民館やPTAの家庭教育などに関する事業の教材として役立つことなどを目的に、小学校の協力を得て調査を実施します。

### (7) 飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により開催します。会場は上郷体育館と高陵中学校体育館で、11月15日（日）に開催します。

### (8) 第40回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、自主運営方式で開催します。会場は飯田市民館で、平成28年2月28日（日）に開催します。

### (9) JICA 草の根技術協力事業

フィリピン・レガスピ市における住民自治組織づくりを支援するとともに、住民自治組織の活動拠点である「公民館」の建設と、公民館を拠点とした地域コミュニティ形成のための住民自治活動の支援に取り組みます。

### (10) 着地研究会（地活レジェンド育成講座）

定年退職を控えた世代を対象に、退職後の地域へのスムーズな着地をめざし、これまでのキャリアを活かしたライフスタイルを自らデザインすることができるための講座を開設します。

## 4 その他

### (1) 第63回天龍峡夏期大学講座

教養を高め今日的課題を考える契機とするとともに、地域への誇りを醸成することを目的として、川路公民館が開催します。

### (2) 飯田ムトス大学事業

地区公民館ごとに取組む地域課題・生活課題をテーマとした重点事業を、新たな枠組みとして共通の課題を持つ複数地区をネットワークし共有することで、地域の垣根を越えた地域課題解決に向けた取組みを推進します。

### (3) 大学と連携した地域課題解決の実践的展開

東京大学大学院との共同調査・学習を始めとした高等教育機関等と連携して、地域に内在する課題解決に向けて実践的に取り組みます。

### (4) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

### (5) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。



## 飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法にも基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

## 飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、学習支援係、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

## 飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切に、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

## 飯田市公民館の事業

### 市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

### ブロック事業

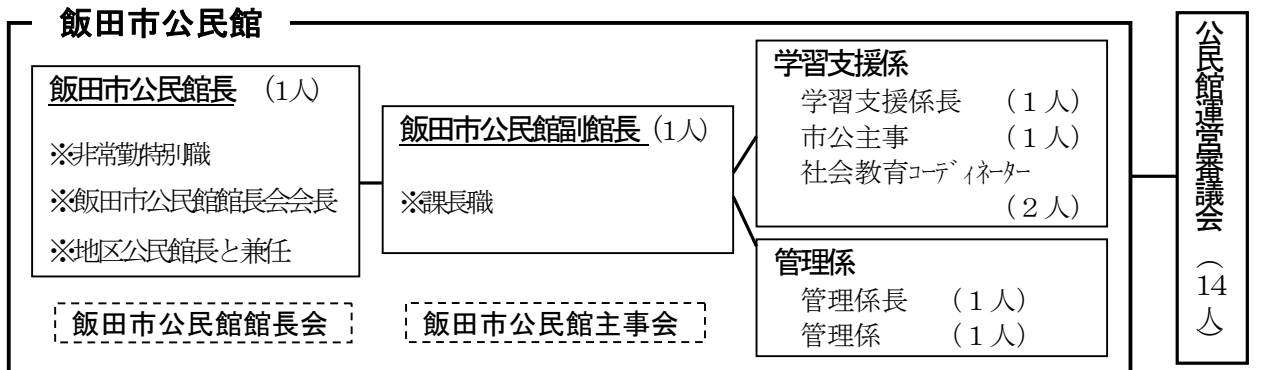
- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

### 地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供



## 飯田市公民館の運営組織図



**地区公民館** (人口は平成28年2月末現在)

公民館名	ブロック体制	人口(人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	A ブロック	3,244	1	—	1	1
橋南公民館		2,825	1	—	1	1
羽場公民館		4,948	1	—	1	1
丸山公民館		3,592	1	—	1	1
東野公民館		3,073	1	—	1	1
座光寺公民館	B ブロック	4,520	1	1	1	—
山本公民館		4,937	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,606	1	1	1	1
鼎公民館		13,414	1	1	1	2 ※4
上郷公民館	C ブロック	14,270	1	1	1	1
松尾公民館		13,062	1	1	1	1
下久堅公民館		3,068	1	1	1	—
竜丘公民館		6,943	1	1	1	1
上村公民館		448	1	1	1	—
南信濃公民館		1,549	1	1	1	1
上久堅公民館		1,374	1	1	1	—
千代公民館		1,760	1	1	1	—
龍江公民館	D ブロック	2,921	1	1	1	—
川路公民館		1,983	1	1	1	—
三穂公民館		1,483	1	1	1	—
計		104,020	20人	15人	20人	12人

**専門委員会の設置**

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。  
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
- ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連携調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
- ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
- ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

**分館**

現在、103の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

## 地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名称	人数	任期(年)	公民館名	名称	人数	任期(年)
橋北公民館	文化部	10	2	龍江公民館	文化部	7	2
	体育部	10	2		体育部	8	2
	広報部	10	2		青少年健全育成部	6	2
	育成部	10	2		新聞部	12	2
橋南公民館	文化委員会	11	2	竜丘公民館	文化委員会	15	2
	体育委員会	11	2		体育委員会	24	2
羽場公民館	文化委員会	12	2		広報委員会	11	2
	体育委員会	13	2		民俗資料保存委員会	9	2
	広報委員会	9	2	育成委員会	9	2	
	育成委員会	11	2	川路公民館	文化部会	10	2
丸山公民館	文化部会	11	2		体育部会	14	2
	体育部会	12	2		広報部会	9	2
	広報部会	5	2	三穂公民館	文化委員会	14	2
	青少年健全育成部会	13	2		体育委員会	15	2
東野公民館	文化部	7	2		女性委員会	14	2
	体育部	20	2		広報委員会	9	2
	広報部	8	2	山本公民館	文化委員会	18	2
	育成部	13	2		体育委員会	18	2
座光寺公民館	文化部	15	2	伊賀良公民館	文化部	23	2
	体育部	11	2		体育部	27	2
	広報部	14	2		広報部	21	2
	健全育成部	22	2	鼎公民館	文化委員会	12	2
松尾公民館	文化委員会	18	2		体育委員会	17	2
	体育委員会	23	2		広報委員会	12	2
	広報委員会	17	2	上郷公民館	文化部会	11	2
	総務企画委員会	9	2		体育部会	15	2
青少年健全育成部会	22	2	広報部会		10	2	
下久堅公民館	文化部	14	2	青少年健全育成部会	12	2	
	体育部	22	2	上村公民館	文化委員会	4	2
	広報部	11	2		体育委員会	4	2
	育成部	16	2		広報委員会	4	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2	南信濃公民館	文化委員会	9	2
	体育委員会	12	2		体育委員会	12	2
	広報委員会	10	2		広報委員会	6	2
千代公民館	文化委員会	16	2	計		894	
	体育委員会	16	2				
	広報委員会	12	2				
	青少年育成委員会	14	2				

# 飯田市の分館

地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数
橋北	★江戸浜	121	千代	法山	82	東野	★東鼎	166
橋南	なし			大郡	61		★西鼎	126
羽場	なし			米峰	30		★下茶屋	200
丸山	なし			毛呂窪	72		★中平	627
東野	吾妻町南	54	龍江	八ノ倉	21		★上茶屋	158
	東新町1	88		下村	84		★切石	887
	錦町	72		第一	255		★上山	1060
	高羽町東	255		第二	277		★一色	434
	宮の前	休館	第三	314	★名古屋		741	
	宮ノ上	267	第四	158	★上黒田	651		
諏訪町	65	竜丘	駄科	893	★下黒田北	996		
座光寺	なし		長野原	451	★下黒田南	809		
松尾	上溝		346	★時又	387	★下黒田東	678	
	久井		181	桐林	560	★丹保	350	
	★水城		309	上川路	133	★北条	413	
	★新井		416	2	50	★飯沼南	365	
	寺所		236	3	48	★南条	292	
	★明		522	4	109	★別府上	382	
	★清水		237	川路	5	43	★別府下	573
	城	497	6	111	上村	上町	64	
	八幡町	385	7	113		中郷	44	
	代田	764	8	170		程野	54	
毛賀	650	三穂	なし		下栗	45		
常盤台	385	山本	東平	444	南信濃	和田橋北	161	
知久平	251		大明神	147		和田橋南	363	
★虎岩	146		北平	317		八重河内	64	
柿野沢	91		中平	101		木沢	113	
稲葉	休館		西平	62	南和田	57		
小林	49		南湯川	139				
南原	149		竹佐	182				
下虎岩	295		箱川	81				
上久堅	1	107	久米	113	<p>以下103分館（休館を除く）</p> <p>※うち条例分館は27館（★の印）</p> <p>※世帯数は、平成27年度分館世帯数（平成27年9月末時点）</p>			
	2	75	二ツ山	91				
	3	107	下殿岡	351				
	4	95	上殿岡	475				
	5	83	三日市場	386				
	6	53	伊賀良	北方				1923
千代	北部	44	大瀬木	1317				
	芋平	17	中村	652				
	野池	80	三尋石	166				
	米川	118	★下山	776				

## 公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	平成27年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	84,000	261,000	1,699,462	2,044,462	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	264,000	1,620,000	2,090,000	550.9	S59. 3	鉄骨3
羽場公民館	554,000	327,000	2,308,000	3,189,000	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	284,000	1,815,000	2,381,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	270,000	1,953,000	2,355,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	312,000	5,377,800	6,059,800	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	666,000	554,000	7,098,000	8,318,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	81,000	270,000	2,960,000	3,311,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	171,000	221,000	2,703,016	3,095,016	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	232,000	2,570,000	2,849,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	144,000	266,000	4,995,000	5,405,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	380,000	7,613,000	8,178,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	237,000	2,903,000	3,284,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	222,000	2,896,000	3,302,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	325,000	3,734,000	4,320,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	599,000	8,513,000	9,487,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	3,748,000	567,000	3,620,000	7,935,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	587,000	7,035,000	7,794,000	1428.0	S39. 11	鉄筋3
上村公民館	0	196,000	890,000	1,199,000	130.9	S40. 3	鉄筋3
南信濃公民館	0	227,000	1,967,000	2,194,000	1548.4	H19.11	鉄筋2
小計	7,806,000	6,601,000	74,270,278	88,677,278	23249.8	/	
飯田市公民館			—	0	3,059.80	S51.11	鉄筋4
合計	7,806,000	6,601,000	74,270,278	88,677,278	26309.6	/	

(説明)

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

# 飯田市各地区公民館利用状況

(平成26年度)

	有料団体			減免団体			無料団体			合計		
	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員
飯田市公民館	105	215	5,834	69	266	20,745	381	1,404	37,367	555	1,885	63,946
ホール	15	68	2,352	28	114	7,369	47	207	21,457	90	389	31,178
会議室	90	147	3,482	41	152	13,376	334	1,197	15,910	465	1,496	32,768
橋北公民館	102	172	2,961	119	179	3,168	1489	1,560	19,118	1,710	1,911	25,247
橋南公民館	23	26	334	169	186	3,119	648	688	10,469	840	900	13,922
羽場公民館	100	103	1,494	279	286	4,841	2331	2,344	31,204	2,710	2,733	37,539
丸山公民館	46	46	713	181	242	5,704	649	665	6,935	876	953	13,352
東野公民館	48	52	946	121	179	2,900	740	1,687	22,102	909	1,918	25,948
座光寺公民館	25	35	1,026	784	1,432	17,217	492	784	8,006	1,301	2,251	26,249
松尾公民館	263	365	6,422	874	1,065	31,887	1319	2,523	47,259	2,456	3,953	85,568
下久堅公民館	12	24	696	710	768	13,182	179	356	6,492	901	1,148	20,370
上久堅公民館	5	5	65	126	142	2,541	184	292	2,980	315	439	5,586
千代公民館	10	10	120	169	180	3,350	439	450	5,551	618	640	9,021
龍江公民館	45	47	1,316	547	556	5,122	1013	1,029	13,298	1,605	1,632	19,736
竜丘公民館	69	122	2,551	157	333	6,452	755	2,615	37,291	981	3,070	46,294
川路公民館	24	24	417	252	331	5,388	586	657	10,164	862	1,012	15,969
三穂公民館	21	21	341	147	198	2,982	483	513	9,188	651	732	12,511
山本公民館	47	47	1,268	151	160	5,274	956	1,011	11,781	1,154	1,218	18,323
伊賀良公民館	171	203	6,365	436	579	16,765	1587	2,164	41,270	2,194	2,946	64,400
鼎公民館	301	478	19,249	142	277	22,419	1,250	2,520	60,089	1,693	3,275	101,757
ホール	25	55	9,914	53	148	17,746	34	127	14,140	112	330	41,800
会議室	276	423	9,335	89	129	4,673	1216	2,393	45,949	1,581	2,945	59,957
上郷公民館	130	188	4,885	263	1,405	51,749	979	2,213	44,573	1,372	3,806	101,207
上村公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南信濃公民館	8	8	257	175	175	2,841	240	259	6,355	423	442	9,453
南信濃学習 交流センター	1	1	20	115	115	1,681	109	168	6,321	225	284	8,022
地区館計	1,451	1,977	51,446	5,917	8,788	208,582	16,428	24,498	400,446	23,796	35,263	660,474
合計	1,556	2,192	57,280	5,986	9,054	229,327	16,809	25,902	437,813	24,351	37,148	724,420

## 平成27年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	人権・多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
<b>飯田市民公民館</b> (P20～32 参照)	○トライアングル活動支援 - フリーマーケット - 子育て情報誌 「おひさま」編集、発行 - 妊婦さん向け講座 「ベビーグッズを作ろう」 - 子育て講座 「子育てエッセンス」 - エルゴベビー装着講習&おもちゃで遊ぼう - 子育てサークルリーダー交流会 ○いいだ子育てカレッジ	○小学生の生活に関する調査	○わいわいサロン ○わいわいサロンⅡ - 鼎教室・松尾教室(夜間) - 出張講座 ○日本語教室シンポジウム - 飯田市の国際化の現状と日本語教室について - いってみようやってみよう日本語教室！ ○飯田市民大学講座 - 戦後70年平和への祈り	○飯田市民大学講座 - 信州の祈りと美 善光寺から白隠、春草まで
<b>橋北公民館</b> (P33～38 参照)	○2歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同)	○和菓子づくり体験講座 ○新春書き初め大会		○オーケストラと友に音楽祭2015 コミュニティコンサートat追手町小学校講堂 ○橋北地区文化祭 龍江地区今田人形特別上演 ○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同) ○いいだ人形劇フェスタ2015橋北地区公演 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト お囃子横笛太鼓演奏教室
<b>橋南公民館</b> (P39～46 参照)	○0歳児学級「ひよこ」 (橋北・橋南・東野地区合同) ○1歳児学級「うさぎ」 (橋北・橋南・東野地区合同) ○なかよしリズム隊	○親子パン作り講座 ○放課後子ども教室 ○夏休み子ども教室	○人権講演会	○オーケストラと友に音楽祭2015 コミュニティコンサートat追手町小学校講堂 ○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2015橋南地区公演 ○第20回橋南文化祭 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○伝統文化教室 - 天龍太鼓子ども教室 - - 松一獅子舞教室 -
<b>羽場公民館</b> (P47～52 参照)	○0～1歳児学級 ○2歳児学級(羽場・丸山地区合同) ○3歳児学級(羽場・丸山地区合同) ○イクメン講座	○家庭教育講演会「子どもに家庭にもできる～事前の防災・防犯対策～」 (羽場・丸山・東野地区合同)	○ネットトラブル防止啓発座談会	○いいだ人形劇フェスタ2015羽場地区公演
<b>丸山公民館</b> (P53～61 参照)	○すぐすぐ学級(0・1歳児) ○2歳児学級 ○3歳児学級	○家庭教育講演会「子どもに家庭にもできる～事前の防災・防犯対策～」 (羽場・丸山・東野地区合同) ○子育て講演会	○ネットトラブル防止啓発座談会	○いいだ人形劇フェスタ2015丸山地区公演
<b>東野公民館</b> (P62～68 参照)	○3歳児学級「むらさきのぶどう」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○家庭教育講演会「子どもに家庭にもできる～事前の防災・防犯対策～」 (羽場・丸山・東野地区合同) ○親子のスポーツ交流会 ○お正月行事	○子どもお楽しみ会「フリビンのバンブーダンスとおやつを楽もう！」	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○いいだ人形劇フェスタ2015東野地区公演 ○第43回東野区民文化祭
<b>座光寺公民館</b> (P69～75 参照)	○びよびよ教室 ○2歳児学級 ○アンパンマンの会	○子育て応援講座		
<b>松尾公民館</b> (P76～80 参照)	○0歳児学級 ○1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○遊休農地活用事業 ○ラフティング体験教室 ○親子パン作り教室	○日中文化交流会 ○歴史を学ぶ講座	○探勝会
<b>下久堅公民館</b> (P81～86 参照)	○乳幼児学級ほっかほかいちご ○乳幼児学級ほっかほかあひる	○親子体験学習		
<b>上久堅公民館</b> (P87～92 参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」	○上久堅小学校・PTA・公民館共催講演会 ○図書館 冬のお楽しみ会	○多文化ふれあい料理教室	○人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」

## 平成27年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○第53回飯田市公民館大会</li> <li>○高校生講座「カンボジア・スタディツアー」</li> <li>○第40回公民館コーラスグループ発表会</li> <li>○第34回飯田市女性バレーボール大会</li> <li>○飯田市成人式</li> <li>○地域人教育</li> <li>○東京大学大学院牧野研究室との共同調査・学習</li> <li>○JICA草の根支援技術協力事業「レガスビプロジェクト」</li> <li>○地活レジェンド育成講座</li> <li>○市民大学講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 途上国への支援活動から学ぶ 飯田・下伊那の住民自治</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田市民大学講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「知久家」と「知久氏」について</li> <li>- スポーツ(ラグビー)による人材育成と地域振興</li> <li>- 古代国家形成に関わった伊那谷</li> <li>- 「みそ速醸法」の発明と「無添加みそ」の開発・普及について</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田市民大学講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 南アルプスの魅力 山を愛する、自然を敬う</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○北斗のまち・さわやか講座</li> <li>○工作体験教室・実験教室</li> <li>○橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」</li> <li>○しめ飾り講習会・もちつき交流会</li> <li>○写真教室</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○マレットゴルフ教室</li> <li>○ウォーキング講座</li> <li>○ワンバウンドふらば〜るバレー大会</li> <li>○囲碁ボール大会</li> <li>○ボウリング大会</li> <li>○橋北市民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋北地区文化祭 NPO法人南信州おひさま進歩と共催で環境学習</li> <li>○家計にやさしい省エネ講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統・文化継承講座「手の芸の会」</li> <li>○ラベンダー関連講座</li> <li>○おひまち</li> <li>○しめ縄づくり講習会</li> <li>○もちつき大会</li> <li>○飯ごう炊さん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋南文化講座「飯田町致知会」(温故創新企画)</li> <li>○橋南史跡巡り</li> <li>○橋南史跡ウォーキング</li> <li>○第30回橋南ウォークラリー大会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境講座「家計に優しい省エネ講座」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○曙の里講座「お正月のお花を生けましょう」</li> <li>○曙の里講座「書初め大会」</li> <li>○図書館お楽しみ会</li> <li>○冬の探鳥会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羽場のあしたを考える作文コンクール</li> <li>○曙の里講座「年越しそば打ち体験」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯田西中学校春の探鳥会</li> <li>○親子エコクッキング教室</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新春書初め教室</li> <li>○そばうち体験講座</li> <li>○観月の夕べ</li> <li>○国宝への旅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かざこしタイム</li> <li>○風越山と暮らしを考える講座</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○春の探鳥会</li> <li>○冬の探鳥会</li> <li>○風越山と暮らしを考える講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○独居高齢者学級「五福の会」</li> <li>○女性学級「めだかの学校」</li> <li>○若草の里東野講座「地震災害から命を守る」 「そば打ち体験」</li> <li>○文化講座「飾り巻き寿司作り」</li> <li>○教養講座「日々是好日～ながいきのススメ～」</li> <li>○キッズチャレンジ手作り体験「ユカイナを作って吹いてみよう！」</li> <li>○しめ縄作り</li> <li>○書初め書道教室</li> <li>○三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東野文化の路探訪会</li> <li>○若草の里東野講座「大宮諏訪神社の成り立ちとお練りまつりの歴史」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなで歩かまい!めざせ1万歩!!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山菜採り勉強会</li> <li>○若草の里東野講座「家庭ごみの分別 こんなかん違いしていませんか」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○麻績いきいき大学</li> <li>○座光寺小学校実験教室</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○松尾サイエンススクール</li> <li>○男踊り教室</li> <li>○地域いきいきセミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水引教室</li> <li>○松尾探検隊</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひさかた村塾</li> <li>○図書館お楽しみ会</li> <li>○クリスマスお楽しみ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひさかた和紙講座</li> <li>○下久堅地区新年の会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○からだケア教室</li> <li>○ヨガ・ストレッチ教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境学習会</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○十三の郷ウォーキング事業</li> <li>○上久堅を学ぶ会</li> <li>○子ども育成支援事業(ふるさと自然体験2015、方言人形劇支援)</li> <li>○南信州狼煙リレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性料理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境学習会</li> </ul>



## 平成27年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	人権・多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
千代公民館 (P93～97 参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○子育て講座	○ふるさと講演会「望郷の鐘上 映会」	○人形劇フェスタ観劇バスツ アー
龍江公民館 (P98～104 参照)	○乳幼児学級0～1歳(りす) ○乳幼児学級2～3歳(ぞう&うさぎ)	○食育体験教室 ー季節の野菜づくりー ー大豆・きな粉・豆腐づくり体験 ー ○親子人形劇の会 ○図書館お楽しみ会 ○和紙作り ○地域クラブ	○「おらが里 龍江」刊行	○人形劇フェスタ観劇バスツ アー ○今田人形浄瑠璃の保存と継承
竜丘公民館 (P105～111 参照)	○0歳児学校 ○1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○家庭教育講演会 ○親子ふれあいハイキング ○水辺の楽校 ○竜丘あいさつ運動 ○青少年クラブ運営	○中国帰国者支援事業「友好 会」(日本語教室)	○ふるさとコンサート ○いいだ人形劇フェスタ2015竜 丘地区公演 ○ニューイヤーコンサート ○竜丘地区文化祭
川路公民館 (P112～116 参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」	○絵手紙講座	○人権教育講座	
三穂公民館 (P117～125 参照)	○乳幼児学級「みほなかよし学級」 ○乳幼児のひろば	○家庭教育講座「ネットトラブルの 現状と未然防止」	○文化セミナー「戦争資料展& 川本喜八郎人形美術博物館見 学」	○ふるさとコンサート
山本公民館 (P126～131 参照)	○乳幼児学級(なかよし広場) ○乳幼児学級(ちびっこ広場)	○親子体験教室 ○キッズ山本大作戦音楽フェスタ ○児童センターおやつ作り	○Yamamoto International友の 会 ○国際ふれあい交流会	
伊賀良公民館 (P132～136 参照)	○乳幼児学級(0歳児学級、1歳児学 級)	○いがら農園 ○図書館お楽しみ会		
鼎公民館 (P137～143 参照)	○つくし学級(3歳児学級) ○たんぼ学級(2歳児学級) ○いちご学級・りんご学級(1歳児学 級) ○保育園・幼稚園・小学校との連携 による子育て支援事業	○おとなのBUKTU ○かなえっこ どっきどきスクール		○いいだ人形劇フェスタ2015鼎 地区公演 ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化 祭
上郷公民館 (P144～151 参照)	○乳幼児学級 ○乳幼児運動あそび教室	○子ども(親子)そば打ち教室 ○子ども料理教室		
上村公民館 (P152～155 参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」	○小学校PTA共催講演会		○かみむら総合文化祭・健康ま つり ○人形劇フェスタバスツアー
南信濃公民館 (P156～162 参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」	○家庭教育講座	○平和学習事業	○人形劇団育成事業

## 平成27年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性の料理教室</li> <li>○親子料理教室</li> <li>○婦人学級</li> <li>○読み聞かせグループ「どんぐりの会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○千代の人物伝シリーズ</li> <li>○地区内観音様めぐり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プラスデン 講座</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○そば打ち体験</li> <li>○陶芸教室</li> <li>○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操)</li> <li>○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土を学ぶ学習会</li> <li>○龍江ふるさと探検</li> <li>○武田信玄狼煙リレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水辺の楽校活用・整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大人の学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○竜丘市民大学講座</li> <li>○ふるさと学習会</li> <li>○竜丘自由画保存顕彰委員会</li> <li>○竜丘古墳の会</li> <li>○民俗資料保存事業</li> <li>○古墳まつり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏季スポーツ大会</li> <li>○冬季スポーツフェスティバル</li> <li>○竜丘市民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水辺の楽校</li> <li>○親子ふれあいハイキング</li> <li>○塚原二子塚 古墳公園白井川 秘境遊歩道整備委員会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○川路通学合宿</li> <li>○第63回天龍峡夏期大学</li> <li>○第27回川路の明日を考える研究集会</li> <li>○食育・走り方講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史文化セミナー</li> <li>○世代間交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さわやか健康教室</li> <li>○遠足倶楽部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学友林学習事業</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○真陽地区との交流事業</li> <li>○ほっとけない楽習会「富岡製糸場を巡るバスの旅」、「家族の避難計画作り&amp;ハザードマップの見方」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふるさとめぐり三穂</li> <li>○伊豆木人形の継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほっとけない楽習会「ロコモを知って学んで予防しよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家電のエコを学ぶ省エネ講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級</li> <li>○お話を聞く会</li> <li>○男の料理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山本学講座</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○かさまつ大学</li> <li>○横山タカ子先生の料理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊賀良を学ぼう～歴史・文化・自然～</li> <li>○伊賀良を学ぼう～食～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性の料理教室</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○華甲大学(高齢者学級)</li> <li>○鼎小中PTA公民館合同講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふるさと再発見ワンデーマーチ</li> <li>○古文書講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種料理教室</li> <li>○鼎地区体育祭(ベタンク大会)</li> <li>○鼎地区縦断駅伝大会</li> <li>○鼎地区女性バレーボール大会</li> <li>○冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば～るバレーボール)</li> <li>○ニュースポーツ講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者学級</li> <li>○飯田高校天文班による天体観測教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土料理教室</li> <li>○地域を知る会</li> <li>○ふるさと学習講座</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○かみっこお楽しみ会</li> <li>○「若い衆で地域を語らまいか」意見交換会・交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生霜月祭横笛教室</li> <li>○遠山森林塾</li> <li>○世代間交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ニュースポーツ講習会</li> <li>○冬季スポーツ大会</li> <li>○上村ウォーキング講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野鳥観察会</li> <li>○星空観察会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性学級</li> <li>○高齢者学級</li> <li>○図書館との合同事業</li> <li>○飯田ムトス大学事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休み連続子ども講座</li> <li>○遠山森林塾</li> <li>○春休み連続子ども講座</li> <li>○地域講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノルディックウォーク講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブッポウソウの保護活動</li> </ul>

平成27年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
橋北公民館 (P33～38 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋北地区文化祭</li> <li>いいた人形劇フェスタ2015 橋北地区公演</li> <li>第23回 橋北歌うたべ写真教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>第38回 橋北市民運動会</li> <li>ウォーキング講座</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>橋北地区ボウリング大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報橋北 発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工作実験教室</li> <li>美博訪問ツアー</li> <li>しめ飾り講習会もちつき交流会</li> <li>新春書き初め大会</li> <li>和菓子づくり体験講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋北・橋南・東野地区成人式</li> <li>ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同)</li> <li>三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同)</li> </ul>
橋南公民館 (P39～46 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田人形劇フェスタ2015 橋南地区公演</li> <li>第20回橋南文化祭</li> <li>橋南史跡巡り</li> <li>橋南史跡ウォーキング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第30回橋南ウォークラリー大会</li> <li>橋南ソフトボール大会</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>第28回橋南連台大運動会</li> <li>女性バレーボール大会</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>橋北・橋南・東野地区成人式</li> <li>ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同)</li> <li>三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同)</li> <li>放課後子ども教室</li> <li>夏休み子ども教室</li> <li>しめ縄作り講習会</li> <li>おひま</li> <li>もちつき大会</li> <li>飯ころ炊さん</li> <li>第12回橋南夏まつり</li> <li>書き初め</li> <li>天龍太鼓子ども教室</li> <li>松一獅子舞教室</li> <li>館報橋南の編集</li> </ul>
羽場公民館 (P47～52 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田人形劇フェスタ2015 羽場地区公演</li> <li>羽場地区文化祭</li> <li>羽場ふれあいウォークラリー大会</li> <li>かざこしふれあいコンサート夜の講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいスポーツ祭</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>ソフトバレーボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報「あけぼの」発行</li> <li>スライドショー作成(文化祭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚のつかみ取り</li> <li>きのこ狩りと芋煮会</li> <li>おやすしめ縄作り</li> <li>新年お楽しみ会</li> <li>あいさつ標語・ポスターコンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽場丸山地区成人式</li> <li>丸山小学校放課後子ども教室</li> </ul>
丸山公民館 (P53～61 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人形劇フェスタ2015丸山地区公演</li> <li>かざこしふれあいコンサート</li> <li>丸山地区文化祭</li> <li>大人のサロン</li> <li>風越山と暮らしを考える講座</li> <li>丸山くらす</li> <li>探鳥会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内対抗ソフトボール大会</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>丸山地区市民大運動会</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>健康講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報まるやまの編集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ教室支援事業</li> <li>一般救命講習</li> <li>水引体験教室</li> <li>お正月飾り教室</li> <li>お正月遊び・もちつき体験</li> <li>みちくさウォーキング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽場丸山地区成人式</li> <li>丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)</li> <li>風越山を愛する会</li> </ul>
東野公民館 (P62～68 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山菜採り勉強会</li> <li>文化講座</li> <li>教養講座</li> <li>いいた人形劇フェスタ2015東野地区公演</li> <li>第43回東野区民文化祭</li> <li>東野文化の路探訪会</li> <li>しめ縄作り</li> <li>お正月行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般男子ソフトボール大会</li> <li>ファミリーバレーボール大会</li> <li>ラージソフトボール大会</li> <li>ワンバウンドふらば～るバレー大会</li> <li>囲碁ボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり会報「ひがしの」の発行(第34～38号)</li> <li>ビデオ収録、編集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親と子のスポーツ交流会</li> <li>いいた人形劇フェスタ2015東野地区公演</li> <li>子どもお楽しみ会</li> <li>第43回東野区民文化祭</li> <li>キッズチャレンジシリーズ</li> <li>お正月行事</li> <li>小、中学校卒業記念品の贈呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなであそぼう! いざせよ!</li> <li>橋北・橋南・東野地区成人式</li> <li>ふるさとコンサート(橋北、橋南、東野合同)</li> <li>三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同)</li> <li>丸山小学校放課後子ども教室</li> </ul>

平成27年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
座光寺公民館 (P69～75 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>座光寺人形劇まつり</li> <li>座光寺地域文化祭</li> <li>麻績の里種まき大賞</li> <li>座光寺地域成人式</li> <li>大人の体験教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春季スポーツ大会</li> <li>高陵地区体力測定会</li> <li>ニュースポーツ講習会</li> <li>夜間ペタングリーグ</li> <li>座光寺盆野球大会</li> <li>座光寺地域市民運動会</li> <li>地区スポーツ交流月間</li> <li>冬季ソフトボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報座光寺発行</li> <li>広報座光寺お知らせ版発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もちつき体験</li> <li>子ども桜ガイド</li> <li>お茶摘み体験学習</li> <li>ホタルを見る会</li> <li>水辺の広場で遊ぼう</li> <li>星空観察会</li> <li>子ども科学教室</li> <li>体験学校まとめの会</li> <li>ふるさと探検</li> <li>五平餅を作ろう</li> <li>キノコを育ててみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくりアワーラム</li> <li>公民館女性委員の会</li> <li>座光寺の子どもを語る会</li> <li>座光寺の子どもを語る会推進委員会</li> </ul>
松尾公民館 (P76～80 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子映画鑑賞会</li> <li>いいた人形劇フェスタ2015</li> <li>第13回松尾睡ってみよう会</li> <li>松尾地区文化祭</li> <li>松尾地区成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松尾地区市民運動会</li> <li>ニュースポーツ講習会</li> <li>分館対抗ニュースポーツ大会</li> <li>分館対抗ふらば～るパレー大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まつお新聞」の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館役員研修会</li> <li>3地区合同パレーボール大会</li> <li>松尾地区還暦の会</li> </ul>	
下久堅公民館 (P81～86 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとコンサート</li> <li>いいた人形劇フェスタ2015</li> <li>ひさかたウォーキング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館対抗ソフトボール大会</li> <li>レディーズパレーボール大会</li> <li>常会対抗盆野球大会</li> <li>下久堅地区市民運動会</li> <li>囲碁ボール大会</li> <li>冬季スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ひさかた」の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚つかみどり体験</li> <li>親子囲碁ボール大会</li> <li>書き初め教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下久堅地区成人式</li> <li>下久堅放課後子ども教室</li> </ul>
上久堅公民館 (P87～92 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人形劇フェスタ2015上久堅地区公演</li> <li>上久堅地区文化祭</li> <li>十三の郷ふれあいコンサート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竜東中学校区交流球技大会</li> <li>分館対抗女性スポーツ大会</li> <li>分館対抗ソフトボール大会</li> <li>上久堅地区運動会</li> <li>冬季スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「かみひさかた」発行</li> <li>館報編集学習会</li> <li>館報發送サービス事業</li> <li>第6回上久堅写真展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館自主活動</li> <li>世代交流しめ縄飾り講習会</li> <li>第23回ひさかたの火まつり</li> <li>第22回小川路峠へ登ってみよう</li> <li>上久堅地区成人式</li> <li>小学校クラブ活動・総合学習の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千代地区成人式</li> <li>千代地区ソフトボール交流会</li> <li>おたんじょうび本</li> <li>どんぐりの会</li> <li>千代の歴史を語る会</li> <li>木遣り保存会</li> </ul>
千代公民館 (P93～97 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと講演会</li> <li>いいた人形劇フェスタ千代地区公演</li> <li>千代地区文化祭</li> <li>千代峠交流会</li> <li>万古溪谷調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回囲碁ボール大会</li> <li>千代地区市民運動会</li> <li>第6回フンふらパレー大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報千代の便り發送事業</li> <li>ふるさとの便り發送事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>万古溪谷橋の木ゾア</li> <li>千代地区ウォークラリー大会</li> <li>創作教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千代地区成人式</li> <li>千代地区ソフトボール交流会</li> <li>おたんじょうび本</li> <li>どんぐりの会</li> <li>千代の歴史を語る会</li> <li>木遣り保存会</li> </ul>
龍江公民館 (P98～104 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいた人形劇フェスタ龍江地区公演</li> <li>地区文化祭、芸能祭</li> <li>ふるさと探訪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区市民運動会</li> <li>さくらまつりペタング大会</li> <li>龍江絆駅伝</li> <li>スラックライン体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>龍江新聞の発行(毎月)</li> <li>龍江新聞地区外發送</li> <li>龍江ホームページ運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>龍江ふるさと探検</li> <li>百人一首大会、龍江かるた大会</li> <li>水辺の葉枝魚釣り、魚つかみ大会</li> <li>食育体験</li> <li>アップルキッズの森活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武田信玄狼煙リレー</li> <li>龍江地区成人式</li> <li>和紙作り</li> <li>地域クラブ活動</li> <li>小学校お助け隊</li> <li>郷土を学ぶ講演会</li> </ul>

平成27年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
竜丘公民館 (P105～111 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとコンサート</li> <li>いっだん形劇フェスタ2015竜丘地区公演</li> <li>ニューイヤークンサート</li> <li>竜丘地区文化祭</li> <li>竜丘市民大学講座</li> <li>ふるさと学習会</li> <li>親子ふれあいハイキング</li> <li>成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季スポーツ大会</li> <li>冬季スポーツフェスティバル</li> <li>竜丘市民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報たつおか発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺の楽校</li> <li>竜丘あいさつ運動</li> <li>青少年クラブ運営</li> <li>古墳まつり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民俗資料保存事業</li> <li>塚原二子塚 古墳公園白井川 秘境遊歩道整備委員会</li> <li>放課後子ども教室</li> <li>竜丘古墳の会</li> <li>竜丘自由面保存顕彰委員会</li> </ul>
川路公民館 (P112～116 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっだん形劇フェスタ2015川路地区公演</li> <li>第63回天龍峡夏期大学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館交流マレットゴルフ大会</li> <li>分館対抗ノレレボール大会</li> <li>分館対抗ソフトボール大会</li> <li>かわじさわやかスポーツ祭</li> <li>ニューススポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報かわじ発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川路地区成人式</li> <li>川路通学合宿</li> <li>川路の明日を考える研究集会</li> </ul>	
三穂公民館 (P117～125 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>真陽交流事業IN真陽</li> <li>ふるさとコンサート</li> <li>人形劇フェスタ</li> <li>三穂ふれあい夏祭り</li> <li>ふるさとめぐり三穂</li> <li>真陽交流事業IN三穂</li> <li>三穂文化祭</li> <li>やまびこマーチCP運営</li> <li>文化セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンパウンドふらほ～るバレー大会</li> <li>マレットゴルフ大会</li> <li>お盆ソフトボール大会</li> <li>三穂地区市民運動会</li> <li>冬季ニューススポーツ大会</li> <li>ニューススポーツ講習会</li> <li>ニューススポーツ月間</li> <li>スポーツ団体との交流</li> <li>ニューススポーツフェスティバルへの参加</li> <li>地区内体育施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報「みほ」発行</li> <li>新春放談会</li> <li>三穂HP・ブログの更新、リニューアル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性委員会</li> <li>ほっとけない楽習会</li> <li>料理講習会</li> <li>女性交流スポーツ大会</li> <li>各種事業への参画</li> <li>企画委員会</li> <li>救急救命講習会</li> <li>委員研修視察旅行</li> <li>その他</li> <li>伊豆木人形の継承</li> <li>フェスタ バスツアー</li> <li>三穂地区成人式</li> </ul>	
山本公民館 (P126～131 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングで山本地域を学ぼう！！</li> <li>いっだん形劇フェスタ2015山本地区公演</li> <li>山本地区文化祭</li> <li>国際ふれあい交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館対抗スポーツ大会</li> <li>体力測定会</li> <li>山本地区市民大運動会2015</li> <li>軽スポーツ大会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>杵原学校桜まつり</li> <li>山本夏祭り</li> <li>武田信玄狼煙リレー</li> <li>山本地区成人式</li> <li>杵原広場清掃</li> <li>ニューススポーツフェスティバル</li> <li>伊賀良ワノンクラブ交流会</li> </ul>	
伊賀良公民館 (P132～136 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっだん形劇フェスタを学ぼう</li> <li>いっだん形劇フェスタ2015伊賀良地区公演</li> <li>ふるさとゲームウォーキング～三日市場の巻～</li> <li>伊賀良地区文化祭</li> <li>伊賀良地区成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀良地区交流ペタンク大会</li> <li>分館対抗夏季スポーツ大会</li> <li>伊賀良地区大運動会</li> <li>山本地区との交流会</li> <li>分館対抗冬季スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館報いがらの発行</li> <li>米寿記念写真撮影、贈呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育施設運営委員会、調整会議</li> <li>展示コーナー運営委員会</li> </ul>	
鼎公民館 (P137～143 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと再発見ワゴンツアー</li> <li>いっだん形劇フェスタ2015</li> <li>ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭</li> <li>鼎地区成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼎地区体育祭(ペタンク大会)</li> <li>第30回鼎地区統断駅伝大会</li> <li>鼎地区女性バレーボール大会</li> <li>第30回鼎公民館長杯冬季スポーツ大会</li> <li>ニューススポーツ講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館報かなえの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>婦人団体連絡協議会の活動支援</li> </ul>	

平成27年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
上郷公民館 (P144～151 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>上郷地区文化祭</li> <li>いいた人形劇フェスタ上郷地区公演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春季スポーツ交流会</li> <li>夏季スポーツ交流会</li> <li>上郷地区大運動会</li> <li>冬季スポーツ交流会</li> <li>高陵地区体力測定会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「広報かみさと」発刊事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ運動</li> <li>野底山森林公園祭りへの参加</li> <li>高松の丘音楽会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館役員研修会</li> <li>上郷歩こう会</li> <li>ふるさと学習教材編集事業</li> <li>上郷地区成人式</li> <li>郷土料理を考える会</li> <li>飯田ムトス大学事業</li> </ul>
上村公民館 (P152～155 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>野鳥観察会</li> <li>人形劇フェスタ2015 上村地区公演</li> <li>星空観察会</li> <li>かみむら総合文化祭・健康まつり</li> <li>遠山地区成人式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニューススポーツ講習会</li> <li>冬季スポーツ大会</li> <li>マレットゴルフ大会</li> <li>かみむら大運動会</li> <li>第22回小学生、公民館卓球大会</li> <li>上村ウォーキング講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館報「かみむら」発行</li> </ul>		
南信濃公民館 (P156～162 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとコンサートim遠山郷</li> <li>夏休み子供映画の夕べ</li> <li>いいた人形劇フェスタ2015</li> <li>遠山地区成人式</li> <li>生活改善 盆の取り決め</li> <li>平和学習事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南信濃地区市民運動会</li> <li>第62回南信濃地区野球大会</li> <li>第35回南信濃地区ソフトボール大会</li> <li>南信濃剣道大会</li> <li>南信濃公民館マレットゴルフ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館報「やまなみ」の発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田ムトス大学事業</li> <li>第18回南信濃芸術祭</li> </ul>
Aブロック公民館 (P163～164 参照)		<ul style="list-style-type: none"> <li>旧市5地区野球大会</li> <li>Aブロックシニア・レディーズソフトボール大会</li> <li>Aブロック女性バレーボール大会</li> <li>旧市5地区少年野球大会</li> <li>丘の上5地区囲碁ボール大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Aブロック広報・館報研修会</li> </ul>		
Bブロック公民館 (P164 参照)					Bブロック館長・主事学習会
Cブロック公民館 (P164 参照)					Cブロック情報交換会
Dブロック公民館 (P165 参照)		<ul style="list-style-type: none"> <li>バドミントン大会</li> <li>ソフトボール大会</li> <li>交流スポーツ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生交流</li> </ul>	

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育てサークルリーダー交流会	市費	継続	1	10	10	30	2月15日	県公民館
	<p>「楽しい子育てサークル活動！」をテーマに開催。アイスブレイクのゲームで話しやすい雰囲気をつくった後、ワークシヨプを行った。多くのサークルが後継者不足、活動内容に悩んでおり、トライアングルメンバーも交えて情報交換を行なった。</p> <p>自主子育てサークルのリーダーが一同に会し、交流や情報交換をする中で、各サークルの活動を活性化し、市全体の子育て環境の改善を図る。</p>								
学級・講座	トライアングル妊婦さん向け講座「ベビーグッズを作ろう」	市費	継続	6	33	6	907	【夏】6月～7月【秋】11月	りんご庁舎
	<p>3回連続講座を夏1回・秋1回開催。いずれも1・2回目は、ベビーグッズを製作し、3回目は助産師を講師に、出産の不安や悩みを相談したり、出産後の子育てなどについて話し合う会とした。</p> <p>【開催概要】</p> <p>【夏】①6月19日「スタイ作り」講師：本村 綾子氏                  ②6月26日「モビール作り」講師：木村 深幸氏                  ③7月10日「おしゃべりしよう」講師：助産師 松原 千尋氏                  子育て応援アドバイザー 松村 由美子氏</p> <p>【秋】①11月13日「スタイ作り」講師：本村 綾子氏                  ②11月20日「モビール作り」講師：木村 深幸氏                  ③11月30日「おしゃべりしよう」講師：助産師 松原 千尋氏                  子育て応援アドバイザー 松村 由美子氏</p>								
学級・講座	出産や育児等の不安を解消し、飯田で安心して出産・育児に向かっているような妊婦期を過ごしてもらおう。								
学級・講座	アンケートでは、「同じ悩みを持つ人がいると分かっただけでもホッとしたり」「助産師さんに疑問を直接聞いてよかった」といった声が寄せられた。妊婦さんが抱える出産・育児への漠然とした不安を少しでも解消し、安心して出産・育児に向かえるよう、今後も継続して支援したい。								
学級・講座	トライアングルファミリーマーケット	市費	継続	2	500	250	11,909	5月20日、10月28日	飯田市運動公園
	<p>子育てネットワークトライアングルが毎年春・秋の2回行うファミリーマーケット。子育て世代のリサイクル・リユースを推進するとともに、交流の場となることを目的としている。公民館では、出店申し込みの受け付け、当日の会場準備等をサポートしている。</p>								
学級・講座	主に子育てに関するアイテム(衣料・靴・おもちゃ等)のリユース・リサイクルをはかる。								
学級・講座	トライアングル子育て講座「子育てエッセンス」	市費	継続	3	44	20	3,452	10月9日、21日、11月2日	県公民館
	<p>日々頑張っている乳幼児を持つ親に向けた3回連続講座を開催。心とからだをリフレッシュし、明日からの子育てをもっと楽しく、やりがいを感じてもらおう会とする。</p> <p>【開催概要】</p> <p>①10月9日「ヨガで心と体を整える」講師：アロマヨガ リトリート代表 森下 晏希氏                  ②10月21日「上條さんちの子育てと食卓」講師：上條 悦子氏                  ③11月2日「教えて、養和先生！～いやいやの心理～」講師：飯田市こども家庭応援センター所長 養和 巖氏</p>								
学級・講座	未就学児を持つ親を対象に、日々の子育ての中で、親子が生き生きと自分らしくいられる為に大切なことを学ぶ機会とする。								
	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>様々な分野で活躍している方を講師に招き、それぞれ異なる角度から子育てを見つめる機会となった。受講者からは、「子どもと向き合うにもコツがあるんだと分かった」「困っていることを皆で話して、共感して、発散して楽しかった」「夫育てについても話してみたい」といった感想が寄せられた。</p> <p>保育園・幼稚園にあれば、そこからの支援が受けられるが、トライアングルでは今後もそれ以下の方を対象にした講座を担う予定で、市公としてもサポートしたい。</p>								





# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区・講座	わいわいサロンⅡ(文化庁委託事業)	他会計	継続	29	332	12	2,097	2,097	6月～2月	鼎公民館 他
	<p>“地域との協働”を目標に掲げて事業を実施。外国人の地域参画を見据え、学習テーマには、生活に必要な実践的な日本語はもちろん、地域文化や暮らしに必要な情報などを取り入れた。病院など各関係機関との連携のほか、参加している学習者が飯田に住んで20年と長い方も多かった為、市民同士との繋がりが持てるよう、地元の農家さんや公民館の文化委員さんなどにも関わってもらった。</p> <p>〈開催概要〉</p> <p>○鼎前期「地域でいきいき生きよう！」全7回            ①6月8日「趣味について話そう！」②6月15日「知っておきたい日本のマナー」③6月22日「ダンス体験☆体を動かしてみよう」講師：ケンカセシリア氏④6月29日「家族と健康」⑤7月6日「病院の先生と話してみよう」講師：市立病院 白旗医師 ⑥7月12日「人力車と日本の夏料理を体験しよう」講師：飯田龍車佐藤歩氏 ⑦7月13日「日本語でメールに挑戦」</p> <p>○鼎後期「りんご」にほんご、いいだのくらし 全8回            ①10月19日【りんごを知る】「りんごについて話そう！」②10月26日【りんごごと飯田】「りんご並木と飯田の祭り」講師：今村光利氏 ③11月2日【りんご旅の計画】「みんな旅の計画を立てよう」④11月8日【りんご旅】「飯田線で紅葉散策＆りんご狩り」講師：天竜峡ご案内人 黒河内悦治氏 ⑤11月16日【りんごを育てる】「おいしいりんごができるまで」講師：天竜峡農園 松尾真由美氏 ⑥11月30日【りんごを食べる】「りんごを使ったスイーツを作って食べよう」講師：(有)フライデー 宇佐美健一氏 ⑦12月7日【りんごを楽しむ】「りんごの絵本と歌を楽しもう」講師：中央図書館 樋本有紀氏</p> <p>○松屋前期「もつとにほんご！」全6回(中級レベル)            ①7月22日「自己紹介」②7月29日「自己紹介・ニュースの日本語」③8月5日「日本語でメール」④8月19日「J-POPを歌おう」⑤8月26日「自分史を作ろう」⑥9月2日「イベントを企画しよう」</p> <p>○松屋後期「DST作品を作ろう」全8回(初中級レベル)            ①～⑦12月9日～1月7日「DST作品制作」⑧2月3日「上映会」</p>	<p>【総括と今後の方向付け】            今年度は、学習テーマに一貫性を持たせたことで、学習者の継続した参加が得られ、日本人支援者からも学習者との距離が近くなったとの声が聞かれた。松屋教室後期で取り組んだDST(デジタルストーリーテリング)作成では、学習者も支援者も気に入りの写真を持ってきて、それについて話した後、原稿を書き、それを録音した。自分の考えを日本語でまとめて話すことは簡単なことではないが、写真1枚にもたくさん思い出が詰まっている為、細かいニュアンスまで表現しようと努力する姿が見られた。</p> <p>教室を実施する中で、学習者がりんご並木作業への参加、餃子会の企画、日本語教室イベントでのスタッフ参加など、自発的に地域や教室へ関わる方もいた。これは、今年だけの成果ではなく、これまでに途切れることなく継続して教室を開催し、日本語学習を通して地域の日本人と心の繋がりを作ってきたからであると感じる。</p> <p>日本語教室の活動は地味で地道だが、外国ルーツの方が社会と繋がっていく窓口でもあり、居場所でもある。今後も引き続き地道に活動を続け、地域と連携しながら日本人も外国人も互いにより良く生活するための一助となるような事業を実施していきたいと考える。特に来年度は、「外国にルーツを持つ若者」をターゲットとした事業を検討中。</p> <p>また、日本語教室わいわいサロンのフェイスブックページも本年度開設した為、広く一般に向けての情報発信も随時行っていく。</p>	<p>評価</p>							
学区・講座	わいわいサロンⅡ出張講座(文化庁委託事業)	他会計	継続	1	15	15	2,097	2,097	7月18日	松尾常盤台集会所
	<p>松尾常盤台にある日本語教室へ出張して実施した日本語教室。            近年、中国帰国者の高齢化が進んでおり、松尾常盤台で長年日本語教室を続けていた秦さんのところにはお葬式に関する相談が増えている。そこで、講師にアイホールいとうの吉澤さんをお迎えし、家族の連れが亡くなったまっただときの対応について、参加者で話したり講師のお話を聞いた。1月18日「もしものときに…お葬式について」講師：アイホールいとう 吉澤益実氏</p>	<p>【総括と今後の方向付け】            亡くなってから葬式をすする前までの手続きや注意することなどについて、経験者はより理解を深め、経験したことのない人は、なんどかの心構えのようなものを培うことができた。</p> <p>今回はお葬式の基礎のみを取り扱ったが、参加者からは非常に好評で、第2弾を実施してもよいかもれない。</p>	<p>評価</p>							

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	日本語教室シンポジウム(文化庁委託事業)	他会計	新規	他会計	2	150	75	104,284	104,284	5月30日、2月14日	開公民館 他
	日本語教室の活動や、在住外国人の実情などを広く一般に発信し、今後の地域日本語教育の充実につなげる	<p>市内日本語教室、外国人キーパーソン、市役所職員らからなる実行委員会を組織し、企画・実施した。</p> <p>〈開催概要〉</p> <p>①5月30日「飯田市の外国人支援の取組について」カンボジアスタディツアーに参加した高校生を対象に足元からの国際化について考えるきっかけとした。</p> <p>②2月14日「YOU!にほんごわかる! ?いってみようやってみよう日本語教室!」</p> <p>市内日本語教室活動展示・言葉の壁・多文化図書館、日本語教室体験・日本文化、外国文化体験</p> <p>※飯田国際交流推進協会主催「平成27年度多文化共生を考えよう!」併催</p>									
学級・講座	第39回飯田市民大講堂	市費	継続	市費	8	604	109	104,284	104,284	9月～10月	飯田市公民館
	市民を対象に、郷土の歴史や自然、風土を広く学習することによって、ふるさと飯田のすばらしさを再認識を図る	<p>昭和52年に開講して以来39年目を迎えた。昭和60年度から「伊那谷の自然と文化」シリーズが始まり、今年度も、伊那谷をエリアに自然・文化・歴史・人物など幅広く取り上げ8講座を開講した。講座の企画・運営は12名で構成する運営委員が担っている。</p> <p>〈開催概要〉 テーマ:伊那谷の自然と文化Vol30 ～郷土の先人に学ぶ～</p> <p>① 9/1 「戦後70年平和への祈り - 今 伝えたい記憶 -」 【平和記念館資料室見学】</p> <p>飯田市平和資料収集委員会 飯田歴史研究所 研究員 安岡健一氏 戦争体験者 窪田隆司氏</p> <p>② 9/8 「知久家」と「知久氏」について 飯田市美術館 客員研究員 鈴木博氏</p> <p>③ 9/16 「南アルプスの魅力 ～山を愛する、自然を敬う～」 日本山岳写真協会理事・南信支部長 フォトグラフィアー津野祐次氏</p> <p>④ 9/30 「スポーツ(ラグビー)による人材育成と地域振興」【対談】 NPO法人南信州クラブ 理事長 小澤健氏 飯田高校ラグビー班 監督 湯澤一博氏</p> <p>⑤ 10/6 「古代国家形成に関わった伊那谷」 長野県考古学会 会長 小林正春氏</p> <p>⑥ 10/15 「信州の祈りと美 - 善光寺から白隠、春草まで-」【現地研修】 飯田市美術館 学芸員 織田顕行氏</p> <p>⑦ 10/21 「途上国への支援活動から学ぶ飯田・下伊那の住民自治」 【座談会】</p> <p>レガスピ交流と学びの会 会長 長谷部三弘氏 会員 加藤守孝氏、林健吾氏、熊谷隆幸氏</p> <p>⑧ 10/30 「みそ味噌法」の発明と「無添加みそ」の開発・普及について マルマン株式会社 取締役会長 中田教一氏</p>									

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	着地研究会「地活(ちいき)レジェンデ育成講座」		市費	継続	22	173	30	-	4月～3月	飯田市公民館ほか
学級・講座	定年前後の方、セミリタイアを考えている方や若者が地域の宝を探し新しい生き方を模索し実践することで、地域活性化を図る	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>ゆる～い自由な雰囲気の中で異年齢異業種の人達が集い語り行動する場とし、随時受講生を口コミで誘いながら、多くの可能性を秘めた交流が展開できた。受講生たちが皆で楽しんできた「交流カフェ」の形とは・・・</p> <p>「人に出逢って、人と繋がっていく」を共通の大きなメッセージとして</p> <p>仲間づくりの場 自分を知る場 学習の場 チャレンジする場 情報交換の場 発信していく場 と位置づけることができた。</p> <p>一番の試みとして飯田を離れ、横浜へ出掛けての“交流カフェ”を3回行うこととなつたが、自分で作ったものをただ売りに行ったのではない。人と繋がることの楽しさや大切さを学び、飯田のいいところを発信するという役割を背負って都市へ行ききたいという受講生の想いが強く芽生える機会となつた。横浜で学んだことは、飯田のいい人・いいもの・いいことを自分の目で見て、自分で考えて、自分で確かめて、自分の言葉で伝えることの大切さである。中にいるだけでは気が付かないことが、外に出て改めて発見できた。</p> <p>“交流カフェ”というものがどういうものなのか、過去の事例もないところでのようにな動いていくのかが見えてはいたが、今回集まった参加メンバーは地域も、やっていることも、やりたいことも皆それぞれであったが、“交流カフェ”を重ねるうちにバラバラな関係がひとつのコミュニティを形成し、なんでも言い合えるファシリーターのような姿に発展したことはこれからの地域活動の何かしらのヒントになるのではないだろうか。</p> <p>続いて最後のステージⅢ興す 事業活動に挑戦 「プロジェクトが立ち上がる」では、さまざまな交流を通して新たな目的を持った受講者が、地域のために行動を興すことができるのか。自分のやりたいことが地域に対してどう関わることになるのか。地域に対する自分の役割は何なのか。を「誰かのために」の視点を大切に考え分析し組み立てていきたい。最後に少しづつぐらぐらするかもしれないけれど一人ひとりが熱い思いをもって地域に着地することを目指したい。</p>	<p>評価</p>							
実施内容	<p>①4/5 春の観光まつり、大宮通り、天龍峡散策 横浜の方々との交流 即興ライブ</p> <p>②4/15 この指とまれ食PJ試作中の天峡まん試食、天龍峡の課題等検討</p> <p>③4/30 横浜商店街物産展への参加について 共通する目的を決める</p> <p>④5/20 策ったり寄り寄り、地域おこし協力隊、飯田出身大生との交流</p> <p>⑤6/5 横浜六角橋商店街物産展協力出店、関内視察 交流カフェ in 横浜</p> <p>⑥6/20 横浜行ききの報告会</p> <p>⑦7/29 受講生が打つそばの試食とみんなで揚げる天ぷらで交流</p> <p>⑧9/8 横浜反町フェスタへの参加について</p> <p>⑨9/26 横浜反町フェスタ物産展協力出店 交流カフェ in 横浜</p> <p>⑩10/5*6 この指とまれとのコラボ企画 in 天龍峡温泉交流館</p> <p>吉田先生講義「地域おこしのためのイベント計画」</p> <p>⑪10/27 活動のアイデア出し 新米の食べ比べ</p> <p>⑫11/1 長野原地域住民とのそば打ち体験と交流会への参加</p> <p>⑬11/10 新人を迎えて 横浜行きについて検討</p> <p>⑭11/17 女子会交流 in 田園</p> <p>⑮11/24 横浜行き事前打合せ</p> <p>⑯11/28*29 横浜フラーワー緑道フェスタ協力出店と兵歩き 交流カフェ in 横浜</p> <p>⑰12/15 横浜行ききの報告会</p> <p>⑱1/6*7 新年会 自分たちの交流カフェについて in 風の学舎</p> <p>⑲1/19 飯田での交流カフェこれからの展望</p> <p>⑳3/1 お祭りまつりでの発信について</p> <p>㉑3/17 今年度の振り返りと来年度へ向けて</p> <p>㉒3/26*27 交流カフェ in 飯田お練りまつり</p> <p>■講座アドバイザー 横浜在住 吉田洋子氏(都市および地方計画技術士)</p>									



# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第53回飯田市公民館大会	市費	継続	1	576	576	104,284	2月21日	
その他	<p>1年間の公民館活動の成果を確認する機会として、また現在の社会状況に對しての公民館のあり方について考える機会として、開催する。</p> <p>テーマ「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」</p> <p>併催：ムトス飯田学習会・第31回ムトス飯田賞表彰式 教育功労者表彰、第31回ムトス飯田賞表彰ほか</p> <p>1 開会行事 2 基調講演 テーマ：「地域みがきのすすめ ～これからの地域づくりを考える～」 講師：小田切徳美氏(明治大学農学部教授)</p> <p>3 分科会 ・第1分科会 「若い皆さん！私たちの一緒にやろうよ！」 ・第2分科会 「想いをつなぐ地域文化」 ・第3分科会 「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」 ・第4分科会 「誰もがお互いを大切にす地域に！」 ・第5分科会 「身近な自然に目を向けよう」 ・第6分科会 「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう」</p> <p>公民館関係者、市民一般を対象に一年間の活動を総括するとともに、公民館が担う役割を確認する機会とする</p>					<p>数量的成果 (項目名と数値) 第53回を迎えた今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考慮の上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりにおいて重要な視点と共有することを目的に、昨年度と同様のテーマで開催した。</p> <p>基調講演は、人口減少社会を迎え、地方創生の取組みが求められる中、当事者意識を育む取り組みや地道な地域活動の重要性について皆で共有する事ができた。また、特に分科会の企画にあたっては、主事会幹事会を中心に組立ててを行い、主事会・館長会で目的・意識を常に共有しながら進めることに努めた。その結果、各分科会とも活発な議論がなされ、参加者にとってこれからの活動に活かすヒントが得られるものとなった。</p> <p>今回のテーマ・基調講演・分科会の組立てでは、今後の地域づくり・人づくりに欠かすことのできない重要な視点であることから、今後の大会もこの視点を取り入れたい。また、ムトス飯田学習会との併催を考慮し、全体会場や分科会会場のあり方についての検討が必要である。</p>			
区分	東京大学大学院牧野研究室との共同調査・学習	事業区分	市費	継続	-	-	-	-	開催会場
その他	<p>平成22年度 共同学習をして「開かれた自立性の構築と公民館の役割～飯田を事例として～」のまとめと「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割について」の整理</p> <p>平成23年度 龍江、鼎、上郷地区の分館や団体の活動状況調査をし、「自治を支えるダイナミズムと公民館～飯田市公民館分館活動を事例として～」の報告</p> <p>平成24年度 H23調査の掘り下げのための調査・学習の実施と分館役員研修として報告会を開催。</p> <p>平成25年度 東野、千代地区全世帯対象の実態調査の実施にむけた共同学習。</p> <p>平成26年度 東野、千代地区での結果の取り纏めと、分析、報告会の開催。</p> <p>平成27年度 H26に実施した「地域社会への参加に関するアンケート調査」から、東大としては報告書の作成をし、東野、千代地区では、今後の地域活動に生かす振り返りの会を実施する。</p> <p>・4/27 今後の共同研究についての打合せ(於東京大学) (東野地区)21人の地区住民有志による学習会を10月～2月に計4回実施。 (千代地区)25人の地区住民有志による学習会を9月～3月に計3回実施。 (2地区合同)12/5に2地区合同の情報交換会を実施。</p> <p>東京大学大学院牧野研究室との連携により、これからの公民館の役割について共同調査・学習を行い検証する。</p>				<p>【総括と今後の方向付け】 今年度は、一昨年度実施した調査結果と昨年12月に実施した共同調査・学習報告会の結果を受けて、東京大学で報告書を作成することとなった。</p> <p>一方飯田市としては、東野、千代の2地区で、東野地区では「明日の東野をつくる集い」、千代では「未来の千代を考える会」(仮称)として、地域の将来像を見据えた地域の課題を明確にするための学習会をそれぞれに展開した。</p> <p>それぞれの学習会において、東野地区では地区内の団体の共有や若者の地域参加、千代地区では役員や住民の負担感や伝統文化の伝承、女性や若者の地域参加等が課題として挙げられている。</p> <p>12月に開催した2地区合同の情報交換会では、互いの学習会の展開の様子や地区の課題を話題に情報共有をした。互いの地区を比較することで、より自地区の課題が浮き彫りにされ、各地区における今後の展開に活かされる内容となった。</p> <p>今後は、それぞれの地区での議論を進めていくと同時に、必要に応じて情報交換会の開催をしていく。また、今後発行予定の東京大学の報告書を活用し、知見もいただきたながら各地区での学習会を継続していきたい。</p>				

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田市成人式	市費	継続	1	864	-	1,266	1月10日	飯田市公民館他
	成人式を新成人たちの「学習の機会」として捉え、実行委員会の活動を通じて地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とする。	居住地区、出身地区を基本単位に全市一斉に開催する。開催単位ごとに成人式実行委員会を組織し、地域を挙げて新成人を祝福するとともに、新成人自らが成人式の企画運営に関わることで、一生の思い出に残るような成人式となるように取り組む。新成人が実行委員会の活動を通じて地域を知り、地域とのかかわりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で様々な地域学習の機会をつくり、その内容を成人式記念誌「Wish!!」に「地域の魅力再発見」として掲載する。	※合同開催：東中学校区、西中学校区、遠山中学校区	評価	【総括と今後の方向付け】各地区で新成人が、成人式当日のみでなく事前の企画運営から主体的に関わっており、地区開催方式が定着している。しかしながら、各地区開催の定着に伴い、地区成人式の企画運営がマニュアル化されてきており、本来そのプロセスの中で生まれた新しい新成人と地域住民の関わりや交流の部分が希薄になってきていくとの声も聞かれる。地区分散方式をとり地域を挙げてお祝いする飯田の成人式の若者のみならず、そこに関わる全ての住民にとっての住民にとっての意義を持つ場に行き渡らせるかを再考し、今後の取組につなげていきたい。				
地域人教育	地域人教育	市・地	継続	3	200	-	200	4月～3月	飯田市公民館他
その他	高校生のふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取組を研究する	「まちぜみ」への取組について」講師：NPO法人イデア 加納弘久さん 模範まちぜみ体験 市内10か所のまちぜみ実施店舗協力のもと飯田市公民館で実施。 高校生によるまとめ～発表 ④12/25 地域人教育研究会 「地域人教育の意義についてのパネルディスカッション」 パネリスト：白戸洋教授(松本大学)、大野教授(松本大学)、牧野篤教授(東京大学)、上野敏校長(飯田OIDE長姫高校)、有賀先生(地域人教育発起人)小島主事(飯田市公民館)	松本大学、飯田OIDE長姫高校、飯田市の3者で協定を結び、飯田OIDE長姫高校商業科の生徒を対象に実施している取組。今年で4年目。 今年度から主事会プロジェクト体制を解消し、各地区館の事業としての位置づけ。 事業の展開は地区公民館主事と商業科の担当教諭が相談して実施。飯田市公民館は全体調整を行う。 ①5/1 3年生対象市長講義「目指せ事業家！『ニッポンの日本』をデザインする南信州・飯田の戦略的地域づくり」講師：牧野光朗飯田市長 ②4月～11月 6地区での取組展開 橋北(橋北夏祭り)、東野・鼎(リヤカー販売)、松屋(サンロード八幡イペント)、下久堅(久堅和紙商品開発)、上村(あんじやあねえ！！遠山守り隊) ③11/30～12/1 1年生「ビジネス基礎」Jアイドワーク 共催：NPO法人イデア	【総括と今後の方向付け】生徒たちの「自ら考え行動する力」を育むことを目的として実施しており、高校の授業に地域の力が加わる地域人教育は、学校教育として、商業教育として、また社会教育として全国的にも先進的な取組である。 学校教育で身に着けた知識を実社会で経験的に活用することを通じて、高校生一人ひとりの育ちとそこに関わる地域の大人の意識醸成の双方が実現できるこの取組の意義は大いだが、その効果は、いかに現場レベルでの実践において、その時々の状況に合わせた事業展開ができるかに大きく左右されると考える。今年はこのことを強く感じた年であった。 この意味において、「何をやるか」以前に、担当主事と教諭がコミュニケーションをとり、目の前の生徒を一緒に見ながら、まずはお互いの教育観や考え方を置かれている状況、役割などを共有することが重要であると考える。 今年度はこの「学校側の意識」と「公民館側の意識」のすり合わせ・共有に焦点を当て取り組んだが、研修や意見交換の場といったやり方には限界がある。やはり、現場での具体的な取組を通して、担当者同士がコミュニケーションを取り合うことが必要であると感ずる。 今年度に向け、学校側の体制について担当教諭に投げかけていくとともに、公民館側として現場職員がこの取組をどう捉え、何をすべきかを共有していきたい。					
	小学生の生活に関する調査	小学生の生活に関する調査	市費	継続	1	2,381	2,381	2,413	9月7日～18日
その他	子どもの基本的な生活習慣の習得状況の調査結果を学校教育や社会教育の実践の中で活用し「家庭教育の充実」を図る	『住み続けたいまち 住んでみたいまち飯田 人も自然も輝く文化経済自立都市』を標榜する第5次飯田市基本構想・基本計画において、人づくりに関わる重要な施策として「家庭教育の充実」を掲げている。施策の達成状況を把握するために設定した指標(子どもの基本的な生活習慣の習得状況)の確実な調査結果を学校教育や社会教育の実践の中で活用する。 市内全小学校の1年生から6年生までを対象とし、各校の各学年1学級ずつ調査を実施。本年度で10回目の調査となる。	数量的成果 (項目名と数値)・回収率 98.6% ・基本的な生活習慣を習得している小学校の割合 53.4% 【総括と今後の方向付け】基本的な生活習慣を習得している小学生の割合は昨年度に比べて3.5ポイント減った。5つの設問のうち、朝食を食べる、朝自分で身支度をすす、家族にあいさつをするについては90%台で概ねできてきていると捉え把握している。しかし、朝自分で起きる、朝ウンチをするについては60～70%台であり、今後注目してみる必要がある。また、今後、調査結果を事業展開等に活用した事例があれば紹介していきたい。						



# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	JICA草の根技術協力事業「フィリピン・レガスピプロジェクト」	-	継続	-	-	-	通年	飯田市公民館ほか
その他	<p>JICAから受託した草の根技術協力事業「フィリピン・レガスピ市」における「公民館」づくりをモデルとした住民参加型行政の展開」によって進める途上国の住民自治の仕組みづくりを通じて、飯田の地域づくりに共通する課題と解決の方策を学ぶ</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4.16 レガスピ交流と学びの会 運営委員会</li> <li>○5.18 JICA中部PLSD研修第1回事前打合せ、大濱准教授による講義「飯田の公民館と地域づくり」学ぶPLSD研修とは」</li> <li>○6.22 JICA中部PLSD研修第2回事前打合せ</li> <li>○8.22 レガスピより3名の研修員セントレア迎え 飯田市内視察</li> <li>○8.23 PLSD飯田研修レガスピ研修員歓迎会 上久堅 越久保センターにて</li> <li>○8.24・29 JICA中部PLSD飯田研修レガスピ含むタンザニア他各国より14名</li> <li>○8.26 PLSD研修員市長表敬</li> <li>○8.28 上久堅公民館にて交流会</li> <li>○8.29 PLSD研修総括・まとめの会 飯田市公民館にて「飯田市におけるフィリピン・レガスピの知見の活用」</li> <li>○8.30 レガスピより3名の研修員 名古屋視察 セントレア送り</li> <li>○10.21 第39回市民大講義 座談会「途上国への支援活動から学ぶ飯田・下伊那の住民自治」</li> <li>○10.28 レガスピ交流と学びの会 運営委員会</li> <li>○12.13 「飯田国際交流のタベ」ワールド展示へ参加</li> <li>○12.14 レガスピ訪問団第1回打合せ会 大濱准教授によるレガスピプロジェクトの趣旨についての講義 地区公民館主事有志によるPLSD研究会</li> <li>○12.15 運営委員会 総会 PLSD飯田研修の振り返り</li> <li>○1.18 レガスピ訪問団第2回打合せ会</li> <li>○1.30・2.6 レガスピ視察訪問</li> <li>○2.16 運営委員会 レガスピ訪問団第3回打合せ会 市長への訪問報告</li> <li>○2.27 レガスピ交流と学びの会 レガスピ訪問報告会・協議ならびに懇親会</li> <li>○3.14 運営委員会 レガスピプロジェクトの今後について</li> </ul>	<p>現地プロジェクトマネージャー織部氏によるレガスピ地域住民対象の研修を実施、事業を運営している人材を育成し住民主体の地域開発計画を作成。TWG対象のPLSD研修(参加型地域社会開発)を実施し事業を協働・協議しながら進めることで参加型事業の計画立案実施能力を持つ人材を育成。タイサン再定住区に昨年度建設された公民館を住民組織が管理・運営することにより経験的な資源管理及び組織運営能力を育成。本年度実施した飯田市での活動は以下の通り。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>(1)レガスピの現場で飯田の地域自治の仕組みや経験を伝える。 今回の訪問団は、地域の課題に取り組み経験のある住民を中心に構成し、地域資源・組織・規範を活かした飯田の取り組みを紹介できた。今村明人氏(時又副区長、驚流峡景観P)主導)長沼昭子氏(上久堅で地域の高齢者へ配食サービスに取組む食工房十三の里代表)宮嶋聰子氏(竜丘で高齢者の交流広場「みんなの家ぬくぬく」創設メンバー)PLSDが着実に浸透している現地では、高齢者への取組みについて関心が寄せられた。</p> <p>(2)レガスピで交流し学んだ自治を飯田の地域自治と照らし合わせ改めて見直す。これらの経験や知見をもつてお互いの地域自治を育む。</p> <p>訪問での経験や知見を得た住民が、飯田の自治にどう生かすことができるのか、次世代を担う若者に伝えていくことができるのか、また、その過程で学んだことをレガスピに反映していけるのか今後の大きな課題である。</p> <p>(3)JICA事業終了後も、交流と学びで築き上げたレガスピと飯田の住民相互の交友と信頼関係を、地域自治のためなる発展のため守り生かす。</p> <p>(4)このJICA草の根技術協力事業は来年度6月で終了する。今後継続していくのかを市民レベルの交流も含め検討しなければならぬ。</p> <p>(5)本事業を通じて得られた取組、経験、知見を、地域自治の新たな「支援」協力のモデルとして国内外に発信する。</p> <p>国内においては、今年度初めて市民大講義にてこの取組を発信する機会を得た。また、名古屋福祉大の大濱准教授によるPLSD研修を実施。多くの市民はこの取組を知らない中で、機会があれば解りやすく伝えていくことが大事である。飯田では当たり前に行っている自治活動であるが、ここで改めてPLSD研修を市民・行政ともに行っていくことも必要に思う。</p> <p>国外への発信については、今回のレガスピ訪問団にJICA駒ヶ根の職員とJICAフィリピン事務所の職員が事業のモニタリングと同行した。訪問日程の中でマニラにあるJICAフィリピン事務所の表敬訪問し現地での交流について報告ができた。フィリピン以外の他の途上国にも生かすことができないかと期待され、是非レガスピ市を訪れたらいいとのこと、新しい支援の形として飯田の自治がモデルとされるPLSDの手法を理解していただけたと思う。</p>	<p>評価</p>				

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	<p>定例館長会及び幹事会</p> <p>20地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る。</p> <p>＜定例館長会＞ ①公民館の役割、館長の職責について議論し整理する。 ②全市合同事業の組立や情報共有を図る。 ③地区館事業の情報交換を行う。</p> <p>＜幹事会＞ ①定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う。</p>	0円	継続	11	242	22	22	原則毎月1回(第2水曜日)	飯田市公民館他
その他	<p>・原則、毎月第2水曜日を定例日として、午前幹事会、午後館長会を開催。 ・飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を行うとともに、各地区事業の情報交換、情報共有を行った。 ・通年で行う館長会の協議テーマとして、「これからの公民館・社会共いうと館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる～学校との連携の取組を通して～」を掲げ、6・9・12・2月に地区公民館からの話題提供を通じた研修、協議を実施した。 ・5月には教育支援指導主事、10月には社会教育委員、1月には教育委員との懇談会を開催して、テーマに沿った地区公民館からの話題提供による公民館の現状や館長の職責について理解いただくとともに、意見交換を行った。 ・8/20-21研修視察として、中越沖大震災の現場となった小千谷市のそなえ館を訪問し、復興の様子と災害の教訓を生かした現在の取組をお聞きするとともに、ワークショップを体験し、災害への心構えについて考える機会を持った。また、十日町を中心とした大地の芸術祭を見学し、災害から復興した住民活動の取組についての話を聞き、各所の施設見学をした。 ・11月には、郡市館長会と合同の研修会を開催した。戦後70年を記念して、飯田市公民館内の平和記念資料館の見学と各館での平和・人権学習の取組についての情報交換を行った。</p>							<p>【総括と今後の方向付け】 連絡調整や意思決定の機会として毎月半日開催を原則としている。今年度も館長会における研修テーマを設定し、公民館の役割や館長の職責について話題提供を通じた研修・協議を行い、各地区での取組の可能性について共有した。 それぞれの地区の取組を発表することを通じて、公民館の位置づけや館長の役割などを相互に情報交換でき、改めて社会教育機関としての公民館について認識を深めることができた。 また、教育委員や社会教育委員との懇談では、各地区の課題や取組、館長の職責等について理解いただく良い機会となっているため、今後も継続していきたい。</p>	
									評価

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
幹事会及び主事会	飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る	市費	継続	24	386	24	24	幹事会、定例主事会それぞれ毎月1回	飯田市公民館 他
幹事会及び主事会	<p>幹事会は、主事会を活性化し、意見を出しやすくするために事前の組み立てを行う場として開催。定例主事会は、午前を事務連絡と全体的な事業の企画・運営・調整等を行い、午後は研修と情報共有の時間として開催。PJ活動は、「人形劇PJ」「地域×高校生共育PJ」「新成人PJ」「役割研究PJ」の4つに主事会メンバーが分かれ取り組んだ。今年度実施した研修内容は以下のとおり。</p> <p>6月…「多様な主体との連携を生かした公民館の新たな視点を考える」 ～映画「果てぬ村のミナ」から見えるもの～ 講師：NPO法人ミナの森プロジェクト代表 津ヶ谷寛奈氏</p> <p>7月…館長会・主事会合同研修会 「社会教育機関としての公民館の役割・公民館職員に求められる姿とは」 ～私と社会教育-所沢市・阿智村での経験から～ 講師：細山俊男氏(社会教育・生涯学習研究所)</p> <p>8月…「主事の深化」～語り合い、学び合い、深め合う～ 話題提供者：西脇亮主事、新井康平主事、片岡博昭主事</p> <p>9月…「上田での公民館学習交流会で学んだこと」 ～今までの自分の仕事を振り返る～ 話題提供者：菅沼美津子主事</p> <p>10月…「副市長との懇談会」 ～地方創生を進める中での飯田市、主事に期待すること～ 講師：佐藤健 副市長 話題提供：野牧、片岡、小島(徹)主事</p> <p>11月…「当事者の立場になって考えてみよう」企画：Cプロック主事会⇒中止</p> <p>12月…「役割研究PJ」他者の目で自分を振り返り、主事の役割を考えよう ～主事の主体性について考える～</p> <p>1月…松本市主事会との合同研修「公民館のあり方と主事の役割」 話題提供：望月主事(松本市)、新井主事(飯田市)</p> <p>2月…「人形劇PJ」シジュミ(人形劇)「PJメンバーを論破せよ!」他</p> <p>3月…「社会教育主事講習報告」菅沼美津子主事 PJ総括まとめ発表</p>	【総括と今後の方向付け】 幹事会は、定例主事会の概ね2週間前に半日開催。定例主事会で意見が活発に出されるにはどうしたら良いのかを考えながら講事の組み立てを議論した。 定例主事会は、原則1日開催とし、主事会全員が集まり議論する場としている。今年度の研修は、PJ研修を必須とせず、提案型の研修で行うことを軸としている。他の研修で学んだことから企画したり、主事有志による研修など今までにない研修の組立ができた。また副市長との懇談や、松本市との合同研修など、主事会を他の目線や他市との比較などから今の主事会を見つめ直すきっかけができたと感じている。しかし、今後このような様な形で行う場合、個々の主事の主事会に対する意識を更に高めなければならぬ。研修の必要性を再度議論し、研修から実践に繋げられるよう先を見えた組立が必要である。 PJ活動は今年度4つで行った。昨年度末の反省などからテーマ設定を行ったが、この活動から実践的な何かに結びついたかという点では反省が残る。一度PJ活動を1年を通じ行っていることの意義や、全市的に抱える課題や公民館を取り巻く情勢などから検討したテーマ設定など、より活動が活性化し各地区に水平展開されるような取り組みを検討していくことが大切である。 今年度総括する中で、主事会のあり方などを見据え、その姿に向かっている主事会のあり方、幹事会の方などを見て改めて見つめ直し、有意義な主事会となるよう考えていきたい。	評価						
その他	<p>①幹事会 &gt;</p> <p>②定例主事会の議事の組立てを行う</p> <p>③定例主事会で決まらなかった事に関して検討を行う</p> <p>④プロック主事会やプロジェクトへの情報提供及び意見集約を行う</p> <p>＜定例主事会＞</p> <p>①業務に必要な情報の共有を図る</p> <p>②研修等を通じて主事としての専門性を高める</p> <p>③各館の情報共有を行う</p>								

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
人形劇プロジェクト	プロジェクト会議:16回 主な活動内容 ①地区公演の円滑な運営を支援する ・地区公演プログラムの編成・会場運営責任者会実施・プレフェスタ実施 ②地区の独自企画、地区をつなぐ取り組みの推進 ・地区オリジナル企画、バス・電車ツアーとりまどめ・スタンブアラリー実施 ③フェスタ本部と地区実行委員との連携強化や情報共有化を図る ・フラワーガーデン実施(パーク部会)・夜のサロン実施(交流事業部会) ・フェスタの理念、目的の共有化(会場責任者会議) ・学校人形劇を考える会出席(創造事業部会)・本部事務局との意見交換 ④人形劇フェスタのPRと情報発信 ・主事会ポロシヤツの作成 ⑤公民館が人形劇を行う目的の整理と共有 ・過去の資料の振り返り・主事会研修の実施 ⑥いい人形劇フェスタ2016を通して、地区や市全体がさらに盛り上がる取り組みの検討 ・主事会研修にて企画案の作成とPUIにて事業化検討 ・地区配分金の見直し	事業区分	継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	通年	開催会場
その他	みる・えんじる・ささえるのパワーアップを目指す	事業区分	継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	通年	開催会場
評価	【総括と今後の方向付け】 上半期はいい人形劇フェスタ2015地区公演の円滑な運営に向け、取り組みを行なった。各場責任者会では実行委員長からフェスタの理念の共有を行ない、本部実行委員各部長に登壇いただき、昨年度地区から挙がってきた要望、意見に対して回答した。本部の役員に登壇いただいたことと、地区での取り組み事例を発表していただいたことと、市全体としての盛り上げにつながった。また、プレフェスタツアー、各地区公演ツアー等に「Facebookにて情報発信中」の文言を掲載し情報発信の強化を行なった。 下半期はいい人形劇フェスタ2015を振り返り、各地区からの報告書を分析し、重点的に取り組む課題を整理した。特にワッペン代への負担感に対して、主事の個々の感度による対応が戻られ、改めてフェスタ理念の「わたしがつくるトライアングルステージ」に着目し、地区分散形式で公民館が関わる必要性を主事会研修で共有した。また、「人形劇のまち」として地区や市全体がさらに盛り上がる取り組みの検討をテーマとし、主事会全体で企画案をだし、PUIにて事業化を検討した。 次年度は地区公演の円滑な運営と共に、新たな取り組みを事業として実施し、各地区から盛り上げ、市全体の一体感につながる活動をしたい。フェスタの理念や地区で人形劇に取り組む意味、主事の関わり方は毎年振り返り主事会内で共有していく必要があると考える。また、現状では地区間の情報共有の機会が少なく、今後、企画調整会議の場を地区間の情報交換の場にするとも検討が必要である。	事業区分	継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	通年	開催会場
地域×高校生共育プロジェクト	①プロジェクト会議の開催 以下内容を協議、検討するために会議を開催した。 ②各地区における活動の現状把握 それぞれがどのような意義を見出しているか整理できるような実施した。 ③カンボジアスタディツアーグループ学習の企画・開催 プロジェクト活動の中で得られた知見を活かしながら企画し、カンボジアスタディツアーに参加する高校生にとってより効果的な地域学習となることを目指して実施した。スタディツアーの参加者を3つのグループ(街グループ・里グループ・山グループ)に分け、地域の人々と関わりながらそれぞれの地域性を捉えられるよう学習を進めた。 ④高校生と関わった住民や高校教諭との懇談 実際に高校生と関わった地域の方や地域で活動する生徒を受け持つODE長浜高校教諭の方、それぞれの立場の方と懇談を重ね、相互の関わりの中でのどのような意義が育まれているのか、育もうとしているのか整理しようと思	事業区分	市費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催会場
その他	地域と高校生との共育を考える。相互の学びのために公民館ができることを考える。	事業区分	継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	東野公民館 他
評価	【総括と今後の方向付け】 ここ数年、地域では、地域人教育や数地区区による独自の取組みの中で、高校生と関わりを持ってきた。ところが、地域の中で、高校生と関わることのねらいやその成果について、議論が十分にできていなかったのではないかと考えられた。そこで当プロジェクトでは、地域側の意識変化へも着目し、地域と高校生が共に学び成長していくための理想的な環境について考え、公民館の役割を考えることとした。地域側については、高校生との活動を通して、「高校生だからこそ一緒にできる」と、高校生だからこそ伝えていきたいことを見出し、「地域でも高校生を育てたい」という意識が育まれている住民が存在することがわかった。また、高校生において、地域の情報を教える人がこれまでの生き様やこれからの生き方を高校生に伝えることで地域に愛着を持つ一助になることがわかった。 公民館では、様々な高校生に対して高校生に興味関心に沿った地域住民を紹介するだけでなく、地域側で高校生に伝えられることを整理しておくと同時に、地域側には高校生と関わることを通して何を感じて欲しいのかなどについても持って繋げていくことが一つの理想だと思われ。このプロジェクトの取組みを地域と高校生との信頼し合う絆が拡充されることにつなげていきたい。	事業区分	継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	東野公民館 他

# 飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	新成人プロジェクト	市費	継続	22	132	6	6	通年	県公民館 他
	【総括と今後の方向付け】 初対面の新成人同士が本音を出し合える環境作りがまず重要であり、新成人たちの窓口である主事同士の新成人に関する情報共有、地区をまたいでつながる意味の共有が必要であった。 地域で活躍する人との出会いは新成人が地域に興味をもつきっかけとなること。今回の取材や反省の声をから確認できた。そこには双方に関わる主事のサポートが重要であるが、新成人との想いの共有、想いの掘り下げを重視できずこの機会を生かしきれなかったことが残念であった。地域にデビューする新成人の姿の共有が大切であったと改めて実感させられた。 次年度の方向性については、新成人が地域に関心を寄せることも大事だが、その前に、地域側が新成人をお招きする意義や公民館が新成人、成人式に関わる意義について研究する必要があるのではなやかと考える。主事会での成人式の議論も踏まえて、公民館主事が新成人にどのような働きかけを行う必要があるのか、地域学習を通じてどのような新成人になってもいいか、各主事が納得して成人式を行うために、さまざまな視点から研究をする必要があると考える。新成人に限らず成人式全体について研究するプロジェクトが必要であると考え、次年度もこのプロジェクトを設置することが望ましいと考える。	評価							
その他	①「青年塾PJ」のメンバーだった先輩職員との座談会 過去「青年塾PJ」のメンバーだった職員から立ち上げの経緯や当時の活動について聞き取りを行い、その成果や課題を検証し本プロジェクトに生かすために開催した。 ②プロジェクトメンバーの募集 PJを担当する5地区と他3地区の8地区から計13名の新成人有志が集い、活動することになった。 ③飯田の美味しいものを巡る取材活動 メンバーがふるさと飯田の魅力を再確認しその魅力を伝えていくために何をしたいのかを話しあった。飯田の魅力として“食”をキーワードにし、「仲間」に伝えたい飯田の美味しいものを巡る取材」を行うことになった。9/26に全体で取材活動を行い、その後は班ごとに取材活動を行った。 ④中根正佳氏との懇談会 取材活動を通してもつと“食”を通して飯田の魅力を知りたいと考えようになり、中根正佳氏（有アライナー代表）と出会う機会をいただいた。仕事や人生に対する想いなど語り合い、新成人にとって飯田を誇りに思えるような先輩との出会いとなった。 ⑤WISH特集記事「ぼたちREPORT」の作成 上記の活動を、成人式記念誌WISHに特集記事として3ページ分の記事の作成を行った。 ⑥プロジェクト会議の開催 上記の活動について企画・検討をするために会議を開催した。（全体会議：10回、主事会議：12回）	実施内容	評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	役割研究プロジェクト	市費	継続	20	120	6	6	通年	松尾公民館 他
	【総括と今後の方向付け】 ここ数年、公民館主事の平均年齢が短くなってきて、公民館について教えてくれる先輩主事が減少していることから、公民館主事の役割について研究する必要があると考える。今年度は、今までの飯田市公民館が果たしてきた役割を学ぶため、活動史の振り返りや公民館関係者との懇談を行った。また、現在の主事がどのような考え実践しているか、主事会研修を通して現状の把握を行うことができた。地域住民から見れば、公民館主事は相談相手になりえる存在であり、良き相談相手になるために、地域について学習するとともにアンテナを高くして様々な情報を持つ必要がある。また、公民館主事に任命された誇りと責任を持ち業務にあたらなければならないと認識することができた。その意味では、日頃の主事会での情報交換や主事会研修は主事としての考え方を身につけたり、さまざまな情報を仕入れたりできる貴重な場であるということを確認することができた。 一方で、今日的な公民館の役割、さらに未来へ向けての研究は不十分であり、本来の目的に到達することができなかった。次年度も引き続き、プロジェクト活動を継続していただき、現在必要とされる主事会研修の提案、今日的な役割の研究を進めていっていただきたいと思う。	評価							
その他	①飯田市公民館の変遷作成 これまで飯田市公民館が果たしてきた役割を学ぶため、飯田市公民館活動史を参考資料として、飯田市公民館の変遷を表にまとめた。 ②公民館関係者との懇談 当時の公民館活動について、その活動に至った経緯やそこに込められた思いを学ぶため、竜丘の河井さん、千代の篠田さんからお話をお聞きした。 ③主事会研修の実施 5月定例主事会での「公民館の問題点・悩みを語ろう」と題して、また12月定例主事会では「他者の目でも自分を振り返り、主事の役割を考えよう」と題して計2回の研修会を実施。それぞれグループワークを中心に、主事が抱えている悩みや自分の地区の事業を他の主事に紹介することで、悩みの解決や新たな視点を取り入れる機会とした。 ④各種研修会等への参加 役割研究につながる各方面での研修会へ参加し、情報共有をした。 ⑤プロジェクト会議の開催 上記内容を協議、検討するために、計20回の会議を開催した。	実施内容	評価						

# 橋北公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児学級	市・地	継続	19	350	40	104	実施内容参照	橋北公民館ほか
	2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士との触れ合いの場、親子の交流の場を作り、子どもたちの健全な成長を図る	東中学校区3館合同で、橋北が2歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し決定。 【開催概要】 ①5/12開講式 ②6/2仲良くなりまいがゲーム ③6/16ことばを育てる遊び ④7/7小麦粘土で遊ぼう ⑤7/21わらわらたてふれあおう ⑥8/24公園で水遊び ⑦9/1体を使った遊び ⑧9/15もももの時の救急法 ⑨10/15消防車をいに行こう ⑩10/20飯田動物園へGO! ⑪11/2秋の大運動会 ⑫11/17トイレーニングのお話 ⑬12/1Xmasの準備 ⑭12/22Xmasパーティー ⑮1/19図書館へお出かけ ⑯2/21「おにはそと」節分ごっこ ⑰2/16記念品づくり ⑱3/1開講式	市・地	継続	19	350	40	104	【総括と今後の方向付け】 公民館、保健師、保育士の3者による運営側でしつかりとした打ち合わせが出来、理念や約束事を共有しスタートできたことは良かった。また、3地区を意識し、合同開催なども例年より多く盛り込み交流を図れた。ただし、少子化が進む中で、年々対象者が減ってきているため、3館合同の在り方も検討していく必要がある。
学級・講座	地域住民を対象に、連続・仲間作り、交流と学習の場づくりを目指す	市・地	継続	10	230	25	3,245	開催期日	開催会場
学級・講座	地域内在住の方を中心に講師に招き、身近な内容について学習する ①4/24 地震から命を守る～高齢者にもできる10箇条～/飯田市危機管理室 後藤武志氏 ②5/22 元善光寺ご開帳を訪ねる/訪問 ③6/26 自分の声を知り、響かせよう歌声を/元飯田女子短期大学教授 庄司裕江氏 ④7/24 橋北の財産「下伊那教育会館」と下伊那の教育を知る/下伊那教育会理事 赤羽孝之氏 ⑤8/28 城下町のまつり/飯田市社会教育委員 今村光利氏 ⑥9/28 わかりやすい体のしくみ～バイタルサインってなあに?～/飯田女子短期大学准教授 三浦弥生氏 ⑦10/23 高森町瑠璃寺を訪ねる/訪問 ⑧11/27 「もしも」時の救急法/飯田女子高校教諭 小林悦子氏 12/18 日本の古き良き礼儀作法の伝承/飯田女子高校教諭 小林悦子氏 ⑩2/12 市役所新庁舎見学/訪問 ⑪3/18 ゆったり生きる/来迎寺住職 邊章應氏	市・地	継続	10	230	25	3,245	【総括と今後の方向付け】 さまざまな分野の学習をすることができた中で、長姫神社や大宮神社の祭など地元に関係するテーマも取り上げた。 バスハイウェイで、元善光寺の御開帳、高森町瑠璃寺へ訪問した。また、新庁舎へ訪問見学、オープンした食堂での屋食会も行った。	橋北公民館ほか
学級・講座	主に高齢者を対象に、交流と健康増進を目指す。	他会計	継続	9	210	40	3,245	開催期日	開催会場
学級・講座	開講式:4/8親水(下久堅) 定例会:5/13松尾、6/10アカシア(豊丘村)、8/12清流苑(松川町)、10/14座光寺 大会:第61回7/8アカシア(懇親会あり)、第62回9/9清流苑、第63回11/1/11座光寺 閉講式:12/2アカシア(豊丘村)	市・地	継続	9	210	40	3,245	【総括と今後の方向付け】 交流会などを通じて交流を深めることが出来ている。開講前に予め初心者など新会員に対して、競技規則やマナーの講習を実施。また教室自体を自主運営していく雰囲気も出てきているので大切にしていきたい。	実施内容参照
学級・講座	家計にやさしい省エネ講座	市・地	継続	1	4	4	3,245	開催期日	開催会場
学級・講座	橋北地区住民対象に、環境意識の啓発を図る	市・地	継続	1	4	4	3,245	11月17日	橋北公民館
学級・講座	光熱費が1年で最もかかる冬場に向けて、省エネだが効果的な暖房器具の使い方を学び、実践する。 講師:NPO法人南信州おひさま進歩 小室勇樹氏	市・地	継続	1	4	4	3,245	【総括と今後の方向付け】 冬本番を迎える前の11月に実施し、受講者がそこで学んだことを冬場に実践してもらい、その結果を共有するために、3月にもう一回実施する予定で講座を組み立てたが、初回の受講者が4人しかおらず、3月には実現できなかった。まちづくり委員会(特に環境保全委員会)と連携するなどして企画組立を行うべきであった。	橋北公民館

# 橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	一回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	橋北公民館冬の特別講座	地区費	新規	1	30	30	3,245	2月28日	橋北公民館
	地域住民を対象に、地域を知り、愛着を深めてもらう機会を目指す。	【総括と今後の方向付け】 景を学ぶ機会として実施した。 講師：元酒造会社社員 田口 恒博 氏 演題：日本のお酒のはなし							
文化事業	橋北地区文化祭	市・地	継続	1	700	700	3,245	6月27日、28日	開催会場 浜井場小学校
	地域間交流として、龍江地区の今田人形座の方々を迎え、今田人形の特別上演を実施した。 公民館の教室・グループを中心に地元の保育園・幼稚園・小中学校の発表・展示などを行った。 まちづくり委員会や地元地域の展示や出店、バザーなども行った。 地域資源として、橋北音頭総踊り、お囃子復活事業、春草・測候所関連の展示も実施。 環境学習の一環でNPO南信州おひさまま歩の協力により、ソーラーカーなどの展示と環境に関するクイズ大会を実施。	【総括と今後の方向付け】 地元団体による展示、芸能発表も規模を維持しつつ、地域間交流も力を入れて行った。今田人形という地域文化を知る、観る機会になったし、南信濃振興公社の協力により遠山地区の物産展も行った。							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015橋北地区公演	他会計	継続	4	417	417	3,245	実施内容参照	開催会場 橋北公民館ほか
	地区内外の観劇者を対象に、地区内ボランティアがフェスタを盛り上げ、楽しさを味わうことを目指す	【総括と今後の方向付け】 スタッフも長年人形劇に携わっており、劇人との入念な打ち合わせや快適な会場づくりのための工夫をしたりするなど、劇人及び観劇者双方が楽しめる公演にしようとする姿が印象的だった。							
文化事業	文化研修旅行	地区費	継続	2	37	37	3,245	11月4日、7日	開催会場 宇治市、大津市
	地域住民を対象に、他地区の文化について学習する機会を目指す	文化部員が企画運営し、参加者が事前学習会をして、単なる旅行ではなく研修旅行として実施した。 ①事前学習会：11月4日 参加者：25名 講師：川手 竜雄（公民館文化部員、京都検定2級） ②宇治平等院鳳凰堂と大津石山寺の旅：11月7日 参加者：37名 京都検定2級の文化部員を講師として、事前学習会に参加者全員で行った。充実した内容で良い機会となった。							
文化事業	橋北歌うたべ	地区費	継続	1	30	30	3,245	1月23日	開催会場 橋北公民館
	地域住民を対象に、歌を通じて親睦と交流を目的とする	【総括と今後の方向付け】 地区内の社会教育団体からの参加者が例年よりより少なかったのは残念だった。内容のマンネリ化は運営側での共通認識である。この事業のねらい、目的を明確にしていける必要がある。							

# 橋北公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	写真教室	新規	市費	4	24	6	3,245	実施内容参照	橋北公民館
	地域住民を対象に、地域文化を知り愛着を深めることを目指す。							参加者が飯田お練りまつりに実際に足を運ぶきっかけとす、という目的もあったが、参加者が少なく残念であった。お練りまつりを見据えた企画であったが、橋北地区内には多く寺社や歴史的建造物、桜などがあるため、来年度以降の実施も検討したい。	
体育事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ワンバウンドふらばーハレーボール大会	継続	地区費	1	42	42	3,245	7月12日	浜井場小学校体育館
	地域住民を対象に、日頃の運動不足解消と交流を図る							【総括と今後の方向付け】 1日開催の方が参加しやすいと短期集中で大会自体が盛り上がりといった声も聞かれた。	
体育事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北市民運動会	継続	地区費	1			3,245	10月11日	浜井場小学校校庭
	地域住民を対象に、レクリエーションスポーツを通じて住民相互の交流を図る							【総括と今後の方向付け】 総参加・総運営を合い言葉にしており、さまざまな年齢層が参加する事業のため、来年度においてもさらに充実した内容の濃いものを実施したい。	
体育事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ウォーキング講座	継続	市・地	1	17	17	3,245	10月28日	浜井場小学校体育館
	地域住民を対象に、冬場の運動不足の解消とウォーキングのモデルコースの創設を目指す							【総括と今後の方向付け】 橋北地区内でのウォーキングモデルコースづくりをめざし、継続して実施しているが、「橋北再発見ウォーキング」事業との位置づけを明確にする必要がある。	
体育事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	囲碁ボール大会	継続	地区費	1	66	66	3,245	11月30日	浜井場小学校体育館
	地域住民を対象に、レクリエーションスポーツを通じて住民相互の交流を図る							【総括と今後の方向付け】 子どもも大人もみな楽しんでいた。来年度も継続して実施し、橋北地区内で囲碁ボールを行う社会教育団体の発足につなげられるようにしたい。	
体育事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ボウリング大会	継続	地区費	1	27	27	3,245	1月18日	アストロポウル
	地域住民を対象に、冬場の運動不足と住民間の親睦交流を図る。							【総括と今後の方向付け】 昨年より参加者は減ってしまっしたが、大会自体は盛大なものとなった。来年度はチランの回覧だけではなく、公民館委員による声掛けにも重点を置いて実施したい。	



# 橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報橋北	地区費	継続	年5回発行			3,245	実施内容参照	
	地域住民を対象に、地域を考慮するきつかけ作りを目指す。	実年度当初の役員挨拶のみ、まちづくり委員会との合併号とする。公民館事業にかかわらず、様々な会議などに広報部員が積極的参加し情報収集し情報発信をしている。233号(6/9)、234号(9/1)、235号(12/1)、236号(2/9)、237号(3/31)						【総括と今後の方向付け】 橋北まちづくり委員会が毎月発行する「まちづくり便り」が、タイムリーな情報を提供するため、発信する情報の差別化ができ、地域を深く掘り下げる、地域課題を提起するという館報としての位置づけが明確になった。	
育成事業	工作・実験体験教室	市・地	継続	1	25	25	3,245	6月27日	浜井場小学校理科室
	地域住民の親子(子どもと大人)を対象に、親子や世代間の触れ合いの機会を図る	文化祭の中で実施。 工作教室:「流体のサイエンスショー、へんてここまを作ろう」 講師:おもしろ科学工房							理科室で行ったため、実験の雰囲気が出ており、参加者からも講師からも好評であった。あくまで公民館育成部主催の事業であるため、公民館委員は当日のスタンプを担当するだけでなく、内容についても講師に一任ではなく、自ら検討、提案するべきである。
育成事業	美博訪問ツアー	地区費	新規	1	12	12	3,245	9月27日	橋北地区
	地域住民の親子(子どもと大人)を対象に、親子や世代間の触れ合いの機会を図る	橋北地区出身の菱田春草の作品が展示されている飯田美術博物館を訪問した。また、プラネタリウムの鑑賞も行った。						【総括と今後の方向付け】 親子を対象としたが、広く地区住民に参加を呼び掛けるべき内容であった。一昨年年齢層については、飯田人形劇フェスタのワッペンで入館料が無料となるため、チラシの回覧によってそれを周知できたのは良かった。	
育成事業	橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」	地区費	新規	1	70	70	3,245	11月1日	橋北地区
	地域住民を対象に、地域資源の再発見とウォーキングのモデルコースの創設を目指す	寺社や歴史的建造物が多く残る橋北地区の魅力を知って知る機会として、ウォーキングで地区内を巡る企画として実施した。						【総括と今後の方向付け】 参加者が橋北の魅力を再発見することをねらいとしたが、各ポイントでの説明などを公民館委員が担当したことにより、公民館委員にとっても地区を知る機会となった。	
育成事業	しめ飾り講習会、もちつき交流会	市・地	継続	1	50	50	3,245	12月6日	浜井場小学校
	地域住民を対象に、3世代交流の場、伝統行事の継承を目指す	地元住民を講師に招き、伝統文化の体験・継承、多世代交流を図るしめ飾りづくりは地区在住の方を講師に招き開催。 餅つき大会は、各家庭で行わなくなった、杵と臼を使った餅つきを体験する。 講師:宮崎 栄治 氏、上原 伸彦 氏						【総括と今後の方向付け】 参加者が例年より多く、大変盛況だった。親子での参加、祖父母が孫を連れてくるといった姿も見られ、世代間交流という点では良い機会となった事業であった。	
育成事業	新書初め大会	市・地	継続	1	30	30	3,245	1月3日	橋北公民館
	小学生児童と一般を対象に、書初めを通じ世代間交流と正月行事の大切さに触れることを目指す	対象を小学生に限らず、世代間交流を深めるため大人も対象とした。小学生児童は休みの宿題で出された書初めを行う。公民館に来る機会をつくる。 講師:沖村栄勇さん(南信書道会理事) 講師による大きい筆を使った書を披露してもらいその後書初め指導や筆の使い方なども習う。						【総括と今後の方向付け】 地区内の社会教育団体の参加もあり、参加した地区内の福祉施設の子どもの書き初めを見守る姿などあり、交流の場としても意義をなした。	

## 橋北公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	和菓子づくり体験講座	市・地	継続	1	28	28	3,245	2月7日	浜井場小学校
	小学生児童とその保護者を対象に、地場産業の和菓子を作ることで、親子の触れ合いと地場産業への学習の機会を指す	市・地	継続	1	28	28	3,245	2月7日	浜井場小学校
育成事業	地場産業である和菓子について学び、児童とその保護者と共に製作した。講師：城田茂さん(南田月) いちご大福と練り切り菓子を製作	市・地	継続	1	28	28	3,245	2月7日	浜井場小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	オーケストラと友に音楽祭2015コミュニケーションコンサートat追手町小学校講堂	他会計	新規	1	266	266	9,226	5月4日	追手町小学校講堂
	オーケストラ友に2015実行委員会の協力の下、橋北、橋南、東野地区の3公民館の専門委員が協力し合い実施した。東中学校吹奏楽部による歓迎演奏、オケ友メンバー4名との合同演奏も行った。	他会計	新規	1	266	266	9,226	5月4日	追手町小学校講堂
合同事業	地域住民を対象に、身近な場所での音楽に触れる機会を創造する	市・地	継続	1	97	97	9,226	7月20日	東野公民館
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	97	97	9,226	7月20日	東野公民館
合同事業	地域住民を対象に、身近な場所での音楽を楽しめる機会を図る。	市・地	継続	1	97	97	9,226	7月20日	東野公民館
合同事業	橋北・橋南・東野地区の公民館が共催で開催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力し合い実施した。演奏者：サクソフォーン四重奏「サクソフォークンカルテット桜」	市・地	継続	1	97	97	9,226	7月20日	東野公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする。	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
合同事業	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会で開催実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・地域学習の実施(並木横丁いこいこを中心とした地域開発) ・式典の実施 ・祝賀会の実施	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
合同事業	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする。	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
合同事業	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会で開催実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・地域学習の実施(並木横丁いこいこを中心とした地域開発) ・式典の実施 ・祝賀会の実施	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	地区費	継続	1	245	245	9,226	2月13日	追手町小学校講堂
	東中学校区三館合同事業として実施した。平成28年の飯田お練りまつりの直前企画として、橋北、橋南、東野地区の参加団体による講演と実演を実施した。	地区費	継続	1	245	245	9,226	2月13日	追手町小学校講堂
合同事業	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。	地区費	継続	1	245	245	9,226	2月13日	追手町小学校講堂
合同事業	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。	地区費	継続	1	245	245	9,226	2月13日	追手町小学校講堂
合同事業	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。	地区費	継続	1	245	245	9,226	2月13日	追手町小学校講堂

# 橋北公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	中心市街地シャレットワークショップ	事業区分	4	147	1回参加・登録数	3,245	実施内容参照	橋北公民館ほか
	地域住民を対象に、大学生等の共同研究に協力し、地域学習意欲の向上及び地域への愛着を深めることを図る	地区費 継続			【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の重点目標の一つである、空き家対策をテーマに、空き家の活用について提案をいただき、橋北のまちづくりを担う有志の会(昨年の同事業後に発足)の活動において重要な機会となった。また、外国人留学生も参加し、日本の固定概念にとらわれなれない発想を提供いただいた。			
その他	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト	事業区分	26	780	1回参加・登録数	3,245	開催期日	開催会場
	地域住民を対象に、横笛等の練習をしてお楽しみ復活を目指す。	予算区分 継続 0円			30	実施内容参照		橋北公民館ほか
その他	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト	事業区分	6	100	1回参加・登録数	3,245	開催期日	開催会場
	地域住民を対象に、知識を伝えること、賑わうことを目的に地域資源を活かすことを目指す。	予算区分 継続 0円			【総括と今後の方向付け】 6年前のお練りまつり後に発足したこのプロジェクトであるが、平成28年のお練りまつりに実際に参加でき、当初の目的は達成できた。今後重要となるのは、この橋北屋台離子が文化として橋北地区に根付き、地区住民にとって誇れるものなるよう、保存会として継続して活動を続けられるかである。公民館としては、どう継承していくか、次の担い手をどう発掘するか、「つなぐ」ということを意識づけられるよう支援していく。			
その他	橋北まるごと博物館研究会事業	事業区分	2	2,000	1回参加・登録数	3,245	開催期日	開催会場
	地域住民を対象に、知識を伝えること、賑わうことを目的に地域資源を活かすことを目指す。	予算区分 継続 0円			【総括と今後の方向付け】 自主的な活動にも繋がり、地域の資源について、知ること、それを伝えることについて深まってきている。			橋北公民館ほか
その他	地域教育	事業区分	2	2,000	1回参加・登録数	3,245	開催期日	開催会場
	地域住民(面白倶楽部員と長姫高校生)を対象に、事業を通じ地域を知り愛着を深めるを旨とする。	他会計 継続			【総括と今後の方向付け】 地域においても毎年継続して高校生を受け入れていることで、地域内の認知度が高まっており、また受け入れ態勢も整ってきている。地域と高校生の双方にメリットが生まれるような取り組みができた。			橋北地区内

# 橋南公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	市費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級「ひよこ」(橋南・橋北・東野地区合同)	事業区分	継続	9	60	6	49	原則第3木曜日	東野公民館	
	実施内容	<p>東中学校区三館合同で、橋南が0歳児を担当。内容については、参加の保護者の意見も参考に決定し、実施している。</p> <p>＜開催概要＞①9/17開講式②9/29絵本で子どもの心を育てよう(0,1歳合同)③10/15親子でふれあい遊び(4)11/26子育てや離乳食についてお話ししよう!⑤12/9クリスマス会準備⑥12/22クリスマスパーティー(0～3歳合同)⑦1/28親子でふれあい遊び⑧2/18記念品作り⑨3/17閉講式</p> <p>【総括と今後の方向付け】 0歳児は生まれた時期により成長の差が大きく、寝返りもできない子どもから、はいはいで動き回る子どもまで参加しており、親子のふれ合いや子育ての知識を学ぶ内容が中心となった。学級は雰囲気も良く、親同士の交流、情報交換の場として機能していた。今後も成長段階に応じて必要な内容を提供できるように、保健師や保育士とともに計画を立て実施していきたい。</p>								
学級・講座	1歳児学級「うさぎ」(橋南・橋北・東野地区合同)	事業区分	継続	19	11	218	49	原則第2,4火曜日	東野公民館	
	実施内容	<p>東中学校区三館合同で、橋南が1歳児を担当。内容については、参加の保護者の意見も参考に決定し、実施している。</p> <p>＜開催概要＞①5/26開講式②6/9親子で楽しく遊ぼう③6/23離乳食についてのお話④7/14親子で楽しく遊ぼう⑤7/28ダンボールで遊ぼう!⑥8/25いざという時に備えよう!救急のお話⑦9/8わらべうたでふれあおう⑧9/29絵本で子どもの心を育てよう⑨10/13ミニ運動会⑩10/27動物に会いに行こう⑪11/10子どもとお母さんの歯の話⑫11/24体を動かそう⑬12/8クリスマス準備⑭12/22クリスマスパーティー(0～3歳合同)⑮1/12子どものことばを育てよう⑯1/26大きな布で遊ぼう⑰2/9親子で一緒にリトミック⑱2/23記念品作り⑲3/22閉講式</p> <p>【総括と今後の方向付け】 開催日が月2回ということもあり、より活動的な内容や成長段階に応じた知識を得る機会を設け、充実した活動ができが、また、親同士の交流や情報交換の場とするため、当初より学級の後半にいくつかのグループに分けて、情報交換をする機会を設けるようにも心掛けた。しかし、対象者数から見た参加者数はまだまだ少ない。次年度は、参加者のニーズを把握し、自主性を引き出すところにも力を入れていきたい。</p>								
学級・講座	なかよしリズム隊	事業区分	継続	24	620	25	25	毎月第1,3火曜日	橋南公民館	
	実施内容	<p>・音楽に合わせて親子で体を動かすリズム体操を行い、親子のふれあいや、乳幼児の健全な成長を促す。</p> <p>・親同士が、子育てに関する情報交換や悩み事の相談など、気軽に交流し、仲間作りができる場とする。</p> <p>講師 長沼 香氏</p> <p>【総括と今後の方向付け】 リトミック体操を中心に親子で体を動かす活動を行った。次年度以降は、参加者の自主性を生かした自主学習グループへ移行して、活動を行っていく予定。</p>								
学級・講座	親子パン作り教室	事業区分	継続	1	47	47	166	7月26日	飯田卸売団地内「コア」	
	実施内容	<p>フアリーヌ会(「飯田米穀」タイホーパン)「補助製パン」「ボンジュール」「カンパニー」の製パン店で作られている会)と共催で、親子で作るパン教室を開催。</p> <p>材料をこねる、成形、発酵、焼き上げまでを行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度も、地区内の製パン店に協力していただき、親子で協力し合ってパン作りができた。出来上がったパンもきれいに焼き上がり、参加者もとても満足していた。日頃忙しく、ゆっくりと共同作業ができない中で、親子での共同作業を行える良い機会になったのと思う。来年度も継続していきたい。</p>								

# 橋南公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	人権講演会	事業区分	市費	1	80	80	166	5月30日	追手町小学校講堂
	実施内容	<p>追手町小学校と共催で、スマートフォンやインターネットに潜む危険性と親(大人)の関わり方についての講演会を開催した。&lt; 参観日に併せて開催 &gt;</p> <p>・5月30日「スマートフォンやインターネットに潜む危険性と親との関わり方」 講師：宮崎 優一氏 (長野県警本部生活安全全部生活環境課サイバーネットワーク対策室)</p>							
学級・講座	人権講演会	事業区分	市費	1	250	250	332	10月30日	追手町小学校講堂
	実施内容	<p>追手町小学校、追手町小学校PTAと共催で、手足に障がいを持つ方からお話をお聞きました。</p> <p>&lt; 祖父母参観日に併せて開催 &gt;</p> <p>・10月30日「泣いた次は笑おうよ」 講師：富永 房枝さん</p>							
学級・講座	伝統・文化継承講座「手の芸の会」	事業区分	地区費	24	288	288	2,854	原則毎月第1、第3木曜日	橋南公民館
	実施内容	<p>水引を使った「ものづくり」とそれを通じた「仲間づくり」の場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区公演での配布や、水引プロ一子の追手町小学校の新生や卒業生への贈呈を行った。</p> <p>①「水引で春の花を作ろう」②「水引を使ってコサージュを作ろう」③「水引で花のプロ一子を作ろう」④「水引を使って夏の花を作ろう」⑤「水引を使って秋の花を作ろう」⑥「文化祭に向けて色々な作品を作ろう」⑦「水引を使って鶴と亀を作ろう」⑧「水引を使ってお正月飾りを作ろう」⑨「水引を使って色々なものを作ろう」</p>							
学級・講座	橋南文化講座「飯田町致知会」(温故創新企画)	事業区分	地区費	7	50	7	2,854	8月～3月の毎月1回開催	橋南公民館
	実施内容	<p>平成26年度に刊行した「橋南各町の源氏名と法被」を用いて、地域の歴史を学んだ。講師を呼んでの講義形式でなく、誰でも参加できるよう、座談会形式で行った。</p>							
学級・講座	環境講座「家計に優しい省エネ講座」	事業区分	市費	1	5	5	2,854	10月27日	橋南公民館
	実施内容	<p>省エネについて、住民に興味を持ってもらえるよう、より身近な「家計」を中心に学習会を行った。</p> <p>内容：冬の省エネの必要性の解説、省エネグッズ、CO2外出量の少ない暖房器具について 講師：小室 勇樹氏(NPO法人南信州おひさま進歩)</p>							
学級・講座	人権講演会	事業区分	市費	1	80	80	166	5月30日	追手町小学校講堂
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>昨年からの計画していた、スマートフォンやインターネットに関する小学校と共催での講演会を開催することができた。小学校の協力で、参観日に併せて開催することができ、多くの保護者の方に参加してもらった。SNSに関する学習は、今後ますます必要となってくるかと思うので、来年度以降も学校と協力して事業を行っていききたい。また、今後は児童向けの学習向けの学習会も検討していきたい。</p>							
学級・講座	人権講演会	事業区分	市費	1	250	250	332	10月30日	追手町小学校講堂
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>2年に1度行う、追手町小、追手町PTA、公民館の共催の講演会は、例年家庭教育に関する演題が多かったが、今年は障がい者の人権に関する講演会を行った。小学校の協力で、祖父母参観日に併せ、児童も講演会に参加して開催することができた。子ども達の表情を見て、様々なことを感じていることが見受けられ、「障がい者の人権」について考えるときも貴重な機会になったと思う。</p>							

# 橋南公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ラベンダー関連講座	地区費	継続	8	96	12	2,854	実施内容参照	橋南公民館
	市民を対象に、環境に関する意識の向上、知識の習得を図る	<p>橋南地区で取り組んでいる生ごみの分別回収と、その生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダーを使った講座を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月4日、18日、7月2日、16日、2月18日、3月3日、17日</li> <li>「ラベンダー入りプローチを作ろう」講師 松葉 智子氏</li> <li>ラベンダーを芯にした、りんごのストラップを作成した。(手の芸の会と共催)</li> <li>・6月22日「ラベンダーズスティックを作ろう」講師 松下 啓子氏、加藤 三鈴氏</li> </ul> <p>ラベンダーの花を利用したクラフト作りの1つとして、ラベンダーズスティックを作る講座を実施した。</p>							
文化事業	飯田人形劇フェスタ2015 橋南地区公演	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市民を対象に、人形劇に親しむ、参加する、支える機会とする	市・地	継続	1	228	228	228	8月8日	追手町小学校講堂
文化事業	第20回橋南文化祭	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする	地区費	継続	1	650	650	2,854	11月7日、8日	追手町小学校講堂

【総括と今後の方向付け】  
橋南地区内で取り組んでいる生ごみの分別回収と、生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダー植栽事業については、公民館では学びに関する部分を担当している。

・ラベンダーズスティック講座は、昨年に引き続きの実施であったが、新規で多くの方達が参加し盛況であった。来年度も継続して行いたい。

・ラベンダープローチ講座は「手の芸の会」と共催して行ったこともあり、参加者の関心傾向がみられる。

次年度は、環境委員会と協力し、ラベンダーの植栽事業への協力など、地域活動にもつなげていきたい。

【総括と今後の方向付け】

昨年同様、追手町小3年生が学習の中で人形劇に取り組み、プロ劇団とジョイント公演を行った。地元劇団が上演することで、地区公演としての立場が明確になっていると感じた。今後このような方法で継続していきたい。追手町小学校の児童に当日ボランティアとして参加してもらっており、スムーズな会場運営の一助ともなっている。次年度以降は中学生にも声掛けをしていきたい。また、昨年度に引き続き、来場者にラベンダープローチを配布し、とても喜ばれた。次年度以降も、続けていきたい。

前半後半の舞台転換時に、児童の観劇が終わった保護者の多くが帰ってしまっただ。2つで1公演なので、学校からも呼びかけをしてもらい、最後まで観てもらおうようにしていきたい。

【総括と今後の方向付け】

昨年度と同様に、文化祭会場を追手町小学校1会場とし、芸能発表会も合わせて行った。

展示スペースには、適度な空間ができるため、講座の開催や憩いのスペース設置など、空間をうまく活用し、より多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭とした。

今年度は初めて、飯田東中学校からまちづくり学習の成果物を借り展示を行った。中学校で作ったりんごジュースを販売したりと、小中連携の一環で様々な試みをした。来年度は、さらに進めたい。

また、芸能発表会は年々参加団体が少なくなってきたので、地域で活動をしている団体にも声を掛け、参加団体を増やしていきたい。

# 橋南公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋南史跡めぐり	市・地	継続	2	79	39	2,854	6月28日、3月6日	地区外
	<p>伝統的な郷土芸能や、飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ。</p> <p>・6月28日「長野善光寺と小布施町を巡る」講師：今村 光利氏                      かつて飯田郷と呼ばれていた小布施と御開帳年の善光寺を巡った。                      ・3月6日「古都鎌倉に感じる小京都飯田」講師：今村 光利氏                      飯田と同じく四神相応に形成された古都鎌倉を巡った。</p>	【総括と今後の方向付け】 橋南地区外での現地学習の機会として、夏と冬の2回行った。講師の分かりやすい解説と現地研修が好評で、多くの参加者を得られた。現地で学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施したい。	評価						
文化事業	橋南史跡ウォーキング	市費	継続	1	10	10	2,854	4月5日	地区内
文化事業	<p>市民を対象に、飯田街の街の作りや史跡を実際に歩いて見学することで、先人達がまちづくりに込めた考え方や知恵を学習する</p> <p>・4月5日「橋南桜ウォーキング」ガイド：伊丹 和香氏 橋南地区内に残る桜の銘木について、周辺史跡などの見学、解説を交えてウォーキングを行った。</p>	【総括と今後の方向付け】 桜ウォーキングは、桜だけでなく、桜周辺の史跡の歴史も同時に学ぶことができ、参加者が固定化する傾向もあるため、次年度以降、少しずつコースを変える、若い人にも興味を持ってもらえるようなエッセンスを入れる等、色々な人たちが参加できるように工夫をしていきたい。	評価						
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第30回橋南ウォークラリー大会	地区費	継続	1	130	130	2,854	6月7日	追手町小学校ほか
	<p>地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする。</p> <p>設定されたコースを、交差点の略図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に関する問題を設定し、解きながら歩くようにしている。またスタート・ゴール地点の追手町小学校講堂では、橋南まちづくり委員会育成部、日赤奉仕団や商店の協力や後援も得て、お楽しみ企画を行った。 今年度は、新たにできた春草公園や旧測候所など、橋北地区にも足を運んだ。</p>	【総括と今後の方向付け】 普段の生活の中では見落しがちなものが、問題を解きながら歩くことで見えてくる、地域を再発見できる行事となっている。参加者の中心が小中学生となっている。子ども達も地域の歴史を学ぶ貴重な機会となっているため、継続して実施していきたい。また、幅広い年代の住民が参加できるよう、コースや問題を複数にしてほしいという参加者からの希望も出てきているので、次年度以降検討を行っている。	評価						
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ソフトボール大会	地区費	継続	1	33	33	2,854	11月29日	追手町小学校校庭
	<p>地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る</p> <p>地区内回覧にて募集したチームによるソフトボール大会。今年度は3チームが参加し開催した。シニアソフトボールチーム、近隣町内チームに加え、公民館も体育委員を中心にチームを組み、大会に参加した。</p>	【総括と今後の方向付け】 年齢や性別も様々なチーム同士が交流することができた。参加チームが少なかつたため、募集方法の検討が必要に感じる。今年度は、大会終了後、初めて交流会を行ったが、とても好評だったので、次年度も続けていきたい。	評価						
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲碁ボール大会	地区費	継続	1	36	36	2,854	2月14日	橋南公民館
	<p>地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る</p> <p>3月に行われるAブロック囲碁ボール大会の予選会も兼ねて開催した。地区内回覧による広報以外に、ソフトボールクラブや少年野球教室にも声を掛けた。</p>	【総括と今後の方向付け】 地区内の少年野球教室やシニアソフトボールクラブに声を掛けたため、運動不足の解消の他、世代間交流も行うことができた。 次年度は、より多くの地区内の団体に声を掛け、親睦を深めていきたい。	評価						

# 橋南公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第28回橋南連合大運動会	地区費	継続	1	600	600	2,854	10月11日	追手町小学校講堂
	実施内容								
	目的								
	評価								
体育事業	橋南地区全体で取り組むの年一度の一大事業として実施。単独町内、または近隣町内でチームを組み、41ある全町内で参加する。子どもやお年寄りまで参加できる各種競技、いくつかの町内で組んだチーム対抗の競技を構成した。まちづくり委員会が主催し、公民館が主管する。体育委員が主導し、公民館、育成部、各町内選出の運営委員が運営にあたった。今年度は雨天のため、講堂で雨天時のメニューにて実施した。	地区費	継続	1	40	40		11月16日	飯田東中学校体育館
	実施内容								
	目的								
	評価								
体育事業	中学生以上の女性が参加対象のバレーボール大会。回覧文書で参加募集をし、近隣町内でチームを組んで参加してもらっている。今年度は3チームの参加があり、総当たりで試合を行った。	地区費	新規	1	266	266		5月4日	追手町小学校講堂
	実施内容								
	目的								
	評価								
合同事業	オーケストラと友に音楽祭2015コミュニティコンサートat追手町小学校講堂	他会計	新規	1	266	266		5月4日	追手町小学校講堂
	実施内容								
	目的								
	評価								
合同事業	ふるさとコンサート 橋北、橋南、東野地区合同	市費	継続	1	97	97		7月20日	東野公民館
	実施内容								
	目的								
	評価								
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	地区費	継続	1	245	245		2月13日	追手町小学校講堂
	実施内容								
	目的								
	評価								



# 橋南公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区 合同成人式	市・地	継続	1	62	62	95	1月10日	飯田市公民館
	<p>成人を対象に、成人としての自覚と責任を自覚する機会とするとともに、郷土への愛着を持ち、地域への関心を高める機会とする</p> <p>実施内容                      ・成人式実行委員会の開催                      ・地域学習の実施(並木横丁いこいこを中心とした地域開発)                      ・式典の実施                      ・祝賀会の実施</p>	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会で計画し	【総括と今後の方向付け】 成人実行委員に事前作業等も積極的に参加してもらったほか、当日も主体的に運営に関わってもらったことができた。 例年、成人実行委員とはとても良い関係を築けているので、今後もつながりを大切にしていきたい。						
広報事業	館報橋南の編集	新規	新規	3	36	4		10月～2月	橋南公民館
	<p>平成19年度以降発行をしないなかった「館報橋南」の発行を行った。 公民館の広報委員がないため、今年度は館長と文化と体育の副部長を中心に、10月、12月、2月の3回発行。 「広報橋南」とは違った目線での編集作業を行った。</p> <p>実施内容                      地区住民を対象に、地域を知り、考えを分かち、地域への関心を高める機会とする</p>	<p>平成19年度以降発行をしないなかった「館報橋南」の発行を行った。 公民館の広報委員がないため、今年度は館長と文化と体育の副部長を中心に、10月、12月、2月の3回発行。 「広報橋南」とは違った目線での編集作業を行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 「広報橋南」とは違い、「地域課題」に目を向けた「館報」の編集を心掛けた。次年度も引き続き、地域課題を掘り起こすような館報にしていきたい。 現在、公民館に広報委員が存在しないので、継続した館報発行のためにも、今後の編集体制について、考えて行く必要がある。</p>	【総括と今後の方向付け】 成人実行委員に事前作業等も積極的に参加してもらったほか、当日も主体的に運営に関わってもらったことができた。 例年、成人実行委員とはとても良い関係を築けているので、今後もつながりを大切にしていきたい。						
その他	放課後子ども教室	市・地	継続	19	530	27	166	原則第1、第3水曜日	橋南公民館 追手町小学校
	<p>放課後の子どもたちを対象に、安全・安心な活動拠点を創るとともに、異世代との活動の中で社会性、協調性を高める</p> <p>実施内容                      ・開催日：原則第1、第3水曜日                      ・開催時間：15時30分から16時30分まで                      ・運営体制：地域住民によるボランティアスタッフにより運営。定期的に運営委員会、スタッフ会を開催。</p>	放課後の子どもたちの居場所づくりをおこない、あわせて、異世代との活動の中で、社会性、協調性を育むことができるさまざまな企画を行った。 ・開催日：原則第1、第3水曜日 ・開催時間：15時30分から16時30分まで ・運営体制：地域住民によるボランティアスタッフにより運営。定期的に運営委員会、スタッフ会を開催。	【総括と今後の方向付け】 他の学校での教室とは異なり、登録制は取らず、毎回申込制としている。参加者は1～3年生中心であり、年度途中より参加者が大幅に減少した。スタッフは、民生児童委員とその経験者が多い現状は変わらないが、バスケの指導者や30代のスタッフも加わり、今までにない視点での活動ができた。来年度は、プログラム内容の大幅な見直しを必要とする必要がある。						
その他	夏休み子ども教室	市・地	継続	10	330	33	166	夏休み期間の月曜、水曜、金曜(お盆は除く)	橋南公民館
	<p>夏休み中の子どもたちの居場所づくりをおこない、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行う。 ・開催日：夏休み期間の月、水、金曜日(お盆などは除く) ・開催時間：9時から11時30分まで ・スタッフ：放課後子ども教室スタッフ及びまちづくり委員会各部署の委員。毎日開始から1時間は夏休み課題学習(自主学習)の時間を設けた。</p> <p>実施内容                      夏休み中の子どもたちを対象に安全・安心な活動を拠点とするともに、異世代との活動の中で社会性、協調性を高める</p>	夏休み中の子どもたちの居場所づくりをおこない、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行う。 ・開催日：夏休み期間の月、水、金曜日(お盆などは除く) ・開催時間：9時から11時30分まで ・スタッフ：放課後子ども教室スタッフ及びまちづくり委員会各部署の委員。毎日開始から1時間は夏休み課題学習(自主学習)の時間を設けた。	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の放課後子ども教室として実施し、連日多くの児童の参加が得られた。上級生が下級生を見ている姿も見受けられ、子供たちの縦のつながりができてきている。今年度も、公民館で活動している社会教育団体の方に講師をお願いし、子ども達と交流ができたので、次年度以降も継続して行っていきたい。 子ども達のグループの中でいざこざが起こることもあるので、スタッフが上手に入り、子ども達が社会性、協調性を身に付けるようまくりードできるようにしていきたい。						
その他	飯ごう炊さん	地区費	継続	1	100	100		8月29日	橋南公民館 追手町小学校
	<p>小学校児童を対象に、多様な体験活動を提供し、児童の協調性を高める</p> <p>実施内容                      ポーイスカウトの方に講師を依頼し、小学校で行われなくなった飯ごう炊さんを行った。 飯ごう炊さんの前後に、ドッチボールやスイカ割りを行い、子ども達の交流を図った。 放課後子ども教室のスタッフやまちづくり委員会の役員も運営に携わった。</p>	ポークイカウトの方に講師を依頼し、小学校で行われなくなった飯ごう炊さんを行った。 飯ごう炊さんの前後に、ドッチボールやスイカ割りを行い、子ども達の交流を図った。 放課後子ども教室のスタッフやまちづくり委員会の役員も運営に携わった。	【総括と今後の方向付け】 今年で4回目を迎え、夏休みの地域行事として定着してきた。今年度は、グループでの活動に力を入れたこともあり、子ども達が一つの目的に向かって皆で協力していく姿が多く見受けられた。次年度は、以前から要望のある宿泊体験も実施していきたい。						

# 橋南公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	しめ縄づくり講習会	市・地	継続	1	25	25	2,854	12月6日	橋南公民館		
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      地元在住の方を講師に迎え、伝統的な正月行事の一つであるしめ縄づくりを行った。参加対象を幼児から高齢者までとすることで、地域の中での生活の技の伝承と、世代間交流の場とした。                      講師 林 清貴 さん</p>									
その他	おひまち	地区費	継続	1	80	80	2,854	4月19日	橋南地区内		
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      防火に関する標語の募集                      ・追手町小学校児童を対象に防火標語を募集、                      ・防火標語を読み上げながら橋南地区内を広報                      ・追手町小学校児童、PTA、橋南連合青壮年会、まちづくり委員会防火防犯部、まちづくり委員会育成部、公民館、飯田市消防団第1分団からの参加者で地区内の広報活動を実施。</p>									
その他	もちつき大会	地区費	継続	1	100	100	2,854	12月18日	橋南公民館		
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      今後は少なくなかった臼と杵を使ってのもちつきを行った。もち米も釜とセロロを使用し薪の火で蒸すことで、古くからのもちつきを体験することができた。つきあげたもちには保護者の協力も得ながら成形し、その場で食べるほか、自らの手で正月のお供えもちを作り各家庭へ持ち帰った。</p>									
その他	第12回橋南夏まつり	地区費	継続	1	2,000	2,000	7月19日	りんご並木周辺			
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      7月のりんご並木歩行者天国イベントとして実施予定。公民館、自治委員会（各町自治会長）によるゲームコーナー、橋南連合青壮年会の屋台、ステージでは太鼓の演奏や子供向けの科学実験教室、盆踊り、りんご並木まちづくりネットワークによる各種販売ブース、仕掛け花火など、地域住民の交流の場とするとともに、中心市街地の活性化に向けた取り組みと連携して実施。主催はまちづくり委員会。公民館は主管。</p>									
その他	書き初め	地区費	継続	50	50	50	2,854	1月4日	橋南公民館		
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      小学生から高齢者を対象に、正月行事である書き初めを行った。社会教育団体の書道グループの方に講師として参加してもらい、書き初めが終わった後はゲームをし、おしるこを食べ交流した。完成した書き初めは、1枚公民館に展示し、地域の人に見てもらった。</p>									

# 橋南公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」	地区費	継続	20	180	9	【総括と今後の方向付け】 今年度も、各種行事に積極的に参加し、発表をしてきた。年度末の3月にはお練りまつりへの出演が控えており、親子で熱心に練習を行っている。	原則第1、第3金曜日	追手町小学校、飯田市公民館	
	青少年を対象に地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目的とすると共に、郷土への愛情を育み、健全育成を図る	地区費	継続	20	180	9	【総括と今後の方向付け】 今年度も、各種行事に積極的に参加し、発表をしてきた。年度末の3月にはお練りまつりへの出演が控えており、親子で熱心に練習を行っている。	原則第1、第3金曜日	追手町小学校、飯田市公民館	
その他	伝統文化教室「松一獅子舞教室」	地区費	継続	14	84	6	【総括と今後の方向付け】 今年度も、各種行事に積極的に参加し、発表をしてきた。	原則第2金曜日	橋南公民館	
	地区住民を対象に地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目的とすると共に、郷土への愛情を育む機会とする。	地区費	継続	14	84	6	【総括と今後の方向付け】 今年度も、各種行事に積極的に参加し、発表をしてきた。しかし、運営体制が不安定であり、今後長く活動を継続していくには難しい状態にある。、公民館だけでなく、まちづくり委員会を含めて、運営方法を考えていく必要がある。	原則第2金曜日	橋南公民館	

## 羽場公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0-1歳児学級	市・地	継続	18	270	22	60	5/18～3/2	羽場公民館 ほか
	<p>常任講師：松村由美子先生・福澤保健師 会場：羽場公民館 ほか</p> <p>5/18開講式～お友だちにならしましょう！～羽場図書分館の紹介 6/3手形足型をとろう 6/17月例ごとの離乳食をみんなで作ろう 7/1七夕まつり 7/15子育て講演会【講師：福岡先生】 8/19歯のお話し【講師：歯科衛生士】 9/3おしゃべりパーティータイム 9/16チャイルドビジョンを作ってみよう 10/7音楽を楽しもう【出演：まみーなアンサンブル】 11/4子どもの病気のことをきいてみよう【講師：健和会病院和田先生】 11/18ミニ運動会 12/2クリスマス準備よよう【講師：健和会病院和田先生】 12/9羽場地区0～3歳合同クリスマス会 1/20ママのリラックスタイム 2/17手型足型ふまの話し～【講師：上河内先生】 2/3おしゃべりパーティータイム 2/17手型足型ふれあい遊び 3/2閉講式</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>保健師・保育士と内容を組み立て、幼児の発達段階に合わせからだを使った遊びや保護者の悩みを解決できる講座・学習の実施など、保護者の不安解消の場になっていく。また、保護者同士の交流の場として有効に機能している。次年度も継続実施していく。</p>	評価						
学級・講座	2歳児学級	市・地	継続	19	190	18	60	5/13～3/9	羽場公民館 ほか
	<p>常任講師：水谷幸子先生・福澤保健師 会場：羽場公民館 ほか</p> <p>5/13開講式～お友だちにならう～羽場図書分館の紹介 5/27おやつ作り 6/10土いじり、野菜を植えよう！小麦粉粘土遊び【講師：半田先生】 6/242・3歳合同子どもの病気を聞いてみよう【講師：健和会病院和田先生】 7/8手型足型ベッタ 7/15子育て講演会【講師：福岡先生】 8/26みんなの水遊び 9/9ぶどう狩りに行こう 10/7音楽を楽しもう【出演：まみーなアンサンブル】 10/28羽場分署見学 11/11 2・3歳児合同 体をいっばい使った運動遊び 11/25クリスマス会準備 12/9羽場地区0～3歳合同クリスマス会 12/16丸山地区0～3歳合同クリスマス会 1/13お正月遊びをしましょう 1/27歯のお話し【講師：歯科衛生士】 2/10防災の話【講師：後藤先生】 2/24制作活動をしよう 3/9閉講式カレーパーティー</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>昨年度同様、羽場・丸山地区の参加者の減少傾向により、両地区合同で開催し、羽場公民館が担当した。季節に合わせた内容を企画し、落花生植え、収穫など自然と触れ合う内容も組み込むことができた。また、丸山との合同開催により、保護者は広い地域での交流を持つことができた。次年度も継続実施していく。</p>	評価						
学級・講座	乳幼児学級「3歳児学級」	市・地	継続	23	180		80	5/12～3/10	羽場公民館
	<p>5/12開講式、5/28スイカを植えよう、6/11体を使って遊ぼう！、6/24小児科の先生に聞いてみよう、7/9おやつについて考えよう、7/15子育て講演会、7/30スイカの収穫、8/1図書分館七夕会、8/27絵本とともだち、9/10お口の祭に向けて手形、足形、11/11親子体操、11/26クリスマスリースをつくらう、12/9羽場クリスマス会、12/16丸山クリスマス会、12/24新聞紙であそぼう、1/14おしゃべりしましょう～保育園どうする？～、1/28オリジナルキーホルダーを作ろう、2/2まめまき、2/25大きな布で遊ぼう・文集づくり、3/10閉講式カレーパーティー 常任講師：酒井美幸 氏</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>羽場地区と合同開催。スイカの栽培等、自然体験や食育などの要素も取り入れられたり、健和会病院の和田先生、歯科衛生士などに話を聞いたたりし、様々な面での学びの要素を取り入れられた。2歳児から連続して参加していただいた親子も多く、年間を通して親同士の活発なコミュニケーションが目を引いた。来年度も引き続き、いろいろな方面に繋がる学びの要素や母親同士の交流をより意識した内容としたい。</p>	評価						
学級・講座	イクメン講座	市・地	継続	4	84	21	540	4/19～2/7	羽場公民館 ほか
	<p>【コーディネーター：松村由美子先生・福澤保健師】</p> <p>4/19からだを使ったダイナミックな遊び・健康3が体験【講師：身吉先生】</p> <p>8/22竹で手作り水鉄砲を作ってみよう・パパが作るバーベキュー【講師：鈴木公民館館長】 11/7飯田線で天龍峡の旅 2/7お菓子作り体験と食育の話・フワワーアレンジメント体験【講師：渡部先生・仲田養士】</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>第1回の内容は主事・コーディネーター・保健師で企画したが、2～4回の内容は参加者が反省会をしながら企画した。講座や企画への参加によって、父親同士のネットワーキングができてきていると感じる。メンバーの中で当講座以外の公民館事業へ参加してくれる方も増えてきており、地区への関心も高まってきている。次年度は地区の諸団体とつなげ、関心を広げられるように実施していく。</p>	評価						

# 羽場公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	曙の里講座「お正月のお花を生きよう」	市・地	1	17	17	4,957	12月27日	羽場公民館
	【講師：花のわ】 講師に社会教育関係団体である「花のわ」のみなさんをお願いし、子どもの部1回 大人の部1回を実施。子どもの部では、自分で折り紙や和紙を切り張りし花器を作成した。大人の部には、高い所に飾るものと低いことに飾るものの2種類の生け花を用意し参加者が選んだものを生けた。リピーターも多く参加者には好評である。	市・地	1	17	17	4,957	12月27日	羽場公民館
学級・講座	曙の里講座「書初め大会」	市・地	1	16	16	4,957	1月4日	羽場公民館
	【講師：吉澤之榮氏(羽場町2)】 講師の方を講師に招き実施した。参加者は、主に小学生だったが、中学生も1人参加があり、子どもと一緒に来た保護者も2名が書初めをした。書いた中でいいもの1枚を持ち帰り、1枚は公民館へ展示した。	市・地	1	16	16	4,957	1月4日	羽場公民館
学級・講座	曙の里講座「年越しそば打ち体験」	市・地	1	20	20	4,957	12月26日	羽場公民館
	【講師：鈴木博氏(正永町2)】 地区住民から実施希望の声があり計画した。地元の方を講師にお招きし、そば打ち体験を実施。飯田産のそば粉を使った。	市・地	1	20	20	4,957	12月26日	羽場公民館
学級・講座	親子エコクッキング教室	市・地	1	15	15	600	8月1日	羽場公民館
	【講師：鈴木博氏(正永町2)】 地区住民から実施希望の声があり計画した。地元の方を講師にお招きし、そば打ち体験を実施。飯田産のそば粉を使った。	市・地	1	15	15	600	8月1日	羽場公民館
学級・講座	小学生高学年以上の親子を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化の継承を図る	市・地	1	15	15	600	8月1日	羽場公民館
	【講師：鈴木博氏(正永町2)】 地区住民から実施希望の声があり計画した。地元の方を講師にお招きし、そば打ち体験を実施。飯田産のそば粉を使った。	市・地	1	15	15	600	8月1日	羽場公民館
文化事業	かざこしふれあいコンサート	市・地	1	204	204	8,557	9月5日	丸山小学校
	【内容】 各楽団の演奏、小中学校・楽団とのコラボ演奏、全員合唱文化委員が中心となり、丸山公民館と合同で企画し運営した。地区の住民に身近な地元で活躍している音楽家の演奏に頼んでいたことと、子どもたちの成果発表の場として、また、事業を通して小中学校と地域の連携を強めることを目指し実施した。	市・地	1	204	204	8,557	9月5日	丸山小学校

## 羽場公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	羽場ふれあいウォークラリー大会	地区費	1	-	-	4,957	7月6日	羽場地区内
	目的 地区住民を対象にウォークラリーをとおして地区の文化、魅力を再発見し誇り意識の醸成を図る	新規	1	-	-	4,957	7月6日	羽場地区内
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015羽場地区公演	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 住民を対象に、人形劇のすばらしさを体験してもらい、演じる側、支える側としても楽しめるフェスタとする	継続	1	616	616	4,957	8月8・9・10日	羽場公民館・飯田病院
文化事業	文化委員会が中心となり、羽場公民館での2公演、飯田病院での1公演を実施した。一般のボランティアが実行委員会に加わり、支える側のスタッフとして積極的に参加してくれた。羽場公民館公演では地元中学生人形劇部とアマチュア劇団、実行委員の交流会を実施した。	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 地域住民を対象に文化、芸術を通して、多様な人と触れ合うことを目指す。	継続	1	1,089	1,089	4,957	10月31日・11月1日	羽場公民館・中央公会堂
文化事業	夜の講座「野菜を使ったヘルシーなおつまみ」	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 料理教室を通して地区住民の交流を図る	市・地	1	20	20	4,657	3月4日	羽場公民館
文化事業	【講師：殿倉由起子氏(野菜ソムリエコミュニティ南信州)】野菜ソムリエコミュニティ南信州の殿倉先生を講師に「お酒に合う、野菜を使ったヘルシーなおつまみ」をテーマに実習を行い、交流会を実施した。	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 住民の交流を図る	継続	1	20	20	4,657	3月4日	羽場公民館
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 地区樹木を対象に、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツを通して健康増進と交流を図る	継続	1	96	96	4,957	5月24日	丸山小学校体育館
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 地区樹木を対象に、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツを通して健康増進と交流を図る	継続	1	96	96	4,957	5月24日	丸山小学校体育館
体育事業	ふれあいスポーツ祭	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 地区住民が一室に集い、健康的に交流することを図る	継続	1	-	-	4,957	10月11日	飯田西中学校校庭
体育事業	【総括と今後の方向付け】 荒天により中止 実行委員組織を立ち上げ、スポーツ祭を企画。中学生も実行委員として種目の検討から前日の準備まで、地域の大人と関わった。	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 地区住民が一室に集い、健康的に交流することを図る	継続	1	-	-	4,957	10月11日	飯田西中学校校庭



## 羽場公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春お楽しみ会	市・地	継続	1	135	135	4,957	1月11日	羽場公民館	
	目的	正月の伝統行事であるお餅つきを体験するために実施。待ち時間を、体育委員会が伝統的な遊び、羽場文化・スポーツクラブが囲碁ボールで子どもたちと楽しんだ。もちの味付けにはPTAと羽場文化・スポーツクラブに手伝っていただいた。								
育成事業	さのこ狩りと芋煮会	地区費	継続	1	66	66	4,957	10月25日	曙友会所有林・妙琴公園	
	目的	羽場曙友会の協力で実施。妙琴公園に集合し、風越山麓へ移動して羽場曙友会所有林にてさのこ狩りを実施した。その後、妙琴公園に戻り飯ごうすいさんと芋煮を作り公園内で食べた。								
合同事業	飯田西中学校春の探鳥会	市費	継続	3	300	100	300	5月11日、13日、15日	風越山麓周辺	
	目的	丸山公民館との共催事業として実施。丸山公民館の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を行った。飯田西中学校から風越山麓まで歩きながら、講師から鳥の観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。								
合同事業	羽場・丸山地区成人式	市・地	継続	1	120	120	180	1月10日	羽場公民館	
	目的	羽場地区・丸山地区合同で各種団体の代表により実行委員会を組織し、年ごと順番で担当館を持ち回り開催。今年度は羽場公民館長が実行委員長として実施した。新成人からも実行委員を募り6名が企画から当日の運営、思い出のアルバム(スライideshow)の作成、祝賀会司会などに関わった。地区独自の記念誌の発行、記念品、獅子舞の祝賀、和太鼓の祝賀など、地域の資源を活かした式典、祝賀会を実施した。また、新成人を対象にしたキャリア教育の後追いアンケートを実施した。								
合同事業	家庭教育講演会	市費	継続	1	100	100	3,600	11月27日	丸山小学校	
	目的	羽場・東野公民館と共催。テーマ:「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」講師:国崎 信江氏(危機管理教育研究所 代表)全国各地で発生する自然災害、そして子どもを取り巻くネット環境など、大人や子供にも生き抜く力が求められる時代となっている。その中で、国内・海外の被災地で支援活動し、生活者の視点から防災について長年研究してきた国崎氏を招き、防災・防犯に対する事前の対策について、講演いただいた。								



# 羽場公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ネットラブル防止啓発座談会	予算区分	事業区分	1	52	52	8,557	2月14日	丸山小学校
	実施内容	市費	継続	ネットに関するアンケートの結果から飯田西中学校名子教頭講演『ネット、ここが心配』～今立ち止まって考えよう～講師：南澤信之氏9グループで座談会 丸山小学校・飯田西中学校・羽場公民館・丸山公民館の4者共催で実施。 ネット社会の広がりに対して、子ども達を取り巻く問題が年々低年齢化している今、家庭・地域で子どもたちをどう守るかを考える機会とした。アンケート結果、講演から現状を学び、座談会では児童生徒、PTA、地区住民、教諭、公民館それぞれ立場から、現状と課題に感じていることを意見交換した。	110	110	8,557	12月12日	風越子どもの森公園
合同事業	冬の探鳥会	予算区分	事業区分	1	110	110	8,557	12月12日	開催会場
	実施内容	市費	継続	丸山公民館・飯田西中学校共催事業 風越子どもの森公園を会場に探鳥会として散策した。講師は下伊那郡内の先生を西中が手配した。小学生、一般の参加も若干あった。	110	110	8,557	12月12日	開催会場
その他	図書館お楽しみ会	予算区分	事業区分	1	55	55	4,957	12月5日	開催会場
	実施内容	市費	継続	【講師：おもしろ科学工房】 クリスマス会としておもしろ科学工房を招き実施した。新規利用者獲得のため集客効果もあり、日頃見ない子ども達も来場していた。分館職員による読み聞かせ、サンタによるプレゼントを子どもにも配った。	55	55	4,957	12月5日	開催会場
その他	羽場のあしたを考える作文コンクール	予算区分	事業区分	1	28	28	4,957	1～3月	開催会場
	実施内容	地区費	新規	自分が住んでいる地区について考えた作文を、小中学校生徒と地区住民から募集し、コンクールを実施した。テーマは不問として募集し、「あいさつ」「交通安全」「少子高齢化」「都市計画」など様々なテーマの作文が集まった。公民館とまちづくり委員会が選考し、優秀作品を選定した。	28	28	4,957	1～3月	開催会場
その他	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	予算区分	事業区分	40	2,648	96	568	4月～3月	開催会場
	実施内容	他会計	継続	放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 運営委員会・スタッフ会の開催。 小学校区の羽場・東野地区と合同。	2,648	96	568	4月～3月	開催会場



# 丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育講演会	市費	継続	1	100	100	3,600	11月27日	丸山小学校
	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度も昨年度に引き続き、学校・PTA・公民館で企画段階から会議を持ち、講師等を決定した。今年度は、「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」というテーマで、近い未来に出来るかもしれない自然災害に対する対策を家庭で、地域で話し合う良いきっかけとなった。 今後も、学校教育・家庭教育側だけでなく、社会教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。</p>	<p>羽場・東野公民館と共催。 テーマ：「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」 講師：国崎 信江氏（危機管理教育研究所 代表） 全国各地で発生する自然災害、そして子どもを取り巻くネット環境など、大人や子供にも生き抜く力が求められる時代となっている。その中で、国内・海外の被災地で支援活動し、生活者の視点から防災について長年研究してきた国崎氏を招き、防災・防犯に対する事前の対策について、講演いただいた。</p>	<p>羽場・丸山地区の乳幼児学級の対象者すべてを対象に開催。丸山まちづくり委員会健康福祉委員会共催。子育て中の親を中心に子育てに関する悩みのヒントとしてもらうため、継続して開催。 例えば、核家族化の進行により、身近な人からアドバイスを受けられる機会の減少が起きているという地域課題がある。その中で、どう育児負担の軽減を図っていくか。それに特化した内容とした。 講師：福岡恵子氏 テーマ「母親のための子育てのヒント」</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年度同様、参加者に大好評で、「すごく心にきました」「気持ち前向き、軽くなりました」「おむつ替えの時間だけでも、大切な時間と思い子どもと楽しく過ごしたい」「1年に1回は福岡先生の話をぜひ聞きたい」などの感想が寄せられ、母親の1人の人間としての変化・成長が大きく見られた。子育て世代が抱える悩みの解消の一助となるような講座内容で今後も継続した事業としたい。健康福祉委員会が共催していることから、祖父母世代の参加ももっと期待したい。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度も昨年度に引き続き、学校・PTA・公民館で企画段階から会議を持ち、講師等を決定した。今年度は、「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」というテーマで、近い未来に出来るかもしれない自然災害に対する対策を家庭で、地域で話し合う良いきっかけとなった。 今後も、学校教育・家庭教育側だけでなく、社会教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。</p>				
学級・講座	子育て講演会	地区費	継続	1	70	70	8,557	7月15日	羽場公民館
学級・講座	子育て講演会	市費	継続	1	52	52	8,557	2月14日	丸山小学校
	<p>子育て世代や子育てに関心のある方を対象に、しつけなど普段感じている悩みの解消を図る</p>	<p>ネットに関するアンケートの結果から 飯田西中学校名子教頭 講演『ネット ここが心配』～今 立ち止まって考えよう～ 講師：南澤信之氏 9グループで座談会 丸山小学校・飯田西中学校・羽場公民館・丸山公民館の4者共催で実施。 ネット社会の広がりに対して、子ども達を取り巻く問題が年々低年齢化している今、家庭・地域で子どもたちをどう守るかを考える機会とした。アンケート結果、講演から現状を学び、座談会では児童生徒、PTA、地区住民、教諭、公民館それぞれその立場から、現状と課題に感じていることを意見交換した。</p>	<p>ネットに関するアンケートの結果から 飯田西中学校名子教頭 講演『ネット ここが心配』～今 立ち止まって考えよう～ 講師：南澤信之氏 9グループで座談会 丸山小学校・飯田西中学校・羽場公民館・丸山公民館の4者共催で実施。 ネット社会の広がりに対して、子ども達を取り巻く問題が年々低年齢化している今、家庭・地域で子どもたちをどう守るかを考える機会とした。アンケート結果、講演から現状を学び、座談会では児童生徒、PTA、地区住民、教諭、公民館それぞれその立場から、現状と課題に感じていることを意見交換した。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 ネット環境になじみのある少ない方々にとっても、現状を知り、「知らないではすまされない」という課題意識を共有できた。子どものネットトラブルを地域課題にとらえ、それぞれ立場で意見交換をする有意義な時間となった。次年度においても同形式で開催していくとともに、年々、問題が低年齢化している現状を捉え、保育園保護者、乳幼児保護者を対象にした講座を企画していく。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度も昨年度に引き続き、学校・PTA・公民館で企画段階から会議を持ち、講師等を決定した。今年度は、「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」というテーマで、近い未来に出来るかもしれない自然災害に対する対策を家庭で、地域で話し合う良いきっかけとなった。 今後も、学校教育・家庭教育側だけでなく、社会教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。</p>				

# 丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	観月の夕べ	他会計	継続	1	100	100	3,600	9月27日	かざこし子どもの森公園、佐倉神社
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】                      昨年度は、公民館、風越山を愛する会、かざこし子どもの森公園が共催していたが、今年度から、演奏者・茶道家・有志も含めた実行委員会形式で行った。中秋の名月の夜に月を觀賞しながら、地元神社でお抹茶や詩吟、女子高の邦楽部などの和楽を楽しんだ。電気をあまり使わず月明かりを使うように演出することで参加者が独特の雰囲気を出せるよう実行委員で企画した。</p>							
学級・講座	春の探鳥会	市費	継続	3	300	100	8,557	5月11日、13日、15日	風越山麓周辺
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】                      羽場公民館との共催事業として実施。                      西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を行った。飯田西中学校から風越山石灯籠まで歩きながら、講師から鳥の観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。</p>							
学級・講座	新書初め教室	市・地	継続	1	10	10	3,600	1月4日	丸山公民館
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】                      地元の方を講師にお正月行事体験講座として開催。子どもたちに日本の伝統文化の良さにふれられてもらうこと、集中力や書く力を育ててもらい、大人には自分流に書いてもらうことで書道の面白さにふれてもらう機会とした。書き上げた作品を公民館に展示した。                      講師：高田晴子氏（丸山町2）</p>							
学級・講座	そばうち体験講座	市・地	継続	1	20	20	3,600	3月6日	丸山公民館
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】                      地元の方を講師に実施。毎年楽しみにして参加するリピーターもいる。使う粉にもこだわり、安心・安全なそば粉を使い、口に入れるものをこだわって作ることで食育について考える機会にもなっている。                      講師：久保田淳一郎氏（白山町2）</p>							

# 丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	風越山と暮らしを考える講座・風越山麓わくわくプロジェクト	事業区分 継続	市費	3	50	50	3,600	8月24日ほか	丸山公民館
	地区住民を対象に、地区のシンボル風越山を暮らしの拠点から見つめなおし心豊かな地域づくりを育むことを目的とする。								
学級・講座	地元の資産である風越山と私たちの暮らしについて考える機会を提供する。これまで講演会や座談会を実施してきたが、今年度は、地区の役員がほぼ総入れ替えだったこともあり、組織づけから考えなおそうと、丸山自治振興センター・まちづくり委員会と共同でPJ会議を実施した。また、環境保全委員会と共同で、丸山小・飯田西中・丸山保育園と連携して、「風越山の山桜の種を採取し、参道に植えるプロジェクト」を行っている。来年度は、こういった取り組みを整理して実施していきたい。	事業区分 継続	市・地	5	170	40	3,600	11/9、11/10、3/18、3/24、3/31	丸山公民館 ほか
	市民を対象に仏や先人の心に思いを寄せながら、隠れた国宝級の仏の見方やその土地の歴史・文化について学習する	代表者による運営委員会で企画運営 講師：山下守弘氏(丸山町3) 第1回テーマ～伊那谷の文化財探訪『北部編』～ 11/9 学習会①開講式・オリエンテーション、11/10学習会②現地研修 第2回テーマ～「悠久のロマンが語りかける京都の古刹をめぐる旅」一再び訪れてみたい寺院～ 3/18 学習会①開講式・オリエンテーション、3/24 学習会② 3/31 学習会③現地研修							
文化事業	人形劇フェスタ丸山地区公演	事業区分 継続	他会計	1	193	193	3,600	8月8日	丸山公民館
	市民を対象に、身近なところで人形劇に親しむ機会をつくる	本公演は、公民館部員と一般ボランティア、丸山小学校人形劇クラブの保護者による実行委員会を実施。地元小学校とプロの劇団との交流会を実施。地区オリジナル企画は、公民館文化部が企画し、丸山小人形劇クラブ「つばさ」と連携して行った。  今年度は、地区オリジナル企画(地区企画公演)として『伝統文化にふれよう！～糸あやつり人形とかざこし山の和太鼓～』という内容で、丸山小学校人形劇クラブ「つばさ」と連携しながら、丸山地区の権現山狗寶太鼓の皆さん、座光寺地区の竹田人形座竹の子会の皆さんと「体験型」文化交流を行った。それぞれの想いを聞き、体験を、飯田市民共通の文化である「りんごん」を一緒に演じた。会場はエアコンがきかないほどの熱気に包まれた。							
学級・講座	風越山と暮らしを考える講座・風越山麓わくわくプロジェクト	事業区分 継続	市費	3	50	50	3,600	8月24日ほか	丸山公民館
	地区住民を対象に、地区のシンボル風越山を暮らしの拠点から見つめなおし心豊かな地域づくりを育むことを目的とする。								
学級・講座	地元の資産である風越山と私たちの暮らしについて考える機会を提供する。これまで講演会や座談会を実施してきたが、今年度は、地区の役員がほぼ総入れ替えだったこともあり、組織づけから考えなおそうと、丸山自治振興センター・まちづくり委員会と共同でPJ会議を実施した。また、環境保全委員会と共同で、丸山小・飯田西中・丸山保育園と連携して、「風越山の山桜の種を採取し、参道に植えるプロジェクト」を行っている。来年度は、こういった取り組みを整理して実施していきたい。	事業区分 継続	市・地	5	170	40	3,600	11/9、11/10、3/18、3/24、3/31	丸山公民館 ほか
	市民を対象に仏や先人の心に思いを寄せながら、隠れた国宝級の仏の見方やその土地の歴史・文化について学習する	代表者による運営委員会で企画運営 講師：山下守弘氏(丸山町3) 第1回テーマ～伊那谷の文化財探訪『北部編』～ 11/9 学習会①開講式・オリエンテーション、11/10学習会②現地研修 第2回テーマ～「悠久のロマンが語りかける京都の古刹をめぐる旅」一再び訪れてみたい寺院～ 3/18 学習会①開講式・オリエンテーション、3/24 学習会② 3/31 学習会③現地研修							
文化事業	人形劇フェスタ丸山地区公演	事業区分 継続	他会計	1	193	193	3,600	8月8日	丸山公民館
	市民を対象に、身近なところで人形劇に親しむ機会をつくる	本公演は、公民館部員と一般ボランティア、丸山小学校人形劇クラブの保護者による実行委員会を実施。地元小学校とプロの劇団との交流会を実施。地区オリジナル企画は、公民館文化部が企画し、丸山小人形劇クラブ「つばさ」と連携して行った。  今年度は、地区オリジナル企画(地区企画公演)として『伝統文化にふれよう！～糸あやつり人形とかざこし山の和太鼓～』という内容で、丸山小学校人形劇クラブ「つばさ」と連携しながら、丸山地区の権現山狗寶太鼓の皆さん、座光寺地区の竹田人形座竹の子会の皆さんと「体験型」文化交流を行った。それぞれの想いを聞き、体験を、飯田市民共通の文化である「りんごん」を一緒に演じた。会場はエアコンがきかないほどの熱気に包まれた。							

## 丸山公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	かざこふれあいコンサート	市・地	継続	1	204	204	8,557	9月5日	丸山小学校
文化事業	住民を対象に、地元で活躍されている音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	羽場公民館・丸山小学校・飯田西中学校との合同事業。 出演楽団：丸山小学校金管バンド、飯田西中学校吹奏楽部、ソノール・クラリネットアンサンブル、サキソファミーユ	【内容】 各楽団の演奏、小中学校・楽団とのコラボ演奏、全員合唱文化委員が中心となり、丸山公民館と合同で企画し運営した。地区の住民に身近な地元で活躍している音楽家の演奏に頼んでいただくこと、子どもたちの成果発表の場として、また、事業を通して小中学校と地域の連携を強めることを目指し実施した。	評価	【総括と今後の方向付け】 小中学生の保護者を中心に204名の方が来場し、生の音楽に触れてもらうことができた。小中学生・楽団とのコラボ演奏は小中連携・一貫教育の1つの形だと感じている。また、小中教諭、楽団、地区住民で企画することで連携を強めることができた。次年度も地元の楽団と小中学校の発表の場として実施し、地区住民に音楽を楽しんでいただけるよう、合同事業として実施していく。				
区分	丸山地区文化祭	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	1	1,215	1,215	3,600	11月7日・8日	丸山公民館
文化事業	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る	地区内の団体や教室・サークル活動の発表の場、住民の文化交流の場として開催。 文化部を中心に、まちづくり委員会や参加団体による実行委員体制で企画・運営。 今年度から、西中生に文化祭ポスターの作成をお願いし、コンクールとして実施した。	【総括と今後の方向付け】 多くの作品展示・芸能発表・出展があり、地区住民の交流につながっている。まちづくり委員会との連携により運営の協力が得られたり、地域全体で盛り上げる行事となっている。地元の小中学校の発表や展示もあり、子どもたちの活躍を知ってもらう機会にもなっている。ただ、作品の出展数が年々少なくなっており、今年度は展示会場レイアウトを見直したが、来年度は、より多くの団体への呼びかけを行いたい。地区や公民館に目を向けてもらうための事業も行っていきいたいと考えている。	評価					
区分	冬の探鳥会	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		市費	継続	1	110	110	8,557	12月12日	風越子ども森公園
文化事業	地区住民、小学生、中学生を対象に、探鳥会を通して風越山麓の自然に触れ、環境への関心の高揚を図る	丸山公民館・飯田西中学校共催事業 風越子ども森公園を会場に探鳥会として散策した。講師は下伊那郡内の先生を西中生が手配した。小学生、一般の参加も若干あった。	【総括と今後の方向性】 飯田西中学校の伝統行事となっており、中学生の参加が多かった。事前に公民館で野鳥の学習をする、探鳥会の歴史を振り返るなどの取り組みを検討し、地区住民が積極的に参加できるようにしたい。	評価					
区分	おとなのサロン	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		市・地	継続	1	70	70	3,600	4月2日	丸山公民館
文化事業	地区住民を対象に、青年会とタイアップし一般成人の学習の機会とする。	連合青年会と共催で企画運営。大人がひとつのことをじっくり学ぶ機会として毎年テーマを決めて開催。今年度は「青壮年世代の地域を想う気持ち」を掘り起こしたい」という公民館部員の想いのもと、飯田市美術館の椋井氏、今宮郊戸八幡宮総代会長の中島氏を講師として迎え、「お祭り等を中心とした丸山地区の歴史」という内容で、幅広い団体に声をかけて講演会を実施。丸山地区住民のアイデンティティである「お祭り」をきっかけに地域への想いを掘り起こす事業となった。	【総括と今後の方向付け】 文化祭への出展数が減少する中、「何とか青壮年世代にもっと公民館活動に出てきてほしい」という部員の想いのもと、昨年度の「食育」とは一風違う形で行った。これを単発事業で終わらせないよう、今後も青年会と連携を図り、さらに地域文化を盛り上げられるよう、事業展開を図っていきいたい。	評価					

# 丸山公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	丸山くらす	地区費 継続	1	30	30	3,600	7月12日	丸山公民館
	地域住民を対象に、自分たちの住む地域を知り学ぶための体験型の講座	「地域で楽しく生き生きと暮らす」をコンセプトに自分たちの暮らしを衣・食・住など様々な観点から見つめなおすことで地域と人、人と人の結びつきの大切さにふれてもらい地域の良さを再発見する。3年目の事業で、今年度は1回の開催。 テーマ「シールドルとおしゃれな料理のタペ～飯田産リンゴで造ったお酒とカフェイン～」 講師：後藤 高一氏（「国際りんご・シールドル振興会」理事長、松屋後藤酒店店主） 佐藤 志帆氏（丸山町2丁目、カフェATAGOシェフ） 「食文化を用いた地域活性化」の観点を学び、「持続可能な地域づくり」について考えること、また普段の料理に一味アクセントを加えてもらうアイデアを持ち帰ってもらうとともに、健康的な身体づくりについて考えてもらうことを目的に開催。	評価	【総括と今後の方向付け】 丸山地区を楽しく学ぶ、知ることで地域の良さや人とのつながりについて知ってもらうため、ジャンルを問わず様々な内容で体験型の講座となっている。参加者の自主性を引き出すよう心がけている。「地域で楽しく暮らすために地域の良さを再発見する」という観点については、とても重要であり、来年度も開催したいと考えている。				
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	町内対抗ソフトボール大会	地区費 継続	1	100	100	3,600	6月14日	押洞グラウンド
	地区住民を対象に、町内の親睦と交流を図る	町内対抗形式で開催。体育部やまちづくり委員会の会議で各町内に呼びかけた。また、地域との交流を目的に、風越寮などにも参加してもらっている。リーグ戦で開催。	評価	【総括と今後の方向付け】 地域住民同士が集い、スポーツを通して交流を図る良い機会である。長い間継続開催されている事業であり、以前に比べて参加者が減少しているが、丸山地区全体の中で「代表的なスポーツの地域交流」として根付いていることから、開催方法などについて検討しながら次年度も継続したい。				
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばーるハレー大会	地区費 継続	1	100	100	3,600	11月29日	丸山小学校
	地区住民を対象に、ニューズスポーツの普及と幅広い年代層での親睦と交流を図る	ハレーボールをやったことのない方、また子どもや女性も気軽に参加できるニューズスポーツである。地区内だけでなく、社教団体のスポーツ関係の団体にも参加を呼びかけている。リーグ戦で開催。	評価	【総括と今後の方向付け】 幅広い年代で男女問わず誰でも楽しめるニューズスポーツであり、人気も高い。ニューズスポーツの普及のために今後も多くの参加者を募る工夫を行いたい。社教団体への呼びかけについては、引き続き行っていきたい。				
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区市民大運動会	地区費 継続	1	661	661	3,600	10月18日	丸山小学校
	地区住民を対象に、親睦と交流を地区の結びつきや活性化を図る	まちづくり委員会、公民館、地区内の各種団体による実行委員会体制で実施。体育部会、企画・運営委員会、実行委員会、各係会を経て開催。町内対抗競技等による地域の団結や地域住民同士の交流ができる地域の大きな事業のひとつである。	評価	【総括と今後の方向付け】 地域の大イベントであり、多くの地区住民が参加し、コミュニティ形成の大きな力となっている事業である。また、普段運動をあまりしない人にとっては、貴重な「運動の機会」でもある。今年度は今後より内容の充実を図り多くの住民が参加できるように工夫していきたい。				

## 丸山公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲基ボール大会	地区費	継続	1	70	70	3,600	10月4日	丸山公民館
	目的 地区住民を対象に、運動不足の解消、ニュースポーツの普及と健康増進を図る	高齢者でも気軽にできるニュースポーツのため、多くの参加者がある。自治会やサークル、個人など20チームが参加。町内ごとに囲基ボール大会を開催する地区も増えており、囲基ボールが地域で定着してきている。	【総括と今後の方向付け】 地区内での人気が高く、地域住民の交流や健康づくりを目的として今後も継続実施していきたい。	評価					
体育事業	健康講座(体幹トレーニング)	地区費	継続	1	50	50	3,600	3月10日	丸山公民館
	目的 地区住民を対象に、運動の効果と心身の健康について考える機会とする。	テーマは「親子でできる体幹トレーニングを通して、自身の健康について考えよう」というもの。事業の目的を以下の3点とし、体幹トレーニングの体験会を実施した。 ① 筋力増強による健康増進で、日頃の運動不足解消や、骨折不ない・ケガしにくい体づくりを目指す ② 家庭で、親子で、親子でできるような内容にすることにより、「親と子のコミュニケーション力の向上」につなげる ③ 女性目線であれば、体幹トレーニングを行うことで、美しい姿勢を保ち、また美しい身体を維持することにつながる。そのことによって、健康寿命が増進される。	【総括と今後の方向付け】 「自身の健康について考える機会を提供」と「運動不足の解消」の提供により、自分の健康づくりに役立ててもらったために開催されている健康講座である。今年度扱った「体幹トレーニング」については、参加者に大好評だったため、継続していくことも考えたい。 健康福祉委員会・保健師との連携を含めて、今後事業をどうしていくかを体育部会で話し合っていくきたい。	評価					
広報事業	広報まるやまの編集	地区費	継続	4			3,600	4月～3月	丸山公民館
	目的 地区住民を対象に、地区内の話題を伝え地域課題を提起していく	20号(6月)、21号(9月)、22号(12月)、23号(3月)。 まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を行いながら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。	【総括と今後の方向付け】 小中連携一貫教育を行っていることも踏まえ、地域の子どもたちの作文や活動の様子を掲載し、「地域で子どもたちを育てることを意識した内容を連載している。今後、読みやすい紙面づくりを目指し、地域課題に即した内容の記事を提供していく。	評価					
育成事業	スポーツ・文化教室支援事業	地区費	継続	4	180	180	3,600	4月5日、6月25日、2月23日、3月13日	丸山公民館
	目的 子どものスポーツ・文化活動の充実を目的に各教室の連携を深めながら支援していく。	4/5開校式(指導者紹介、スポーツ教室の事業計画についてほか) 3/13開校式(各教室活動発表、修了証の授与ほか) 年2回スポーツ・文化教室指導者・保護者代表打ち合わせ会の実施。 研修会「一般救命講習」の企画・運営 公民館行事への参加の呼びかけ。	【総括と今後の方向付け】 合同で実施する開校式と閉校式は各教室の交流と活動の成果の発表の場になっている。保護者との打ち合わせ会は各教室の情報交換の場となっている。公民館の行事への参加を呼びかけることで教室の参加も得ている。特に武道系で加入教が減っており、他地区と台同の話が出ている教室もあるため今後の動向を見ながら進めたい。	評価					



# 丸山公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	一般救命講習	0円	新規	1	50	50	3,600	7月30日	丸山小学校
	目的	<p>スポーツ教室の子どもたちと保護者、指導者を対象に一般救命講習を実施。「いざという時への備え」として、AEDの操作方法や救急処置の仕方、熱中症対策などを学んだ。実際にAEDなどの操作体験も行った。 講師：小林 正氏(飯田広域消防羽場分署)</p>							
育成事業	お正月飾り教室	市・地	継続	1	40	40	3,600	12月20日	丸山公民館
	目的	<p>日本のお正月の伝統文化であるしめ縄やおやすなどのお正月かざりを地元の方を講師に体験した。親子での参加を呼びかけた。 久保田浩史氏(丸山町3)</p>							
育成事業	水引体験教室	地区費	継続	1	40	40	3,600	7月26日	丸山公民館
	目的	<p>飯田の伝統工芸の水引細工にふれる機会とし、地元の達人を講師に招いて毎年開催。水引の歴史の学習や基本の淡路結びから教わり、ストラップやマグネットなどの小物を作った。家族や親子で水引教室に参加してもらうよう呼びかけをした。 講師：田中秀明氏(丸山町1)</p>							
育成事業	お正月あそび・もちつき体験	市・地	継続	2	230	30	3,600	1/11、1/17	丸山公民館
	目的	<p>お正月の遊びやもちつきなどの伝統文化を地元の方を講師に全館を貸切つて実施。飯田西中学校の生徒を中心とした生徒が1週間前に風作りを地域の講師から教えてもらい、当日参加した小学生や親子に教えた。 講師：風越素佐藤先生(滝の沢)・塩沢知治さん(滝の沢)・中島美幸さん(滝の沢)・篠田啓子さん(丸山1)、豊口拓也さん(丸山4)、酒井美幸さん(白山3東)</p>							
育成事業	みちくさウオーキング	地区費	継続	1	70	70	3,600	3月20日	丸山公民館 ほか
	目的	<p>地元の風越山麓を一周し、途中白山社など文化財を通るコースを設定している。自然や文化財に親しんでもらうとともに、親子のふれあいやスポーツ教室の交流、ウオーキングによる健康づくりにもつなげている。全部会に協力いただく事業。ゴールで豚汁サービスを行う。</p>							
育成事業	地区住民を対象に、地区内の良いところの再発見する機会	<p>【総括と今後の方向付け】 開催時期を春休み中の3月とし大勢の親子が参加している。風越山登山の機会が少なくなっている小学生や中学生にとっても良い機会である。宝探しビンゴなども取り入れ楽しみながら自然にふれる機会であり、継続事業としたい。 今年度も、昨年より委員会を引き続き、「風越山と暮らしを考る講座」の一環としても位置づけ、まちづくり委員会のいたいただいた。健康福祉委員会で「地区ウオーキング事業をやりたいたい」という意見も出ているので、来年度以降は、いかにしてウオーキング事業を広げていくのか、目的はどうするのか、等から広い視野で検討していきたい。</p>							

# 丸山公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	羽場・丸山地区成人式	市・地	継続	1	120	120	180	1月10日	羽場公民館
	<p>新成人を対象に地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめていただくことを目的に実施する。</p>	<p>羽場地区・丸山地区合同で各種団体の代表により実行委員会を組織し、年ごと順番で担当館を持ち回り開催。今年度は羽場公民館長が実行委員長として実施した。新成人からも実行委員を募り6名が企画から当日の運営、思いのアルパム(スライドショー)の作成、祝賀会司会などに関わった。地区独自の記念誌の発行、記念品、獅子舞の祝舞、和太鼓の祝宴など、地域の資源を活かした式典、祝賀会を実施した。また、新成人を対象にしたキャリア教育の後追いアンケートを実施した。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 地区で実施する成人式として、実行委員会の場で地区で成人式を開催する目的を共有し、ねらいを持って成人式、祝賀会として企画したい。また、新成人実行委員の募集時期を早めたが新成人実行委員が集まらず、例年通りのスケジュールとなった。次年度は丸山公民館を会場として実施する。</p>						
その他	丸山小学校かざこしタイム	他会計	継続	5	1,370	274	274	6月～10月	丸山公民館・丸山小学校校地
	<p>丸山小学校と地域の連携を図る。</p>	<p>小学校のクラブ活動(かざこしタイム)を地域の方が講師となって指導する。小学生と地域の方との交流を深め、地域の行事に積極的に参加していく態度や郷土愛の育成につなげる。小学校から講師の希望があったクラブについて公民館が地域の人材を探す役割を行っている。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 地域の方に教わりながら地域のよさを感じてもらい交流もできている。文化祭で作品展示や活動の様子の紹介ができた。地域の負担が大きくなりすぎないよう、学校と事業の目的や意義について、今後も充分な打合せが必要である。</p>						
その他	風越山を愛する会事務局	他会計	継続	14	180	15	3,600	通年	丸山公民館、風越山等
	<p>飯田市のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会を通して、山の魅力を伝える機会をとおして、山の魅力を伝え自然保護の意識を高める。</p>	<p>運営委員会を開催し企画運営。「風のたより」の発行(年数回)。風越山のイラストマップを販売し、飯田市各地の小学校の登山・学習にも使用されている。年間を通して季節折々の登山や元旦登山等を行い、自然観察登山や登山道整備登山、看板整備、登山ガイドなどを行う。また風越登山マラソンや地元神社の祭典、関係イベント等への協力もしている。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 飯田市のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会を通して、山の魅力を伝え自然保護を高める活動を展開している。運営委員会を中心に企画運営を行っている。登山の実施前実施後はホームページを通じてを情報発信している。今後も地域内外の住民に風越山の魅力を感じてもらうための事業を検討していきたい。</p>						
その他	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	40	2,648	96	568	4月～3月	丸山小学校
	<p>地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す。</p>	<p>放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 運営委員会・スタッフ会の開催。 小学校区の羽場・東野地区と合同。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 異学年の児童同士の交流により自主性や協調性を高めることも目的とされている。学期に一度の土日は、流しそらめんとや活動発表等保護者の参観日もかねて実施。各地区文化祭へ子どもたちの作品を展示している。地域のスタッフのもと様々な体験ができています。スタッフは研修会への参加や他地区の視察などを積極的な取り組みをしている。 今後展開される「飯田型コミュニティスクール」の基礎となるモデル事業である。学校・PTA・地域としっかり連携をとりながら今後も展開していきたい。</p>						

# 東野公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	三館合同乳幼児学級(橋北・橋南・東野)	市・地	継続	18	316	16	47	実施内容参照		東野公民館 他
	乳幼児とその保護者を対象に、子ども同士や親子のふれあいの場、親同士の交流の場をつくり、子どもの健全な成長を図る。	市・地	継続	18	316	16	47	【総括と今後の方向付け】 数量的成果(項目名と数値) 参加者アンケート…とても良かった71%、無回答29% 【総括と今後の方向付け】 親子のふれあいや子育ての知識を学ぶ内容が中心となった。親同士の交流、子育てに関する情報交換の場として機能していた。今後も成長段階に応じて必要な内容を提供できるよう、保健師や保育士とともに計画を立て実施していきたい。		東野公民館 他
学級・講座	実 施 内 容	市・地	継続	18	75	8	170	実施内容参照		東野公民館
学級・講座	70歳以上一人暮らしのお年寄りを対象に、健康づくりと交流の場づくりを図る	市費	継続	18	75	8	170	【総括と今後の方向付け】 独居高齢者を対象としているところに特徴があり、会話をしたり運動したりすることで心身ともに健康になるよう繋げた。減少傾向にあるため、民生委員とも連携しながら募集を行い、独居高齢者の生きがいづくりにつなげていきたい。		東野公民館
学級・講座	女性学級「めだかの学校」	市費	継続	11	113	19	1,679	実施内容参照		東野公民館
学級・講座	毎月第2火曜日に開催した。受講生の中から正副学級長を選出し、内容は学級生が自らが考案した。 ①5/12開講式、②6/9囲碁ボール、③7/13研修旅行「富岡製糸場」、④8/4人形劇鑑賞、⑤9/8牛乳パック工作作り、⑥10/13工場見学「天草製菓」、⑦11/10お練りまつりの歴史を学ぶ、⑧笑い与健康、⑨童謡唱歌&演歌に親しむ、⑩2/9保健師の健康講話、⑪開講式	市費	継続	11	113	19	1,679	【総括と今後の方向付け】 参加者に自ら企画してもらうことで、積極的に参加してもらうことができた。他の学級同様に参加者が減少傾向にあるが、自主的に事業運営を行い活発的な事業に向け、参加者自身も周囲に呼びかけ誘い合う等女性らしい発想を地域活動を結び付けられるよう取り組んでいきたい。		東野公民館
学級・講座	地域住民からの要望や時勢に合った内容を設定して開催した。 ①7/5「地震災害から命を守る」講師：後藤武志氏 ②12/27「そば打ち体験」講師：岡井武司氏 ③3/5「大宮諏訪神社の成り立ちとお練りまつりの歴史」講師：竹ノ内雅人氏 ④3/18「家庭ごみの分別 こんにちはん達いっしょ」講師：飯田市環境課 廃棄物対策係	市費	継続	4	120	120	3,127	実施内容参照		東野公民館
学級・講座	小学生高学年以上を対象とし、学校の書初めの手本を元に書道教室を開催した。 講師：前東野公民館長 吉川鎮守氏	市・地	継続	1	15	15	3,127	1月4日		東野公民館
学級・講座	小学生高学年以上を対象に、書道の上達を図る機会を設ける	市・地	継続	1	15	15	3,127	1月4日		東野公民館



# 東野公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	東野文化の路探訪会	市・地	継続	1	15	15	3,127	11月22日	東野地区
	地域住民を对象に、地域を知り地域を元気づける機会を図る	<p>東野地区内に残る歴史素材を見ながら探訪した。                      案内役：元東野公民館文化副部長 平沢忠明氏                      行程：東野公民館→石井虎秋の碑→長蔵堀→ハミングバール→烏山稲荷神社→御建神社→琴平神社→伊原五郎兵衛頌徳碑→東野公民館</p>							
文化事業	地域住民を对象に、高齢者の持つ知恵や技術を次世代に繋げる交流の機会を図る	市・地	継続	1	25	25	3,127	12月13日	東野公民館
	住民を对象に、高齢者の持つ知恵や技術を次世代に繋げる交流の機会を図る	<p>年末年始を迎えるにあたって、お正月飾りを自分の手で作ることに挑戦する機会として開催した。菓子づくりから体験し、縄なひ、飾りの作成までを行った。                      内容：しめ縄、おやす作り                      講師：久保田浩史氏</p>							
文化事業	お正月行事	地区費	継続	1	80	80	3,127	1月17日	東野公民館
	子どもを対象に、昔の遊び・餅つきなどを体験を通じて継承を図る。	<p>近年、各家庭では実施されなくなった百人一首・カルタ・羽根つき・コマまわし等のお正月の遊びや、臼と杵を使ってのお餅つきを子ども達へ体験させる機会として開催した。                      文化部、育成部と健康福祉委員会による共催で実施した。</p>							
体育事業	一般男子ソフトボール大会	地区費	継続	1	120	8チーム	1,448	5月25日～26日	飯田東中学校
	一般男性を対象に、町内外の親睦・交流を図る	<p>町内対抗のチーム編成によるトーナメント戦(8チーム参加)で実施した。                      優勝：鈴加東新 準優勝：宮ノ上</p>							
体育事業	ファミリーバレーボール大会	地区費	継続	1	150	12チーム	3,148	7月6日～8日	飯田東中学校体育館
	地域住民を对象に、スポーツを通じて幅広い世代の交流を図る	<p>子どもから大人まで楽しめるソフトバレーボール大会として、男女比率自由の6人編成のチームによる町内対抗のトーナメント戦で、開催した。                      優勝：鈴加東新 準優勝：宮ノ上</p>							
体育事業	ラーニングソフトボール大会	地区費	継続	1	120	8チーム	3,127	9月9日～10日	飯田東中学校
	一般男女を対象に、町内外の親睦・交流を図る	<p>女性の皆さんも参加できるよう、ラーニングソフトボール大会を実施した。                      優勝：高羽町東 準優勝：高羽町南</p>							

# 東野公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第26回東野区民大運動会	事業区分	継続	1	800	800	3,127	10月4日	飯田東中学校
	目的 地域住民を対象に、運動を通じて親睦を深め、交流し、地域の連帯意識を高める	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 実行委員会が主体的に携わり、スムーズに準備を進めることができた。今後も実行委員会を選出する自治会やまちづくり会議と協力して内容を充実していきたい。	
体育事業	事業名 ワンバウンドふらば〜るバレー大会	事業区分	継続	1	90	90	3,127	10月13日～14日	飯田東中学校
	目的 地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、地区内での交流ができた。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。	
体育事業	事業名 囲碁ボール大会	事業区分	継続	1	80	80	3,127	1月31日	飯田東中学校
	目的 地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、地区内での交流ができた。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施する。	
広報事業	事業名 まちづくり会報「東野」発行	事業区分	継続						
	目的 地域住民を対象に、地域の出来事を伝え、地域の問題を提起し考え、てもらおう機会を図る	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 行事の実施報告だけに終わらないよう常に広報部で確認し合いながら編集することができた。今後も地域課題の発信と共有ができるものとして内容の更なる充実を目指して発行していきたい。	開催会場 東野地区内
広報事業	事業名 ビデオ収録・編集	事業区分	継続						
	目的 地域住民を対象に、活動の記録を残す。	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 東野区民大運動会や東野区民文化祭芸能発表会にいられた方々に向けた当日の様子を伝えることができ、住民間の情報や話題の共有につながっている。	開催会場 東野地区内
育成事業	事業名 親子とのスポーツ交流会	事業区分	継続	1	110	110	3,127	6月7日	浜井場小学校
	目的 親子(園児、小学生・中学生)を対象に、ニュースポーツを通じて交流を図る。	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 町内によってはPTA事業としても位置づけ、大勢の参加があった。日頃は小学校単位で集まることが多い中、地区全体で親子の交流が図れた。今後も、ニュースポーツの普及も兼ねながら、親子誰もが気軽に参加し交流できるものにしていきたい。	

# 東野公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	子どもお楽しみ会	市・地	継続	1	35	35	3,127	9月13日	東野公民館
	外国の文化や食文化を体験する機会を通じて多文化に触れる機会を設け、交流を図る。	市・地	継続	1	35	35	3,127	9月13日	東野公民館
育成事業	実施内容 外国文化を知り、楽しむ機会として開催した。 講師：原レティシヤ氏(飯田フィリピン協会代表) テーマ：「フィリピンのバンブーダンスとおやつを楽しもう！」	市・地	継続	1	35	35	3,127	11月29日	東野公民館
育成事業	実施内容 子どもたちが周囲の人と協力しながら様々なことに挑戦する機会として実施した。 講師：木彫香房夢庵 加納義晴氏 内容：ユカイナを作って吹いてみよう！	市・地	継続	1	35	35	3,127	11月29日	東野公民館
育成事業	実施内容 子どもを対象に、様々な体験をする機会を設ける	市・地	継続	1	60	60	60	3月	東野地区区内
育成事業	実施内容 小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈	地区費	継続	1	60	60	60	3月	東野地区区内
育成事業	実施内容 小学生・中学生卒業生、中学校卒業生へ記念品を贈る。 地区内の小学校卒業生、中学校卒業生の社会活動の清掃の意味を贈る。 出来るように印鑑を贈呈。 対象者数：30名 小学校卒業生：竹ぼうき 対象者数：30名 中学校卒業生：個人印鑑 対象者数：30名	市・地	継続	1	60	60	60	3月	東野地区区内
その他	実施内容 みんなで歩かまいぬざせ1万歩!!	市・地	継続	1	38	38	3,127	11月22日	東野～橋北地区
その他	実施内容 東野地区周辺を自分の足であることで地域再発見ができればと共々、ウォーキングを推進して健康作りのきっかけの一助となるよう実施した。東野の坂に挑戦するコースと文化部長主催の「東野文化の路探訪会」と同時開催で文化の路コースの2コースを設けた。	市・地	継続	1	38	38	3,127	11月22日	東野～橋北地区
その他	実施内容 地域住民を対象に、健康について考える機会を開催する。	市・地	継続	1	38	38	3,127	11月22日	東野～橋北地区
その他	実施内容 数量的成果 (項目名と数値) 参加者アンケート…良かった94%、良くなかった3%、無回答3% 【総括と今後の方向付け】 みんなで歩かまいぬざせ実行委員会を組織し、健康福祉委員会や公民館委員会と連携して運営することができた。住民主体による健康作りと地域再発見のきっかけ作りとして継続していきたい。	市・地	継続	1	38	38	3,127	11月22日	東野～橋北地区
育成事業	実施内容 前年度に東京大学・飯田市公民館共同調査・学習で行った「地域社会への参加に関するアンケート調査」の結果報告会を受け、今年度は地区区内で結果を振り返る学習会を開催した。結果からわかることを参加者同士で共有した。	他会計	新規	4	48	48	3,127	実施内容参照	東野公民館
その他	実施内容 住民を対象に、地域の実現状況と課題について住民同士で話し合い、共に学び合う姿勢を育む	他会計	新規	4	48	48	3,127	実施内容参照	東野公民館

# 東野公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田OIDE長姫高校地域教育	他会計	継続	20	90	9	7	通年	東野地区内
	地域住民や高校生を対象に、多様な人との交流を深めることを目指す。	地域教育の授業時間(毎週5,6時間目)に、巡るコースや販売する品物について生徒と検討して、東野地区内でリアカー一行商を行った。仕入れ先や販売用の野菜の栽培に協力してくれる農園など地域と高校生をつなげた。	【総括と今後の方向付け】 地域において一昨年から継続して高校生がリアカー一行商に取り組んでいることで、地域内の認知度が高まっており、受け入れ態勢も整ってきている。地域と高校生が関わることを通じて「地域のことは次世代が善くしてくれる。」「地域には見守ってくれる大人がいる。」といったような相互に期待を持てるような取組みにしていきたい。	評価					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	オーケストラと友に音楽祭2015コミュニケーションコンサート追手町小学校講堂	他会計	新規	1	266	266	9,226	5月4日	追手町小学校講堂
	地域住民を対象に、身近な場所で音楽に触れる機会を創造する	オーケストラ友に2015実行委員会の協力の下、橋北、橋南、東野地区の3公民館の専門委員が協力し合い実施した。 東中学校吹奏楽部による歓迎演奏、オケ友メンバー4名との合同演奏も行った。	【総括と今後の方向付け】 プロが奏でる音を身近な場所で気軽に楽しめる機会となった。今年は飯田東中学校吹奏楽部が出演し、演奏家と演奏できたり、活躍する場面を住民に観てもらえたりと、生徒にとって貴重な体験となった。今後も演奏家と地区内の学校や音楽系サークルをつなげていきたい。	評価					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	97	97	9,226	7月20日	東野公民館
	地域住民を対象に、身近な場所で音楽を楽しめる機会を図る。	橋北・橋南・東野地区の公民館が共催で開催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力し合い実施した。 演奏者：サクソフォーン四重奏「サクソフォーンカルテット桜」	【総括と今後の方向付け】 身近な場所で音楽を気軽に楽しめる機会となった。今年は飯田東中学校吹奏楽部が出演し、演奏家と演奏できたり、活躍する場面を住民に観てもらえたりと、生徒にとって貴重な体験となった。今後も演奏家と地区内の学校や音楽系サークルをつなげていきたい。	評価					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	家庭教育講演会(羽場・丸山・東野)	市費	継続	1	100	100	3,600	11月27日	丸山小学校
	丸山小学校PTA及び一般を対象に、子育てについて考える機会を設ける。	羽場・東野公民館と共催。 テーマ：「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」 講師：国崎 信江氏(危機管理教育研究所 代表) 全国各地で発生する自然災害、そして子どもを取り巻くネット環境など、大人や子供にも生き抜く力が求められる時代となっている。その中で、国内・海外の被災地で支援活動し、生活者の視点から防災について長年研究してきた国崎氏を招き、防災・防犯に対する事前の対策について、講演いただいた。	【総括と今後の方向付け】 今年度も昨年度に引き続き、学校・PTA・公民館で企画段階から会議を持ち、講師等を決定した。今年度は、「子どもにも、家庭でもできる事前の防災・防犯対策」というテーマで、近い未来に来るかもしれない自然災害に対する対策を家庭で、地域で話し合う良いきっかけとなった。 今後も、学校教育・家庭教育側だけでなく、社会教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。	評価					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式	他会計	継続	1	62	62	95	1月11日	飯田市公民館ほか
	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする。	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会にて計画し実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・地域学習の実施(並木横丁いこいこを中心とした地域開発) ・式典の実施 ・祝賀会の実施	【総括と今後の方向付け】 新成人の実行委員に事前作業等も積極的に参加してもらったほか、当日も主体的に運営に関わってもらったことができた。例年、実行委員の確保に苦労しているの で、前年度の実行委員に協力してもらった等々の成人式以降もつながりが持てる仕組みを作って行きたい。	評価					



# 東野公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)	市・地	継続	1	245	245	9,226	2月13日	追手町小学校
	住民を対象に、身近な課題や話題をテーマにしながら、郷土学習や人権教育、家庭教育の推進を図る	<p>橋北・橋南・東野公民館の三館合同事業として実施した。平成28年の飯田お練りまつりの直前企画として、橋北、橋南、東野地区の参加団体による講演と実演を実施した。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 参加者が飯田お練りまつりに実際に足を運ぶきっかけとする、という位置づけで本講演会を開催した。各団体が歴史、作法などについて講義していただいたので、参加者にとっては本番をただ見て楽しむだけでなく、また違った目線で楽しむことができる機会になった。また、異なる団体間の交流が生まれるきっかけにもなった。</p>							
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室	市・地	継続	40	2,648	96	568	4月～3月	丸山小学校
	丸山小学校児童を対象に、放課後の安全な居場所づくりを目指す。	<p>放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。</p> <p>活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。</p> <p>運営委員会・スタッフ会の開催。</p> <p>小学学区の羽場・東野地区と合同。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 異学年の児童同士の交流により自主性や協調性を高めることも目的とされている。学期に一度の土日は、流しそうめんや活動発表等保護者の参観日もかねて実施。各地区文化祭へ子どもたちの作品を展示している。地域のスタッフのもと様々な体験ができています。スタッフは研修会への参加や他地区の視察などを積極的な取り組みをしている。</p> <p>今後展開される「飯田型コミュニケーション」の基礎となるモデル事業である。学校・PTA・地域としっかり連携をとりながら今後も展開していきたい。</p>							

# 座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひよよ学級	市・地	継続	18	396	22	43	実施内容参照	座光寺公民館
学級・講座	0～1歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	市・地	継続	18	396	22	43	【総括と今後の方向付け】 親とふれあいを深める内容で積極的に参加に繋がった。「孤独な育児」を少しでも減らせるような活動に繋がっていると感じるが、「悩める育児」へのアプローチが不足しているため、楽しむだけでなく学習的な要素を今後には取り入れる必要がある。	座光寺公民館
学級・講座	2歳児学級	市・地	継続	17	238	14	39	【総括と今後の方向付け】 親子のふれあいを深める内容で積極的に参加に繋がった。「孤独な育児」を少しでも減らせるような活動に繋がっていると感じるが、「悩める育児」へのアプローチが不足しているため、楽しむだけでなく学習的な要素を今後には取り入れる必要がある。	座光寺公民館
学級・講座	2歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	市・地	継続	17	238	14	39	【総括と今後の方向付け】 親子のふれあいを深める内容で積極的に参加に繋がった。「孤独な育児」を少しでも減らせるような活動に繋がっていると感じるが、「悩める育児」へのアプローチが不足しているため、楽しむだけでなく学習的な要素を今後には取り入れる必要がある。	座光寺公民館
学級・講座	アンパンマンの会	市・地	継続	18	198	11	45	【総括と今後の方向付け】 次年度の園生活が円滑にスタートできるように、開催の半分は公民館、残りの半分は保育園の開放日に合わせて保育園で行った。活動は親子で楽しむものが多いが、楽しむ中にも学習の要素を取り込み行うことで母親の意識啓発を促していると感じる。	座光寺公民館・保育園
学級・講座	3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	市・地	継続	18	198	11	45	【総括と今後の方向付け】 次年度の園生活が円滑にスタートできるように、開催の半分は公民館、残りの半分は保育園の開放日に合わせて保育園で行った。活動は親子で楽しむものが多いが、楽しむ中にも学習の要素を取り込み行うことで母親の意識啓発を促していると感じる。	座光寺公民館・保育園
学級・講座	麻績いきいき大学	市・地	継続	5	118	58	4,520	【総括と今後の方向付け】 各学部は、参加者による自主運営により随時開催されその活動が高齢者のやりがいとなっている。年4回の教養講座については、参加者の中から選出される運営委員が主体となっており、今年度は「満蒙開拓平和記念館」から「ニュースポーツ」まで、幅広い内容で講座が開かれた。学生の高齢化が目立ってきているため、今後も引き続き、幅広い年齢層に呼びかけていくことが必要である。	実施内容参照
学級・講座	高年齢者の生涯学習推進を目的に「ともしび」ともに成長する」場とする。	市・地	継続	5	118	58	4,520	【総括と今後の方向付け】 各学部は、参加者による自主運営により随時開催されその活動が高齢者のやりがいとなっている。年4回の教養講座については、参加者の中から選出される運営委員が主体となっており、今年度は「満蒙開拓平和記念館」から「ニュースポーツ」まで、幅広い内容で講座が開かれた。学生の高齢化が目立ってきているため、今後も引き続き、幅広い年齢層に呼びかけていくことが必要である。	実施内容参照
学級・講座	研修旅行	市・地	継続	5	118	58	4,520	研修旅行 9/11開催。研修先：焼津「大覚寺全珠院」ほか 参加者：20名	実施内容参照

# 座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	子育て応援講座	市・地	新規	2	26	13	127	【総括と今後の方向付け】 地域の女性参加が少ないという課題に対して、女性の地域デビューを最終的な目的として3年目となる。今年も子育ての悩みを切り口に、粘り強く今度の参加を求めていることややりたいことをアンケートし、講座を開催した。多くの参加をいただいた。当初3回の講座を予定していたが、講師との日程調整の結果、2回となった。今後も女性の地域デビューという大きな目標を見据えつつ、子育て応援や悩み相談の中から少しずつ着実に講座を展開していきたい。今後も乳幼児学級も含めて内容を再検討し、少しでも悩みが解消できるような努める必要がある。		座光寺公民館
	子育て世代の保護者を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく子育て支援グループの策定を図る	現在母親が抱えている悩みや課題を解決するための講座を3回(9月・11月・3月)開催する。0歳～3歳の子を持つ母親全員を対象に乳幼児学級等で周知を図り実施。 第1弾 12/9 お母さんのためのヨガストレッチ講座 ～体をほぐしてリフレッシュ！～ 講師：宮澤恵子 会場：座光寺公民館 参加者：13名 第2弾 3/9 お母さんのためのヨガストレッチ講座vol.2 ～体も心もリフレッシュ！～ 講師：宮澤恵子 会場：座光寺公民館 参加者：17名								
学級・講座	座光寺小学校科学実験教室	予算区分 地区費	事業区分 新規	開催回数 1	のべ参加数 120	1回参加・登録数 120	126	【総括と今後の方向付け】 今年度初めての取り組みとして行った。ここ数年、子ども科学教室でのロケット作成になかなか参加が得られないことと、小学校側の地域と連携した授業をしたという要望から、小学校の授業のなかで実験教室をやろうということになり実現した。小学校主催で、公民館では実験費用の補助と当日の子どものサポートを健全育成部の有志で担当した。当日は実験に参加した児童からアンコールの声が上がった。今後の盛り上がりがあった。来年度も学校との連携をしながら、事業の展開を検討したい。	12月8日	座光寺小学校
	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	小学校6年生を対象に「モデルロケット作成と打上げ」、3年生を対象に「超低温の不思議な世界」、2年生を対象に「空気の実験」を行った。それぞれの実験に公民館健全育成部の部員がスタッフとして補助に入り、教室を行った。 主催：座光寺小学校 共催：座光寺公民館 講師：おもしろ科学工房								
文化事業	座光寺人形劇まつり	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 1	のべ参加数 515	1回参加・登録数 515	4,520	【総括と今後の方向付け】 今年度から座光寺公民館に会場を統一して実施。今年もロケーションを組み4劇団の連続公演を実施することができた。また、4劇団全部の人形劇を見て欲しい、この会場で1日楽しんで欲しいという思いから、「リレー公演！ポイント稼いでお宝GET！」を実施した。そのほか、誰でも利用可能な交流スペースを設け、ホットドッグや果物等を無料提供、公民館前での屋台設置などを行った。	8月8日	座光寺公民館
	座光寺地域住民を対象に人形劇を通じて文化振興を図る。	昨年度から座光寺公民館に会場を統一して実施。今年もロケーションを組み4劇団の連続公演を実施することができた。また、4劇団全部の人形劇を見て欲しい、この会場で1日楽しんで欲しいという思いから、「リレー公演！ポイント稼いでお宝GET！」を実施した。そのほか、誰でも利用可能な交流スペースを設け、ホットドッグや果物等を無料提供、公民館前での屋台設置などを行った。								
文化事業	座光寺地域文化祭	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 1	のべ参加数 800	1回参加・登録数 800	4,520	【総括と今後の方向付け】 文化祭を個人や団体の成果発表の場として考えると、地域で活動している個人や団体の展示や芸能発表者が減少している。一部の展示会場には昨年から個人が訪れないという声も出た。また、地域づくりフォーラムの参加人数は昨年より増えたもののまだ少ないように感じる。地区への周知の仕方を工夫を検討する必要がある。しかし、今年も女子高の参加が多く、芸能発表に2団体の参加があり会場を盛り上げた。さらに、今年も初めて風越高校書道部の参加もあり、若いみなさんのエネルギーが伝わった。結果として、2日間を通じてここ数年のなかでも参加者の多い文化祭となった。文化祭の目的をどこに設定して開催するかを次年度の課題として検討したい。	2月6日、2月7日	座光寺公民館及び周辺施設
	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る	地域の皆でつくる地域最大の文化の祭典として位置づけ、多彩な催しを計画。 【ふるさとコンサート】小・中・女子高吹奏楽部、女性三味線グループ「和心三味線 弦」 【風越高校書道部パフォーマンス】今回新企画 【各種団体展示】個人団体各種ブースを設置 【芸能発表】コーラス、ダンス、大正琴、太鼓等15団体が発表 【竹田人形館活用事業】小学校4年元氣組・竹田人形座竹の子会公演、座光寺地域写真展 【各種イベント】地域づくりフォーラム、麻績の里種まき大賞授賞式、水辺の広場大賞表彰式、消防ふれあい広場、足裏ゴビエ・乳がん触診体験、古本市、小学校学習発表会、福祉バザー、もちつき体験、恒川官衙遺跡保存活用計画説明・講演会、みそ汁無料提供、チャレンジ号体験、中夜祭など								



# 座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツ講習会	地区費	継続	1	35	1	35	35	35	94	6月21日	小学校体育館・校庭
	実施内容											
	目的											
	内容											
	目的											
	内容											
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夜間バタックリーグ	地区費	継続	4	480	4	480	120	120	4,520	実施内容参照	小学校校庭
	実施内容											
	目的											
	内容											
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	座光寺盆野球大会	地区費	継続	1	60	1	60	60	60	4,520	8月16日	小学校校庭
	実施内容											
	目的											
	内容											
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	座光寺地域市民運動会	地区費	継続	1	1,500	1	1,500	1,500	1,500	4,520	10月11日	小学校校庭
	実施内容											
	目的											
	内容											
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区スポーツ交流月間	地区費	継続	1	500	1	500	500	500	4,520	実施内容参照	各地区
	実施内容											
	目的											
	内容											

# 座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季ソフトバレーボール大会	継続	地区費	継続	1	300	300	4,520	3月6日	小学校体育館
	あまり体を動かさない児童・青少年の体力増進と地域の親睦、交流を図る	継続	地区費	継続	1	300	300	4,520	3月6日	小学校体育館
実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      今年度は13チームの参加のもと開催できた。女性が多く参加できる大会になっている。今後も地区の交流のために開催していきたい。</p>									
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報座光寺	継続	地区費	継続	12	168	14	4,520	実施内容参照	地区内
	公民館事業に限らず地域全体の事業や取組みの紹介、座光寺に残っている遺跡や資源の説明を主に掲載。全戸配付 1700部発行 ◇年4発行(6月、9月、12月、3月)	継続	地区費	継続	12	168	14	4,520	実施内容参照	地区内
実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      地域活動の記録という側面もあるが、今後自分たちの地域はどうかあるべきかなど                      の投げかけや、依頼記事ばかりでなく編集側の気持ちの入った取材記事を積極的に                      発信していくことが必要である。次年度も読みやすく興味をひく広報編集に力を                      入れ、大勢の人に見てもらえるようにしていきたい。</p>									
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報座光寺お知らせ版	継続	地区費	継続	12	168	14	4,520	実施内容参照	地区内
	座光寺の次月の予定をお知らせ版として集約し配布することで、情報の一本化だけでなく資源削減を図る。	継続	地区費	継続	12	168	14	4,520	実施内容参照	地区内
実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      毎月末に座光寺全体の次月の予定と、年4回発行の広報座光寺では記事に載らないものを紹介。全戸配付 1700部発行</p>									
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 子ども桜ガイド	新規	市・地	新規	5	79	20	485	実施内容参照	実施内容参照
	座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」の学習を子ども達が行い、桜の観光者にガイドすること、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	新規	市・地	新規	5	79	20	485	実施内容参照	実施内容参照
実施内容	<p>座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意識化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらおうと、参加者内で先生・生徒・生徒の関係を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。                      学習会 3/22 会場:大会議室                      内容:「舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師:小林正明                      手作り案内看板作製 3/30 会場:座光寺公民館                      ガイド期間 4/4、4/11～12 会場:舞台桜前</p>									
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 お茶摘み体験学習	新規	市費	新規	1	36	36	4,520	5月24日	実施内容参照
	お茶摘み体験を通して、地域の農産物の一つであるお茶の摘み方と加工方法を学びお茶摘み作業を継承するとともに、農業の素晴らしさを知り農業への関心を持たせる。	新規	市費	新規	1	36	36	4,520	5月24日	実施内容参照
実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】                      昨年度から麻績の里体験学校として新たに追加した。普段何気なく目にしていたお茶の葉を摘んで、そこからお茶を作り飲むという経験は、子どもたちにとっても新鮮で興味深い体験だったように感じる。また、今年度はこの教室に先立って座光寺小学校5年生のお茶摘み事業が行われた。健全育成部から6名が講師として参加した。まず小学校の授業で取り組み、そこで関心を持った児童がさらに体験教室に参加してレベルアップを目指すという良い流れができた。</p>									

# 座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 ホタルを見る会	市・地	継続	1	39	39	4,520	6月20日	中河原会所及び周辺
	目的 子どもたちを対象にほたるの観察会を行い、地域の人々や地域内外の様々な人々との交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	座光寺のほたる分布状況、環境による繁殖状況の違いやほたるの生態を学習した。共催団体水辺の広場委員会のホタル保護や地域の資源を活用した活動についても学習し、終了後に現地でもホタル観察を行った。講師：小林正明、水辺の広場委員会 会場：中河原会所 参加者：子ども22名、保護者17名	【総括と今後の方向付け】 ホタルの繁殖変化や生態を学習することで、環境に対する意識を高めることができ、また、地域の講師やほたるの繁殖活動を行っている団体と共催することで、地域活動としてホタルの保護・繁殖を行っていることを知る機会にもつながった。今年は無事にホタルが現れ、子どもたちは実際にホタルを観察でき、良い体験ができたと感じる。	評価					
育成事業	麻績の里体験学校 水辺の広場で遊ぶ	地区費	継続	1	156	156	485	7月19日	水辺の広場
	目的 子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人々との交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	水辺の広場委員会と共催で実施。午前中は水生生物学習会、飯盒体験、午後は魚釣り体験、流しそうめん、川遊びを行った。また、小さな子供たちには小プールの用意し金魚のつかみどりをした。昼食に飯盒で炊いた米を力レーライスにして食べた。講師：中村貴俊 先生(かわらんべ) 参加：子ども73名 大人42名	【総括と今後の方向付け】 水辺の広場委員会との合同会議を事前に重ねることで、お互いの開催目的や企画内容を協議したうえで開催した。健全育成部としては、午前中に水生生物学習会を行った。その結果、今年さらにはさらに企画が充実し、昨年以上に多くの子ども達が参加し楽しんだ。来年度も、子どもにも「何のため」「どのような体験」を提供するのか検討していきたい。	評価					
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会	地区費	継続	1			4,520	7月25日	座光寺小学校体育館・校庭
	目的 星空観察を通じて、科学に興味を持ち、宇宙に関心を持つ。また、将来の夢を与える。また、星空が見える自然環境の素晴らしさを実感し、自然を守る心を育てる。	星空観察を通じて、科学に興味を持ち、宇宙に関心を持つ。また、将来の夢を与える。また、星空が見える自然環境の素晴らしさを実感し、自然を守る心を育てる。講師：奥村茂実 1回目：7月25日 木星・土星・月・夏の星座の観察を行った。校庭に寝そべて、星を観察しながら星座(ペルセウス流星群など)にまつわる話を聞いた。参加者：子ども14名 大人6名 2回目：2月27日 当日曇りのため中止	【総括と今後の方向付け】 昨年度から麻績の里体験学校として新たに追加した。天候の影響を直接受けず、また企画のため、期待した通りに実施することが難しいが、子どもには非常に人気の高い企画となった。今後も開催を検討していきたい。	評価					
育成事業	麻績の里体験学校 子ども科学教室	市・地	継続	1	42	42	485	11月21日	座光寺公民館
	目的 子どもたちを対象に科学教室を行い、身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人々との交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	「光と水のひみつを探ろう！」 ①光の色が変わるパルーンスライムと5色に光るビーズのストラップ作り ②一緒に作って食べてみよう！色が変わる魔法のつけめんとホットケーキ！ 指導者：湯澤眞理子 先生(飯田環境センター 桐林リサイクルセンター職員) 参加：子ども29名 大人13名	【総括と今後の方向付け】 昨年度までおもしろ科学工房を招いて科学サイエンスショーやおもしろ工作などの企画で、非常に充実した体験を行ってきたが、参加者の減少傾向は続いてきた。今年度は、内容を大きく変更して桐林リサイクルセンターから講師を呼び、小学生と保育園児の親子を対象にふたつの実験を行った。結果として、多くの参加を得られ有意義な教室となった。	評価					
育成事業	麻績の里体験学校 まとめの会	地区費	継続	1	18	18	485	1月17日	座光寺公民館
	目的 体験学校参加者を対象に一年間の体験の感想をもらい、次年度への展開につなげる。	体験学校参加者に集まってもらい、写真のスライドショーを見ながら一年間の活動を振り返り、反省や感想を出し合ってもらい、次年度への事業展開につなげていく。その際、併せて行った。参加：子ども15名 大人3名	【総括と今後の方向付け】 昨年度から、会場を小学校から公民館に移し、同様の開催とした。体験学校の振り返りをスライドショーで行うだけでなく、体験時の写真を模造紙に張り感想発表を行った。併せて豚汁とおにぎり作りを行った。	評価					

# 座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 ふるさと探検	市・地	新規	1	21	21	485	9月13日	座光寺公民館	
	子どもを対象に座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む	地域の歴史・文化・自然を学ぶ機会を提供して開催。今年度は「南本城跡の学習と五平餅作り体験」というテーマで実施した。南本城城跡を歩いて、とりでの作りと歴史を学習したり、植物を観察した。その後、五平餅をみんなで作って食べた。	市・地	新規	1	21	21	485	9月13日	座光寺公民館
育成事業	麻績の里体験学校 キノコを育ててみよう	地区費	新規	1	50	50	4,520	実施内容参照	座光寺公民館	
	子どもたちを対象に山林体験を行い、地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	地域の人材や資源を生かした様々な体験活動の場として里山体験を開催。身近にある自然の知らないことや普段体験できないことを子どもや親に体験してもらった。実施内容参照	地区費	新規	1	50	50	4,520	実施内容参照	座光寺公民館
その他	座光寺地域づくりフォーラム	地区費	継続	1	50	50	4,520	実施内容参照	座光寺公民館	
	地区住民を対象に、地域の現状と課題を出し合い、より良くするにはどのようにすべきか学習する。	地域課題に対して地域全体で取組めるよう「考える」「実行する」につながる事業展開を検討して開催。今年度、はフォーラム実行委員会が企画・運営を行う。	地区費	継続	1	50	50	4,520	実施内容参照	座光寺公民館
その他	公民館女性委員の会	地区費	継続	3	40	27	27	実施内容参照	座光寺公民館	
	女性の柔らかな視点で地域を見つめて、想いや願いを語り合うことで、共通の意識や新たな認識を共有し合いたい。	公民館に所属する女性委員が集まり、女性ならではの柔らかな目線で地域を知り、これからの地域の在り方を考える場として開催。	地区費	継続	3	40	27	27	実施内容参照	座光寺公民館
その他	座光寺の子どもを語る会推進委員会	地区費	継続	3	60	28	28	5月28日 9月30日 3月25日	座光寺公民館	
	座光寺の子どもを語る会推進委員会	地区費	継続	3	60	28	28	5月28日 9月30日 3月25日	座光寺公民館	
その他	座光寺の子どもを語る会	地区費	継続	1	80	80	4,520	10月22日	座光寺小学校	
	座光寺の子どもを語る会	地区費	継続	1	80	80	4,520	10月22日	座光寺小学校	
その他	座光寺の子どもを語る会	地区費	継続	1	80	80	4,520	10月22日	座光寺小学校	
	座光寺の子どもを語る会	地区費	継続	1	80	80	4,520	10月22日	座光寺小学校	



# 松尾公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級	市・地	継続	22	590	85	141	5月7日～3月10日	松尾公民館他
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>1歳児とその保護者を対象に、親子でのふれあい遊び、成長の記録～手型・足型～、歯、食事に関する話など                      開催間隔：1歳児を2学級に分け、各学級毎月1回実施                      場所：松尾公民館他                      運営：保健師、担当保育士主導</p>							
学級・講座	2歳児学級	市・地	継続	15	288	54	146	5月20日～3月9日	松尾公民館他
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>2歳児を持つ親を対象に、親同士の交流、親子のふれあい、子供の集団意識の育成を図る                      開催間隔：2歳児を途中で2学級に分け、毎月1回実施                      場所：松尾公民館他                      運営：保健師、担当保育士主導</p>							
学級・講座	3歳児学級	市・地	継続	11	219	37	143	5月13日～3月2日	松尾公民館他
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>3歳児を持つ親を対象に、親同士の交流、親子のふれあい、子供の集団意識の育成を図る                      開催間隔：毎月1回実施                      場所：松尾公民館他                      運営：保健師、担当保育士主導</p>							
学級・講座	親子パン作り教室	市・地	継続	1	48	48	143	2月3日	松尾公民館
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>幼児とその親を対象に、料理の楽しさを知るとともに食事への関心向上を図る                      内容：パン作り                      講師：三浦宏子さん(八幡町在住)</p>							
学級・講座	松尾探検隊	市・地	継続	1	20	20	13,059	10月31日	松尾地区内
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>住民を対象に、地域の史跡、文化、自然の知識向上と、愛着心の向上を図る                      内容：妙前・大石古墳群を巡ると題し、講師の説明を受けながら地区内にある古墳群を巡りながら歩き、普段何気なく生活している場所に古墳があることを知った。                      講師：松尾史学会 秦野善彦会長</p>							
学級・講座	探勝会	地区費	継続	2	46	27	13,059	6月26日、11月7日	岐阜、上田
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>住民を対象に芸術・文化・歴史に触れ、文化意識の向上を図る                      内容：6月26日 岐阜城、岐阜歴史博物館                      11月7日 海野宿、上田城、真田邸他</p>							

## 松尾公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	遊休農地活用事業「味噌作り講座」	地区費	新規	10	140	35	13,059	5月18日～2月20日	松尾明の遊休農地他
	目的 地域住民を対象に、 農業、食事への関心の 向上を図る	【総括と今後の方向付け】 昨年度まで行っていた「まけるな農園」は、参加者数の減少や当初の目的が達成されたこともあり、事業の終了を迎えた。そこで、今年度新たに「味噌作り講座」を開催し、スタッフを公募し、公民館の講座として行った。スタッフ・参加者併せて35名の応募があり、積極的に講座に参加していただいた。今まで公民館活動にあまに関わってこられなかった方もおり、新たな展開を見ることができた。関係者と協議していく中で、来年度どのように進めていくか検討していく必要がある。							
学級・講座	ラフティング体験教室	予算区分 地区費	事業区分 継続	開催回数 1	のべ参加数 23	1回参加・登録数 23	対象数 13,059	開催期日 7月18日	開催会場 天竜川
	目的 住民(特に小学生親子)を対象に、体験を通じて天竜川や周辺環境への意識向上を図る	【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き、今年度も企画したが、荒天・川の増水により中止となった。しかし、参加申し込み者は23名おり、人気が高い事業と感じている。ラフティング体験だけでなく、天竜川の環境についても学習することもできる貴重な機会である。中止で残念という申し込み者からの意見もあり、次年度も引き続き学習機会の提供を考えていきたい。							
学級・講座	日文化交流会	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 1	のべ参加数 80	1回参加・登録数 80	対象数 905	開催期日 1月31日	開催会場 常盤台集会所
	目的 地区在住の中国籍、日本籍住民を対象に、相互理解と交流の深まりを図る	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き開催した。今年度は、食文化による交流のほか、特殊詐欺やマイナンバー制度の学習会も行った。交流の要素はもろろん必要だが、学習テーマを取り上げることで、少しでも互いが住みやすくなる環境を作ることも必要である。事前に公民館と常盤台区で協議を重ね、当日は日本と中国の方との交流が図られ、友好的な雰囲気をつくることができた。来年度も常盤台区と協議しながら、内容を検討し、より充実した交流会にしていきたい。							
学級・講座	歴史を学ぶ講座	予算区分 市費	事業区分 新規	開催回数 1	のべ参加数 16	1回参加・登録数 16	対象数 13,059	開催期日 8月30日	開催会場 満蒙開拓平和記念館
	目的 地区住民を対象に、満蒙開拓の歴史を知り、平和の尊さを学ぶとともに周りの方へ目を向ける機会とする	【総括と今後の方向付け】 今年度初めて実施した。満蒙開拓平和記念館を訪れ、満蒙開拓の事実や、そこに関わった人の思いなどを学習することができた。満蒙開拓は決して他人事ではなく、松尾地区からも大勢の方が関わったことに驚きの声が続出した。より身近な問題として、内容を検討しながら実施していきたい。							
学級・講座	松尾サイエンススクール	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 13	のべ参加数 723	1回参加・登録数 130	対象数 13,059	開催期日 4月15日～3月5日	開催会場 松尾ミニ体育館他
	目的 住民(特に小中学生)を対象に、科学に対する興味や関心向上を図る	【総括と今後の方向付け】 今年度も分館への出張スクールも行われ、活動が地区内全域に広がっている。スタッフも前向きに取り組み、積極的に若い方をスタッフに勧誘し、継続的な活動を可能にしている。また、松尾サイエンスにとどまらず、地域活動の担い手育成にもつながっている。来年度についてもスタッフ主体で計画し、公民館がサポートするよう体制で活動していきたい。							

# 松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	男踊り教室	市・地	24	168	9	13,059	4月9日～3月24日	松尾公民館他
	実施内容 住民を対象に、運動不足の解消と共通の趣味をもつ仲間作りを図る	内容: 男踊り(佐渡おけさ、武田節) 踊ってみよう会、文化祭芸能発表会に出演 講師: 池田悠貴鳳氏	【総括と今後の方向付け】 新たな参加者も加入し、年間を通じて踊りの技術を高めるとともに参加者の交流を深めることができた。文化祭や踊ってみよう会の参加により、地区内への周知が図られ参加者が増加するよう考えていきたい。来年度も初心者が踊りを始めるきっかけとして教室を開催していきたい。					
学級・講座	地域いきいきセミナー	市・地	5	200	40	13,059	5月17日、6月18日、6月27日、12月5日、1	開催会場 毛賀区民会館他
	実施内容 分館単位の住民を対象に、分館活動の活性化を図る	内容: ワイン講座(久井・5/17、寺所・1/17) 講師: 妻島泰彦 茶臼山高原の自然(代田・6/18) 講師: 熊谷聖秀 楽しく聞ける交通安全教室(毛賀・6/27) 講師: 飯田警察署松尾駐在・喬木駐在 生涯スポーツのすすめ(新井・12/5) 講師: 康野公則	【総括と今後の方向付け】 松尾公民館と分館の共催で行われ、分館活動の活性化に繋がっている。来年度も分館活動の活性化に繋がるような形態で実施していきたい。					
学級・講座	水引教室	市・地	1	140	140	140	3月9日	開催会場 松尾公民館
	実施内容 松尾小学校4年生を対象に郷土の伝統芸能の学習、体験を通じて、郷土産業への関心向上を図る	内容: 小学校4年生による水引細工の作成(淡路結びのしおり) 講師: 飯田水引協同組合	【総括と今後の方向付け】 今年度も小学校の地元産業を学ぶ授業のきっかけとして開催した。小学生、担任の先生からは非常に好評であり、地元産業を知ってもらうきっかけにもなっており、来年度以降も引き続き開催していきたい。					
文化事業	親子映画鑑賞会	地区費	1	310	310	13,059	7月4日	開催会場 松尾公民館
	実施内容 親子を対象に、コミュニケーションの機会増加を図る	作品: サミーとジェリー七つの海の大冒険 内容: 感動アニメ映画 運営: 文化委員会	【総括と今後の方向付け】 大変満足: 77%、満足: 17%、普通: 6%、やや物足りない: 0%、物足らない: 0%、物足りない: 0% 数量的成果(項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 今年度も文化委員と内容をしっかり検討し、選定した。当日は、多くの親子連れが来場し、初夏の文化事業として定着してきた。来年度も内容を吟味して実施していきたい。					
文化事業	第13回松尾踊ってみよう会	市・地	1	90	90	13,059	12月6日	開催会場 松尾公民館
	実施内容 住民を対象に、相互の踊りを見て演じることに よる一層の技術向上を図る	内容: 舞踊、ダンス等様々な踊りに関する団体の発表会 運営: 出演団体による実行委員会、当日運営には文化委員会が協力 参加: 6団体、2個人	【総括と今後の方向付け】 参加団体の当番制でプログラム編成等を行っている。当日は文化委員会の協力を得て開催している。参加者からは好評である。ただし、文化芸能発表会との区別がはっきりしておらず、その部分も検討しながら、来年度も開催していきたい。					
文化事業	松尾地区成人式	市・地	1	120	120	209	1月10日	開催会場 松尾公民館他
	実施内容 新成人を対象に、式の企画・郷土の学習を通じて地元への愛着心の向上を図る	内容: 地域学習(鳩ヶ嶺八幡宮の調査・取材を通しての地域学習) 式典(両壁太鼓祝打ち、主催者あいさつ、祝辞、成人代表あいさつ等) 祝賀会(新成人実行委員会による企画、進行) 運営: 新成人実行委員、文化委員会 場所: 松尾公民館、シルクホテル	【総括と今後の方向付け】 新成人が主体的に計画し、当日は文化委員会の協力を得て運営されている。しかし、実行委員が少ないこともあり、新成人だけの計画では限界がある。来年度は文化委員会役員にも加わってもらい、松尾ならではの地域学習、成人式が行えるようにしていきたい。					

# 松尾公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	松尾地区文化祭	地区費	継続	1	1,300	1,300	13,059	2月6日～2月7日	松尾公民館
	目的 住民を対象に、芸能発表や文化展を通じて、住民相互の交流を図る	内容：文化展、芸能発表、鈴木照雄氏講演会、ふれあい子ども広場、チャイルドシント無償提供、歩行環境シミュレーター体験、テックレンジャーショー、松尾の食文化を訪ねる等 運営：文化委員会（主催：松尾まちづくり委員会） 協力：松尾小学校、緑ヶ丘中学校、婦人会、消防団、食生活改善推進協議会、育成会	評価	【総括と今後の方向付け】 今年度はOIDE長姫高校のテックレンジャーショーや元プロ野球スカウトの鈴木照雄氏の講演会を行い、子どもから高齢者まで多くの年代が集える文化祭を実施した。緑ヶ丘中生徒の実行委員も募り、芸能発表会の進行を務めていただくなど若い世代の文化祭への参加を促進することができた。芸能発表会は参加団体が増え、現状では長すぎるといった意見があるので、どのような方法が適切か検討していきたい。					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015	他会計	継続	5	629	207	13,059	8月7日～8月9日	松尾公民館他
	目的 住民を対象に、人形劇を通じて芸術の意識向上を図る	会場：松尾公民館、新井コミュニティ消防センター、清水分館、毛賀分館、上溝分館 運営：文化委員会、新井分館、清水分館、毛賀分館、上溝分館 上演劇団：Bタイプ2劇団、Cタイプ5劇団	評価	【総括と今後の方向付け】 各会場とも工夫をし、主体的に運営がなされている。また、地区住民、劇人との交流も行われている。しかし、会場数が増えない現状がある。アンケートでも地区内での公演を希望している声があることから、来年度は上演会場数を1会場でも増やしたい。					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	松尾地区市民運動会	地区費	継続				13,059	10月11日	松尾小学校校庭
	目的 住民を対象に、軽スポーツを通じて、交流と親睦、分館内の連帯意識向上を図る	内容：分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポーツ他 運営：体育委員会（主催：松尾まちづくり委員会） 協力：松尾地区文化体育振興会 ※今年度は雨天により中止	評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は、競技性よりも参加者が楽しめるように、また昔の種目を取り入れられるなど種目内容の変更を行った。運動会に至るまで協議を重ねたが、当日は雨天のため中止という残念な結果だった。多くの住民が一堂に会する事業なので、来年度以降も改善をしながら実施していきたい。					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツ講習会	市・地	継続	1	101	101	150	5月10日	松尾小学校体育館
	目的 公民館役員を対象に、ニュースポーツ普及と分館相互の情報交換を図る	内容：ニュースポーツの体験会（囲碁ボール、キンボール、ペタンク） 講師：スポーツ推進委員、ニュースポーツ普及員 場所：松尾小学校体育館・校庭	評価	【総括と今後の方向付け】 公民館役員の多くが交代し、各種ニュースポーツを学習し、楽しむ機会となった。ペタンクや囲碁ボールは継続して取り組んでいるが、まだまだ浸透きれていない。気軽に実施できるニュースポーツを分館行事でも取り入れられるように、来年度も実施種目を体育委員と検討していきたい。					
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗ニュースポーツ大会	地区費	継続	1	400	400	13,059	6月21日	松尾小、松尾公民館
	目的 住民を対象に、運動機会の提供とニュースポーツ振興を図る	内容：分館対抗によるニュースポーツ大会（ペタンク、囲碁ボール、キンボール） 運営：体育委員会 結果：総合優勝 城分館、準優勝 久井分館、第3位 明分館	評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は、雨天のためペタンクが中止となってしまったが、他の2種目は大変盛り上がりがあった。特に2年目を迎えたキンボールは、試合のレベルが上がっていき、地区内へのニュースポーツの普及を図りたい。来年はより多くの住民がニュースポーツに触れることができるように実施種目と検討しながら実施していきたい。					



# 下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ほっかぼか(いちごグループ 0・1歳)	市・地	継続	11	110	110	22	45	実施内容参照	下久堅公民館
	<p>0・1歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る</p> <p>【開催概要】</p> <p>①5/27 開講式・手形足形作り・図書館紹介                  ②6/16 ふれあい遊び                  ③7/7 簡単おもちゃ作り                  ④8/4 人形劇鑑賞                  ⑤9/15 ベヒーモツサージ                  ⑥10/20 プチ遠足</p> <p>⑦11/17 簡単おやつ作り                  ⑧12/3 合同クリスマス会                  ⑨1/25 親子ふれあい遊び                  ⑩2/16 歯科衛生士の話                  ⑪3/15 閉講式・手形足形作り</p>	市・地	継続	11	110	110	22	45	実施内容参照	下久堅公民館
学級・講座	乳幼児学級ほっかぼか(あひるグループ 2・3歳)	市・地	継続	12	148	148	25	60	実施内容参照	下久堅公民館
	<p>2・3歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る</p> <p>【開催概要】</p> <p>①5/20 開講式・親子遊び                  ②6/12 電車で遠足に行こう                  ③7/17 保育園で水遊び                  ④8/4 人形劇鑑賞                  ⑤9/11 スライムづくり                  ⑥10/16 プチ遠足</p> <p>⑦10/22 おやつ作り                  ⑧11/10 やきいも大会                  ⑨12/3 クリスマス会                  ⑩1/20 おやこ遊び                  ⑪2/24 いちご狩り                  ⑫3/9 閉講式・手形足形</p>	市・地	継続	12	148	148	25	60	実施内容参照	下久堅公民館
学級・講座	親子体験学習	市・地	継続	1	320	320	320	320	5月30日(土)	下久堅小学校
	<p>子どもとその親を対象に、地域の人材や素材の大切さと地域を戻す機会作りを図る</p> <p>小学校との連携による事業。参観日を利用し、地域の方々を講師とする親子体験講座を開催する。                  主な内容は、地域の歴史散策、ニュースポーツ、料理教室、昔のおもちゃづくり、科学実験教室など。</p>	市・地	継続	1	320	320	320	320	5月30日(土)	下久堅小学校
学級・講座	子ども料理教室&工作教室	地区費	継続	2	80	80	40	3,088	4月25日(土) 7月11日(土)	下久堅公民館
	<p>小学生を対象に、料理や工作で交流を図る</p> <p>図書館との共催で企画実施。                  ホットケーキを焼いて食べたり、「理科読」をテーマに風船ドームを作って遊ぶなど、小学生とその保護者が参加して交流を図る。</p>	地区費	継続	2	80	80	40	3,088	4月25日(土) 7月11日(土)	下久堅公民館

# 下久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	クリスマスお楽しみ会	地区費	継続	1	40	40	40	3,088	12月12日(土)	下久堅公民館
	目的 地区区内住民を対象に、地区住民で構成する団体を知らせ共に世代間の交流を図る	【総括と今後の方向付け】 全ての演目を地域住民が行った催しであった。大人も子どもも一緒に楽しむ機会となった。今後も継続して行っていきたい。								
学級・講座	ひさかた村塾	地区費	継続	2	53	53	53	3,088	7月27日(月) 9月11日(金)	下久堅公民館
	目的 地区区内住民を対象に、地区文化の発掘・保存及び地区住民の文化水準の向上を図る	【総括と今後の方向付け】 ①社会教育団体や地域団体を参集して、団体活動の紹介や日頃の活動を通して、地域や公民館に対して思う事などについて意見交換を行った。 ②Uターン・定住を考える講座として、Uターン就農者や市役所農業課担当者も招いて、農村として魅力や定住についての意見交換を行った。								
学級・講座	下久堅地区新年の会(ひさかた村塾)	市・地	継続	1	65	65	65	3,088	1月17日(日)	下久堅公民館
	目的 地区区内住民を対象に、地域文化や歴史に触れる機会として開催	【総括と今後の方向付け】 当地区の就労実態として製造業に勤める若い世代が多いことから、これまでも異なる視点で産業界の現状から、地域の将来を考えることもねらいとしてテーマ講師を選んで開催した。地区役員以外に消防団などの参加も呼び掛け若者の参加も促した。様々な視点から地域の将来を考える機会は今後も継続していきたい。								
学級・講座	ひさかた和紙講座	市・地	継続	6	240	240	40	3,088	実施内容参照	下久堅公民館
	目的 地区区内住民を対象に、ひさかた和紙の認知や担い手の発掘を図る	【総括と今後の方向付け】 この地の特色である「ひさかた和紙」を再認識し、保存会の新たな担い手の育成を図る。 【実施概要】 第1回 6/4 トロアオイの種まき体験 第2回 11/10 ひさかた和紙についての講話(緑ヶ丘中学校1年5組) 第3回 12/1 楮の収穫、皮むき体験(下久堅小学校・OIDE長姫高校) 第4回 12/9,16 たくり作業体験 第5回 12/6 新成人地域学習(紙漉き体験) 第6回 1/21,22 2/21,28 紙漉き体験(下久堅小学校・一般参加) 番外 12/23 ひさかた手ヤリティーマルシェ 成人記念著書制作、オリジナルハガキ制作								

# 下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	からだケア教室	地区費	継続	24	411	27	3,088	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、ストレッチ体操を基本に健康づくりを図る							【総括と今後の方向付け】 下久堅は坂道が多いため、膝の痛みに悩んでいる方が多いという問題に対応するため開設し、教年が経過する。参加者も農閑期を除けば教室への出席率も高く、事業継続を望む声も多い。 次年度以降も事業を継続していきたい。	
学級・講座	ヨガ・ストレッチ教室	地区費	継続	24	222	22	3,088	毎月2回第2・4水曜日の夜間	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、ヨガ・ストレッチを通じ自身の心や体を見つめ、健康づくりを図る							【総括と今後の方向付け】 女性を中心として幅広い年代の参加があり、出席率も比較的高い。日常的な健康づくりだけでなく、仲間づくりの場としても効果的であり、参加者からの評価も高い。 今後も、参加者の意向を確認しながら継続していきたいと考えている。	
学級・講座	環境学習会	地区費	継続	1回	8	8	3,088	10月22日(木)	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、身近な環境問題に取り組み機会を確保し環境意識の向上を図る							【総括と今後の方向付け】 NPO法人おひさま進歩を講師に招き、家計に優しい省エネ学習会を実施する。 内容：家庭で使われる電気製品の消費電力クイズや、省エネ方法、環境家計簿の説明を受けるなどの学習会を実施。	
文化事業	ふるさとコンサート	市・地	継続	1	100	100	3,088	7月19日(日)	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、すばらしい音楽を身近に感じることを行う							【総括と今後の方向付け】 今回は新しい公民館を会場とした初のコンサートであったが、来場者の評判は良く、有意義な時間が過ごせたものと思われる。下久堅小学校金管バンドの参加とドリンクの無料配布を行った事も良かったと思う。	
文化事業	いいた人形劇フェスタ2015	市・地	継続	1	908	908	3,088	8月4日(火)～9日(日)	下久堅公民館 他
	目的 地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、共にフェスタをつくり、地域の文化の高まりを図る							【総括と今後の方向付け】 各会場の運営は、保育園保育や分館役員が担っており、会場運営なども会場関係者が主体的に関わっている。また、フェスタに併せて開催する催しや劇人を交えた交流会も、各会場の特色がでている。 今後も地区にだけ定着しているかといった視点も重要視しながら運営にあたり、どの様な取組ができるのかも検討していきたい。	



# 下久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ひさかたウォーキング	市・地	継続	1	120	120	120	3,088	9月23日(水)	虎岩地区内
	地区住民を対象に、地区内の史跡、自然、文化を知る機会として開催									【総括と今後の方向付け】 御柱山をコースとし、PRしたことで、昨年より1.5倍、近年では最多の参加者となった。講師として、御柱祭典委員や虎岩保存会などの団体からの協力を得られ、さわやかに実施できた。食生活改善グループが提供してくれた豚汁も好評であった。多く関係者と連携する事で、よい交流ができた。
文化事業	下久堅地区文化祭	地区費	継続	1	563	563	563	3,088	3月6日(日)	下久堅公民館 他
	地区住民を対象に、地区文化祭開催を通して、地域の文化の高まりを図る									【総括と今後の方向付け】 早期からの公民館委員会文化部を中心に実行委員会を立ち上げ、新しい公民館を初め会場とした文化祭の企画、運営を検討し準備をすすめた。 参加団体からも積極的な姿勢が見られ、また企画イベントの内容も好評で、文化祭を盛り上げるうえでの大きな力になった。反省会では、初めて公民館を会場にしたことに対する感想や、次回にむけての課題など様々な意見がだされたため、次回むけて公民館委員会で検討をしていきたい。
体育事業	分館対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	120	120	120	3,088	5月31日(日)	下久堅運動場
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る									【総括と今後の方向付け】 女性2名及び50歳以上2名の出場枠を設けているため幅広い年齢層からの参加がある。また、複数のチームを出場する分館もあり、開催の意義は大きい。 一方で誰もが楽しめる競技ではないため、参加する人が決まってきたという意見もあり、分館対抗にこだわりすぎないやり方も模索していく必要があると思われる。
体育事業	下久堅地区レディースバレーボール大会	地区費	継続	1	45	45	45	3,088	9月20日(日)	下久堅小学校
	地区内女性を対象に、親睦交流・健康増進を図る									【総括と今後の方向付け】 各チームとも日頃から練習を重ねているため、非常に白熱した大会となった。女性同士の繋がりといった観点からみても大切な機会となっている。審判については、リーグ戦に併せて講習会を実施し、当日は審判についても自主的に行った。 今後も公民館として活動を支援しながら、自主的な運営を継続していきけるよう協力していきたい。
体育事業	常会対抗盆野球大会	地区費	継続	1	100	100	100	3,088	8月16日(日)	下久堅運動場
	地区住民を対象に、親睦・交流を図る									【総括と今後の方向付け】 既に50回以上続く歴史ある地区恒例の行事となっている。若い男性を中心に盛りあがりはあるが、益時期の開催に、チームの人数確保に苦労する分館もある。公民館事業として続けるか、実行委員会形式が良いのかの検討もしている。

## 下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	下久堅地区市民運動会	地区費	継続	1	535	535	3,088	10月18日(日)	下久堅小学校校庭
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る							【総括と今後の方向付け】 地区の住民が、楽しく気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人と交流できる機会として、また健康増進の機会として地区運動会を実施する。 実行委員として中学生の協力を募り、競技企画や当日の担当を担ってもらおう事で地域の一員として、意識の醸成を図る	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	公民館長杯囲碁ボール大会	地区費	継続	1	47	47	3,088	11月22日(日)	下久堅公民館
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る							【総括と今後の方向付け】 誰でも身近に感じ楽しむことができる囲碁ボールの普及と、住民の世代を越えた交流の機会を目的に開催する。 今回は実施種目を囲碁ボールとし、公民館委員会育成部、高齢者クラブとも連携し、幅広い世代からの参加と交流を図る。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ大会	地区費	継続	1	128	128	3,088	1月31日(日)	小学校体育館
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る							【総括と今後の方向付け】 冬季の貴重なスポーツ大会になってきている。この種目にして8年目ということもあり、ニュースポーツを楽しむと共に競技性もでてきた。今後も継続して事業を実施するが、ニュースポーツを楽しむサークルを作る動きの支援を行って行きたい。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「ひさかた」の発行	地区費	継続	4	1,000	1,000	3,088	実施内容参照	下久堅公民館
	地区住民を対象に、地域課題や生活課題の提起をし、地域への関心の向上を図る							【総括と今後の方向付け】 地域の時事広報として歴史を後世に残すとともに、地域住民の情報交換と文化意識の高揚の役割を果たすべく発行に努めてきた。公民館報の果たすべき役割を常に認識しながら、地域課題・生活課題の提起できる館報として発行を継続していきたい。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみどり体験	市・地	継続	1	65	65	3,088	7月20日(月)	塩沢川(下虎岩)
	地区の親子を対象に自然体験を通して、親子の触れ合いを図る							【総括と今後の方向付け】 親子で取り組み、子どもが普段、家では見せない一面を見られ、交流を図りながら楽しく実施できた。会場近くの飲食店などの協力も得られ、好評であったため次年度の企画を継続していきたい。	

# 下久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子囲碁ボール大会(マレットゴルフ:雨天変更)大会	地区費	継続	1	16	16	320	11月15日(日)	下久堅公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】 当日が雨天のため、下久堅公民館を会場として囲碁ボール大会を開催した。参加者は例年並みであったが、親子ペアで囲碁ボールの対戦を楽しみ、家族同士の良い交流もできた。今後も活動を続けていきたい。</p> <p>子ども選や保護者を中心に、青少年の健全な育成につながる機会をつくることを目的に開催。 実施にあたっては、マレットゴルフを通じて親子の触れ合いを図るは、囲碁ボールを行う。</p>	地区費	継続	1	16	16	320	11月15日(日)	下久堅公民館
育成事業	親子書き初め教室	地区費	継続	1	40	40	164	1月5日(火)	下久堅公民館
	<p>毎年実施している正月の恒例の行事。 新年を迎えるなか、昔からの伝統行事を親子で興じる機会になっている。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地元の書道の先生に指導いただくこと、親子で書道をすることは普段あまりないの子どもにとっても新鮮であるようであった。昨年より中学生の参加が増加している。冬休みの宿題ということもあり、人気のある事業なので今後も継続して行っていきたい。</p>	地区費	継続	1	40	40	164	1月5日(火)	下久堅公民館
その他	下久堅地区成人式	市・地	継続	1	43	43	50	1月10日(日)	下久堅公民館
	<p>成人該当者との恩師ビデオをシタ撮影ツアーを実施し、実行委員会を立ち上げる。記念誌の原稿作成や祝賀会の実施内容などについても、実行委員会を中心に検討。また、当日の運営にも積極的に参画する。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 例年のような祝賀会運営、思い出の映像作成、記念誌の原稿作成以外に、地域学習としてひさかた和紙体験など、他の事業や関係者との連携を抜けながら、地域との関わりの機会を増やしていくことができた。次年度以降も、成人該当者と地域の先輩との関係づくりを大切にし、ふるさと意識の醸成につながる取組を目指したい。</p>	市・地	継続	1	43	43	50	1月10日(日)	下久堅公民館
その他	下久堅放課後子ども教室	市・地	継続	158	2,344	35	164	毎週月・火・木・金(週4回)	下久堅小学校
	<p>心豊かでたくましい子どもを地域全体で育てるため、地域ボランティアスタッフの指導と員守りにより、安全な子ども達の居場所づくりをする。また、地域の人材を活かし、週に1～2回程度、調理や読み聞かせなどの活動を行う。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師や安全管理員になり、料理教室・科学工作教室・スボーツ・読み聞かせなどのメニューを実施した。今年度より保護者の参加を促したため、スタッフと保護者の意思伝達がスムーズになった。次年度以降も継続的に事業実施をしていきたい。</p>	市・地	継続	158	2,344	35	164	毎週月・火・木・金(週4回)	下久堅小学校
その他	小学生を対象に、地域の子育て環境改善と体制の充実を図る	市・地	継続	158	2,344	35	164	毎週月・火・木・金(週4回)	下久堅小学校
	<p>心豊かでたくましい子どもを地域全体で育てるため、地域ボランティアスタッフの指導と員守りにより、安全な子ども達の居場所づくりをする。また、地域の人材を活かし、週に1～2回程度、調理や読み聞かせなどの活動を行う。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師や安全管理員になり、料理教室・科学工作教室・スボーツ・読み聞かせなどのメニューを実施した。今年度より保護者の参加を促したため、スタッフと保護者の意思伝達がスムーズになった。次年度以降も継続的に事業実施をしていきたい。</p>	市・地	継続	158	2,344	35	164	毎週月・火・木・金(週4回)	下久堅小学校

# 上久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区・講座	乳幼児学級「わくわくキッズ」	市・地	継続	23	138	6	21	2月 2回 実施内容参照	上久堅公民館 他
学区・講座	保育園入園前の幼児とその親を対象に、様々な体験等を通じた子育てについての学習、親同士の情報交換による子育ての不安の解消、子どもの健全な育成を図る。	市・地	継続	23	138	6	21	【総括と今後の方向付け】 保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会となり、保育園、乳幼児学級の母親ともよい感想をいただいている。今年も隣接する千代地区との合同事業、市街地見学、文化祭での紹介パネル展示など多様な活動を行った。季節ごとの行事も大切に、七夕、クリスマス、節分も楽しく行った。今年も乳幼児学級の時間だけでなく、母子の憩いの場として週に1日、半日だけ公民館を自由に使える時間を設けるようにした。親同士の親睦を深める機会に加え、時折、高齢者にも参加してもらい世代を超えた交流の場となるような支援もしていきたい。また、乳幼児学級が地域に周知してもらえらる機会をもっと提供していきたい。	上久堅公民館 他
学区・講座	実 施 内 容 ①4/22自己紹介カード～手型・足型～②5/12子どもの歯について(歯科衛生士)③5/27小学校探検④6/10新聞紙で遊び⑤6/24どろんどろん遊び⑥7/7七夕⑦7/24プール・水遊び(保)⑧8/7人形劇鑑賞(小学校)⑨8/18子どもたちの病気になるまで(保)⑩9/9/24について講演会(千代との合同)⑪10/9/24外遊び(保)⑫10/15消防署見学⑬10/29/29焼き芋大会(保)⑭11/10栄養士の話・お菓子作り(千代との合同)⑮11/25運動会⑯12/3プレゼント作り⑰12/24クリスマス会⑱1/12タオル遊び⑲1/21おやつ作り(保)⑳2/9節分㉑1日入園(保)㉒3/8ふれあい遊び㉓3/23まごめのお会～手型・足型～	市・地	継続	1	90	90	1,394	5月31日	上久堅小学校
学区・講座	上久堅小学校・PTA・公民館三者共催講演会	市・地	継続	1	90	90	1,394	5月31日	上久堅小学校
学区・講座	小学生とその親・一般を対象に、小学生の基本的な生活習慣の取得を図る。	市・地	継続	1	90	90	1,394	5月31日	上久堅小学校
学区・講座	図書館 冬のお楽しみ会	市・地	継続	1	30	30	1,394	2月11日	上久堅公民館
学区・講座	地区の子どもと保護者が対象に、親子の触れ合いや世代間の交流を図る	市・地	継続	1	30	30	1,394	2月11日	上久堅公民館
学区・講座	多文化ふれあい料理教室	市・地	継続	1	35	35	1,394	2月11日	上久堅公民館
学区・講座	一般を対象に、一人一人が尊重され、誰もが多様性の文化を理解し、社会的活動に主体的に参加することを図る。	市・地	継続	1	35	35	1,394	2月11日	上久堅公民館

# 上久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」	市・地	継続	1	27	27	1,394	8月6日	飯田市内
	<p>人形劇フェスタに合わせ図書分館と連携して実施した。夏休み企画として平日でしか楽しめない人形劇とプラネタリウムなど飯田市街地の施設の見学も行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年飯田の中心地の見学もゆくりできるように、お弁当を持って1日開催した。多くは小学生の参加であったが保護者も数名参加してくれ、普段飯田市街地に人形劇を観劇する機会を提供する。</p> <p>【実施内容】 内容：人形劇団ブーク「あやとじろさきおおかみ／タマゴ」 プラネタリウム鑑賞</p>	市・地	継続	2	90	45	1,394	4月、11月	地区内
学級・講座	十三の郷ウォーキング事業	市・地	継続	2	200	28	1,394	隔月	上久堅公民館
	<p>桜を愛する会、上久堅保健推進委員会と連携して実施。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 公民館と保健推進委員と連携して2回目。無理なく地域の魅力を再発見する機会として桜見学と三遠南信自動車道を歩く2回を行った。三遠南信道の方は今しか歩けないこの道を変わりゆく故郷の景色ともに完成するまで歩きたいとの声が多かった。地域の希望に沿いながら次年度も継続していきたい。</p> <p>【実施内容】 ・4月18日 花景ウォーキング（協力：桜を愛する会） ・11月7日 三遠南信自動車道を歩く（協力：三遠南信連絡協議会）</p>	市・地	継続	5	121	53	1,394	7月～10月	上久堅公民館 他
学級・講座	子ども育成支援事業「ふるさと自然体験2015、方言人形劇」	市・地	新規	5	25	25	1,394	9月5日	神之峰
	<p>上久堅地区基本構想の重点事項にある「地域で子どもを見守るために地域全体で積極的に携わる」をもとに、地域で子どもを育てる大切さについて、共有する人を増やしていく機会とした。</p> <p>【実施内容】 ・ふるさと自然体験2015 7月18-19日 参加者106(2日間のべ人数)名 内容：竹細工、飯ごうでご飯作り、囲碁ボール、防災マップ作り 等 ・上久堅の方言による人形劇指導 内容：上久堅版ねずみのすもう 小学3年生への指導 5名 3回 協力：上久堅を学ぶ会方言部会</p>	市・地	継続	1	25	25	1,394	9月5日	神之峰
学級・講座	南信州狼煙リレ—	地区費	継続	1	25	25	1,394	9月5日	神之峰
	<p>この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさとの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めるために実施。飯田下伊那の各地区公民館へ呼びかけ武田信玄狼煙台として狼煙上げを行なった。</p>	市・地	継続	7	200	28	1,394	隔月	上久堅公民館
学級・講座	上久堅を学ぶ会	市・地	継続	7	200	28	1,394	隔月	上久堅公民館
	<p>地区住民を対象に、郷土の歴史や文化などを学ぶ機会を創出する。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 立上げより5年目になり、村誌の内容も一通り扱ったので今年度は会員から希望をとり、リクエストのある内容を掘り下げる形で学習した。来年の8月で定例の勉強会はいったん終了する予定である。その後の事業形式の方向としては自主的学習型など現在会員を中心に検討している。</p>	市・地	継続	5	121	53	1,394	7月～10月	上久堅公民館 他
学級・講座	子ども育成支援事業「ふるさと自然体験2015、方言人形劇」	市・地	新規	5	25	25	1,394	9月5日	神之峰
	<p>上久堅地区基本構想の重点事項にある「地域で子どもを見守るために地域全体で積極的に携わる」をもとに、地域で子どもを育てる大切さについて、共有する人を増やしていく機会とした。</p> <p>【実施内容】 ・ふるさと自然体験2015 7月18-19日 参加者106(2日間のべ人数)名 内容：竹細工、飯ごうでご飯作り、囲碁ボール、防災マップ作り 等 ・上久堅の方言による人形劇指導 内容：上久堅版ねずみのすもう 小学3年生への指導 5名 3回 協力：上久堅を学ぶ会方言部会</p>	市・地	継続	1	25	25	1,394	9月5日	神之峰
学級・講座	南信州狼煙リレ—	地区費	継続	1	25	25	1,394	9月5日	神之峰
	<p>この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさとの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めるために実施。飯田下伊那の各地区公民館へ呼びかけ武田信玄狼煙台として狼煙上げを行なった。</p>	市・地	継続	7	200	28	1,394	隔月	上久堅公民館

# 上久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	男性料理教室「男子厨房に入る」	市・地	継続	6	60	10	1,394	隔月	上久堅公民館	
	<p>【総括と今後の方向付け】 参加者の要望による普段つくらないピザやオープンを使った料理に挑戦したり、季節料理をその云われとともに勉強したりしてパラティにあふれる教室が行えた。また、参加者が日頃の腕前の披露として地区文化祭で手料理をふるまった。人数は多くないが、定着した講座が行えているので次年度も継続していきたい。</p>	<p>中高年、高齢者の食生活の改善を図るため、飯田市食生活改善推進協議会 上久堅分会を講師に年6回開催した。 【実施内容】①石窯を使ってピザづくり(4/21)②きのこたごぶりハンバーグ(6/29)③夏バテ予防隊キムチ(8/31)④季節料理のおはぎ(10/26)⑤オープン料理(1/25)⑥季節料理(3月予定)</p>	市・地	継続	6	60	10	1,394	隔月	上久堅公民館
学級・講座	環境学習会	市・地	継続	1	40	40	1,394	11月7日	開催会場 稲葉地籍	
学級・講座	<p>地区住民を対象に、地区内に存在する環境問題より、環境に対する意識と知識の向上を図る。</p>	<p>地区内の自然環境にスポットを当て、身近な環境の取組みとして稲葉地区に建設中の次期ごみ処理施設を見学し、自らの地域は自らが守るという意識づくりを行う学習・体験を行った。 【実施内容】 次期ごみ処理施設見学(十三の郷ウオーキングと同時開催) 共催：環境景観委員会 協力：荏原環境プラント、環境センター</p>	市・地	継続	1	40	40	1,394	11月7日	開催会場 稲葉地籍
	<p>【総括と今後の方向付け】 環境学習という方向でウオーキング事業と併せてごみ処理施設の見学を行った。建設途中なので設計図を見てイメージをしながら説明を聞いた。公害や周辺への影響など質問も出て意識づくりにはいよいよ機会となった。地域の要望を取り入れながら参加しながら環境学習会を順次行っていきたい。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 環境学習という方向でウオーキング事業と併せてごみ処理施設の見学を行った。建設途中なので設計図を見てイメージをしながら説明を聞いた。公害や周辺への影響など質問も出て意識づくりにはいよいよ機会となった。地域の要望を取り入れながら参加しながら環境学習会を順次行っていきたい。</p>	市・地	継続	1	40	40	1,394	11月7日	開催会場 稲葉地籍
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	人形劇フェスタ2015上久堅公演	市・地	継続	4	458	115	1,394	8月7日～9日	開催会場 上久堅地区	
	<p>地区住民を対象に、身近な場所で公演を行うことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。</p>	<p>地区内4会場で実施。実行委員会を、保育園保護者会・分館で組織し、各場所で行う。工夫をこらして人形劇フェスタを盛り上げた。 【実施内容】 8/7上久堅保育園 劇団にんぎょう畑、上久堅小学校3年生 171人 8/7小野子大昭館 人形劇回すずきゆく、人形劇いれぶん 86人 8/8上久堅公民館 げきだんばな 109人 8/9原平集落センター おしやべり劇場ほっけ、人形劇団なみ 92人</p>	市・地	継続	4	458	115	1,394	8月7日～9日	開催会場 上久堅地区
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	上久堅地区文化祭	地区費	継続	1	400	400	1,394	10月31日～11月1日	開催会場 上久堅小学校他	
	<p>地区住民を対象に、日頃の活動の成果発表の機会を提供し、地域住民同士の親睦・交流を図る</p>	<p>隔年で開催している。様々な芸能分野で活躍する地域の方々の発表の場、様々な団体・個人が活躍できる展示の場を提供、また、地域の特産品などを提供する場を設け、地域の文化度をより一層高めた。 【実施内容】 共催：社会福祉協議会、各種グループ団体 主催：わいわい広場、作品展示、消防車の展示、写真展 など メインイベント：長沼六男映画撮影監督と若者の対談、映画「母べえ」鑑賞 芸能発表：9団体 作品展示：保育園、小学校、中学校他 25団体・個人</p>	地区費	継続	1	400	400	1,394	10月31日～11月1日	開催会場 上久堅小学校他
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	十三の郷ふれあいコンサート	市・地	継続	1	105	105	1,394	12月20日	開催会場 上久堅公民館	
	<p>一般を対象に、身近な場所で質の高い音楽に触れ、文化芸術の大切さや価値の再認識を図る。</p>	<p>質の高い音楽を身近な場所で鑑賞することにより、文化芸術への関心を高めるとともに地域住民の親睦・交流の場を提供。 【実施内容】 演奏：リジョイス・クワイアー、上久堅小学校児童</p>	市・地	継続	1	105	105	1,394	12月20日	開催会場 上久堅公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	<p>【総括と今後の方向付け】 クリスマスに関係する歌を聞きたいとの地区からの声があり、この時期の開催を希望した。会場もクリスマスの飾りつけをし、歌と合わせてよい雰囲気の中開催出来た。今後も地域のニーズに沿った芸術文化の推進を行っていきたい。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 クリスマスに関係する歌を聞きたいとの地区からの声があり、この時期の開催を希望した。会場もクリスマスの飾りつけをし、歌と合わせてよい雰囲気の中開催出来た。今後も地域のニーズに沿った芸術文化の推進を行っていきたい。</p>	市・地	継続	1	105	105	1,394	12月20日	開催会場 上久堅公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】 クリスマスに関係する歌を聞きたいとの地区からの声があり、この時期の開催を希望した。会場もクリスマスの飾りつけをし、歌と合わせてよい雰囲気の中開催出来た。今後も地域のニーズに沿った芸術文化の推進を行っていきたい。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 クリスマスに関係する歌を聞きたいとの地区からの声があり、この時期の開催を希望した。会場もクリスマスの飾りつけをし、歌と合わせてよい雰囲気の中開催出来た。今後も地域のニーズに沿った芸術文化の推進を行っていきたい。</p>	市・地	継続	1	105	105	1,394	12月20日	開催会場 上久堅公民館



# 上久堅公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみひさかた」発行	地区費	継続	4	10	10	1,394	実施内容参照	地区内		
	広報委員会を中心にした地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を図る。	公民館活動はもろろのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけた。 発行数:4回(6月16日、9月15日、12月7日、2月22日) 発行部数:650部						【総括と今後の方向付け】 魅力ある紙面づくりをめざし、高齢者でも見やすいように文字サイズを大きくしたり、地域づくりをテーマにし地区民へアンケートをとり、結果の掲載、考察をしたりした。また、館報のついでに考え方の研修会を行い館報と向き合う1年であった。今後も館報の意味を大切に発行に取り組んでいきたい。			
広報事業	館報編集学習会	地区費	継続	2	20	10	10	①4月16日、②12月12日	上久堅公民館他		
	広報委員を対象に、基本的な文章の書き方を軸に、写真撮影、取材方法、割付方法などの基本的な技術の向上を図る。	新たに迎えた広報委員の館報作成技術向上のために、新聞を作る上での基本的な部分を中心に学習し、館報づくりに活かす学習会を行った。 (実施内容) ①館報とは何か 講師:橋南公民館長 北林館長 内容:館報の考え、橋南地区の公民館役員時代に培われた館報作りの基礎 ②Dブロック館報研修会 内容:館報作りに関する公民館役員の意見交換						【総括と今後の方向付け】 今年「館報」自体に目を向けて、館報の意味や館報の持つ影響力について考える研修を行った。今までにない学習会で委員からも反響がよかった。また、Dブロックの研修会では自分たちが作っている館報を持ち寄り、委員体制や活動日数、記事の特徴など情報を交わり、今後の館報作りの参考になる意見交換が出来たと感想があった。今後も理念と実践を交互に学べる学習会にしていきたい。			
広報事業	館報発送サービス事業	地区費	継続	4	160	40	59	年4回	上久堅公民館		
	全国各地の上久堅出身者を対象に館報を郵送し、生まれ育った地域の情報を知ってもらおう。	東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今のようになっているか知っていただく機会として行っている。上久堅をPRすることも目指し、様々な地区内チラシを同封してきた。 発送:年4回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者:40名(平成28年2月現在)						【総括と今後の方向付け】 毎回発送されてくるのを楽しみされる方も多く生まれ育った地域の情報を発信する良い機会となっている。東京神峰会を対象に始まった事業であるが、地区外へ出ている出身者の登録も増えてきた。最近では購読者の高齢化もあり、昨年度より19名減であった。多くの方に提供できるように考えてまいりたい。			
広報事業	第6回 上久堅写真展	地区費	継続	1	200	200	1,394	10月31日～11月1日	上久堅公民館		
	地区住民を対象に、地域の魅力再発見・再認識によるふるさと意識向上を目指す。	上久堅地区文化祭に合わせて実施した。 上久堅に残りたい風景をテーマに募集して行った。 (実施内容) 出展数:29作品 表彰:5作品 後援:南信州新聞社、上久堅観光協会					【総括と今後の方向付け】 三遠南信道路で変わりゆくふるさとを見つめ直す機会として始まり今年で6回目を迎えた。年々応募する人が固定化し、作品数も減っている。次年度は企画の段階から検討直し、記録として残していける写真展の意味も込めて行っていきたい。				
企画事業	分館自主活動	市・地	継続	6	142	24	1,394	7月～12月	集会所 他		
	地区住民を対象に、身近な問題について身近な場所を取り組むことにより、あらゆる分野の知識・意識向上や地域住民の交流を図る。	最も身近な分館を利用して、各分館の独自で考えた自主活動を1回以上行う。企画から運営までを各分館が主体的に担い、分館活動活性化に努めた。 (実施内容) 1.2.3.4.6分館:囲碁ボール体験会 5分館:ボーリング大会、親睦会						【総括と今後の方向付け】 今年度は体育委員会からの要望もあり、ほとんどの分館が囲碁ボール体験会を行った。幅広い年代層が一堂に行え、見た目より行ってみると楽しい等の意見があり、1月に行う分館対抗冬季スポーツ大会の中で、囲碁ボール大会を実施する布石になった。分館での囲碁ボールの普及は定着してきつつあるので、今後は他の自主活動の推進をしていきたい。			



# 上久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	世代交流しめ縄飾り講習会	市・地	6	113	18	1,394	12月中旬	集会所 他
	目的	<p>域の高齢者を講師に迎え開催している。PTAとの共催事業でもあり、小学生の親子が参加者の中心であるが、分館によって少子化で単独開催が困難なところは合同開催を勧めている。 (実施内容)各分館1回 計6回 実施</p>						
その他	第23回 ひさかたの火まつり	事業区分 他会計	1	1,000	1,000	1,394	8月15日	開催会場 北田遺跡公園他
	目的	<p>ひさかたの火まつり実行委員会主催の祭りを組織的に支援している。上久堅公民館は文化委員会を中心に子ども健全育成、住民交流、北田遺跡公園の利活用を目指し、第1部火おこしセミナーにおいて、竹細工教室・火おこし体験・火種作り大会を行いながら、昔の生活に思いをはせた。</p>						
その他	第22回 小川路峠へ登ってみよう	事業区分 他会計	1	74	74	1,394	10月25日	開催会場 小川路峠
	目的	<p>上久堅観光協会が主催する行事に共催として参画。小学生による看板設置や上村との合流地点での合唱など、小学校と連携して実施した。 参加者：74名</p>						
その他	上久堅地区成人式	市・地	1	14	14	19	1月10日	開催会場 上久堅公民館
	目的	<p>新成人代表と文化委員を中心に実行委員を組織し、地域の方の協力をいただきながら成人式を開催した。式典は厳かに行い、祝賀会は新成人が楽しめるように、また地域学習の発表として新成人代表がアトラクションを企画運営した。 式典：主催者あいさつ、新成人の抱負、恩師からメッセージ 他 記念撮影：新成人・恩師・恩師・保護者 祝賀会：思い出のスライドショー、記念品案内、地域学習の発表</p>						
その他	小学校クラブ活動、総合学習の支援	事業区分 市・地	1	7	7	1,394	通年	開催会場 上久堅小学校
	目的	<p>年度当初に小学校と打合せを行い、小学校の活動を支援できる人材の育成提供、依頼、その他できる限りの支援を行った。地域の子どもは地域で育てる環境作りの一助となることを期待している。 (実施内容)クラブ講師の紹介…ニュースポーツ、囲碁、泥だんご、木工、お菓子づくり ・総合学習の支援…小学3年生への方言人形劇指導、小学5年生への米作りの支援</p>						

# 千代公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ちよっ子クラブ(0～3歳児学級)	市・地	継続	21	160	26	30	毎月第2、第4火曜	千代公民館ほか
	0～3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ、楽しさを知ってもらう事、両親同士の仲間づくりを図る		常任講師：小木曾嘉子保育士、大平美幸保健師 ①開講式 ②わらべうたあそび ③大きな布で遊ぼう ④消防署へ行こう ⑤七夕短冊を作ろう ⑥プールで遊ぼう！(ひよこの会と合同) ⑦「いいだん形劇フェスタ」観劇 ⑧小児科の先生のお話 ⑨動物と触れ合おう♪ ⑩ピーナッツボール&トンネルで遊ぼう ⑪お友達と遊ぼう ⑫動物を見に行こうin飯田動物園 ⑬おやつ作り ⑭親子あそび♪ ⑮クリスマス会の準備 ⑯クリスマス会 ⑰新聞紙で遊ぼう ⑱小麦粉粘土で遊ぼう ⑲成長の記録を残そう ⑳みんなでいちご狩りへ行こう ㉑閉講式					【総括と今後の方向付け】 ◆体を動かして親子一緒に楽しく出ている。 ◆地域の子どもの数が年々減少していることに加え、未満児保育を利用される方が増えており、今年ば平均4組と参加者が少ない。更に来年度は、今年、特に利用してくれた二組の親子が未満児保育へ入られるため来られなくなることがわかってきている。家庭教育や生活の実態を深く捉え、つどいの広場や未満児保育との連携など、より良い手段を模索していく。	
学級・講座	婦人学級	市・地	継続	11	110	20	290	実施内容参照	千代公民館ほか
	女性を対象に、女性の力を発揮できる場を設け、地域の活性化を図る		①6/5吾玉作り ②7/10山梨へリニア見学旅行 ③7/16よこね栗山子づくり ④7/26天龍峡夏期大学講座「望郷の鐘」観賞 ⑤8/1千代こどもまつり大会にて芋焼き提供 ⑥8/8 飯田りんごんごん参加 ⑦9/27 よこね田んぼ収穫祭で踊りの披露 ⑧10/22ストラップ作り ⑨11/15千代地区文化祭でおでん出店 ⑩12/24 千代デイサービスセンター訪問で猫にゃんにゃんの踊りの披露 ⑪3/8 年度末反省会				【総括と今後の方向付け】 ◆活気ある地域づくりを目標に、自主的に企画し、楽しみながら活動できている。自分たちが楽しむことを大事にしながらも、若いお母さんたちとの関わりを持つことを目的に「千代こどもまつり大会での芋焼き等の提供」を行い、一定の成果を上げた。 ◆各部落の婦人会の消滅にともない千代地区全体でその代わりとして生まれたこの学級であるが、下の世代の加入がない現状を踏まえ、婦人学級とは別に竜丘の「大人の学校」を参考に新たな取り組みのスタートに向け準備していく。		
学級・講座	歴史講座「千代の人物伝シリーズ」	市費	継続	4	120	40	1,780	実施内容参照	千代公民館ほか
	一般を対象に、世に知られていない千代にゆかりのある人物を掘り起こす		◇4/4内容：清水直夫、篠田篤雄 語り手：清水成彦、北澤圭洋 ◇6/20内容：林秀三郎、吉地昌一 語り手：宮嶋秀行、篠田孝雄 ◇8/22内容：榎栄一、萩元陶斎、篠田得齊 語り手：林善清、萩元文雄、篠田孝雄 ◇1/22内容：千代歴代村長伝 語り手：北澤圭洋 ◇3/10内容：川手謹三、大平小洲 語り手：川手重光、篠田孝雄				【総括と今後の方向付け】 ◆千代の歴史を語る会はH24に発足した。昨年に引き続きき人物伝を開催。資料集めや取材に四苦八苦しながらもやりがいを感じている。 ◆これまでとりあげた人物伝を1つの冊子にまとめる。また、例えば学校の地域学習の先生として発展してもらえよう仕掛けていきたい。		
学級・講座	子育て講座	市費	継続	1	16	26	30	8月26日	千代公民館
	子を持つ親を対象に、地域の中で子どもを健康やかに育てる環境づくりを図る		乳幼児の病気についてより理解を深められるようにするとともに、子育ての悩み等を相談できる機会として実施。 講師：和田浩氏(健和会病院医師) テーマ：子どもの病気のあれこれ聞いてみよう！				【総括と今後の方向付け】 ◆子どもの病気について理解を深めることができる有意義な機会となった。上久堅の乳幼児学級と合同で行い、より多くの参加者を得ることができたが、初対面の方とそれ以上のプライベートな情報交換までは出来ていない。 ◆合同開催について原点に戻って検討していく。		
学級・講座	プラステン講座	市費	継続	1	23	23	1,780	12月2日	千代公民館
	一般を対象に、健康への関心を高めてもらうために実施		講師：前田美穂 冒頭、保健師からプラステンの意義について説明した後、講座に入り、その大切さを伝えた。				【総括と今後の方向付け】 ◆参加者も多く、楽しかった、またやってほしいとの声が多く聞かれた。 ◆同様に開催したい。		

# 千代公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさと講演会「望郷の鐘上映会」	他会計 新規	1	100	100	580	8月29日	千栄小学校
	地区民を対象に、反戦・平和の学習を図る	事前講演として千代の歴史を語る会できりあげた「千代の人物伝シリーズ 千代村分村団長 清水直夫」の講演をその息子さんである清水成彦さんにしていただいた後、映画「望郷の鐘」の上映会を行った。 ※実施主体は毛呂窪分館				数量的成果 (項目名と数値) 良かった70人、ふつう3人、良くなかった1人、無回答9人		
学級・講座	新春書き初め教室	市・地 継続	1	21	21	1,780	1月4日	千代公民館
学級・講座	地区住民を対象に、世代間交流を通じて、地育力の向上を図る	講師：篠田孝雄さん(荻坪) 参加：小学生17人、大人4人 書初めを子どもと大人が一緒に、地域の講師から教わる。 ※昨年まで育成事業であったが今年から本館の講座としての開催とした。				【総括と今後の方向付け】 ◆今年から運営主体を変更し、協力者を得て、行ったことで、こちらの意図している目的を協力者に伝えるながら進めることが出来た。 ◆来年も同様に継続する。		
学級・講座	男性の料理教室	市・地 継続	1	4	4	848	3月10日	千代公民館
学級・講座	男性を対象に、日常の健康への意識を高めることを行う	講師：食生活改善推進協議会 一般男性：4人 高野豆腐を使った料理				【総括と今後の方向付け】 ◆参加者が少ない。二一ズに合っていない。 ◆食生活改善推進協議会のみさんとねらいの共有を図り、より効果的な対象設定、方法等を検討し直す。		
文化事業	万古渓谷沢涉りツアー(調査・整備)	市・地 新規	3	24	20	1,780	実施内容参照	万古渓谷
	一般を対象に、千代地区の財産である万古渓谷を歩き、地域の再発見と地域への愛着を深め、次世代への継承を図る	○第1回万古渓谷調査活動 7/19(日) 所要時間:4時間 参加者:千代地区住民10人 コース:二軒屋キャンプ場⇄魚止めの滝 ○第2回万古渓谷調査活動 7/25(土) 所要時間:6時間15分 参加者:千代地区住民4人、秦阜村5人 コース:二軒屋キャンプ場→唐沢の滝 ○第3回万古渓谷調査活動 9/13(日) 所要時間:4時間 参加者:千代地区住民5人(うち高校生2人) コース:栃の木→唐沢の滝				【総括と今後の方向付け】 ◆高校生を連れて行ったことで、大人の意識がツアー一の復活に留まらず、地域課題へのツールとしての活用可能性を感じることができた。整備はしつかりやらなければならぬ場所があることを把握できた。 ◆千代の地域課題である「過疎対策」。万古渓谷という自然に関心のある方や過疎対策に向けて何かしてみたいけど何をしようか分からないという方が万古渓谷の活動を核として、一緒に取り組んでいく。丁寧に話し合いを積み重ね、意識化、組織化を進めていく。		
文化事業	人形劇フェスタ2015	市・地 継続	3	300	300	1,780	実施内容参照	実施内容参照
	一般を対象に、地域の方と小学生が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、地育力の向上を図る。	地域の方と劇人が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、人形劇に親しむ機会として実施。地域の方が地域の伝説を子ども達と一緒に人形劇の台本にし人形劇の指導も行った。その過程で地域の方と子ども達、先生が学び合った。 8/5 PM7:00 千栄小学校体育館にて 8/7 PM7:00 法山地域振興センターにて 8/9 AM10:00 千代公民館にて ※親子料理教室を同時開催				【総括と今後の方向付け】 ◆講師を務めた方は「子ども達は今回のことで自身が付いたのでは。私も貴重な体験が出来た。今後も学校や子どもとも関わっていききたい」と話してくれたことから良い成果をあげることができたと言える。 ◆来年度も積極的に学校と地域の方を繋いでいきたい。		

# 千代公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区文化祭	地区費	継続	1	202	1	202	202	1,780	11月15日	千栄小学校
	目的 一般を対象に、文化に触れる機会づくりと地域の交流を図る	体育委員会によるニューズポータル体験、健和会病院による骨密度・体脂肪測定、よこね田んぼ保全委員会によるよこね米販売、文化委員会による千代ギネスに挑戦・千代検定・重さ当てクイズ、広報委員会によるカフェコーナー、新成人実行委員会による駄菓子屋「新成人」、青少年育成委員会による創作教室、少年野球クラブによるストラックアウト、千代郵便局によるスタンプコーナー、千栄小5年生による千代ネギおでんの試食&販売&販売コーナーほか	1回参加・登録数	202	【総括と今後の方向付け】 ◆文化委員会による文化祭という位置付けから公民館全体による文化祭という位置付けとしたことと広報委員会がカフェコーナーを、青少年育成委員会が創作教室を同時開催するなど新たな試みが生れた。今年二十歳を迎える新成人が駄菓子屋を設け子ども参加が増えた。 ◆引き続き、いろんな方の活動や想いが交わる文化祭となるよう工夫したい。						
文化事業	ふるさと講演会「法山同志会の歩み」	市・地	継続	1	50	1	50	50	1,780	11月29日	千代公民館
	目的 一般を対象に、地域を学び、新たな地域活動への展開を図る	市民セミナーの後、自分達の地域は自分たちでつらくと玉井架梁雄先生の支援を受け学習をしながら昭和57年に発足した法山同志会が、今年度解散したことを受け、これまでの足跡をまとめ、若手へ伝えるために実施した。	1回参加・登録数	50	【総括と今後の方向付け】 ◆話を聞いてもらいたい人へは個別に声をかけ、参加してもらおうことができた。今、発足に向けて動いている万古渓谷会(仮称)の組織体制を考える上で非常に勉強になった。 ◆地域課題や地域で取り組んでいこうとしているものに応じて開催する。						
体育事業	第2回囲碁ボール大会	地区費	継続	1	240	1	240	240	1,000	6月7日	千代小学校
	目的 40歳以上を対象に、中高年層及び女性を対象に、健康増進、交流事業として実施	参加チーム:6分館運合から12チーム 優勝:米川B 準優勝:下八A 3位:千栄東A 高齢者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、激しいスポーツが難しい方の健康増進、交流事業として開催。	1回参加・登録数	240	【総括と今後の方向付け】 ◆他のスポーツ大会には参加しにくい高齢者向けのスポーツ大会として定着し、高齢者が分館代表選手として地区スポーツ行事に参加する重要な機会となっている。 ◆今後も高齢者が主役の体育行事として継続していきたい。ワンから大会と時期を入れ替える。						
体育事業	千代地区市民運動会	地区費	継続	1	550	1	550	550	1,780	10月15日	千代山村広場
	目的 一般を対象に、地区住民が一同に集い、大会を通じて楽しく交流することにより、コミュニティづくりの大きな力となるよう実施	参加チーム:6分館運合から6チーム 優勝:千栄東 準優勝:米川 3位:大北 8時30分～15時 一般種目9 採点種目8 中学生に1種目、企画から運営まですべてを任せている。	1回参加・登録数	550	【総括と今後の方向付け】 ◆「隔年開催してほしい」という意見があったため、原点到立ち返りみんが楽しめる運動会となるよう全競技を見直した。結果、全体として30分の短縮、4つの競技を廃止、1つの競技を新設、5つの競技を改正した。結果「例年になりに楽しい運動会だった」という声をおおぐいたいた。 ◆今年並みに開催する。						
体育事業	第6回 ワンふらばレー大会	地区費	継続	1	200	1	200	200	1,500	1月31日	千代小学校
	目的 18歳以上を対象に、若者から高齢者を対象に、健康増進、交流事業として実施	参加チーム:6分館運合から12チーム 優勝:法山A 準優勝:米川B 3位:米川A 若者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、激しいスポーツが難しい方の健康増進、交流事業として開催。	1回参加・登録数	200	【総括と今後の方向付け】 ◆ワンから特有のボールがどこにいくかわからず変更して開催する。 ◆寒い時期を変更して開催する。						

# 千代公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報千代の発行	地区費	継続	発行6回	—	—	—	実施内容参照	千代公民館
	<p>一般を対象に、地区内の動きを伝えると共に地区の記録として後世に残すことを図る</p> <p>実施内容 まちづくり委員会の広報紙を兼ねての館報として発行している。 年間発行数:2ヶ月に1回の発行 計6回 仕様:タブロイド版2Pまたは4P</p>	地区費	継続	発行6回	—	—	—	【総括と今後の方向付け】 ◆広報委員が責任を持って主体的に取り組んでおり、毎回スムーズに発行できています。しかし、委員の経験年数が短くなっており、今年から館長推薦制度を導入した。 ◆継続していく。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	ふるさとの便り発送事業	他会計	継続	年6回	—	—	28	館報発行時(2ヶ月に1回)	—
	<p>地区外の千代地区出身者を対象に、故郷の情報を伝えるために実施</p> <p>実施内容 千代地区の出身者に、故郷の情報を館報千代を通じて伝える。 ふるさと千代会を通じて購読者の申し込みを受けている。</p>	他会計	継続	年6回	—	—	28	【総括と今後の方向付け】 ◆反響もあり一定の効果がある。 ◆継続していく。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	万古渓谷栃の木ツアー	市・地	継続	1	77	77	246	7月11日	万古渓谷
	<p>子どもとその親を対象に、飯田市天然記念物の栃の木を見て、地域の再発見と地域への愛着を深める</p> <p>実施内容 参加者:児童31名、保護者20名、先生6名、案内人5名、役員15名 計77名 学校の先生、児童、保護者、役員が「子ども達に地域の自然に親しんでもらいたい。危険もあるので協力して怪我のないように」という意識を共有して取り組み。</p>	市・地	継続	1	77	77	246	【総括と今後の方向付け】 ◆地元にある市の天然記念物「栃の木」を小学生に実際に見てもらうことで自然に親しむとともに、千代にしかない「万古渓谷の自然」を体験する中で、千代を知り、千代の人を知り、自分を知ってもらうことができた。 ◆案内人が高齢化しているため、後継者育成をしやすい環境を整えて行く。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	第19回千代地区ウォークラリー大会	地区費	継続	1	59	59	1,780	10月3日	千代地区
	<p>小学生を中心とした一般を対象に、地域の地理や歴史、自然に関心を持つ</p> <p>実施内容 参加者:児童32名、保護者13名、先生10名、一般1名 計56名 千代地区各地の地理や歴史、自然に興味を持ってもらうとともに問題協力を図る。熱中症対策で時期を1か月遅らせた。</p>	地区費	継続	1	59	59	1,780	【総括と今後の方向付け】 ◆チーム分けを昨年と変え、あえて親子を別のチームにした。ある子は最初はお母さんと連うチームで落ち込んでしまったが先生や上級生の励ましによりゴールまで「自分もやれば出来るんだ」と感じられたと思う。また親も「うちの子もほかの子に負けたくないくらいしっかりしている」と感じられたと思う。 ◆19年目となる事業だが大郡だけコースがないため新設して開催する。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	創作教室	市・地	継続	1	29	29	164	11月15日	千栄小学校
	<p>児童とその親を対象に、世代間交流を通して、地育力の向上を図る</p> <p>実施内容 講師:関口兼善、森山賢治 参加者:児童19名、保護者約10名 計29名 正月飾りを、子どもと保護者が一緒に、地域の講師から教わる。 ※今年から文化祭と同時開催とした。</p>	市・地	継続	1	29	29	164	【総括と今後の方向付け】 ◆文化祭と同時開催としたことで飛び入り参加が児童6名、保護者約10名があり良かった。兼善さんや森山さんのような地域の大人との関わりが大事だと思う。心に残る。 ◆来年も同様に継続する。	

# 千代公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
その他	人形劇フェスタバスツアー	市・地	継続	1	55	55	82	8月6日	実施内容参照	
	児童を対象に、夏休みに親につれて人形劇フェスタを身近に感じる機会とする	千代公民館 発(千栄小経由) 9:00 黒田人形浄瑠璃伝承館 人形芝居燕尾観劇 10:00 黒田市美術博物館 プラネタリウム観賞 11:30 飯田市美術館 プラネタリウム観賞 昼食終了後 夏休み特別展 生きものの小べや 15:00 千代公民館 着					数量的成果 (項目名と数値) 満足100%、不満足0%			
その他	千代地区成人式	市・地	継続	1	18	18	20	1月10日	千代公民館	
その他	新成人を対象に、成人がふるさとの再認識の場として、また地域社会への一員としての自覚を持つ	新成人の希望を反映して実施。 ・記念写真撮影・閉式の辞・主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露 ・なつかしの給食・乾杯・新成人自己紹介、近況報告・恩師よりメッセージ ・飯田市消防団第13分団より、思い出のアルバム(スライド上映) ・万歳三唱・閉式の辞					【総括と今後の方向付け】 ◆思い出のアルバムでしみりした後、役員から新成人への熱いメッセージを読み上げ、その後、企画委員長の音頭で新成人の今後に幸多かれと万歳三唱をしたことで、新成人の地域への愛着を感じてもらったことができた。 ◆今後は、成人式をきっかけに、地域活動への二歩目を踏み出してもらえような仕掛けをつくっていきたい。			
	木遣り保存会	子ども:18人 9月～ 毎月第三水曜16時 講師:北澤勝、関口兼善 大人:33人 9月～ 毎月第一土曜19時 講師:北澤勝、高瀬弥津美 5月10日に学習会を行ってから会員募集した。平成28年4月10日に行われる野池神社御柱祭に向け、大人の部、子どもの部に分け、月に1回公民館で練習を重ねる。	市・地	継続	17	867	51	子ども:第三水曜 大人:第一土曜	千代公民館	
その他	小学生、一般を対象に、文化の継承を図る	子ども:18人 9月～ 毎月第三水曜16時 講師:北澤勝、関口兼善 大人:33人 9月～ 毎月第一土曜19時 講師:北澤勝、高瀬弥津美 5月10日に学習会を行ってから会員募集した。平成28年4月10日に行われる野池神社御柱祭に向け、大人の部、子どもの部に分け、月に1回公民館で練習を重ねる。	市・地	継続	17	867	51	子ども:第三水曜 大人:第一土曜	千代公民館	
	どんぐりの会	●千代小学校毎週金曜8:20～8:40 ●千栄小学校:毎週水曜8:15～8:30 ●しゃくなげの郷:毎月第3週14:00～15:00 ●11月7日 読み聞かせ研修 ●小学校の朝読書の時間に本の読み聞かせを行う。かねてよりあった千代小と婦人学級の結びつき、地域の子どもと自然と接するの出来る関係になりたいとの想いと千代小からの「読み聞かせをしてくれん?」という提案が結びつき、H20に発足・活動を開始した。	市・地	継続	132	132	24	1,780	実施内容参照	千代小・千栄小ほか
その他	一般を対象に、本の読み聞かせを通して、小学校と地域とを結び、地育力の向上を図る	●千代小学校毎週金曜8:20～8:40 ●千栄小学校:毎週水曜8:15～8:30 ●しゃくなげの郷:毎月第3週14:00～15:00 ●11月7日 読み聞かせ研修 ●小学校の朝読書の時間に本の読み聞かせを行う。かねてよりあった千代小と婦人学級の結びつき、地域の子どもと自然と接するの出来る関係になりたいとの想いと千代小からの「読み聞かせをしてくれん?」という提案が結びつき、H20に発足・活動を開始した。	市・地	継続	132	132	24	1,780	【総括と今後の方向付け】 ◆会員の高齢化が課題であったが、新規会員も4名加入した。無理なく楽しくモットーに活動できている。 ◆この活動はそのまま継続しつつ、同時に有志を人形劇団に発展させていく仕掛けを準備していく。	千代小・千栄小ほか
	おたんじょうび本	児童は、誕生日の前の月末までに図書館へいき、33冊のおたんじょうび本のリストの中から好きな本を選び、ほしい本を図書館係へ提出する。本に、どんぐりの会、図書館、公民館からのメッセージスタンプを押し、ラッピングして、誕生日に小学校にてプレゼントする。地域の子どもたちのメディア漬けの状況、図書館利用率の低下、どんぐりの会の活動の各家庭への認知度向上、子ども達が集まれる場がないという課題を解決するための企画。	市・地	新規	82	82	82	82	通年	千代小・千栄小
その他	地区内小学生全員を対象に、図書館の利用促進、メディア漬けの改善を図る。	児童は、誕生日の前の月末までに図書館へいき、33冊のおたんじょうび本のリストの中から好きな本を選び、ほしい本を図書館係へ提出する。本に、どんぐりの会、図書館、公民館からのメッセージスタンプを押し、ラッピングして、誕生日に小学校にてプレゼントする。地域の子どもたちのメディア漬けの状況、図書館利用率の低下、どんぐりの会の活動の各家庭への認知度向上、子ども達が集まれる場がないという課題を解決するための企画。	市・地	新規	82	82	82	82	通年	千代小・千栄小
	地区内小学生全員を対象に、図書館の利用促進、メディア漬けの改善を図る。	児童は、誕生日の前の月末までに図書館へいき、33冊のおたんじょうび本のリストの中から好きな本を選び、ほしい本を図書館係へ提出する。本に、どんぐりの会、図書館、公民館からのメッセージスタンプを押し、ラッピングして、誕生日に小学校にてプレゼントする。地域の子どもたちのメディア漬けの状況、図書館利用率の低下、どんぐりの会の活動の各家庭への認知度向上、子ども達が集まれる場がないという課題を解決するための企画。	市・地	新規	82	82	82	82	通年	千代小・千栄小

# 龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区	乳幼児学級(0～1歳、2～3歳)	事業区分 市費	15	—	—	—	年間	龍江公民館他
学級・講座	<p>【総括と今後の方向付け】 今年も多くの親子に参加いただき活動を行った。だんだんと子どもの数が少なくなる中、地区内に住む同世代親子の繋がりを作ることはこれからますます重要になってくると思われる。小さな時から繋がりを広げていきたい。また保育園とも連絡を取り合いながら、合同事業等も増やしていきたい。</p> <p>講師：小木曾嘉子さん(指導者)、金田保健師(保健指導) 保育園入園前の幼児と親を対象に、子どもが心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや集団遊びの提供や実践の機会とする。また、親子遊びや親子の繋がりを育てると共に、親同士の相互交流の場とする。 ◇0～1歳児グループ 5月～3月まで12回実施。季節ごとの催しを企画。 ◇2～3歳児グループ 4月～3月まで13回実施。季節の行事や図書館、人形劇鑑賞等様々な活動及び交流を展開。</p>	事業区分 市費	15	—	—	—	年間	龍江公民館他
学区	家庭教育講座(大豆栽培体験)	事業区分 市・地	4	92	23	23	11/12、12/17、12/18、2/12	龍江小学校
学級・講座	<p>講師：前澤 隆志さん 協力：JA女性部、一英明さん、澤柳 春好さん 小学生を対象に畑で採れた大豆を使いきな粉、豆腐づくりを実施。 龍江小学校2年生が大豆の種まきから栽培を行い、収穫や消費まで体験した。栽培した大豆は石臼を用いたきな粉、豆腐に加工し消費した。学校の先生と地域の方との情報交換もきっかけになり行え楽しく事業を行う事ができた。地域と学校がより結びつきが広がっていき</p>	事業区分 市・地	4	92	23	23	11/12、12/17、12/18、2/12	龍江小学校
学区	食育体験教室(季節の野菜づくり)	事業区分 市・地	9	—	—	70	年間	龍江公民館
学級・講座	<p>講師：前澤 隆志さん、一英明さん、地域の協力者 保育園児を対象に食育の一環として食農体験を行う。食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、農作業だけでなく収穫物を実際に食する事で食の生産から消費までを体験する機会とする。 ○栽培食物：サツマイモ、タマネギ、ジャガイモ、大根 他</p>	事業区分 市・地	9	—	—	70	年間	龍江公民館
学区	郷土を学ぶ講演会	事業区分 市費	1	30	30	2,922	9月10日	龍江公民館
学級・講座	<p>講師：大原千和喜氏 演題：郷土を学ぶ理もれゆく「あきは路と心」 一道筋の人達に援けられながら歩いた記録と思いい出の中から生まれ育った郷土の歴史を学ぶため実施。地域外からも参加者があり関心の高さも伺えた。</p>	事業区分 市費	1	30	30	2,922	9月10日	龍江公民館
学区	健康教室	事業区分 市費	1	40	40	2,922	10月31日	龍江公民館
学級・講座	<p>講師：きんもくせい 一般を対象にヘルスチェックや骨密度の計測を実施。健康増進に向けての啓発も併せて行う事となった。</p>	事業区分 市費	1	40	40	2,922	10月31日	龍江公民館

# 龍江公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子人形劇の会 人形劇団：ほんわかシアター プログラム内容：「ちゅうくんとコッコちゃんなかよしよし」 「パチパチポン・ねえねえなあにこれなあに？」 飯田文化会館、龍江保育園との連携の中で実施。 保育園児及び公民館乳幼児学級のみなさんが参加。親子で人形劇に触れあう機会を提供。	市・地	継続	1	65	65	—	12月4日	龍江保育園
学級・講座	ふるさと再発見講座 各分館で地区内の旧跡や自然、文化など龍江の歴史・文化を学ぶ機会とした。今一度龍江を使い振り返る機会とし、地域として守っていく物、残したい物を考え地域の価値観を高める機会とする。また分館活動の興味についても学習する機会となった。	地区費	継続	3	100	—	2,922	各分館による	龍江地区内
学級・講座	ストレッチャ体操教室(のびのび元気体操) 講師：村沢由美子氏(健康運動指導士) 一般を対象にストレッチャ体操を実施。昼間の時間帯で設定をし中高年の方をターゲットに実施。	市費	継続	1	20	20	2,922	3月3日	龍江公民館
学級・講座	シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操) 講師：片桐みどり氏(健康運動指導士) 一般を対象にエアロビクス体操を通して交流を図る。夜間の時間帯で設定をしより参加しやすい環境で実施。	市費	継続	1	20	20	2,922	3月10日	龍江公民館
学級・講座	陶芸教室 講師：三輪俊子さん(三輪楽雅堂) 一般を対象に、龍江地区の伝統的な天龍峡焼きや尾林焼きといった陶芸文化を身近に触れ実際に作る事で地域文化のすばらしさを実感していただく。また、文化祭で作品の展示を行う。 9/13(日)作陶(素焼) 三輪楽雅堂工房 9/27(日)施釉(本焼) 三輪楽雅堂工房 10/31・11/1 展示・講評 龍江公民館	市・地	継続	4	20	5	2,922	実施内容のとおり	三輪楽雅堂工房
学級・講座	そば打ち体験 講師：春日二八会(代表澤柳春好) 一般を対象に、そば打ち体験を実施。そば粉からそばになる過程を実際に体験する機会を提供。	市・地	継続	1	20	20	2,922	10月31日	龍江公民館



# 龍江公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校クラブ活動	地区費	継続	5	12	-	-	年5回	龍江小学校他
	目的 龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることで、より龍江を愛する心を育む。	講師○伝統と文化・・・前澤隆志さん○お茶・お花・・・澤柳美香さん○陶芸・・・三輪俊子さん○郷土料理・・・JA女性部の皆さん○今田人形・・・澤柳太門さん、吉澤健さん	実施内容					【総括と今後の方向付け】 発足して2年目となるが学校・地域もだんだんと慣れスムーズな展開が出来ている。今後も継続して実施を考えているが、クラブの内容については年度当初に児童と一緒に考えていきたい。	
学級・講座	小学校お助け隊	0円	新規	5	200	-	-	年間	龍江小学校他
	目的 龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることで、より龍江を愛する心を育む。	授業内容○家庭科(ミシン・手縫い)○書道(絵画)○読書(読み聞かせ)○総合(おやすみ作り、たこ作り)	実施内容				【総括と今後の方向付け】 今年度から実施。授業に補助員として参加し、先生と共に児童に対する補助を行った。当初は不安に感じていた地域の皆さんも、回数を重ねる毎に慣れいき児童と積極的に会話も出来るようになっていた。今後はより多くの地域住民の参加を促し地域全体で児童を育てることに取り組んでいきたい。		
学級・講座	図書館お楽しみ会	市・地	継続	3	100	-	2,922	5/9・12/5・3/5	龍江公民館
	目的 子ども達を中心に本に親しんでもらう為に実施。各種イベントを設けて図書館利用を促進。	5月9日：作るお楽しみ会 12月5日：クリスマス会 3月5日：春のお楽しみ会	実施内容				【総括と今後の方向付け】 イベントの中で、読み聞かせや紙芝居等の本に関わる物の他、工作やプレゼントといった事も実施した。今後は本だけでなく様々な催しを開催し図書館利用の促進を図りたい。		
学級・講座	和紙作り	市・地	継続	5	115	23	23	5/26・1/25・1/28・2/4・2/8	龍江小学校他
	目的 龍江でも以前行われていた紙漉を復興し、伝統文化として継承していく。	講師：前澤 隆志さん・補助：野口康三さん・澤柳春好さん 龍江で紙漉が行われなくなってきたが、時代の変化と共に昭和48年をもって龍江で紙漉を行う家は無くなってしまった。今一度、「和紙の里龍江」を継承するために子供達に紙漉体験を行う。	実施内容				【総括と今後の方向付け】 昨年実施した紙漉を今年も行った。2年目となるが、学校の考えと公民館としての考え、また地域としての考えが工作している部分があり、準備をしっかり行っていたが、紙漉を作るだけだけでなく、当時の苦労や紙のありがたさを学習する機会を設けたいと思う。		
文化事業	いいだ人形劇フェスタ龍江地区公演	他会計	継続	6	634	-	-	実施内容参照	開催内容参照
	目的 地区内の様々な場所で行うことで、より多くの地区民が人形劇に触れフェスタを盛り上げることを目的として実施する。	地区内の様々な場所で行うことで、より多くの地区民が人形劇に触れフェスタを盛り上げることを目的として実施する。 本館公演以外の運営は分館と保育園保護者会が行い、フェスタへ参加、劇人との交流等、取組みを行う。 ◇上演会場：龍江公民館(8/5)、龍江保育園(8/6)、龍江1区公民館(8/8)、龍江3区公民館(8/8)、龍江4区公民館(8/9)今田人形の館(8/9)	実施内容				【総括と今後の方向付け】 今年度も劇人の受入段階から各会場(分館役員)で主体的に運営し、フェスタに積極的に取り組むことができた。今年度は龍江公民館でも人形劇公演を行った。運営に関しては地区内小中学生のボランティアを募集した。 昨年公演を取りやめた分館が、今年度は再開してくれた。次年度以降も継続して取り組んでいきたい。また分館独自の運営による「そでしか味わえない人形劇」を目指していきたいと思う。		
文化事業	人形劇フェスタ観劇バスツアー	他会計	継続	1	45	45	131	8月7日	飯田市公民館 他
	目的 児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする	小学校児童を対象として夏休みを利用して平日にホールで行われる大型人形劇の観劇ツアーを実施し、龍江地区以外で行われる人形劇また、飯田の人形劇の祭典でもあるフェスタの雰囲気にも触れる機会としたい。 8/7 人形劇団ひとみ座～美女と野獣～(飯田市公民館)	実施内容				【総括と今後の方向付け】 普段地区で見ることのできない人形劇と出会う機会となった。なかなか地区の中で、活気のあるフェスタの様子を見ることが出来ないため、飯田に根付く文化の様子を体験してきたのではないかとと思う。また美博でのボランティアも好評であった。		



# 龍江公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	スラックライン	新規	1	40	40	135	11月28日	龍江小学校
	実施内容 放課後NPOアフタースクール・住友生命と共催で実施。元世界チャンピオンで日本ランキング1位の福田恭巳選手にお越しいただき、小学生を対象にスラックライン教室を開催。 目的 ニュースポーツの触れ合いと、世界で活躍する人との交流を図る。	評価	【総括と今後の方向付け】 公民館だけでは予算や人脈がなく、世界で活躍している人を呼ぶことは難しいが、団体や企業と協力することで実施することが出来た。初めての内容であったが子ども達も楽しみながら先生と関わっていたと思う。若い方が世界で活躍している姿を見て子ども達にも良い刺激になったと感じる。					
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	龍江新聞	継続	12	—	—	2,922	年間	龍江公民館
	実施内容 公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域を目的とする。 目的 公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域を目的とする。 ◇毎月1日付発行、基本サイズ：タプロイド版 2頁 第785号(4月)～第796号(3月) 毎月：前月号校正、企画会議、割付作業、編集作業	評価	【総括と今後の方向付け】 公民館行事の広報に留まらず、保育園、小、中学校、地域自治組織など龍江全体の行事を取り上げ地域の新聞としての役割を果たしている。昭和24年8月に第1号が発刊され地区の記録としての役割も果たしていく。2年後には創刊1800号を迎える予定であり、特別号の企画を考えていきたい。					
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	龍江新聞地区外発送事業	継続	12	—	—	—	年間	龍江公民館
	実施内容 希望者を対象に龍江新聞の地区外発送を行い、広く地域の情報発信を行う。 目的 希望者を対象に龍江新聞の地区外発送を行い、広く地域の情報発信を行う。 地区外発送118部 年間購読料1,200円	評価	【総括と今後の方向付け】 今後も多くの方にふるさと龍江の情報を提供していく取組として購読を勧めていきたい。					
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	龍江ホームページ運営	継続	—	—	—	—	実施内容参照	龍江公民館
	実施内容 詳しくはWEBで <a href="http://www.tatue.jp/">http://www.tatue.jp/</a> 目的 公民館事業に限らず住民が地域を伝えるきっかけづくりを目的として実施。 検索：龍江地域づくり委員会	評価	【総括と今後の方向付け】 情報発信の相手方を意識した事業展開が望まれる。また情報発信の機会を多く行っていくことと、情報発信を多くの方にして頂ける工夫も必要。更新頻度の向上に向けた体制の強化を図っていく。					
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	ふるさと探検	市・地	1	75	75	2,922	7月11日	龍江4区
	実施内容 地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶことに家族との交流のきっかけとする。講師は地元方へ依頼。 目的 保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つための地域について学習し理解を深める機会とする。	評価	【総括と今後の方向付け】 親子でふれあひながら、地区の史跡をまわる「ふるさと探検」。今年は4区を巡った。龍江住民も4区は中々知らない場所も多く地域を知る上でも良い体験となった。なかでもハッチョウトンポは、日本最小のトンポとして有名であるが、地域内にも生息していることを知っている人は非常に少なく、環境に目を向ける良い機会となった。また今年には地区内の方に多くの協力を頂き、綱引き体験や尾林焼きの見学を行うことが出来た。参加者も以前よりも増え関心の高さが伺えた。福祉委員会と協力し、「龍江ウォーカーキング」と併催した結果、ウォーカーキングに対する意識の向上につながった。次年度も地域の資源に目を向けた内容に出来るように取り組みたい。					

# 龍江公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	水辺の楽校魚釣りがみ取り大会	地区費	継続	1	130	130	2,922	9月5日	龍江水辺の楽校
	目的 保育園児、小学生と親、地区住民を対象に、親子団らん場の提供、児童が川に親しむ機会を大切にすることを育む機会として実施。	実施内容 小学校PTAと下伊那漁業共同組合、総合学習館かわらんべと合同で実施。第一部として魚釣り大会、第二部として魚のつかみ取り大会を行った。魚はニジマスとアマゴを放流した。	評価 【総括と今後の方向付け】 子供達はこの事業を非常に楽しみにしているようで多くの笑顔があふれた。環境を考へる場、また魚釣りを通じて親子団らんの場となった。また子供は魚つかみや川遊びを通じて、川に親しむだけでなく、また生き物の命についても考える良い機会となった。現在は安全面から川遊びが敬遠されているが、児童の貴重な体験の場として今後も実施していきたい。今年魚をその場で食すことを考え、試験的に焼き場を設けた。漁業組合の協力を得て、竹による串をその場で作製し、炭火で焼いた。炭火焼きは初体験の子どもも多く参加者からも好評であった。次年度に向けては、役割の再確認を含め活気ある水辺の構築を考えていきたい。						
育成事業	アップルキッズの森	市・地	継続	1	37	37	135	年間	開催会場 学校りんご園
	目的 小学校児童を対象に、りんごの生産を通じ、食育や地区の産業を知る機会とする。	実施内容 小学校で所有する「アップルキッズの森」の活動を通して、地域の産業や地域協力者との交流を図る。 ・花摘み、摘果、小袋掛け、収穫、追肥、剪定、除草 等	評価 【総括と今後の方向付け】 小学校の環境委員会を中心に活動が行われている。小学生だけでは世話が出来ないこともあり、公民館と地域のりんご農家を中心に組織した学校りんご園後援会が管理を行っている。小学生の内から地域の特産物に触れる良い機会と感じている。子ども達も自分たちの育てたりんごを収穫する時には笑顔が溢れていた。今後も引き続き学校と協力しながら取り組んでいきたい。						
育成事業	百人一首大会・龍江かるた会	地区費	継続	1	37	37	2,922	1月30日	開催会場 龍江公民館
	目的 保育園、小学生、地区住民を対象に、百人一首大会、龍江かるた会を実施。日本文化を学ぶ機会とする。	実施内容 講師：公民館長 百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるた会は地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を学ぶ機会とする。また、両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童がふれあう場とする。 百人一首大会：23回目 龍江かるた会：20回目	評価 【総括と今後の方向付け】 両大会とも学年を超えた交流の機会となっている。また、龍江かるた会は「龍江かるた」を通して龍江の地域の今昔や、史跡、名所を知ることができ、非常に有意義な事業としてとらえている。地域の歴史を学びながら友達と仲良くふれあう非常な効果ツールだと考える。今後とも様々な事業で龍江かるたを活用し子供達へ地域の歴史や良さを広めていきたい。時期的にインフルエンザが流行するので、衛生面で親が安心して子供を参加させる事が出来る環境作りも視野に入れていきたい。						
その他	武田信玄狼煙リレー	市・地	継続	1	100	100	—	9月5日	開催会場 龍江公民館
	目的 かつて情報伝達として用いられた狼煙を通じ、先人の文化を学ぶと共に地域を考へる機会とする。	実施内容 講師：沢柳 徳次さん 飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の遺紙リレーに参加し先人の文化を感じる。また会場で狼煙や武田信玄についての概要説明を行ってもらった。	評価 【総括と今後の方向付け】 3年目となる事業であるが、今年も魚釣り大会と合同開催としたため多くの方が集まった。今年も点火の際に、まいぎりを活用して行った。各地区合同で行っている事業であるが、どこの地区も内容の自身が実行者には理解できていないのではな						
その他	龍江地区成人式	市・地	継続	1	29	29	36	1月10日	開催会場 龍江公民館
	目的 龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ実施。	実施内容 新成人に自分が生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ、地域全体で新成人をお祝いすることを目的として実施。開催にあたっては、新成人が自ら作り上げる成人式を目指して、龍江在住の新成人該当者6名が主体となって企画・立案し当日の運営も行った。 地域学習：天竜川の歴史「神明社」	評価 【総括と今後の方向付け】 中山間地は成人該当者は少ないが、地域の顔と顔が繋がっており新成人全員による自己紹介を行った。地域全体で新成人の門出を祝うことが出来、出席者全員に笑顔があふれていた。また新成人には屋号や保護者の名前も話してもらい来賓や役員との交流につながる機会を設けている。今後、さらに新成人の人数が減少する中、様々な視点で地域を盛り上げる人材育成の場としても取り組みたい。						

# 龍江公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	今田人形浄瑠璃の保存と継承	他会計	継続	7	1,000	—	—	実施内容参照	今田人形の館他
	<p>地区内外の方及び今田人形座を対象に、今田人形浄瑠璃の保存と継承を図る。</p> <p>今田人形浄瑠璃の保存と継承を図る。</p> <p>6/20 今田人形保存会総会、8/1 保存会報「今田の木偶」発行、10/3 黒田今田人形浄瑠璃(ホクト文化ホール)、10/17・18 大宮神社秋季祭礼奉納公演(酉祭り蛸廻芝居)・大宮神社秋季祭礼奉納公演(本祭り)、12/19・20 今田人形浄瑠璃展(渋谷区アートギャラリー一道玄坂)</p>							【総括と今後の方向付け】 地区内の公演だけでなく、県内外でも知名度が上がってきている。今田人形の伝承のためにも支えていただきたい。また今田人形の付随して龍江地区のPRも引き続き実施し、将来的には移住人口を増やしていきたい。	
企画事業	「おらが里 龍江」刊行	地区費	新規	—	—	—	—	開催期日	開催会場
	<p>龍江の歴史や後世に残していきたい事柄を、地区内住民に執筆いただき書籍として刊行する。</p> <p>地区内の高齢者を中心に、後世に残していきたい龍江地区の事柄を執筆いただき各戸配布を行う。また、戦後70年の節目の年でもあり、戦争の体験記も収録する。</p>						2,922	—	—
									【総括と今後の方向付け】 現在作成中

# 竜丘公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級	市・地	継続	6	85	21	21	10/26～3/7	竜丘公民館
	【総括と今後の方向付け】 子育ての支援を充実させ、安心して育児に専念できるような環境整備が求められ る。特に、地域による子育て支援の充実が求められている。来年度以降も行う。地 域でのサポートも広く竜丘住民が行う仕組みを模索する。	乳児の成長発達や育児法、離乳食などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。 栄養士に離乳食相談をお願いする。	評価						
学級・講座	1歳児学級	市・地	継続	11	220	41	65	5/13～3/2	竜丘公民館他
	【総括と今後の方向付け】 子育ての支援を充実させ、安心して育児に専念できるような環境整備が求められ る。特に、地域による子育て支援の充実が求められている。来年度以降も行う。地 域でのサポートも広く竜丘住民が行う仕組みを模索する。	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学 ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。	評価						
学級・講座	2歳児学級	市・地	継続	16	135	22	45	5/22～3/11	竜丘公民館他
	【総括と今後の方向付け】 子育ての支援を充実させ、安心して育児に専念できるような環境整備が求められ る。特に、地域による子育て支援の充実が求められている。来年度以降も行う。地 域でのサポートも広く竜丘住民が行う仕組みを模索する。	講師に保健師、保育士等をお願いし、乳児の成長発達や育児法などについ て学習すると共に、親の個人相談等を保健師に依頼する。 大人の学校「Ba助けっこ」による支援をとおして、親と地域のおばあちゃんが 知りあい、相談し合える関係を構築する。	評価						
学級・講座	3歳児学級	市・地	継続	11	100	17	58	5/27～3/23	竜丘公民館他
	【総括と今後の方向付け】 子育ての支援を充実させ、安心して育児に専念できるような環境整備が求められ る。特に、地域による子育て支援の充実が求められている。来年度以降も行う。地 域でのサポートも広く竜丘住民が行う仕組みを模索する。	講師に保健師、保育士等をお願いし、乳児の成長発達や育児法などについ て学習すると共に、親の個人相談等を保健師に依頼する。	評価						
区分	家庭教育講演会	市費	継続	1		130	250	11月26日	竜丘公民館
学級・講座	竜丘保育園との共催で行つ 親子での人形劇の観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、その後の保 護者を対象に家庭教育についての講演会を行う。 劇団：人形劇団むすび座 演目：ヤンチャメッチャブー・こぎつねコンとこだめきポン 講演：園長先生からのお話	数量的成果 (項目名と数値) 保育園児：70名、未就園児：30名、親：30名	【総括と今後の方向付け】 竜丘保育園との合同で開催。園児やその保護者、未就園児の親子に人形劇を観 劇することで、異年齢交流や人形劇のまちづくりにつながる機会となった。 観劇後の講演は内容やタイミングを検討するなど充実させ、今後も家庭教育事業 を継続していく必要がある。	評価					







# 竜丘公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015竜丘地区公演	他会計	継続	1	2,136	107	6,914	8/4~8/9	竜丘公民館他	
	実施内容 竜丘地区内で18劇団による14公演を実施。 竜丘公民館では木・金曜日と公演があり、金曜日に「竜丘マラソン公演」と題した連続公演を行い、1日中人形劇を楽しめる環境を作る。 各分館では交流会も実施し、劇人との交流を通して「人形劇のまち飯田」を知り、その意味を考える機会となっている。	目的 一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民の交流を図る。	評価 【総括と今後の方向付け】 小学生のボランティアスタッフの参加があり、地域の中で人形劇フェスタを盛り上げていく。 マラソン公演は地域に定着しており、竜丘だけでなく県外からも多くの人が楽しみに来場している。 分館公演にはBタイプの劇団が入り、人形劇のまちとして、小さいころから質の高い人形劇に親しめる環境ができている。分館の負担感は大きいが、「フェスタが人と人、更に地域のつながりを密接にしてくれる。」との感想も聞かれ、地域を見つめる場となっている。							
文化事業	親子ふれあいハイキング	地区費	継続	1		107	6,914	5/2事前学習、5/10本日	臼井原イベント広場	
	実施内容 小学生親子を対象に、地域資源を学び、大切にすることを意識の向上を図る。	目的 春の里山体験と題し、里山を活用した体験学習を行うと共に、山を守る活動につなげる。 事前学習を行い、整備と公民館委員の学習を行う。 竹カブつくりやきのこの駒うち、山菜採り、タケノコ掘りを行う。 焼き芋や棒パン、豚汁を食べながら里山に親しみ、植樹を通して愛着を持ってもらう。また、財産区や里山にある植物などの学習を行い、子どもだけでなく親にも学んでもらう。	評価 【総括と今後の方向付け】 親子で竜丘の自然に触れる中で、様々なことを学ぶ機会となっている。 駐車場から会場まで約2キロのハイキングは、小学生未満の子にもは大変であったが、親子ふれあいハイキングの中でふるさと学習会を開催し、里山について学ぶ機会を設けて、ふるさと意識の醸成、里山の保全活動につなげる講座となったハイキングの中で、タケノコを掘ったり、キノコのコマコちを体験する等、里山での体験を中心行い、午後はネイチャーゲーム協会の皆様による学習会を行った。これからの活動をとおし里山の保全活動につなげていく。							
体育事業	夏季スポーツ大会	地区費	継続	1		150	6,914	5月24日	竜丘小学校校庭	
	実施内容 竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る。	目的 日頃の運動不足解消と地域住民の交流の場を提供し、誰もが気軽に体を動かし親睦を深める事を目的としてベタンクマスタースを実施。 各分館から3人1組で10チーム、年代別のチーム編成とし、分館対抗での競技とした。 空きスペースに練習用コート进行いいつも練習出来る環境とした。	評価 【総括と今後の方向付け】 年代に関係なく幅広い年齢層での競技となり、親睦を深める事業として定着している。相互審判とすることで、対戦相手との会話も自然と増え、交流の場としても良い大会となった。 当日は気温も高く、開催時刻を午前中にしたらどうか？と言った意見も出た。試合式に関しては、総当たりとしたが、多すぎると言った意見も出され、トーナメント方式も検討したい。 初めて参加してくれた方々も多く、ルールの説明不足がみられた。もう少し時間を取ってルール説明を念入りに行う必要がある。							
体育事業	冬季スポーツフェスティバル	地区費	継続	1		170	6,914	12月13日	竜丘公民館他	
	実施内容 竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る。	目的 多くの方に気軽に参加してもらえよう種数の種目を取り入れ、子どもから大人までスポーツを通して交流を深める。 ニューズスポーツを取り入れる。 種目1:フンドゥンドゥン 種目2:囲碁 種目3:スポーツ吹き矢	評価 【総括と今後の方向付け】 今年度はワンフア、囲碁ボールに加え、スポーツ吹き矢も種目として加え、実施した。運営には改善点があるものの、新しい種目も取り入れながら、住民の運動の機会の創出、交流の機会としたい。							

# 竜丘公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘市民運動会	地区費	継続	1		1		120	6,914	10月11日	竜丘小学校
体育事業	<p>・地域住民がスポーツを通じて親睦・交流を深めると共に、健康増進に繋がる機会を提供する。</p> <p>・誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。</p> <p>・大会運営をスムーズに行い時間通りの進行に努める。</p> <p>・準備運動から整理体操まですべての競技種目について、昨年度の反省を踏まえより良い競技内容となるよう、スタッフ会、体育委員会にて審議、検討を行う。</p> <p>・積極的に中学生スタッフに協力してもらえよう働きかけを行う。</p>	実施内容	評価	【総括と今後の方向付け】 残念ながら、当日は雨天となり運動会は中止とした。 当日に向け、各分館に於いては、選手集め、賞品準備、応援練習、競技練習等、積極的に取り組みを頂いた。 当日までの反省として、係員選出について説明不足の点があった。来年度は事前説明を丁寧にしていく。 練習用器具についても、途中で変更したものがあり、備品点検時の確認を徹底する。 中学生スタッフに於いては、第1回の実行委員会から参加を頂き、前日準備まで積極的に取り組んでくれ、大変有り難かった。 選手集めが大変になってきており、得点種目を減らして自由参加種目を増やすことを検討していく。							
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報たつおか発行	地区費	継続	6		6			6,914		開催会場
広報事業	<p>・紙面を通じて、地域の現状を伝達するとともに、地域課題・生活課題について問題提起を行う。</p> <p>・読みやすく親しまれる館報づくりを行う。</p> <p>・館報「たつおか」327号～332号の発行を行う。</p> <p>・竜丘地域自治会のHHPを活用した広報活動を推進する。</p> <p>・年間の発行回数の検討を行う。</p>	実施内容	評価	【総括と今後の方向付け】 ・公民館活動や地域の取り組みなどをできる限りタイムリーに提供できるような努めた。 ・HHPの活用については館報の掲載のみにとどまっている。今後活用の幅を広げていきたい。 ・現在は年6回奇数月末に発行している。年間発行回数については検討を継続する。							
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘あいさつ運動	地区費	継続	6	200	6	200		6,914	8/26他計6日間	開催会場 竜丘地区
育成事業	<p>標語募集・選定、のぼり旗作成、あいさつ運動月間の周知、各分館であいさつ運動現地指導</p> <p>(1) あいさつの大切さを見なおす機会とする</p> <p>(2) 大人と子どもがあいさつを通して安心安全な地域づくりを行う</p> <p>(3) できるだけ多くの団体と連携して実施する</p> <p>(4) 小学校のあいさつ旬間と運動させる。</p>	実施内容	評価	【総括と今後の方向付け】 小学校児童会のあいさつ旬間と運動させ、PTA校外指導部の見守り活動と同日の8月26日を統一行動日としたことで、多くのPTAの協力も得、地域全体であいさつ運動を展開した。また小学校の全校朝会で、あいさつについての話をする時間を設けていただくなど、小学校とも連携して取り組むことができた。 実施した分館では、もう一日行動日を実施してもらった。分館からは、小学生だけでなく中学生のあいさつが非常に良かったとの感想が寄せられた。 日頃からあいさつを通して地域住民と子供のよりよい関係が構築されていくと犯罪防止にもつながっていく。	数量的成果 (項目名と数値) 小学生のあいさつ評語提出率 87.5%						
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	青少年クラブ運営	地区費	継続	360	47,160	360	47,160	131	600	通年	開催会場 竜丘小学校他
育成事業	<p>小中学生を対象とした青少年のクラブを支援する</p> <p>各クラブは週に1回程度実施</p> <p>代表者会の開催</p> <p>講習会の開催・救命処置(AEDの取扱方法)・骨折への対応・熱中症の予防、対応・止血処理</p> <p>募集チラシの配布等</p>	実施内容	評価	【総括と今後の方向付け】 緑中学校区3地区の合同の代表者会や講習会、募集チラシの作成など、中学校区を意識した活動を展開している。今後も小中連携一貫教育も意識した活動を展開していく。	数量的成果 (項目名と数値) 優秀児童数30名、講習会参加指導者数1名						



# 竜丘公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	塚原二子塚 古墳公園 臼井川秘境遊歩道整備委員会	他会計	継続	3				5月23日			
その他	塚原二子塚 古墳公園 臼井川秘境遊歩道整備委員会への参画										
	実施内容										
その他	塚原古墳群と臼井川秘境整備を行い、また公園化への機運を高める										
	評価										
その他	【総括と今後の方向付け】 古墳の金花の会を中心としてサルビアなどの植栽を行い、竜丘のシンボルである塚原二子塚古墳を彩った。古墳まつりでは参加者に植栽を行ってもらい、親しむきっかけとした。 古墳公園化を視野に入れ、古墳の会の活動を通して除草作業など、引き続き参画していく。										
	数量的成果 (項目名と数値)										
その他	参加者：整備作業①55名、整備作業②69名、整備作業③46名										
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘児童自由画保存顕彰委員会	地区費	継続	5			100		6,914	実施内容参照	竜丘地区
その他	小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。 飯田市立美術博物館や、児童自由画発祥となった上田市との交流、専門家との意見交換を行い、喫緊の課題となっている保存活動を重点的に推進する。 ・調査保存研究事業：児童自由画中性紙箱保存作業6/19、12/1 ・レブリカ活用事業：信金桐林支店展示5/28～7/31 ・竜丘小学校沿革史保存事業：竜丘地域自治会と竜丘小学校が協働でムトス補助金を活用して、保存とレブリカの作製を行った。										
	実施内容										
その他	竜丘住民を対象に、自由画についての理解を深め、地域に誇りを感じよう意識の向上を図る										
	評価										
その他	【総括と今後の方向付け】 長年の懸案事項であった、大正時代の児童自由画を、中性紙である久堅和紙に披み、中性紙箱に入れ保管することができた。残っている絵もあるので、随時整理しながら保存作業を行っていく。 竜丘地域自治会では、同じく懸案となっていた木下紫水画描いた学校沿革史を、小学校と協働でレブリカを作製し、保存作業を行った。小学校ではレブリカを活用した事業を、6年生の総合の時間の時間で実施した。 自由教育についての学習を充実させる中で、それぞれのレブリカの活用を行っていく。										
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	放課後子ども教室			43			1,000	46	400	毎週水曜日、第2第4月曜日	竜丘小学校他
その他	地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育む。 ・子どもたちが自主的に遊べるような環境づくりに努めていく。 ・家庭、学校、地域の団体などできるだけ多くの大人に協力、参加を働きかける。 ・教室を通じて、参加する大人たちが一体となり、地域づくりにつなげていく。 ・安心、安全な居場所にする。 ・PTAはサポーターとして教室の運営を補助										
	実施内容										
その他	小学生を対象に、放課後の居場所作りと、体験活動の充実を図る										
	評価										
その他	【総括と今後の方向付け】 子どもたちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業である。保護者とスタッフとの意見交換会から見えてきた良い点は継続し、課題については解決に向け、さらなる取り組みが必要。意見交換会は継続的に実施していく。メニューの工夫や新たなスタッフ募集など、随時改善していく。										

# 川路公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区・講座	乳幼児学級「すくすく学級」	市・地	継続	12	180	15	40	4月21日～3月8日	川路公民館ほか
	<p>講師：塩澤敏子先生(保育士) 主任児童委員、地区有志の方も参加している。 4/21(火)「年間計画・図書館探検・ななよしゲーム♪」 5/26(火)「仲良くなろう！一緒に遊ぼう！(手形・足型)」 6/23(火)「お散歩に行こう！～サロンあやめへ～」 7/7(火)「保育園で遊ぼう(川路保育園ひよこクラブと合同)」 8/25(火)「子育て講演会 講師：田平秀子助産師」 9/29(火)「みんなで作ろう！」 10/27(火)「天龍峡をお散歩しよう」 11/17(火)「ミニミニ運動会」 12/15(火)「クリスマス会」 1/26(火)「新聞紙あそび」 2/15(月)「みんなで遊ぼう(手形・足型)」 3/8(火)「文集作り」</p>							【総括と今後の方向付け】 子どもの参加年齢層が0歳～3歳と幅広いため、全員対象の学習を考えるのに苦慮している。また、子どもが楽しいことだけでなく、親対象の学習要素を盛り込むことで、親の育児不安を和らげるように工夫している。 子どもにとってみれば同年代の子たちと交流できる場であり、親にとっても同世代の人と交流できる場となっている。そのため、地域コミュニティへの入り口として、この講座が担う役割はとも大きいと考えている。 また、お父さんの参加も増えてきている。 来年度についても参加保護者の意見を取り入れながら、保健師、塩澤先生と相談して計画していく。	
学区・講座	さわやか健康教室	市・地	継続	10	150	15	22	4月24日～3月18日	川路公民館ほか
	<p>4/24(金)「かわらんべ周辺をウォーキング+総会」 5/15(金)「電車ツアー(元善光寺方面)」 6/19(金)「グラウンドゴルフ」 7/10(金)「健康体操 講師：田中美智子先生」 9/18(金)「かわらんべ周辺をウォーキング」 10/16(金)「バスハイク(日本大正村)」 11/20(金)「そばの城周辺をウォーキング」 12/11(金)「健康体操 講師：田中美智子先生」 2/19(金)「地区内ウォーキング(メガソーラー、川路神社)」 3/18(金)「かわらんべ周辺をウォーキング+総会」</p>							【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを主活動としているが、会員が楽しく参加できるように、内容は会員の意見を尊重してその都度決定している。今年度は健康体操やグラウンドゴルフ、バスハイクや電車ツアーを盛り込んだ。 しかし、メンバーの高齢化が進み、休会者・退会者が多くなっており、メンバーの確保が課題となっている。	
学区・講座	歴史文化セミナー	市・地	継続	12	96	8	12	4月22日～3月30日	川路公民館ほか
	<p>4/22(水)「4～5区の現地踏査」 5/20(水)「4～5区の現地踏査」 6/24(水)「飯田市考古資料館、開善寺見学」 7/22(水)「2～3区の現地踏査」 8/26(水)「現地踏査のまとめ」 9/23(水)「現地踏査のまとめ」 10/23(金)「下條村視察 講師：原重さん」 11/25(水)「下條視察反省、現地踏査のまとめ」 12/16(水)「調査成果物の確認とまとめ方検討」 1/27(水)「今後成果物踏査場所の検討、成果物のまとめ方について」 2/24(水)「伝説・言い伝え班も成果物読み合わせ」 3/30(水)「伝説・言い伝え班の刊行物発行について」</p>							【総括と今後の方向付け】 昨年度から引き続き続き、川路地区内の「後世に残すべきもの」をメンバーで見つめた。写真記録等も集まってきたため、次年度以降はそれらの保存・活用方法をセミナー内で検討していく。 また、各調査班が調べている資料の保存・活用方法についても検討していく。 しかし、メンバーの高齢化が進み、セミナーへの参加者が減少しているため、今後ともメンバーの確保が課題。	

## 川路公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	学友林学習事業	市・地	継続	1	29	29	94	6月2日	川路小学校学友林
学級・講座	川路小学校の児童対象に、自然環境との共生を考える機会とする	市・地	継続	1	29	29	94	6月2日	川路小学校学友林
	【総括と今後の方向付け】 小学校との話し合いの中で事業内容を考えていく。都合がつけば地区有志の方に参加していただいている。 例年、年間を通じて5年生を中心に活動していたが、今年度は学校側の意向により、1・2年生の沢登りのみとなった。 学校の先生によって内容が大きく変わってしまうため、連携を密にとりながら来年度以降も継続していきたい。								
学級・講座	川路小学校と共催。 講師：今村公人さん、地区有志の方々 6/2(火)「学友林たんけんたい」(1・2年生)	市・地	継続	1	29	29	94	6月2日	川路小学校学友林
学級・講座	川路地区内の住民・保護者・教師らが一堂に会し、地域で子どもを育てる環境づくりに向け協働で取り組む	市・地	継続	1	54	54	1,975	6月9日～13日	天龍峡温泉交流館
	【総括と今後の方向付け】 川路の子育て環境を考える中で、学校、地域、保護者の三者が協力して立ち上げた事業。スタッフ一人一人の負担を減らすために新たなスタッフを募集したところ、昨年の倍近い方の協力を得ることができた。その一方でスタッフ一人一人にこの事業の趣旨や狙いを話す時間が確保できず、十分に理解を得られなまま当日を迎えてしまい、子どもたちへの接し方の部分で混乱が生じてしまった。また、実行委員委員不足当時のメンバーが減少している中、この事業に対する思いの部分の引き継ぎが上手くいかか今後の課題となっている。								
学級・講座	川路通学合宿 昨年からの新規事業。 主管：川路通学合宿実行委員会 期間：6月9日～13日(4泊5日) 対象：川路小5・6年生の希望者22名	市・地	継続	1	54	54	1,975	6月9日～13日	天龍峡温泉交流館
学級・講座	地区民を中心とする参加者を対象に、教養を高め現代的な課題を考えるきっかけ作り及び川路地区住民の地域への誇りを高めることを目的とする	市・地	継続	4	381	95	1,975	7月26日、27日、30日、8月2日	川路公民館
	主催：飯田市公民館 主管：川路公民館 各界の著名人・第一線で活躍されている方を講師として招き、講座形式で開催。 7/26(日)「映画『望郷の鐘』を通じて平和について考える」山田火砂子先生 7/27(月)「住民力で最期まで安心して暮らせる地域を」中澤まゆみ先生 7/30(木)「人生は出逢也」大八木淳史先生 8/2(日)「未来を創り出すサス学で飯田の未来を一緒につむぎ出そう」杉浦正吾先生	市・地	継続	4	381	95	1,975	7月26日、27日、30日、8月2日	川路公民館
学級・講座	第63回天龍峡夏期大学 地区民を中心とする参加者を対象に、教養を高め現代的な課題を考えるきっかけ作り及び川路地区住民の地域への誇りを高めることを目的とする	市・地	継続	4	381	95	1,975	7月26日、27日、30日、8月2日	川路公民館
	主催：飯田市公民館 主管：川路公民館 各界の著名人・第一線で活躍されている方を講師として招き、講座形式で開催。 7/26(日)「映画『望郷の鐘』を通じて平和について考える」山田火砂子先生 7/27(月)「住民力で最期まで安心して暮らせる地域を」中澤まゆみ先生 7/30(木)「人生は出逢也」大八木淳史先生 8/2(日)「未来を創り出すサス学で飯田の未来を一緒につむぎ出そう」杉浦正吾先生	市・地	継続	4	381	95	1,975	7月26日、27日、30日、8月2日	川路公民館
学級・講座	川路地区住民を対象に、今地域で課題となっていることについて意見を交換し、課題共有化を図る	市・地	継続	1	54	54	1,975	2月7日	川路公民館
	主催：川路まちづくり委員会 主管：川路公民館 テーマ：30年後の川路に向けて 話題発表者：川路未来懇談会(奥村秀樹さん、今村博美さん) 話題提供の後、子育て、健康・産業・自然、交流・公民館、安全・安心の5分科会に分かれてグループワークを実施。	市・地	継続	1	54	54	1,975	2月7日	川路公民館
学級・講座	川路地区住民を対象に、今地域で課題となっていることについて意見を交換し、課題共有化を図る	市・地	継続	1	54	54	1,975	2月7日	川路公民館
	主催：川路まちづくり委員会 主管：川路公民館 テーマ：30年後の川路に向けて 話題発表者：川路未来懇談会(奥村秀樹さん、今村博美さん) 話題提供の後、子育て、健康・産業・自然、交流・公民館、安全・安心の5分科会に分かれてグループワークを実施。	市・地	継続	1	54	54	1,975	2月7日	川路公民館

# 川路公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	食育・走り方講座	市・地	継続	1	60	60	1,975	10月31日	かわらんべ
	実施内容 小中学生を対象に、身体づくりの意識を高め、走ることの楽しさを知ってもらうことを目的として行う	【総括と今後の方向付け】 小中学生を対象に実施。中学部活の顧問の先生の協力もあり、多くの中学生が参加した。走り方講習会では靴の履き方、ストレッチ方法などの走る前の準備についてしっかりと教えていただいた。走るタイムを競う場面では、普段から走っている人だけでなく、小中学生やその保護者、地域の大人も参加して全員で競い合った。次年度以降も川路ACと相談しながら開催について検討していきたい。							
遠足倶楽部	事業名	事業区分	継続	3	43	14	1,975	7月5日、10月4日、10月24日	川路地区内外
学級・講座	実施内容 地区住民を対象に、地区内外のウォーキングを通して健康づくりを促すとともに、地域の歴史や自然について学ぶことを目的とする	講師：今村公人さん 7/5(日)「上井を歩く段丘の自然と歴史めぐり」(健康福祉委員会と共催) 10/4(日)「峠みちウオーク砒峠・藤塚峠を歩く」(健康福祉委員会と共催) 10/24(土)「秋の大平原民の森・夏焼山を歩こう」							
	目的	【総括と今後の方向付け】 地区有志のメンバーが講師と相談しながら行先を決定し、ただ歩くだけでなく、講師の指導のもと自然や歴史を学びながら目的の地を目指す。 今年度は健康福祉委員会と共催で実施したことで、多くの方の参加していただいた。							
学級・講座	人権教育講座	市・地	継続	1	94	94	1,975	11月18日	川路小学校
	実施内容 小学生を中心とする川路地区住民を対象に、人権意識の啓発を図る	川路小学校と共催。学校の授業時間に実施。 テーマ「仲間づくり・学級づくりのグループワーク」 講師：竹中雅幸先生(長野県レクリエーション協会会長) 1・2年生「色えんぴつ忘れちゃった」 3・4年生「お誕生日おめでとう」 5・6年生「人間コビー」							
文化事業	いいた人形劇フェスタ2015川路地区公演	他会計	継続	4	508	127	1,975	8月4日～9日	川路公民館ほか
	実施内容 より多くの参加者が楽しみながら芸術に親しむことができるようにすることを目的とする	公民館、小学校PTA、保育園保護者会、教育委員会、天龍峡温泉観光協会、川路地区実行委員会を組織し、3会場(川路公民館・川路小学校・天龍峡温泉交流館)を分担して運営。全会場でスタンブラリーを実施。また、図書館の協力にて有料公演観劇電車ツアーを実施。 8/6(木)川路公民館公演：人形劇団あつけらん♪「ジャックの豆とくもの国」 8/7(金)電車ツアー：人形劇団ひとみ座「美女と野獣」(飯田市公民館) 8/8(土)川路小学校公演：川路小学校3年生わになって3☆「やさしいのおしやべり」、人形劇団やつほ〜「いなかねずみとまねねずみ 他」 8/9(日)温泉交流館公演：ヨシダ人形劇「ほくのいろ・お菓子な家・ぼんぼん！」							

## 川路公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗マレットゴルフ大会 川路地区住民を対象に、気楽にスポーツに親しんでもらい、交流を図ってもらう目的で実施。 実施内容 昨年度からの新規事業。男女それぞれのリーグを、個人戦でスコアを競う。男性：8区マレットゴルフ場 女性：上川路マレットゴルフ場	地区費	継続	1	42	42	1,975	5月24日	8区マレットゴルフ場ほか
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗バレーボール大会 川路地区住民を対象に、体を動かす機会を設けるとともに地区内の親睦を深める目的で実施。 実施内容 女性中心の体育事業という位置づけで実施しているため、かつては一般女性のみでチームを結成していたが、近年は参加者減少により男性の参加も認められている。 優勝：7分館、準優勝：3分館、3位：4分館	地区費	継続	1	90	90	1,975	6月28日	竜峡中学校体育館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗ソフトボール大会 川路地区住民を対象に、体を動かす機会を設けるとともに地区内の親睦を深める目的で実施。 実施内容 昨年は雨天中止となったため、2年ぶりの開催。男性中心の体育事業という位置づけで実施。各分館チームに加え、今年度は中学生もチームを作り参加。 優勝：5分館、準優勝：7分館、3位：3分館	地区費	継続	1	100	100	1,975	9月13日	竜峡中学校グラウンド
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	かわじさわやかスポーツ祭 文化祭と隔年での実施。毎年開催に向けて体育部を中心に内容を大幅に変更。名称も「川路地区大運動会」から「かわじさわやかスポーツ祭」へとし、川路地区民全員が楽しめるように、また、役員負担を軽減するように工夫。ゲストとして川路出身力士の信州歸関にもお越しいただいた。 優勝：4分館、準優勝：2分館、3位：7分館 実施内容 川路地区住民を対象に、住民が一堂に会し、交流・親睦を深める機会、の場、区民総出の運動の場とし、愛着心を育むことを目的とする。	地区費	継続	1	450	450	1,975	10月18日	川路小学校グラウンド



# 川路公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニユーススポーツ大会	地区費	新規	1	70	70	70	1,975	1月24日	竜峡中学校体育館
	川路地区住民を対象に、ニユーススポーツに親しんでもらい、交流を図ってもらう目的の事業									
広報事業	館報「かわじ」発行	地区費	継続	4				1,975		開催会場
	公民館事業報告や地域のイベント紹介だけでなく、地域課題を取り上げ、住民が自分たちの地域について知り、考える機会を提供を目的とする。									
その他	川路新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を知りその良さを発見・再認識する機会となることを目的とし、地域をあげてお祝いする。	他会計	継続	1	90	90	90	103	1月10日	川路公民館
	まちづくり委員会主催、成人式実行委員会主管。企画・運営は公民館企画会議メンバーで行う。「地区をあげてお祝いする成人式」という考えのもと、地区内各団体の長の方にも参列いただき、新成人たちに「地域の一員」であることを実感してもらえよう形にしている。今年には例年の式典内容に加え、2分の1成人式の映像を流し、新成人に成長を感じてもらおうようにした。									
その他	世代間交流事業	地区費	継続	4	240	240	60	1,975	12月13日～12月27日	開催会場
	川路地区住民を対象に、多世代の交流と伝統文化の継承を図る									4・5・7・8区公民館
その他	健康講演会	他会計	継続	1	30	30	30	1,975	11月7日	開催会場
	川路地区内の高齢者を対象及び高齢者のいる家庭の家族を対象に、健康づくりに対する関心・意識を持ってもらうことを目的とする									川路公民館

## 三穂公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「みほ・なかよし学級」 保育士：澤柳敬子さん、コーディネーター：林明子さん(主任児童委員) 4/30(木)「年間計画作り、手遊び、絵本の読み聞かせ」 5/21(木)「サツマイモを植えよう」 6/25(木)「大きな布や新聞紙で遊ぼう」 7/22(水)「プールで遊ぼう」 8/31(月)「ぶどう狩り」(龍江今田平) 9/17(木)「消防署見学に行こう」(飯田消防署) 10/29(木)「サツマイモ収穫」 11/4(水)「焼き芋をしよう」(三穂保育園合同) 12/17(木)「クリスマス会」 1/25(月)「からだを動かして遊ぼう」講師：保育士堀沢敏子さん 2/3(水)「先生教えて！こどもの病気・急病などについて」講師：健和会病院小児科医 和田浩さん 3/11(金)「手足形をとろう・反省会」	市・地	継続	12	132組	11組	36組	4月30日～3月11日	三穂公民館ほか
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に、子育てや生活習慣についての学習、遊びの機会を提供するほか、参加者同士の交流の場とする						【総括と今後の方向付け】 0歳～3歳までの親子が学び、交流できる機会として開催している。スタッフは保育士のほか、主任児童委員、保育園長、保健師、公民館長、公民館主事が必要に心じて関わる。対象者も比較的少数で、親子の交流も図りやすく、発育や子育ての話など、個々へのケアもしやすいため、小規模だが充実した活動が行えている。また、文化祭では手製で写真のパネルを各参加者で作成し、出品している。親同士の交流や文化祭への参加などを通して、地域とのつながりを作る場としても重要であり、継続して実施していきたい。課題としては0歳～3歳合同のため、親子での運動、屋外活動などは、低年齢の親子が参加しづらい、また、発達に合わせた内容が組みづらいという点もある。今後、ねらいをしっかりと持ち、参加者の声を聴きながら計画を立て、内容の充実やより多くの親子に参加してもらえよう検討していきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児のひろば 毎週金曜日の午前10時から公民館を開放し実施。地区内の乳幼児と親の自主的な交流、遊びの場、情報交換の場としている。また、今年度は4回、親子で行う運動教室を行ったほか、小学校児童クラブとの交流や月1回ペースで図書館三穂分館奉仕係による絵本の読み聞かせを月1回程度行つた。これにより親や子供同士の交流だけでなく、地域住民同士の交流も進んだと感じる。今後、乳幼児とその親が交流を深め、つながりを作る空間として実施していくと共に、親子と地域とのつながりとしての場づくり、利用者と一緒に内容の企画検討をして、充実を図っていきたい。	市・地	継続	51	274組	6組	36組	4月3日～3月25日 毎週金曜日	三穂公民館
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に、参加者同士の交流や情報交換を図る						【総括と今後の方向付け】 乳幼児学級に比べてより自主的な活動となっており、参加者同士のつながりも強い。参加者の固定化という課題もあるが、地区内の親子が気軽に集まれる場である。今年度より図書館三穂分館奉仕係による絵本の読み聞かせを月1回程度行つた。これにより親や子供同士の交流だけでなく、地域住民同士の交流も進んだと感じる。今後、乳幼児とその親が交流を深め、つながりを作る空間として実施していくと共に、親子と地域とのつながりとしての場づくり、利用者と一緒に内容の企画検討をして、充実を図っていきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育講座 家庭での教育、子育て等について学習する機会。小学校、PTA、子ども育成、公民館が主催。今年度は年々増加する子どもをめぐるネットトラブルを親子で考える場とし、現状や実際の事例の話や、家庭にある通信機能付きゲーム機を持ち寄り、ネット接続やフィルターのかけ方などの実技講習を実施した。小学校児童、保護者、学校職員、一般住民が参加。 講師：一般社団法人セーフティネット総合研究所 専務理事 南澤 信之 氏 演題：「ネットトラブルの現状と未然防止」	市費	継続	1	90	90	1,490	7月11日	三穂小学校
学級・講座	一般住民、子どもを持つ親を対象に健全な子どもの成長のあり方についての学習を図る						【総括と今後の方向付け】 今年度は増え続ける子供のネットトラブルについて長野県警のサイバー犯罪対策アドバイザーでもある南澤氏の講演を実施した。インターネットはもはや生活とは切っても切り離せない存在であり、便利な一方、そこにリスクがあることを認識して、子どもたちをトラブルから守る「防止対策」が大切ということを親子で一緒に考え、学習する機会となった。今後も各種団体と話し合う中で、課題を出し合い、家庭、地域、学校における子育てや教育の向上につながる取り組みを進めていきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	高齢者学級 高齢者を対象に、学習と交流の機会の提供、生きがいづくりや知恵、技術を地域の中で活かしていく場とする。	市・地	継続	3	30	10	549	3月19日ほか	三穂公民館ほか
学級・講座	世代間交流 12/19 正月飾りづくり 子ども育成委員会と共催 12/24 保育園児と門松、おやすみ作り ・講座 3/19 地域学習・文化セミナー 「戦争資料展見学」 ・その他 ニュースホーツエスティバル囲碁ボール交流大会への参加(1団体)						【総括と今後の方向付け】 高齢者の学習、生き甲斐づくり、高齢者クラブの活性化等が目的。世代間交流事業は正月飾りの「おやすみ」づくりを通して、昔からの知恵や技術を継承する場となった。また、囲碁ボールは飯田市の大会へ高齢者クラブが参加した。今後は高齢者クラブとの話し合いなどを通して、学習活動の企画や実施をしていくと共に、各高齢者団体における活動の充実の両面から支援を行っていく。また、地域のお年寄りを持つ経験に基づき知識を広げる場を作ることに取組んでいきたい。		

# 三穂公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	三穂省エネ講座	新規	市費	1	20	20	1,490	2月26日	三穂公民館
	【総括と今後の方向付け】 今回の講座は省エネ、節約という観点で普段の生活の中のちよとした工夫がエゴにつながらざることを学んだ。今後はこの講座を身近な自然環境や環境問題についても考えられるためのきっかけとして、自然保護や省エネに関する更なる取組みを検討する。	環境意識の向上のために、節約にもつながる省エネについての講座を実施。 環境委員会と共催。 講師：NPO法人 おひさま進歩 森岡 克俊氏 題目：家電のエコを学ぶ省エネ講座	新規	市費	1	20	20	1,490	2月26日
文化事業	やまびこマーチエックポイント運営	継続	地区費	1				4月25日	小笠原資料館
	【総括と今後の方向付け】 三穂地区の貴重な文化財、旧小笠原書院を、ウォーカーの皆さんに知ってもらおう機会とするとともに、りんご、漬け物等、地元のものによるものを行っている。次年度についてもあじさい会と協力して運営を行っていく。	三穂地区で活動する女性グループ「あじさい会」の皆さんと共に、飯田やまびこマーチの40キロコース、小笠原資料館エックポイントの運営を実施。 内容：エックポイントの運営、湯茶等の提供、書院の見学	継続	地区費	1				4月25日
文化事業	真陽地区との交流事業IN真陽	継続	地区費	1	32	32	1,490	5月23日、5月24日	神戸市真陽地区
	【総括と今後の方向付け】 一般住民、各種団体役員、消防団幹部、小学生、中学生が参加。真陽フェスティバル参加は19回目、長年の交流で顔見知りも多く、三穂の五平餅や山菜を楽しみ互いの体験の体験の中から住民連帯を確認する機会とした。今年度は剣道クラブの子どもと保護者も出店した。住民交流会では、再会を喜び合い、交流を深めることができた。翌日は、大人は人と未来防災センターを見学し、震災当時の様子を疑似体験したり、復興の歩みなどの学習を行い、防災学習を行うことができた。また、子どもたちは真陽地区の子どもたちとともに水族館へ出かけて交流を深めた。次回の訪問では交流20年を迎える。当時の思いや交流で学んだことを引き継ぎ、交流が始まった当時を知らない若い世代にも関心を持ってもらいたい参加してもらおうかが課題。今後も未来を担う小・中学生の参加を呼び掛け、目的を確認しながら、ほそく永い交流を行っていく。	交流を通じてお互いの地域づくりの実践を学び合う活動。震災を機に始まった本交流は平成28年に20周年を迎える。これまで、三穂地区の住民が「真陽フェスティバル」にて五平餅の販売を行ったり、断層見学や真陽地区の防災の取組みを学ぶ学習会など、住民同士のフラットな交流から、住民同士が強いつながりを持つ地域づくりや震災、防災学習を行ってきた。今年度は恒例となつている真陽フェスティバルへの五平餅・山菜販売の出店、「未来防災センター」の見学を行った。 期日：5月23日(土)～24日(日) 場所：神戸市真陽地区 参加：32人(大人21人、小学生5人、中学生6人) 内容：「真陽フェスティバル」への出店参加(五平餅、山菜の販売) 真陽地区住民との交流会 真陽地区の防災センター見学 子どもも交流(水族館見学)	継続	地区費	1	32	32	1,490	5月23日、5月24日
文化事業	ふるさとコンサートin三穂	継続	市・地	1	50	50	1,490	7月19日	三穂公民館
	【総括と今後の方向付け】 今回は昨年引き続き「サクソフオーンカルテット 桜」が公演を行った。2年目ということで演奏者や運営スタッフもスムーズに進行できたことや、昨年共演した「合唱団 愛」とも息の合った演奏・合唱となり、コンサートの質が上がったことが反省の意見やアンケート回答でもあった。しかしその反面、前回鑑賞したという理由から観客数が増加しなかった。演奏会後は、お重に詰めて持ち寄った家庭の味で交流し、三穂らしい交流会ができた。今後は小学校や中学校とのコラボも検討し、観客数の増加につなげると共に、芸術や文化への関心を高める機会とする。	子どもから大人まで誰もが気軽に来場でき、本物の音楽にふれることで、芸術文化への興味や関心を高める機会として開催した。昨年度に引き続き地区委員が運営。 出演：サクソフオーン四重奏「サクソフオーンカルテット 桜」 共演：三穂合唱団 愛 交流会：女性委員の1人1重による家庭料理	継続	市・地	1	50	50	1,490	7月19日

# 三穂公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	回参加	参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ 三穂地区公演	市・地	継続	2	256	128	1,490	1,490	8月5日、8月9日	三穂公民館ほか
文化事業	<p>地区住民を対象にいいだ人形劇フェスタをみる・えんじゅる・ささえることとを通じて人形劇文化や地域文化への理解を高める機会とする</p> <p>実施内容                      ・8月5日(水) 19:00～ 旧小笠原家書院 人形芝居 燕屋「腹話術 ハロー！カンクロ」「肩掛け人形芝居」                      書院ライトアップ、竹宵設置、小笠原家の話の朗読、資料館特別開館                      ・8月9日(日) 10:00～ 三穂公民館大会議室 三穂小学校3年 みほっこ劇団「オオカミと七匹の子やぎ」                      人形劇団 赤とんぼ「こぶじいさん」</p>	<p>【総括と今後の方向付け】                      8月5日の公演は旧小笠原家書院を会場に、プロ劇団の公演を行った。来場者は、地区住民の他に地区外からも多くの人に足を運んでいた。昨年に引き続き、市から書院の指定管理を受け活用について検討しているまちづくり委員会、小笠原書院管理人、図書館三穂分館と公民館とが一緒に運営を行った。結果として地区住民には旧小笠原家書院が地区の財産であることの再認識出来る機会になると共に、人形劇を通して多くの人がこの三穂に足を運んでいただけたことで、運営スタッフからも反省時に三穂を地区外の方に知っていただく良い機会になったという声が上がった。</p> <p>8月9日の公演では、公民館を会場に小学校劇団とアマチュア劇団とのジョイント公演を行った。観客さんをはじめ多くの方に足を運んでいただき、賑わいのある三穂地区らしいアウトホームな公演となった。また、交流会では女性委員が各家庭の味をお重に入れて持ち寄り、三穂地区ならではの交流会を行うことができ、地区外からの劇団からは家庭料理を味わえたということが好評だった。今後は、日時、場所、開催数や企画等について、実行委員会で検討し、実施していきたい。</p>	<p>評価</p>							
文化事業	ふれあい夏祭り	地区費	継続	1	200	200	1,490	1,490	8月5日、8月9日	三穂公民館ほか
文化事業	<p>地区住民を対象に地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る</p> <p>実施内容                      人形劇フェスタ、こどもまつり、ふれあい夏祭り(宵祭り)を同日に開催。文化委員会を中心に、参加する各種団体が実行委員会体制をとり実施。                      8/5 宵々まつり 人形劇フェスタ三穂地区公演                      8/9 第一部(午前) 人形劇フェスタ三穂地区公演                      第二部(午後) こどもまつり(子ども育成委員会主催)                      ・流しそうめん・カンカンフェスタ(アイス作り)                      第三部(夕方) ふれあい夏祭り(宵祭り)</p>	<p>【総括と今後の方向付け】                      住民がつくり上げ、参加し、楽しむ、地域の夏祭りとして定着し、地域の一体感を感ぜられる場となっている。人形劇フェスタ地区公演やこどもまつりも夏祭りの一部として組み込み、一日を通して楽しめる事業となっている。大いに盛り上がる一方、出店者は事前準備などを行うことが無く、事後も大量のゴミが放置されている住み、「住民がつくり上げる」意識が薄れてきていることが課題。今後は多くの地域住民が参加し、住民の手でつくり、地域に対する愛情や連帯感を感じることができ、育むことのできる事業となるように、内容や運営の方法を検討して実施していきたい。</p>	<p>評価</p>							
文化事業	ふるさとめぐり三穂	市・地	継続	1	100	100	1,490	1,490	10月24日	三穂地区内
文化事業	<p>住民、小学生を対象に三穂の歴史や文化、自然を学ぶことで、地域を知り、愛する心を醸成するとともに、ウォーキングによる健康増進の機会とする</p> <p>実施内容                      ふるさと三穂の歴史や文化、自然を学びながら地区内を歩く。小学校、小PTA、子ども育成委員会、公民館の共催。小学校では地域を学ぶ授業として登校日に行っている。今年度は生徒数の減少によりコースを1つ減らして3コースでの開催とした。小学生は居住地区ごと毎年違うコースを歩き、数年かけ三穂全域を学ぶ。見学場所では住民講師が解説を行い、文化委員がクイズを出題。親子で歩き、絆を深める結いタイムの活動としても位置付けている。                      ・コース整備10月17日                      立石寺コース 夜正寺、雄杉雌杉、立石発電所、仁王門、立石寺、日枝神社                      夜明山コース 妙明堤、夜明山、八文岩、菊の原、柳桜、お観音様、八幡宮                      貝沢コース 興徳寺、天満宮、観音堂、うなり岩、丸山公園、小笠原書院                      (下瀬コースは今年度整備のみ実施し、使用しなかった)</p>	<p>【総括と今後の方向付け】                      地域の団体と小学校、PTAが共催して実施している。公民館では子どもから大人まで、幅広い年代が参加する地域学習の機会として捉え、PTAと文化委員会が当日の運営を行うほか、コース整備作業等も関係団体が協力して実施している。参加者は、地区内をウォーキングしながら普段の生活ではゆとり見ること、感じることのない地区の自然や文化に接するともに、見学場所では地域の名所や代表的な建築物等を目的の前に、地元講師から説明を受けることで、自らの暮らす地区について学び、愛着を深める機会となつていく。長年続いてきている事業だが、協働する各団体が事業の目的や役割、責任などについて毎年確認、共有した上で実施していくことが必要である。また、近年は一般参加者の減少に加え、児童数の減少により、今年度より4コースから3コース減の3コースでの開催とした。コース数については今年度の反省も踏まえつつ、どのコースを使用するのか検討すると共に、参加者数の減少については小学生保護者以外の大人の参加について考えていく必要がある。</p>	<p>評価</p>							



## 三穂公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	組合内ニュースポーツ月間 地区住民を対象に ニュースポーツを通じて 運動不足解消、住民同士の親睦、交流を図る	地区費	継続	地区費	継続	1	25	25	1,490	通年	公民館、集会所など
体育事業	【総括と今後の方向付け】 ニュースポーツの普及や組合内の親睦を目的に、各組合の体育委員が主導して実施する取組みで、種目の指定はない。各組合で年1回の実施を目標としているが達成できていない。今後は、より多くの組合で取り組みが進むよう、検討を行っていく必要がある。	地区費	継続	地区費	継続	1	90	90	1,490	6月21日	三穂小学校
体育事業	ワンバウンドふらば〜るバレー大会 地区住民を対象に、ワンバウンドふらば〜るバレーを通じて、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	地区費	継続	地区費	継続	1	36	36	1,490	7月26日	三穂マレットゴルフ場
体育事業	地区住民を対象に、マレットゴルフを通じて、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	地区費	継続	地区費	継続	1	150	150	1,490	8月15日	三日市場運動公園
体育事業	地区住民や帰省者を対象に、ソフトボールを通して、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の交流を図る	地区費	継続	地区費	継続	1	150	150	1,490	8月15日	三日市場運動公園
体育事業	地区区内13の組合による対抗戦。得点種目と、幼児、小学生、中学生、高齢者など、各年代を対象とした自由参加種目等を体育委員会にて検討。毎年、まちづくり委員会役員、公民館委員、組合選出など運動会実行委員100人以上が、進行、出発、決勝、決勝、賞品、準備記録、放送、接待、救護、交通整理、庶務の各係に分かれて運営していたが、今年は雨天により中止となった。	地区費	継続	地区費	継続	1	150	150	1,490	10月11日	三穂小学校

# 三穂公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季ニュースポーツ大会(囲碁ボール)	地区費 継続	1	50	50	1,490	1月31日	三穂公民館
	<p>地区住民を対象にニュースポーツを通じて冬季の運動不足解消、身体を動かす楽しさを実感してもらい、住民同士の親睦、交流を図る</p> <p>【総括と今後の方向付け】 運動不足になりやすい冬季に、家族や組合の仲間と気軽に参加できるニュースポーツの大会を開催している。種目は、天候に左右されず、屋内で行える囲碁ボールを行った。また、この競技は子供からお年寄りまでが一緒にプレーすることができ、親睦を深めることができた。少人数でも参加できるようにチームを組めるようにしているが、不参加の組合もあるため、今後は、より多くの人に参加してもらえよう、地区内への競技や大会の周知を実施していきたい。</p>	<p>予算区分 事業区分 地区費 継続</p> <p>のべ参加数 1</p> <p>1回参加・登録数 50</p> <p>対象数 1,490</p> <p>開催期日 1月31日</p> <p>開催会場 三穂公民館</p>						
体育事業	地区内スポーツ団体との交流	地区費 継続	2	20	10	52	9月4日、9月20日	三穂公民館ほか
	<p>地区内スポーツ団体と公民館委員との交流を実施。体育委員はブロックママさんソフトボール大会の審判にも協力。</p> <p>9/4 Dブロックママさんソフトボール大会 交流会</p> <p>9/20 ママさんソフトボールクラブとの交流(参加人数が少なかったため囲碁ボール)</p>	<p>予算区分 事業区分 地区費 継続</p> <p>のべ参加数 20</p> <p>1回参加・登録数 10</p> <p>対象数 52</p> <p>開催期日 9月4日、9月20日</p> <p>開催会場 三穂公民館ほか</p>						
体育事業	ニュースポーツフェスティバルへの参加	地区費 継続	1	20	20	1,490	11月8日	飯田市勤労者体育館
	<p>地区住民と公民館委員を対象にニュースポーツを2チームで行った。地区を越えた交流大会に出場することで、さらに楽しみの幅が広がった。参加をきっかけに地区内でのよりいっそうの普及につなげていきたい。</p>	<p>予算区分 事業区分 地区費 継続</p> <p>のべ参加数 20</p> <p>1回参加・登録数 20</p> <p>対象数 1,490</p> <p>開催期日 11月8日</p> <p>開催会場 飯田市勤労者体育館</p>						
体育事業	地区内体育施設の整備作業	地区費 継続	2	30	15	1,490	4月26日、3月23日	地区内体育施設
	<p>地区内の体育関係団体と協力して実施。地区住民によりよい環境の中でスポーツを楽しんでもらい、地域のスポーツ振興につなげることが目的。</p> <p>4月26日 三穂マレットゴルフ場整備 コース補修、清掃 (マレットゴルフクラブと共催)</p> <p>3月23日 体育館整備 清掃、ワックスがけ</p>	<p>予算区分 事業区分 地区費 継続</p> <p>のべ参加数 30</p> <p>1回参加・登録数 15</p> <p>対象数 1,490</p> <p>開催期日 4月26日、3月23日</p> <p>開催会場 地区内体育施設</p>						
広報事業	館報「みほ」の発行	地区費 継続	6	144	8	1,490	通年	三穂公民館
	<p>地区住民、一般市民を対象に地区の動きや課題を発信し、関心を高め残すことを目的に行う。</p>	<p>予算区分 事業区分 地区費 継続</p> <p>のべ参加数 144</p> <p>1回参加・登録数 8</p> <p>対象数 1,490</p> <p>開催期日 通年</p> <p>開催会場 三穂公民館</p>						









# 三穂公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)	地区費	継続	19	114	6	1,490	第2・第4水曜日		三穂公民館ほか	
その他	<p>地区住民を対象に、伊豆木人形の保存、継承を図るとともに、地域の伝統文化への理解を高める</p> <p>【伊豆木人形クラブ】を組織し、三穂地区に伝わる伝統人形浄瑠璃、伊豆木人形の再興、保存継承に向けて取り組んでいる。地区住民、小中学生からクラブ員を募集し、月2回程度の練習を実施。上演演目は2題。今年度は信州飯田ふるさと会での上演も実施した。</p> <p>・5月16日 信州飯田ふるさと会総会 「寿式三番叟」「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」 ・1月10日 三穂地区成人式「寿式三番叟」 ・2月6日 真陽交流20周年記念式典「寿式三番叟」 ・2月7日 三穂文化祭「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」 講師：今田人形座 木下 文子 氏</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		
その他	<p>いいだ人形劇フェスタ 感激☆バスツアー</p> <p>有料公演の観劇と人形劇フェスタの雰囲気を感じながらバスツアー。プロ劇団の公演と、フェスタで賑わう街中の様子を体験し「人形劇のまち飯田」を肌で感じてもらう機会とした。図書館三穂分館主任がスタッフとして参加。 ・飯田美術博物館 プラネタリウム見学 人形劇団ひとみ座「美女と野獣」市公民館4階</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		
その他	<p>小学生を対象に、質の高い人形劇の鑑賞するとともに、市街地の人形劇フェスタの盛り上がりを感じながら体験する機会とする。</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		
その他	<p>三穂地区成人式</p> <p>新年 新成人実行委員会を組織して活動していたが、今年度においては地区内居住の新成人がいなかったため、地区外に住む新成人で行った。成人式を自ら作り上げることで、成人としての自覚を持ち、地域学習を通して、地域に対する愛情や関心を高め、文化祭や夏祭りなどの地域行事にも参加してもらおう。式典では公民館企画委員会、まちづくり委員会役員が準備・運営に関わり、地域を挙げて成人を祝福した。</p> <p>・三穂地区成人式 … 1月10日(日)13:00～ 新成人参加者16人 祝舞(伊豆木人形「寿式三番叟」) 式典(祝辞、新成人自己紹介、新成人代表あいさつ、乾杯ほか) 新成人企画(家族からのビデオメッセージ) ・地域学習 … 三穂の干柿について、新成人の体験を記念誌に執筆 ・その他 … 竜峡中学校区の成人祝賀パーティ実行委員として活動、準備から運営までを実施</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		

# 山本公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(なかよし広場)	事業区分	継続	21	147	7	4,955	通年	公民館
	目的 0~1歳児とその親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②親子のふれあい・運動、③母親同士の交流・仲間づくりを図る	実施内容	市費					【総括と今後の方向付け】 講師、保健師に総合的なプログラムを作成してもらい、遊び・学び・交流とバランスのとれた学習内容を提供できた。また、母親が安心して楽しめる内容も取り入れることができ、毎回安定した参加者数があった。	
学級・講座	乳幼児学級(ちびっこ広場)	事業区分	継続	10	70	7	4,955	通年	公民館
	目的 2~3歳児とその親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②子ども(の集団)での学び(社会性)、③母親同士の交流・仲間づくりを図る	実施内容	市費					【総括と今後の方向付け】 保育士・保健師に総合的なプログラムを作成してもらい、遊び・学び・交流とバランスのとれた学習内容を提供できた。入園前に保育園の雰囲気や施設を知り、母親同士、子供同士がつながりを深める良い機会だと考えているが、回によって人数の多少があり(冬場が少ない)回数など検討する必要がある。	
学級・講座	高齢者学級	事業区分	継続	7	280	40	4,955	実施内容の通り	山本老人福祉センター
	目的 高齢者を対象に、①高齢者の学びの意欲の引き出し、②受講者同士の交流を図る	実施内容	市費					【総括と今後の方向付け】 上半期は前年度のようにコーディネーショントレーニングを実施した。また、元県公民館長の柄木先生に生きがいについての講演をしていただいたり、山本小学校の大橋先生に中国帰国者2世の立場から講演をいただいた。よつばの通所者の皆さんは生き生きと楽しんで参加してくださっているので、今後もNPO法人よつばさんと連携して学級を実施していく。	
学級・講座	お話を聞か	事業区分	継続	1	11	11	4,955	4月17日	公民館
	目的 一般を対象に、歴史の勉強や興味を持てる学びの場を提供し、意欲を引き出す事を図る。	実施内容	0円					【総括と今後の方向付け】 山本夫人文庫と協力して今年度は小林英夫氏を講師に迎え、映画「たそがれ清兵衛」を鑑賞しながら現代との女性の生き方の違いについて講演をいただいた。参加者は婦人文庫のみなさんが中心だったが、地区外からの参加もあり、興味のある方には必要のある講演内容だったと思うので住民にとって関心のある内容を考えながら引き続き実施していく。	

## 山本公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	山本学講座 ・6月に杵原学校にて地質学者の松島信幸先生をお迎えし山本の地質について学習した。 ・6月の講義を受け、9月に南木曾町の土石流災害地を訪問し、また松島先生に同行してもらい、実際にフィールドワークを行った。	市費	継続	2	30	15	4,955	6月25日・9月12日	杵原学校、南木曾町
学級・講座	実施内容 【総括と今後の方向付け】 座学とフィールドワークの2回の開催で地質学について講師にお話をいただき、山本地区との比較しながら防災意識の向上や意識啓発につながったと思う。来年度も山本地区の歴史を中心に住民が学ぶ機会を提供していきたい。								
学級・講座	目的 一般を対象に、①地域の歴史や文化等の魅力再発見、②住民の地域に対する誇りや愛着心の引き出しを図る。								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	男の料理教室 ・男性でも簡単に調理できる料理の実習	市費	継続	2	14	7	4,955	8月22日、3月5日	公民館
学級・講座	目的 男性を対象に、①家庭料理をすることの楽しさを知ってもらうこと、②日常の健康への意識を高めてもらうことを図る								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	Yamamoto International友の会 国際ふれあい交流会の外国人代表者が集い、毎月第3金曜日に地域在住の外国人と地域住民の交流の場として開催する。	市・地	継続	1	4	4	4,955	9月29日	公民館
学級・講座	目的 一般を対象に、地域在住の外国人と地域住民の交流を図る。								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子体験教室 ・木登り、天体観測などの屋外体験 ・料理教室、手芸教室 ・文化祭での各種体験教室	市・地	継続	1	10	10	4,955	11月7日	公民館
学級・講座	目的 小学生とその親または家族を対象に、①家族間の会話・ふれあい、②親から子への技術・知識の継承、③親の子に対する気づきを図る。								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	キッズ山本大作戦音楽フェスタ ・山本小学校6年生、旭ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部、飯田市民吹奏楽団、伊賀良小学校金管バンドと実行委員会を組む音楽フェスタを開催する。	市・地	継続	1	400	400	4,955	11月15日	山本小学校体育館
学級・講座	目的 山本地区出身の方を対象に、①地域への愛着をもってもらい、②山本の子どもを増やすことを目的に実施する。								
学級・講座	目的 【総括と今後の方向付け】 今年度の親子体験教室は手軽にお家でも作りやすいよう餃子の皮で作るアツプルパイを作った。子供たちが自分のお小遣いで参加費を払うなど楽しみに参加してくれた。 恒例となっているおやつづくりであるがリピーターを増やし、お友達を誘ってきてくれるような取り組みを検討していく。								
学級・講座	目的 【総括と今後の方向付け】 年々、それぞれが忙しく集まる機会を設けることができなくなってきてしまっている。しかし、山本小学校が開催している花の木OSには、国際理解という講座を設けてもらっているため、それを目的に集まることはできている。当初の目的は、お茶を飲み気楽に話し合う場というところであったため、今一度その事を思い出せるように、考えていく必要がある。								

# 山本公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	児童館おやつ作り	市・地	継続	1	40	40	50	3月25日	山本公民館
	児童館の児童の、①料理を心をこめて、②自分で栄養管理ができることを図る。	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度は事前の打ち合わせで目的について再確認し、メニューについても児童センター側の意見を伺い、考案することができた。 なかなか普段台所で料理をしない子どもたちにとり自分でも料理を作りたい、機会だという意見があり今後も継続していきたい。</p>							
文化事業	ウォーキングで山本地域を学ぼう！！	地区費	継続	1	42	42	4,955	6月13日	山本地区内
	一般を対象にウォーキングに地域の歴史や自然を学ぶといった要素を取り入れ、地域住民が地域資源の大切さに気付いてもらうことを図る。	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き地域の歴史を学ぼうをテーマにウォーキングを開催した。想像以上に参加者が多く、運営側も若干困惑した部分があるが今年度の反省を生かして来年度はより参加者に配慮した運営ができると思う。 またアンケートを取るなどして参加者の意見を集約できるようにしていきたい。</p>							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015山本地区公演	他会計	継続	1	206	206	4,955	8月8日	杵原広場ほか
	一般を対象に、①子どもの想像力や感受性を磨く、②大人が実行委員となって支え手にまわり、観劇の環境づくりに携わることを図る。	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き山本公民館のショーウィンドウへ過去のポスター・劇団より借用した人形の展示をして地区の盛り上がりを図った。また、山本保育園・さくら保育園へも展示をした。 また、今年度も昨年度に引き続き杵原広場(杵原多目的ホール)にて開催したが、暑さ対策が指摘され、開催時間や会場について検討の必要がある。 今年度は文化委員の皆さんが初年度ということもあり、運営に集中したが、来年度はより企画のアイデアを出し合い、参加者皆で楽しめるよう会議で議論を重ねていきたい。</p>							
文化事業	山本地区文化祭	地区費	継続	1	1,000	1,000	4,955	11月22日	山本公民館
	一般を対象に、①各種団体、サークル、個人の活動発表の場の提供、②発表者および観客との情報交流を図る。	<p>【総括と今後の方向付け】 展示・発表・出店など前年度とほぼ同じ内容であったが参加者が多く賑わった。しかし出店の食べ物がお昼前には売切れ、2階の展示に人があまり来ないといった反省も上がっており、来年度は出店の数を抑えたり、ウォークラリーを実施するなどの意見が出ておりより盛り上げるための企画を行っていく。 講堂での発表でも例年見る側、発表する側の姿勢の問題が指摘されたりすることがあり、会議等で徹底していく必要がある。</p>							

# 山本公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	国際ふれあい交流会	市・地	継続	1	100	100	4,955	2月7日	公民館
	目的	<p>一般を対象に、①地域在住外国人と地域住民の交流、②青年層の理解を図る。</p> <p>・各国出物鑑賞、各国料理試食会 ・多文化共生の理解を深める講演会</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地区在住外国人・地域づくり婦人会・文化委員会で実行委員会体制を組んで開催した。小学生、高校生が参加してくれた内容は盛り上がったが、当初の目的である地区の外国人の方の悩みを聞く場にはならなかった。実行委員で開催目的についてあらためて確認し、方向性を検討していきたい。</p>							
体育事業	分館対抗スポーツ大会	地区費	継続	1	300	300	4,955	5月24日、5月31日	杵原広場ほか
	目的	<p>女子ソフトバレー大会(1日目開催、14チーム参加) 優勝：竹佐分館、準優勝：箱川分館 男子野球大会(2日間開催、13チーム参加) 優勝：竹佐、準優勝：南湯川</p> <p>【総括と今後の方向付け】 野球・ソフトバレーというスポーツを通じて、各分館の熱戦が展開され地域のまとまりを感じた。競技性の高い種目なので分館での人集めに苦労するという話や同じ人が毎年出ているという意見や反省も上がっているが、山本の伝統になっており真剣にスポーツで汗を流すという現在の地区行事にはあまりない事業となっている。とはいえ誰でも参加できるという趣旨も大切であるので種目を増やして選択してもらうといった柔軟性も今後必要になってくる。</p>							
体育事業	体力測定会	地区費	継続	1	23	23	4,955	7月12日	山本小学校体育館
	目的	<p>山本公民館体育委員会が参加者を募集して運営を行った。</p> <p>＜内容＞ 文部科学省「新体力テスト実施要領」メニューによる体力測定及び判定</p> <p>【総括と今後の方向付け】 座光寺での体力測定回に参加し事前に様子を肌で感じたことで当日スムーズに運営することができた。 スポーツ推進委員中心に呼びかけを行い昨年より参加者も増やすことができた。特に65歳以上の参加者も多く、そういった参加者に継続して参加してもらうことで事業としても継続していく必要性を感じる。</p>							
体育事業	山本地区市民大運動会	地区費	継続	1	1,000	1,000	4,955	10月18日	杵原広場
	目的	<p>主管である体育委員会が任期1年目というところもあり、昨年とほぼ同じ競技内容だったが、新しい競技を検討したいといった意見も出ている。 また旭ヶ丘中学校の生徒が参加してくれて例年運営に携わってくれている方からもよかったとお声をいただいた。 来年度は中学生が企画の段階から参画してもらえよう、また競技についても検討できるような協議の場を増やしたり早期の段階から検討していきたい。</p>							

# 山本公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	軽スポーツ大会	地区費	継続	1	200	200	4,955	1月31日	山本小学校体育館ほか
	目的	ワンパウンドふらば〜る大会(18チーム参加) 【杵原多目的ホール会場】 優勝:久米B、準優勝:西平B、3位:箱川B 【山本小学校体育館会場】 優勝:大明神A、準優勝:南湯川、3位箱川A	【総括と今後の方向付け】 分館によっては多くのチームを選出したり気軽に参加しやすいニュースポーツとして定着してきていると感じる。 また地区内で継続してワンパウンドふらば〜るをやってみてみたいという声もあり、そういった機会を1年に複数回設けることも検討していきたい。 種目については委員会の中で検討する時間があるため来年年度は時間をとって検討するようにしたい。	評価					
企画事業	杵原学校校まつり	市・地	継続	1	1,000	1,000	4,955	4月3日～12日	杵原広場
	目的	山本地区づくり委員会、山本公民館、杵原学校応援団、商工会山本支部、山本女性団体連絡協議会、キッズ山本大作戦からなる、杵原学校桜フォトコンテスト実行委員会を組織し、企画・運営にあたった。 ・カメラマン、見学者へのおもてなし活動 ・杵原校舎の案内 ・杵原フォトコンテストの実施	【総括と今後の方向付け】 公民館から、公民館長が副実行委員長、企画委員長が副実行委員長兼事務局、文化委員長が実行委員として組織に加わった。公民館委員の活動内容としては、おもてなし活動への協力、杵原学校桜フォトコンテスト表彰式の会場設置・表彰式への参加であった。来年度は何故公民館がこの事業に関わるかの意味も考えて実行委員会への提案、検討をしていきたい。	評価					
企画事業	山本夏祭り	地区費	継続	1	1,000	1,000	4,955	7月26日	杵原広場(杵原グラウンド)
	目的	地域づくり委員会や商工会、小学校などを検討し、企画・運営にあたった。 イベント:竹佐獅子舞、南平獅子舞、牛山太鼓、大塚太鼓、小学生相撲大会、ジャンケン大会、消防団ラッパ吹奏、山本音頭ほか 出店:山本商工会、JA山本支所、杵原学校応援団、箱川五平餅の会、地域づくり婦人会、SYMSほか	【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き実行委員会全員が共通認識を持てるように、「世代をつなぐ」「地域をつなぐ」「山本をつなぐ」といった「つなぐ」にテーマを据えて企画運営にあたった。 イベント内容は例年同様ではあったが、「つなぐ」というテーマの視点から捉えらるると、子どもからお年寄りまで山本地区民が多く集まり交流する場として夏祭りがあり、テーマに沿った開催ができ、地域の活力を感じた。 また、運営面では初めての役員が多かったが当日大きな混乱もなく開催することができた。	評価					
企画事業	武田信玄狼煙リレー	地区費	継続	1	40	40	4,955	9月5日	城山公園
	目的	一般を対象に、①城山ほか地域の歴史学習、②飯田下伊那の一体感の引き出しを図る。 ・牛山太鼓による太鼓演奏 ・狼煙組立、打上 ・残り火でローレルパン、ウインナーの調理	【総括と今後の方向付け】 今年度牛山太鼓の太鼓演奏をしていただき、実際の狼煙を上げていた時代の雰囲気を感じることができた。 また地域学習の一環として昨年を引き続き阿智高校美術部の皆さんにご参加をいただけたこと、好評であった。 来年度は企画の段階から地域学習の要素も取り入れながらプログラムを組み立てていくようにしていきたい。	評価					

# 山本公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	伊賀良地区とのワンフraw交流会	市・地	継続	1	19	19	56	9月6日	伊賀良小学校体育館
	実施内容	<p>スポーツ推進委員が中心となり、公民館委員を対象に参加者を募集し、6チームで交流した。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区は、旭ヶ丘中学校区であり、互いの公民館委員が交流できたことは非常に有意義であったと感じた。スポーツを通じて交流できるいい機会であり、日程を調整しながら来年度も行っていきたい。</p>							
企画事業	ニュースポーツフェスティバルへの参加	0円	継続	1	15	15	4,955	11月1日	飯田市勤労者体育館
	実施内容	<p>公民館委員を対象に飯田市ニュースポーツフェスティバルへの参加者を募集し、囲碁ボール大会に1チーム、ワンフraw交流大会に箱川分館から1チーム参加した。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 囲碁ボール大会には公民館委員でチームを作り初めて参加した。普段の委員会での垣根を越えて交流でき、他地区の方とも交流できるいい機会だと思いますが、今後は参加者を増やして参加したい。 またワンフraw大会には箱川分館から1チーム参加したが、来年度以降は1月の軽スポーツ大会で上位のチームに山本代表として参加してもらいたい。</p>							
企画事業	山本地区成人式	他会計	継続	1	40	40	57	1月10日	山本公民館
	実施内容	<p>主管である企画委員会と成人該当者として実行委員会を組織し、企画・運営を行った。</p> <p>式典：記念写真撮影、主賓挨拶、新成人挨拶、記念品贈呈、祝太鼓披露 交流会：婦人会による料理の提供 新成人実行委員の活動：記念誌・記念品の制作、式典の受付、旭ヶ丘中学校同窓会の企画・運営</p> <p>【総括と今後の方向付け】 実行委員が積極的に参加してくれ盛り上げてくれた。 また当日の式典内の催しや時間については地区内でも意見があり来年度以降式典の内容をより充実させていくという方向になった。 さらに実行委員により自発的に取り組んでもらえるよう考えていきたい。</p>							
その他	柵原広場整備作業	市・地	継続	3	292	97	4,955	実施内容の通り	柵原広場
	実施内容	<p>・柵原広場の清掃、草刈り ・柵原グラウンドの整備作業(砂入れ等) 柵原学校では夏祭り、運動会といった各種イベントが開催される。それらに向けた準備のため、公民館で各組合に呼び掛けを行い整備をしている。 実施日：5月10日(96名)、7月12日(91名)、10月4日(105名)</p> <p>【総括と今後の方向付け】 組合長の皆さんに協力いただき毎回朝早くから多くの地区住民に参加してもらい清掃を行うことができた。 山本の象徴である柵原広場を自分たちで整備するというサイクルができており、今後も継続していきたい。</p>							



# 伊賀良公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(0歳児学級)	市・地	継続	42	1,134	260	130	通年	伊賀良公民館 他
	0-1歳児とその親を対象に、子どもの発達段階に、子どもの健全な育ち、親子の育で不安の解消、参加者同士の交流を目指す	市・地	継続	42	1,134	260	130	通年	伊賀良公民館 他
学級・講座	いがら農園	市・地	継続	19	141	18	14,639	5月～11月 月2～3回開催	いがら農園(三日市場)
	保育園児およびその兄弟をもつ親子を対象に、自然環境とのふれあい、食に対する意識向上を図る	市・地	継続	19	141	18	14,639	5月～11月 月2～3回開催	いがら農園(三日市場)
学級・講座	かさまつ大学	市・地	継続	6	129	28	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
	中高年層を対象に、交流・学習の場の提供をし、今まで得てきた知識を、相互に交換しあい深め、家族や地域へ伝え広めながら自らの健康維持にも繋げる機会とする	市・地	継続	6	129	28	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
学級・講座	お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)	地区費	継続	4	500	125	14,639	実施内容のとおり	伊賀良学習交流センター
	お楽しみ会(以下のとおり実施) ①7月1日(水) 読み聞かせ ②10月31日(土) 伊賀良小学校人形劇を見よう ③④11月14日(土)～15日(日) 風が運んできたお話(文化祭) ※その他、読み聞かせの会を保育園・小学校・乳幼児学級で実施する	地区費	継続	4	500	125	14,639	実施内容のとおり	伊賀良学習交流センター
学級・講座	0-1歳児とその親を対象に、子どもの発達段階に、子どもの健全な育ち、親子の育で不安の解消、参加者同士の交流を目指す	市・地	継続	42	1,134	260	130	通年	伊賀良公民館 他
	0-1歳児学級は、主に保育士・保健師が中心となって事業展開している。 (2-3歳児学級はひまわり子ども委員会) 月約2回程度実施している。一昨年度まで0-1歳児学級は第1子までしか学級に参加することができなかったため、昨年度からは2子目以降の親子誰もが参加できる回を設けて実施している。	市・地	継続	42	1,134	260	130	通年	伊賀良公民館 他
学級・講座	いがら農園	市・地	継続	19	141	18	14,639	5月～11月 月2～3回開催	いがら農園(三日市場)
	保育園児およびその兄弟をもつ親子を対象に、自然環境とのふれあい、食に対する意識向上を図る	市・地	継続	19	141	18	14,639	5月～11月 月2～3回開催	いがら農園(三日市場)
学級・講座	かさまつ大学	市・地	継続	6	129	28	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
	中高年層を対象に、交流・学習の場の提供をし、今まで得てきた知識を、相互に交換しあい深め、家族や地域へ伝え広めながら自らの健康維持にも繋げる機会とする	市・地	継続	6	129	28	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
学級・講座	お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)	地区費	継続	4	500	125	14,639	実施内容のとおり	伊賀良学習交流センター
	お楽しみ会(以下のとおり実施) ①7月1日(水) 読み聞かせ ②10月31日(土) 伊賀良小学校人形劇を見よう ③④11月14日(土)～15日(日) 風が運んできたお話(文化祭) ※その他、読み聞かせの会を保育園・小学校・乳幼児学級で実施する	地区費	継続	4	500	125	14,639	実施内容のとおり	伊賀良学習交流センター
学級・講座	0-1歳児とその親を対象に、子どもの発達段階に、子どもの健全な育ち、親子の育で不安の解消、参加者同士の交流を目指す	市・地	継続	42	1,134	260	130	通年	伊賀良公民館 他
	0-1歳児学級は、主に保育士・保健師が中心となって事業展開している。 (2-3歳児学級はひまわり子ども委員会) 月約2回程度実施している。一昨年度まで0-1歳児学級は第1子までしか学級に参加することができなかったため、昨年度からは2子目以降の親子誰もが参加できる回を設けて実施している。	市・地	継続	42	1,134	260	130	通年	伊賀良公民館 他
学級・講座	いがら農園	市・地	継続	19	141	18	14,639	5月～11月 月2～3回開催	いがら農園(三日市場)
	保育園児およびその兄弟をもつ親子を対象に、自然環境とのふれあい、食に対する意識向上を図る	市・地	継続	19	141	18	14,639	5月～11月 月2～3回開催	いがら農園(三日市場)
学級・講座	かさまつ大学	市・地	継続	6	129	28	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
	中高年層を対象に、交流・学習の場の提供をし、今まで得てきた知識を、相互に交換しあい深め、家族や地域へ伝え広めながら自らの健康維持にも繋げる機会とする	市・地	継続	6	129	28	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
学級・講座	お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)	地区費	継続	4	500	125	14,639	実施内容のとおり	伊賀良学習交流センター
	お楽しみ会(以下のとおり実施) ①7月1日(水) 読み聞かせ ②10月31日(土) 伊賀良小学校人形劇を見よう ③④11月14日(土)～15日(日) 風が運んできたお話(文化祭) ※その他、読み聞かせの会を保育園・小学校・乳幼児学級で実施する	地区費	継続	4	500	125	14,639	実施内容のとおり	伊賀良学習交流センター

# 伊賀良公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	横山タカ子先生の料理教室	市・地	2	40	20	14,639	3月11日、12日	伊賀良公民館
	【総括と今後の方向付け】 募集定員がすぐいっぱいになる人気講座である。講師を迎えて今回で4年目を迎えるが、新規の参加者も多く、親子向けの料理教室を新たに開催し、保護者世代の食への関心・意識を高める機会とした。 親子での参加者数が予想よりも少なかったため、日程設定などを検討したい。	市・地	2	40	20	14,639	3月11日、12日	伊賀良公民館
学級・講座	伊賀良を学ぼう ～歴史・文化・自然～	市・地	25	300	33	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
	長野県地域発元気づくり支援金と伊賀良まちづくり協議会の協力を得て、4年間活動してきた成果を形にしようとして「ふるさと伊賀良探検マップ」を完成させた。また、昨年度から小学校校歌の授業を4年生対象に行っており、今年度はマップの初めての活用として4年生に配って行うことができた。座学・現地学習は例年に比べ減少してしまっただが、マップ活用としてウォーキング事業を開催した。 ＜座学、現地学習＞ ・6月14日(日)臼井川、茂都計川 ・7月18日(土)新川、毛賀沢、大井、新井 ・9月12日(日)観音堂、薬師堂、大畑古墳、惣教寺 ・1月25日(月)、2月13日(土)14日(日)佐倉神社 ＜マップ製作作業＞ ・計16回 ＜伊賀良小学校校歌授業＞ ・7月3日(金)6年生、2月24日(水)4年生 ＜ウォーキング＞ ・3月6日(日)熊野社、増泉寺、長清寺 他 約50名参加	市・地	25	300	33	14,639	実施内容参照	伊賀良公民館 他
学級・講座	伊賀良を学ぼう ～食～	市・地	2	24	14	14,639	実施内容のとおり	伊賀良公民館
	一般を対象に、地域の食文化や伝統食品について学ぶことで、食への関心を高め、郷土への愛着の醸成を目指す	市・地	2	24	14	14,639	実施内容のとおり	伊賀良公民館
学級・講座	伊賀良を学ぼう ～食～	市・地	6	83	19	14,639	実施内容のとおり	伊賀良公民館
	一般を対象に、郷土の食文化や伝統食品について学ぶことで、食への関心を高め、郷土への愛着の醸成を目指す	市・地	6	83	19	14,639	実施内容のとおり	伊賀良公民館
学級・講座	伊賀良を学ぼう ～食～	市・地	6	83	19	14,639	実施内容のとおり	伊賀良公民館
	一般を対象に、郷土の食文化や伝統食品について学ぶことで、食への関心を高め、郷土への愛着の醸成を目指す	市・地	6	83	19	14,639	実施内容のとおり	伊賀良公民館

# 伊賀良公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタを学ぼう	地区費 新規	1	32	32	214	5月27日	伊賀良公民館
	フェスタ実行委員を対象に、フェスタを行う意義やフェスタの概要を学ぶ機会とする。						【総括と今後の方向付け】 役員1年目ということもあり、フェスタの準備を進める早い段階で実施した。 参加者数は多くはなかったが、地元人形劇人がお話しして下さったこともあり、フェスタの特徴を少しでもつかめられる機会となったと感じる。	
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015 伊賀良地区公演	市・地 継続	7	1,029	14,639	14,639	8月4日～8月9日	伊賀良公民館他5会場
	地区住民を対象に、地区内6会場で行う地域文化の振興、フェスタの地区からの盛り上げを目指す						【総括と今後の方向付け】 今年は小学校2劇団が同日に行うということで、という交流会にいくかを話し合い、文化部は人形劇運営を、保護者は夕食のカレー作りを行うというように役割を分担しながら子どもたちの上演を支えることができた。 また、三日月市場分館の上演は、ここ数年の当分館の取組みによる成果があらわれてきている。分館活動が活性化されており、様々な工夫が随所に見られている。他分館にも波及できそうな情報交換会も実施してみたい。	
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとゲームウォーキング～三日月市場の巻～	市・地 継続	1	200	200	14,639	9月6日	三日月市場地区
	小学生親子や一般を対象に、地域の良さを親子で歩き体験し、地域の交流や郷土への愛着の醸成を目指す						【総括と今後の方向付け】 事業実施に向けて、分館、文化部、学校、保護者が一堂に会し、それぞれの立場から意見を出し合いながら進められ、改めて事業実施の過程の大切さを感じた。 次年度は殿岡地区で行うことが決定した。学級講座「伊賀良を学ぼう」で製作したかるさと伊賀良探検マップを活用できないか検討したい。	
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	伊賀良地区文化祭	市・地 継続	1	4,000	4,000	14,639	11月14日・15日	伊賀良公民館 他
	地区住民を対象に、日頃の成果の発表の場、交流の場として、芸術文化のさらなる振興を図る。						【総括と今後の方向付け】 地元で活躍する方々や学生を当てて文化祭を組立たいという考えから、全国レベルで活躍する旭ヶ丘中学生がいるということで特別企画を決定した。また、交通安全の歌を地元警察署とともに歌い活動する地区の方にも特別に出演していただき、交通安全の啓発につなげた。 多様な主体が集まる機会であり、小学校体育館・公民館が様々な催しで埋め尽くされ、交流が図れる機会である。改善の意見は多々あるが事業の意義と成果をしっかりと捉え、より良いものとなるよう検討してまいりたい。	
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	伊賀良地区成人式	市・地 継続	1	105	105	155	1月10日	伊賀良公民館
	新成人を対象に、地域への関心を持つとともに、成人としての自覚を持つことを目指す						【総括と今後の方向付け】 今年の新成人実行委員会は、自ら率先して動くまでにはならず、与えられたことに対して行う程度にとどまっていた。そのような中、地域学習にはどう取り組めば良いか考え、地域の思い出の場所を探し、同級生の父親からお話を聞き、少しでも興味をひき記憶に残るように新成人と話し合おうという点では、式典に進めていった。昨年度と同様に、地域でお祝いするという点では、式典という形式に終始してしまっている。成人式を支える地域側が新成人を心から祝福し、新成人がそれを感じられるにはどうしたら良いのか、大規模な地区だけに難しい点ではあるが山本地区とも相談しながら検討していきたい。	

# 伊賀良公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	伊賀良地区交流ペタンク大会	地区費	継続	1	270	270	14,639	5月17日	伊賀良小学校校庭		
	目的	全66チーム、270名の選手が参加。AからFブロックまで作り、それぞれのブロックで優勝を決定した。参加チームは、分館で集めたチームと組合回覧による一般チームを呼びかけて実施した。	実施内容	【総括と今後の方向付け】 体育部最初の事業であったが、部員同士で連携が取れ、スムーズに開催することができた。 また、子どもも多く見られるようになり、誰もが楽しめるスポーツの良さを認識することができた。しかし、組合回覧等での一般参加はごく少数となっており、来年度以降どう呼びかけられるのか検討していきたい。	評価						
体育事業	分館対抗夏季スポーツ大会(野球・囲碁ボール大会)	地区費	継続	1	900	900	14,639	7月12日	伊賀良小学校校庭・体育館		
	目的	野球：8チーム参加。全分館と旭ヶ丘中学校1チーム 優勝：大瀬木 準優勝：北方 3位：上殿岡、旭ヶ丘中学校 ※軟式野球連盟より公式審判4名を招いた。 囲碁ボール：36チーム参加。北方6チーム、他分館5チーム 優勝：北方E 準優勝：三日市場C 3位：三日市場B	実施内容	【総括と今後の方向付け】 野球は種目を変更して欲しいという声があるが、伊賀良地区の伝統として残していきたいという思いもあることから続けている。今年も何とか全分館参加でき、旭ヶ丘中学校にも参加してもらい開催することができた。囲碁ボールは地域に定着し、子ども参加も増え始め、特に高齢者が一緒に交流できる良い機会となっている。	評価						
体育事業	伊賀良地区大運動会	地区費	継続	1	2,000	2,000	14,639	10月25日	伊賀良小学校校庭		
	目的	伊賀良地区住民が一堂に会する機会として開催。今年も中学校と連携し、中学生が企画した種目を1つ作り、小学校・中学生が一緒に当日競技を行うことができた。 各分館特色ある応援合戦を披露された。 分館対抗種目 優勝：大瀬木 3位：三日市場 応援合戦 最優秀賞：北方 優秀賞：上殿岡、大瀬木	実施内容	【総括と今後の方向付け】 体育部一大事業として、まちづくり協議会をはじめPTA等と連携を図りながら開催することができた。当日を迎えるまでに多くの会議がなされるため、実行委員の負担が大きすぎるとの声も出たが、その分しっかりと進められたように感じる。ただ、準備の実行委員会時において手持無沙汰となってしまう委員もいたことから、役割分担をきっちり行っていきたい。 中学生の参画は今年度で2年目を迎えたが、バラバラに準備を進める形となり中学生実行委員と地区実行委員が思いを一つにして実施するには至っていない。種目としては大変盛り上がりつつあるので、打合せ段階を工夫していきたい。	評価						
体育事業	山本地区との交流会	市・地	継続	1	40	40	85	9月6日	伊賀良小学校体育館		
	目的	公民館役員を対象に、ニュースポーツの普及と他地区との情報交換を行う	実施内容	スポーツ推進委員が中心となり企画。体育部員に限らず全公民館役員から選手を募集し交流した。 種目 ワンバウンドふらば〜るバレー、ガラッキー	評価	【総括と今後の方向付け】 昨年もつと早く開催した方が良いという反省から、今年度は忙しい時期ではあったが9月に開催した。役員一年目であり、運動会も近づいてきていることから、親睦を深め結束力を持つという意味でも良い機会となった。 ガラッキーというニュースポーツを体験し、文化祭にも使用した。					
体育事業	分館対抗冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば〜るバレー・ホール大会)	地区費	継続	1	320	320	14,639	2月7日	伊賀良小・旭中体育館		
	目的	分館対抗のワンバウンドふらば〜るバレー大会。全32チーム参加。 伊賀良小学校会場：16チーム参加 優勝：北方B 準優勝：大瀬木B 3位：大瀬木A 旭ヶ丘中学校会場：16チーム参加 優勝：北方F 準優勝：北方G 3位：北方D	実施内容	【総括と今後の方向付け】 北方・大瀬木分館の強さが目立つ大会となったが、誰もが楽しみやすい競技であり、和気藹々とした行いができた。 今年も残念ながら大きなケガがあり時期をずらすことも考えたが、他の事業との兼ね合いを考えると同時期に開催する方向となった。	評価						

# 伊賀良公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報「いから」発行	地区費	継続	6回発行			14,639	実施内容参照	伊賀良公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>伊賀良地区の広報紙として、伊賀良地区では大きな予算を盛り込みを入れて発行している。まちづくり協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニーズを拾い上げている。</p> <p>今年度は事業報告の記事ばかりになってしまったので、来年度は取材記事を増やしたり特集記事を考えてみる等の工夫をしてまいりたい。</p>	年間6回発行 第49号から第55号までを発行。地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。表紙の写真にこだわり、地区や分館ニュースのページを多くとっている。あなたにタッチ、けやきのめなどの連載記事を継続している。発行部数：6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)発行部数：5,000部地区外発送：20件							
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	米寿記念写真撮影・贈呈	地区費	継続	1	64	64	79	8月23日	伊賀良公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>毎年恒例の行事として、対象者およびそのご家族が楽しみにしている事業である。自宅訪問者が増え写真撮影に時間がかかるようになってきているが、広報部員が協力し合い、効率よく行うことができた。</p> <p>かさまつのさとは、久しぶりに会えた旧友と会話を楽しむ場面も見られた。伊賀良独自の取り組みとして今後も大切にしていきたい。</p>	広報部：写真撮影(かさまつのと及び自宅訪問にて) 広報いからで掲載、文化祭に写真展示 健康福祉委員会・区長等：地域の88歳の訪問の折に、御祝い写真を持参して訪問							
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	学校開放運営委員会議・調整会議	0円	継続	8				年4回	伊賀良公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ち良く有効に活用できるように調整している。年々反響を元に運営方法、調整資料が充実されてきているが、やはり使用者が日々変わる中でいかに利用方法を周知できるかが課題である。</p> <p>伊賀良小学校に新体育館が建設され利用開始となったが、大きな混乱もなくスムーズに利用できる体制が整えられた。</p>	利用団体・地域の方々が主体となり、地区内の学校体育施設の利用調整をするために「学校体育施設運営委員」として、教育委員会から委嘱され、生涯学習・スポーツ課が担当となり実施している。利用調整や会議の運営に関することへの支援をする。今年度は、伊賀良小学校に新体育館が建設されたため、運営委員会を中心に貸出方法等の検討を行った。							
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	展示コーナー運営委員会	0円	継続	1	13	13	14,639	4月14日	伊賀良公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>年度当初に年間の展示期間を決定し運営している。展示団体は、文化祭に向けて製作を進めるとともに、ロビーへの展示作品にも力が入る機会となっている。また、公民館へ訪れた地域住民が足をとめ鑑賞することも多く、展示団体に入会したいという方もいる。</p> <p>中学校からも展示したいとの声があるため、展示期間にあまり余裕はないが検討して実現していきたい。</p>	公民館ロビーにある展示コーナーを活用し、年間を通じて各団体などの発表の場、会員の拡充を図る場として、利用調整及び啓発のために運営委員会を開催。展示団体の紹介に写真を使い、統一した様式を使用している。これとは別に社会教育関係団体や公民館からのお知らせ掲示板を設置し、活用している。							

# 県公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	いちご学級・りんご学級(1歳児学級)	市・地	継続	24	652	50	115	毎月1回実施	県公民館ほか
	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/26) ▼第2回(6/26) ▼第3回(7/24) ▼第4回(8/28) ▼第5回(9/25) ▼第6回(10/30) ▼第7回(12/4) ▼第8回(12/25) ▼第9回(1/29) ▼第10回(2/10) ▼第11回(2/26) ▼第12回(3/11) りんご学級 ▼第1回(5/22) ▼第2回(6/19) ▼第3回(7/17) ▼第4回(8/21) ▼第5回(9/11) ▼第6回(10/16) ▼第7回(11/13) ▼第8回(12/11) ▼第9回(1/22) ▼第10回(2/10) ▼第11回(2/19) ▼第12回(3/4)	50	115	毎月1回実施	県公民館ほか	
学級・講座	たんぽぽ学級(2歳児学級)	市・地	継続	18	720	52	140	毎月2回実施	県公民館ほか
学級・講座	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/20) ▼第2回(6/10) ▼第3回(6/17) ▼第4回(7/1) ▼第5回(7/15) ▼第6回(8/19) ▼第7回(9/2) ▼第8回(9/16) ▼第9回(10/1) ▼第10回(10/7) ▼第11回(10/20) ▼第12回(11/4) ▼第13回(11/18) ▼第14回(12/2) ▼第15回(12/16) ▼第16回(1/20) ▼第17回(2/10) ▼第18回(2/17) ▼第19回(3/2)	52	140	毎月2回実施	県公民館ほか	
	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/20) ▼第2回(6/10) ▼第3回(6/17) ▼第4回(7/1) ▼第5回(7/15) ▼第6回(8/19) ▼第7回(9/2) ▼第8回(9/16) ▼第9回(10/1) ▼第10回(10/7) ▼第11回(10/20) ▼第12回(11/4) ▼第13回(11/18) ▼第14回(12/2) ▼第15回(12/16) ▼第16回(1/20) ▼第17回(2/10) ▼第18回(2/17) ▼第19回(3/2)	52	140	毎月2回実施	県公民館ほか	
学級・講座	つくし学級(3歳児学級)	市・地	継続	21	644	62	113	毎月2回実施	県公民館ほか
学級・講座	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/13) ▼第2回(5/27) ▼第3回(6/10) ▼第4回(6/23) ▼第5回(7/2) ▼第6回(7/22) ▼第7回(8/20) ▼第8回(9/9) ▼第9回(9/18) ▼第10回(10/1) ▼第11回(10/20) ▼第12回(11/5) ▼第13回(11/19) ▼第14回(12/9) ▼第15回(12/17) ▼第16回(1/13) ▼第17回(1/27) ▼第18回(2/10) ▼第19回(2/24) ▼第20回(3/2) ▼第21回(3/15)	62	113	毎月2回実施	県公民館ほか	
	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/13) ▼第2回(5/27) ▼第3回(6/10) ▼第4回(6/23) ▼第5回(7/2) ▼第6回(7/22) ▼第7回(8/20) ▼第8回(9/9) ▼第9回(9/18) ▼第10回(10/1) ▼第11回(10/20) ▼第12回(11/5) ▼第13回(11/19) ▼第14回(12/9) ▼第15回(12/17) ▼第16回(1/13) ▼第17回(1/27) ▼第18回(2/10) ▼第19回(2/24) ▼第20回(3/2) ▼第21回(3/15)	62	113	毎月2回実施	県公民館ほか	
学級・講座	保育園・幼稚園・小学校との連携による子育て支援事業	市・地	継続	9	500			実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/26) ▼第2回(6/26) ▼第3回(7/24) ▼第4回(8/28) ▼第5回(9/25) ▼第6回(10/30) ▼第7回(12/4) ▼第8回(12/25) ▼第9回(1/29) ▼第10回(2/10) ▼第11回(2/26) ▼第12回(3/11) りんご学級 ▼第1回(5/22) ▼第2回(6/19) ▼第3回(7/17) ▼第4回(8/21) ▼第5回(9/11) ▼第6回(10/16) ▼第7回(11/13) ▼第8回(12/11) ▼第9回(1/22) ▼第10回(2/10) ▼第11回(2/19) ▼第12回(3/4)	50	115	毎月1回実施	県公民館ほか	
	就園前の子どもとその親を対象に、育児学級と親同士の交流を図る	市・地	継続	▼第1回(5/26) ▼第2回(6/26) ▼第3回(7/24) ▼第4回(8/28) ▼第5回(9/25) ▼第6回(10/30) ▼第7回(12/4) ▼第8回(12/25) ▼第9回(1/29) ▼第10回(2/10) ▼第11回(2/26) ▼第12回(3/11) りんご学級 ▼第1回(5/22) ▼第2回(6/19) ▼第3回(7/17) ▼第4回(8/21) ▼第5回(9/11) ▼第6回(10/16) ▼第7回(11/13) ▼第8回(12/11) ▼第9回(1/22) ▼第10回(2/10) ▼第11回(2/19) ▼第12回(3/4)	50	115	毎月1回実施	県公民館ほか	

# 県公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	おとなのBUKATU(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」)	市・地	継続	15						実施内容参照		県公民館ほか
	子育ての悩みを解消するだけでなく、保護者同士の交流を図り絆を深めることのできる人材を育成する。 ○すくすくの樹会議 ○すくすくの樹会議 ○癒され隊 ▼6/1 アロママの虫よけ&ホロスコープ ▼8/24 ヨガで心も体もすっきり！ ▼10/12 心も体もリセット！！ピラティス！！ ▼12/7 アロマバスボム作り ▼2/29 苔玉作り ○作って食べ隊！ ▼5/10 子どもが喜ぶ♪簡単スピードクッキング ▼7/5 本場の餃子を作ろう！ ▼9/19 手ごねパンを作ってみよう！ ▼11/28-29 本格キムチを作ろう！ ▼12/13 クリスマス料理 ▼1/30 失敗しない太巻きを作ろう ○お外で遊び隊 ▼5/30 アウトドアクッキング ▼10/17 虚空蔵山まで歩こう！！ ▼12/5 秘境駅に電車で行って散策だよ！ ▼1/23 水晶山で新年会！！	総括と今後の方向付け 【総括と今後の方向付け】 今年度から新規事業として開始されたが、今年度は、「癒され隊」・「作って食べ隊」・「お外で遊び隊」の3つのBUKATUを結成し活動した。 それぞれBUKATUで、すくすくの樹のメンバーの世話役と公民館が共同し、子育てで疲れた体や心をリフレッシュし、親自身の新たな楽しみを見つけていただけような内容を企画した。癒され隊のピラティス講座では、自主運営としてBUKATUの参加者が企画側に回り、企画から当日の運営までを経験したが、主体的に活動をする中で相互の結びつきが深まった。講座自体はどれも好評で継続的に行ったという参加者からの声もあるため、次年度以降も引き続き実施する。公民館は、主催から参加者の自主的な方向で展開できるように後方支援の形で関わる。H28年度より自主運営に移行することで、より発展的な展開を目指していく。	対象数									
学級・講座	かなえこっこどきどきスクール	地区費	継続	5	162	33				実施内容参照		県公民館ほか
学級・講座	夏休みの期間に、屋間1人で過ごす子どもが多い現状から、子どもの孤立した時間の解消に務める。また、参加する子どもの保護者とOB保護者が主体となり企画運営を行う。お手伝い及び学習の一環として飯田女子高の生徒も運営に参加。 7/10 保護者説明会 場所：県公民館 7/27 久米川で遊ぼう 場所：久米川(川路) 講師：内田幸一さん 7/28 矢高公園で水遊び&おやつづくり 場所：矢高公園 講師：内田幸一さん 7/29 お外でピザパーティー 場所：風越こどもの森公園 講師：内田幸一さん、おもしろ科学工房 9/25 反省会 場所：県公民館	【総括と今後の方向付け】 今年度9年目の事業となったこの企画の良さは、保護者だけでなくOBの保護者も参加し企画運営している点にある。身近に子どもと関わっている人たちが意図交換し子どもに感じて欲しい事や体験してもらいたい事を話し合うことで、共有意識が生まれ、その想いを実現するためにみんんで活動することで一体感が生まれる。そのため、子どもだけでなく保護者の方からも事業に対する評価は高い。メンバーが固定化されないよう多くの皆さんに参加してもらえよう周知を図りたい。	対象数									
	親子を対象に、家庭教育の推進を図る	評価										
学級・講座	県小中PTA公民館合同講演会	市・地	継続	1	200	13,442				11月20日		県文化センター
学級・講座	県小中学校PTAと県公民館の合同講演会。今年度はシンガーソングライターの水まなぶさんをお招きして「過去から学び未来へ受け継ぐ LOVE & PEACE」として歌と語りの講演会を実施。	【総括と今後の方向付け】 企画段階から主催3団体が集まり、方向性を確認する中で講師を選定する過程が非常に良かった。戦後70年ということで、清水まなぶさんに弾き語りをしていただいたが大変良かった。企画段階で3団体の連携が深まるので、講演会の単発事業で終わらせたいのではなく、ここで生まれた連携を以降の展開に生かす方法を試みたい。	対象数									
	親子を対象に、子育てに対する新しい視点を学ぶ機会をつくる	評価										



# 鼎公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	<p>華甲大学(高齢者学級)</p> <p>生涯教育の一環としての高齢者を対象にした学級として開催。今年度のテーマを「生涯青春、生涯学習」と掲げ多彩な講座を実施した。</p> <p>5/8【開講式】「高齢者の健康」講師：土屋美智(保健師)104人</p> <p>6/19和向さん出番です「仏説・毒舌・終活」：安静達祐(柏心寺住職)131人</p> <p>7/17童謡・唱歌・懐メロを楽しく歌いましょう：寺澤善周(堯翁院住職)108人</p> <p>8/29落語で笑いましょ：平澤富招(土曜英学校)109人</p> <p>9/18続・からだイキキ体操：小林新一(尙健康サポート)87人</p> <p>10/23【一日研修】リニア研修と世界遺産富士山への旅37人</p> <p>11/20春草生誕140周年：小島淳(市美術博物館)84人</p> <p>12/18元気で長生きするコツ～爆笑トークと落語～</p> <p>：柄木田孝行(元鼎公民館長) 110人</p> <p>1/22【開講式】飯田弁とはどのような言語か：井坪幸一(飯田弁研究者)107人</p>	市・地	継続	9	877	133		実施内容参照		鼎公民館ほか
学級・講座	<p>高齢者を対象に生涯学習を通じた生きがいづくり</p>							【総括と今後の方向付け】		
学級・講座	<p>地域住民を対象に、食生活を図る</p>							【総括と今後の方向付け】		
学級・講座	<p>古文書講座</p>							【総括と今後の方向付け】		
学級・講座	<p>市民を対象に、郷土学習の推進を図る</p>							【総括と今後の方向付け】		
学級・講座	<p>地育力向上講座「ずんずんずん隊」</p>							【総括と今後の方向付け】		
学級・講座	<p>小学生を対象に、郷土学習の推進を図る</p>							【総括と今後の方向付け】		



# 県公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと再発見ワンデーマーチ	地区費	継続	1	384		13,442	5月3日	県地区内
	目的 地域住民を対象に、 地域文化の向上を図る	<p>地域の歴史や文化について学びながら県地区を巡り、また家族で一日を楽しく歩くことを目的に実施。 「家族で一日を楽しく歩くこと」「地域の歴史や文化について学ぼう」がテーマ ▼コース 県公民館(出発)→東県公民館→西県公民館→下茶屋公民館→中平公民館→上茶屋公民館→県公民館(到着) 約7km</p>							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2015	地区費	継続	8	1,303		13,442	8月4日～9日	県公民館ほか
	目的 地域住民がフェスタを通じて文化の向上を図り、フェスタを通じた地域づくりを行う。	<p>全会場、観劇者総数1,093人、スタッフ総数210人、フツペン販売総数569枚 全会場共通の取組み：県打ち水大作戦 県フクワクタイム大作戦</p> <p>①8/6 県幼稚園 観劇者257人 劇団：よろず劇場とんがらし ②8/7 県中武道場 観劇者185人 劇団：人形劇ちんどん ③8/8 上茶屋多目的集会所 観劇者54人 劇団：人形劇団かしっば、くるま座 ④8/8 切石会館 観劇者86人 劇団：県中学校人形劇部のん、明治学院大学愛好会人形劇団ZOO ⑤8/8 県東保育園 観劇者102人 劇団：人形劇団じろっぼ ⑥8/8 県小第1体育館(オリジナル企画) 観劇者206人 劇団：新興閣學中劇団(台湾) ⑦8/9 一色神社 観劇者94人 劇団：飯田女子高等学校人形劇クラブ ⑧8/9 名古熊公民館 観劇者109人 劇団：人形芝居えびす座、人形劇団こざる</p>							
文化事業	県打ち水大作戦	地区費	継続	1	1,303		13,442	いいだ人形劇フェスタ開催期間中	地区公演会場
	目的 地域住民を対象に、 環境意識の向上を図る	<p>いいだ人形劇フェスタの際に県地区全会場で「みる・えんじる・ささえる」全ての人が打ち水を実施し放射温度を測定する。開演前のアナウンスで結果を報告し環境意識の高揚を図る。おひさま進歩と共同で実施。</p>							
文化事業	第13回県の景観写真コンテスト	市・地	継続	1	3,000		13,442	11月7日～8日	県体育館
	目的 地域住民が、地域の自然・文化・人に着目した写真展示を通じ、県地区の良さを共有する。	<p>県の景観を写真におさめ、ふるさとの再発見と、地域への愛着を高める取り組み。一般の部と小中学生の部に分け募集を行う。審査員は、県在住の写真家などへ依頼する。 応募作品数：一般の部23点、小中学生の部14点</p>							

# 県公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第7回ふるさと県CMコンテスト	市・地	継続	市・地	1	200	13,442	13,442	11月7日	県公民館
	目的 地域住民が、地域の自然・文化・人に着目し、その特色をまとめ、県地区の良さを共有する。	実施内容 県公民館10分館による地域CMづくり。ふるさとの再発見と、地域への愛着を高める取り組み。審査員は、県在住の映像専門家などに依頼する。成人式や県地区新春放談会等地域全体が集まる様々な場で地域学習の教材として利用する。	評価 【総括と今後の方向付け】 今回で7回目を迎える本事業は、スタート時と比べて撮影技術等が向上し完成度は高くなっている。CM作成を技術のある方に任せているということが理由として大きい。CMコンテスタから県地域全体のOCMとして編集することで、幅広い活用を考 えていきたい。							
文化事業	ふるさと県ふれあい広場・文化祭	市・地	継続	市・地	1	3,000	13,442	13,442	11月7日～8日	県公民館・県体育館
	目的 地域住民の日頃の学習成果発表の場として実施するとともに、地域全体の交流を図る	実施内容 公民館文化サークル及び各分館の地域文化活動発表の場、また、県地区各種団体の活動発表の場として実施。 ▼開会式(オープニングセレモニー)▼展示部門 50団体参加 ▼催事部門 ○特別展：県の獅子頭展 ○ふるさと県CM大賞 ○県の景観写真コンテスト ○ドリームかなえくじ ○県まるごとウォークラリー ○THE太鼓祭り ○かなえ音楽の祭典 ○演劇「見捨てるほどの祖国はありや」 ○語り継ぐ戦争体験 ▼模擬店部門 12団体参加 ▼バザー部門 (健康福祉委員会主催)	評価 【総括と今後の方向付け】 飯田風越高校や飯田OIDE長姫高校の生徒にも参加いただくなど、小学生から高校生まで幅広い参加があり盛り上がりを見せた。一方で、運営体制に課題が挙げられた。実行委員会体制で行われている本事業だが、実際は主催である公民館と健康福祉委員会が主体であり、本事業に携わる多くの団体は実行委員ではあるが参加者という認識となっており、県地区が一丸となつて取り組んでいる事業は少ないため、このような機会を通して、地区内の交流と結束を深めていきたい。							
文化事業	県地区成人式	地区費	継続	地区費	1	114	156	156	1月10日	県文化センター
	目的 新成人を対象に、地域で初い、成人としての自覚と地域の一員としての自覚を促す	実施内容 ▼成人式実行委員会 ・二十歳の思い出アルバム作成 ・二十歳のメッセージまとめ ・成人式当日の運営検討 ▼記念式典 ・茶屋町太鼓隊による祝演 ・開式の辞 ・主催者挨拶 ・来賓祝辞 ・恩師からの祝辞 ・来賓紹介 ・祝電披露 ・新成人代表挨拶(2名) ・二十歳の思い出アルバム ・飯田女子短期大学「乱舞咲」上演 ・閉式 ○記念祝賀会の実施	評価 【総括と今後の方向付け】 文化委員に成人式実行委員を各地区の中から選出いただくことに協力頂いた。実行委員は今年度8名の関わりであり、当日の式典運営について皆で検討し進めてきた。今後、実行委員会を通じて出来た青年の集まりを地域活動に繋げていきたい。また、まちづくり委員会等地域で支える体制を整えていきたい。							
体育事業	県地区体育祭(ベタンク大会)	地区費	継続	地区費	1	681	13,442	13,442	6月7日	矢高グラウンド
	目的 地域住民を対象に、健康増進及び住民相互の交流を深める	実施内容 ▼種目 ベタンク 参加者10分館、計120チーム、全180試合 各分館12チームづつの編成で対戦した。 優勝：上茶屋 準優勝：一色 3位：下山	評価 【総括と今後の方向付け】 大会規模も大きく非常に盛り上がりが見せている。終了後に行われる各分館の懇親会等もあり、交流を深める事業につながっている。反省として挙げられているのはゼッケンをつけた方がいいなどの運営面だけであり事業としては順調であるが、上田市との交流について今後さらに深めていく方向であれば交流内容を検討する必要がある。							

# 県公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第30回県地区縦断駅伝大会	地区費	継続	1	600		13,442	9月6日	県地区内
	目的 地域住民を対象に、健康増進及び住民相互の交流を深める	<p>【総括と今後の方向付け】 本年度で30周年記念を迎えたが、30回連続で出場されている方が2名いらっしゃった。本年度は中学・高校の部活の大会等が重なってしまったため、中学・高校チームの参加が少なく残念だった。大会の規模が大きくなることで安全面を保つことが難しくなる。そのため、コースを変える等の運営を大きく変えることは難しい。また、駐車場やトイレも規模に応じて今後検討する必要がある。</p> <p>県地区内居住或いは事業所に勤務するランナーによって、県地区内を縦断して競走する。大会コース 8区間・12km 参加申し込み39チーム(当日出場:37チーム) 【総合の部】優勝:名古屋分館 準優勝:切石分館 3位:下山分館 【分館の部】優勝:名古屋分館 準優勝:切石分館 3位:下山分館 【小学生の部】優勝:切石少年野球1 準優勝:切石少年野球3 3位:切石少年野球2 【中学生の部】優勝:県中籠球部2年 準優勝:エルチキーズ(サッカー部) 3位:ファミチキーズ(サッカー部) 【一般の部】優勝:名古屋魂 準優勝:チームアップルルート 3位:健和会PR</p>							
体育事業	県地区女性バレーボール大会	地区費	継続	1	80			10月25日	県中学校体育館
	目的 地域住民を対象に、健康増進及び住民相互の交流を深める	<p>県地区内の分館を単位とした女性バレーボールチームの交流として、飯田市大会の予選も兼ねて実施。運営は参加チームが主体的に行っている。 ▼参加 4分館4チーム 優勝:上山 準優勝:切石 3位:中平 4位:名古屋</p>							
体育事業	第30回冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば〜るバレーボール)	地区費	継続	1	400		13,442	2月7日	県体育館
	目的 地域住民を対象に、健康増進及び住民相互の交流を深める	<p>県地区内の分館を単位とした大会として、男女混成の一般や小学生チームの参加により、参加者及び分館同士の親睦と交流を深めることを中心に実施。各分館一般の部2チーム、小学生の部1チームの計3チームを選出し争う。 【一般の部】優勝:一色2 準優勝:下山1 3位:切石2 【小学生の部】優勝:上茶屋 準優勝:切石 3位:中平</p>							
体育事業	ニュースポーツ講習会	地区費	新規	1	40		13,442	8月24日	県中学校体育館
	目的 地域住民を対象に、各種スポーツの普及と健康増進に努める	<p>飯田市保健課で「歩こう動こうプラステン」を推進していることもあり、ウォーキング講座を実施。また、各分館活動で活用できるよう、運動会のアイデア種目も実施。</p>							

# 県公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	地区費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「公民館報かなえ」の発行	事業区分	継続	地区費	13	143	11	13,442	実施内容参照		県公民館
	実施内容	<p>公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成する。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図る。</p> <p>▼仕様 A4版、4頁～6頁</p> <p>▼館報かなえ391号(6/24発行)、392号(9/30発行)、393号(12/24発行)、394号(3/30発行)</p> <p>▼1面写真【かなえびと】</p>									
その他	上田市西部地区との交流	事業区分	継続	地区費	1	25	19	6月14日		開催期日	開催会場
	実施内容	<p>上田市西部公民館のペタンク大会に参加し、西部公民館役員の方々との交流を深めた。</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>他地区公民館の活動を学ぶとともに役員同士の親睦を深めることができた。ペタンクに限らず、今後も上田市西部地区との交流を継続していきたい。</p>									
その他	婦人団体連絡協議会の活動支援	事業区分	継続	地区費	6	74	19	実施内容参照		開催期日	開催会場
	実施内容	<p>婦人団体連絡協議会は昭和55年に発足し、県地区内の女性の活躍と連帯意識の向上を目的に各団体の代表者・女性役員が集まり活動している。公民館としては事務局としてその活動の後方支援を行う。</p> <p>6/12 連絡協議会、7/8 施設見学(健和会病院デイサービスセンター)、10/2 女性部研修会「ゴミの減量化と分別の現状」講師:松澤肇、10/21 女性部視察研修:豊田市渡刈クリーンセンター、11/28 健康料理教室、3/10 反省会</p>									



## 上郷公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子ども(親子)そば打ち教室	市・地	継続	2	48	570家庭	5月24日、1月31日(親子)	黒田研修センター		
	実施内容	<p>地域住民に講師を依頼し、小学生(親子)を対象にそば打ち体験を行う。講師の指導の下、実際にそば粉からそばを打ち、麺きり包丁を使ってそばをきるところまで体験する。試食は講師の打ったそばとてんぷらを用意する。打ったそばは自宅へ持ち帰り、家族で試食することで家族のふれあいを図る。</p> <p>内容：そば打ち 講師：下北農園の会</p>								
学級・講座	子ども料理教室	市・地	継続	3	65	570家庭	6月14日、7月12日、10月5日	上郷公民館		
	実施内容	<p>地域住民に講師を依頼し、小学生を対象に料理教室を行う。講師の指導の下、料理に必要な基礎的な知識を身に付けると共に、実際に料理することで、料理する楽しさ、自分で作った料理のおいしさを感じてもらう。食に興味を持ってもらう。今年度はテーマを設定した。1回目が朝食を作ろう、2回目が夏休みにおやつを作ろう、3回目がお弁当を持って遊びにいこう。</p> <p>内容：/ターゲット・かりかりペーコンとスクランブルエッグ、ピザ/風やきもち・ふるふる杏仁豆腐、おにぎり・チキンのマーメレード焼きなど</p> <p>講師：ひまわり会</p>								
学級・講座	ふるさと学習講座	市費	継続	3	65	14,266	4月30日、9月10日、11月25日	上郷公民館		
	実施内容	<p>上郷地域及び周辺地域に関する連続講演を行う。</p> <p>第1回 上郷小学校校歌物語 講師 中島正昭氏(上郷史学会)</p> <p>第2回 飯沼天神塚古墳と上郷の古墳 講師 岡田正彦氏(上郷史学会)、中島正昭氏(上郷史学会)</p> <p>第3回 間郷村物語 講師 中島正昭氏(上郷史学会)</p> <p>※第3回は、ふるさと学習教材編集委員の希望により村営電気問題をテーマとした。</p>								
学級・講座	地域を知る会	地区費	継続	1	27	14,266	9月28日	黒田		
	実施内容	<p>ふるさと学習講座(第2回)を事前学習会と位置付け、上郷の古墳について学んだ。公民館を出発し、飯沼天神塚古墳をメインテーマとして歩き、公民館まで帰ってきた。最後に焼き肉をして交流した。</p>								
学級・講座	郷土料理教室	市・地	継続	1	14	570家庭	9月13日	上郷公民館		
	実施内容	<p>下北五平もちの会を講師としてお願いした。</p> <p>五平餅とすいとんを作り、郷土料理に親しむ機会とした。</p>								
学級・講座	子ども料理教室	市・地	継続	1	14	570家庭	9月13日	上郷公民館		
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>郷土料理の伝承、親子のふれあい、住民同士のふれあいの場として、継続していく。</p>								

# 上郷公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	飯田高校天文班による天体観測教室	地区費	新規	2	69	1回参加・登録数	580家庭	【総括と今後の方向付け】	飯田高校・上郷公民館		
	飯田高校天文班と上郷公民館の共催事業。 飯田高校天文班生徒から公民館に提案があり開催した。天文班生徒の開催目的は、他者に教えることで自分たちの勉強の場とすること、また、接することのない子どもたちと交流すること。										
学級・講座	小学生と保護者を対象に、多様な体験を提供する。高校生を地域活動に呼び込み、住民と顔見知りの関係を作る。							高橋生にとつては、事業を企画運営し、さらには反省をもとに改善するという経験ができ、人前で話すこともあって良い勉強になった。もちつき体験を通して、地域住民の力を感ずることもあった。			
	実施内容							天文班生徒の反省として、もちを食べるときの机の配置改善、他の企画との連携不足が出されている。今後開催する場合には、こうした反省をもとに、高校生と住民が話し合い、より良い企画となるようにしていきたい。			
	目的							運営に関わった住民有志からは、こういう高校生の取り組みを応援することはいいことだという感想があった。また、関わっていない方でも関心を持つ公民館役員がおり、良い事をしていくが広報不足、文化祭で発表するなり広報努力が必要と指摘していただいた。次にやるべきは自分にも声を掛けてくれとも言ってください。公民館として心強い。今後も高校生の主体的な取り組みを応援していきたい。			
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	上郷地区文化祭	市・地	継続	1	949	14,266	11月14日、15日	【総括と今後の方向付け】	上郷公民館		
	〇ふれあいさわやか音楽祭 地区内の小中高の音楽関係クラブへ参加募集を行い、そこに社会人のコーラスグループも加わっての合同発表会とした。各クラブ顧問、代表者による実行委員会を組織し、曲目、演奏順の調整、合同合唱実施などを決めた。							舞うことで、地域住民に郷土料理を伝えることもできた。			
文化事業	地区内個人、グループ、団体を対象に、日頃の活動を発表する場として、また、住民の交流の場として実施する。							また、分館からの推薦展示を行ったこと、その他のいろいろな要因が重なり、昨年2倍近い来場者数があった。出品数、出演数が年々減ってきているが、成果発表の場、また住民同士の交流の場として今後も実施する。			
	実施内容							現在公民館文化部の主管事業だが、今後はまちづくり委員会の関わりも加えていきたい。			
	目的										

# 上郷公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演	市・地	継続	8	1,657	14,266	14,266	8月6日～10日	7か所
文化事業	<p>目的 地域住民を対象に、身近な場所で人形劇を楽しむ、運営し、人形劇のまちいいたを盛り上げる。</p> <p>実施内容 地区オリジナル企画を3つ実施した。 (1)飯田の革産業を楽しんで学ぶ企画 実施:西保育園保護者会 地場産業であるなめし革の説明と、それを使って簡単な人形づくりをした。保護者会役員が業者を訪ね、自ら勉強したことを園児親子に説明した。 (2)芸術大学の学生と子どもたちとの交流 自由なアートをつくる企画 実施:丹保分館 芸術大学の学生3人が講師となり、各家庭の不要品を集めて、子どもの発想をもとにコラージュを一緒に作り上げていく。 (3)高齢者と子どもの交流をつくる企画 実施:上郷小学校、上郷公民館 高齢者学級の織物クラブと住民有志が小学校へ行き、人形づくりをお手伝いした。引込み思案だった子が積極的におぼあさんと話をするようになるなど、子どもの成長にもつながった。高齢者も人形劇フェスタに関わり、子どもとの交流を楽しむことができた。</p>	<p>予算区分 市・地</p> <p>事業区分 継続</p> <p>開催回数 8</p> <p>のべ参加数 1,657</p> <p>1回参加・登録数 14,266</p> <p>対象数 14,266</p> <p>開催期日 8月6日～10日</p> <p>開催会場 7か所</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 人形劇は概ね好評だった。運営スタッフの中には、当初は面倒と感じていたが、劇人の熱意や子どもたちの笑顔を見たとときに達成感に変わったという方もいた。運営主体それぞれその工夫があった。人形劇を楽しむことのほかに、地域の大人と子どもたちが交流する貴重な機会となっている。 3つのオリジナル企画により様々な効果があった一方で、課題もあった。ある企画は、参加者数が諸事情により少なくなってしまった。そこを公民館としても少し支援していくべきだった。次年度は役員改選で各団体が新役員になる。今年度の盛り上げりをまた作っていくことが求められている。各分館、団体の中での人々の交流を促すことをまず推進し、次に地域の大人が地域の子どもを育む気運を高められるよう努めたい。</p>						
区分	春季スポーツ交流会	市・地	継続	1	481	14,266	14,266	6月28日	上郷体育館
体育事業	<p>目的 春季の運動不足の解消と、分館内外の交流</p> <p>実施内容 囲碁ボール、ワンバウンドふらば～るバレーの2種目。分館対抗の大会。</p>	<p>予算区分 市・地</p> <p>事業区分 継続</p> <p>開催回数 1</p> <p>のべ参加数 481</p> <p>1回参加・登録数 14,266</p> <p>対象数 14,266</p> <p>開催期日 6月28日</p> <p>開催会場 上郷体育館</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 平成26年度まで「春季体育大会」という大会名であったが、交流に重点を置き、「春季スポーツ交流会」に改称した。夏季、冬季も同様。各分館での交流、上郷住民の交流機会として継続開催する。</p>						
区分	夏季スポーツ交流会	地区費	継続	1		14,266	14,266	9月6日	開催会場 高陵中学校校庭
体育事業	<p>目的 地区内住民が気楽に参加し、健康増進と参加者相互の親睦を図る。</p> <p>実施内容 雨天中止。 各分館が参加者を取りまとめ、分館対抗でペタンク大会を行う。多世代が参加でき広く交流できるということで、ペタンクを種目としている。</p>	<p>予算区分 地区費</p> <p>事業区分 継続</p> <p>開催回数 1</p> <p>のべ参加数</p> <p>1回参加・登録数 14,266</p> <p>対象数 14,266</p> <p>開催期日 9月6日</p> <p>開催会場 高陵中学校校庭</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 例年、子どもが多く集まる体育事業である。多世代が一緒に会って、楽しめるスポーツであり、今後も継続していきたい。</p>						



# 上郷公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	上郷地区大運動会	地区費	継続	1	2,698	1,400	14,266	10月25日	高陵中学校校庭
	実施内容	分館対抗種目は各分館で参加者を取りまとめ、オープン参加種目は会場に来て希望者が参加する運動会を行った。また、各種団体に種目をエントリーしてもらい、種目の組み立てを行っている。							
体育事業	冬季スポーツ交流会、高陵地区体力測定会	地区費	継続	1			14,266	2月7日	上郷体育館
	実施内容	インフルエンザ流行のため中止した。 高陵地区体力測定会の内容：体力測定、ウォーキング講習 冬季スポーツ交流会：囲碁ボール大会 いずれもオープン参加。							
広報事業	「広報かみさ」と「発刊事業」	地区費	継続	12			14,266	毎月1回発行	上郷公民館
	実施内容	地区内の記録、発信、課題提起、話題の提供を広報かみさとの発行により行う。また、まちづくり委員会発起時より、まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。 [号数]96号～107号(館報通算781号～792号) [紙面]B4タブロイド判 [毎月掲載記事] 「私の思うこと」地域の成人男女に依頼し、住民の自由な思いや意見 「瀬音」地域、行政、社会に対する意見や問題点、季節の話題に触れる 「絆」現在子育て中の親の悩みや、子育てを終えた方が当時大事にしていたこと・地区への提案など							
育成事業	あいさつ運動	市・地	継続	4	48	12		実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	新学開始に合わせ、青少年健全育成部員があいさつ運動をする。帽子やたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRする。 4月9日、8月21日、12月1日、1月8日 7時15分～7時45分 実施場所：上郷小学校前、廣源前横断歩道							
育成事業	野底山森林公園まつりへの参加	市・地	継続	1	300		14,266	4月18日、11月1日	野底山森林公園
	実施内容	青少年健全育成部員が担当し、企画運営した。 ・さくら祭り(4/18) 子どもを対象に、ニュースポーツ体験をしてもらい、景品としてフランクフルトをプレゼントした。スポーツ推進委員と共催。 ・もみじ祭り(11/1) 小学生を対象に参加型理科実験教室を開催。おもしろ科学工房に講師を依頼し、育成部が運営した。 教室名：色があらびっくり?こんなに変わっちゃう!!							

# 上郷公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	高松の丘音楽会	市費	継続	1	267	14,266	14,266	5月6日	飯田女子高校
	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年の運営面への反省(拙しさ)、子どもたちに多様な体験を、という実行委員の思いから事業が始まった。例えば勉強がよくできなくても、技で職を得ることもできるんだということを感じてほしいと語る実行委員もいた。 運営について、入場券が売れず、継続開催のための課題は残るが、名フィル奏者4人との交流が進んでいる。当面は試行錯誤しながら、関係者の協力を得ながら開催していくこととなる。少しずつ実行委員を増やしながら、子どもを育む意識を高めていけるよう公民館として関わっていききたい。</p>	<p>昨年、オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサートを開催した。企画運営にあたった実行委員の中で、もう1度、上郷独自に開催したいという人が集まり、新たな実行委員会を立ち上げ、開催した。座光寺の塩澤館長に協力を仰ぎ、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏者に出演してもらった。会場は、飯田女子高等学校に協力いただき、視聴覚室をお借りできた。当日の運営は、飯田女子高等学校の生徒がお手伝いしてくれた。 当初、入場券500円で販売しようとしたが、いっしょに参加者が増えず、小中学生、飯田高校、飯田女子高校音楽系クラブの生徒を招待することし対応した。当日は保護者も集まり盛況であった。 名フィル奏者による演奏、名フィル奏者演奏、リードボーカルを女子高生徒が担当の「世界に一つだけの花」合唱 終了後、演奏者と実行委員との懇親会を行った。平成28年1月、名フィル定期演奏会に実行委員が招待され、名古屋へ行った。定期演奏会終了後、懇親会を開き、演奏者と交流した。これがまた縁となり、平成28年度の開催、そして名フィルの出演(今年と同じ4人)が決まった。楽器よりも、その人となり重視しての依頼だった。</p>	<p>評価</p>						
企画事業	ふるさと学習教材編集事業	市・地	継続	11	397	39	14,266	5月～	上郷公民館ほか
	<p>地域の子どもが、上郷のこと(歴史、文化、自然、生活など)を学べる環境を整える。教材編集過程を学びとして捉え、携わる住民の学びを深め、交流を図る。</p>	<p>ふるさと学習教材編集委員会を立ち上げ、住民有志33名(素人)、小学校教員2名が編集委員となり活動した。アドバイザーとして有識者4名も編集委員会に加わってもらった。アドバイザーには、学習調査に困ったときの助言、事実確認をお願いすることとしている。 編集委員自身が学習し、素人ながらにも伝えたい!と思ったことを記して教材をつくっていく。まずは興味のあることからを出し合い、6つのグループ(野底、産業、井水、上郷の歩み、文化・教育、災害)に分かれて学習を進めている。編集委員会全体会は3月までに11回開催した。平成29年度未までに教材完成予定。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 初めて図書館に入って学習した。昔はさぼっていたが、編集委員会の宿題はやってきた、近所の方に災害当日の様子をインタビューしてきた等、編集委員が自分なりに主体性を発揮して学習している姿がある。 地域の大人が子どもを育む意識を高めていききたい。教材のより良い活用についても委員会で検討を進めていく。</p>	<p>評価</p>					
その他	上郷歩こう会	市・地	継続	10	599	14,266	14,266	5月17日	開催会場
	<p>ウォーキングを通し、地域の自然や歴史、文化について学習を深めると同時に地区内の親睦を深める。</p>	<p>統一実施日を決め、分館事業として位置付け、全分館が計画し実施。 ・上黒田 野底山森林公園 59名 ・下黒田北 元善光寺 49名 ・下黒田南 元善光寺、麻績神社 99名 ・下黒田東 三ツ井、稲垣善三郎匠ほか 72名 ・丹保 元善光寺 47名 ・北条 考古博物館、飯田女子高 65名 ・飯沼南 北条田園神社、元善光寺ほか 42名 ・南条 飯田市役所新庁舎、丘の上 36名 ・別府上 竹田人形館ほか 74名 ・別府下 野底山森林公園 56名</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 分館独自に計画、運営が得られている。また、春の時期であるため、年度当初の幅広い年代層の参加者が増えている。また、PTA支会と共催して実施している分館も内の親睦交流にも役立っているとともに、PTA支会と共催して実施している分館もあり、親子のふれあいの場ともなっている。 ここ数年地区外へコースを設定している分館があるが、歩こう会は参加者が楽しめる内容を各分館が企画する形が定着しており、各分館の考えで行先やコースを設定してもらうことよと考える。</p>	<p>評価</p>					

## 上郷公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会	市・地	継続	1		80	88	5月23日	上郷公民館
その他	分館活動を対象に、公民館への反対意見に対して、語りを持って活動にあたる心構えなどを身につける。	実施内容	分館活動の意義、想い、マンネリ化への対応など、分館役員の心構えについて学んだ。 ＜内容＞ ・講師 塩澤義男氏(竜丘 “ミスター公民館”) ・講演 今、大切にしたい社会教育～子ども・こども～ ・参加対象 分館長、副館長、分館主事、各専門部長、本館運営委員				【総括と今後の方向付け】 長年、竜丘で公民館活動に取り組み塩澤氏のお話をお聞きした。お話しを通して、この地域でのかっこいい大人の生き方を教えていただいたように思う。公民館は社会教育機関であることの確認と、分館役員が、分館におけるリーダーとして行動していくにあたり、その心構えについて学んだ。また、丘のみちしるべの作成経緯を教えていただき本館で取り組む事業の参考にもなった。講演時間が短く、もっと聴きたい、地域づくりフォーラムで2時間くらい話してほしいなどの声が聞かれた。		
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷地区成人式	市・地	継続	1	111		171	1月10日	上郷公民館
その他	新成人を対象に、地域で祝い、地域の一員としての自覚を持っての自覚を保持してもらうようにする。	実施内容	新成人有志、上郷公民館文化部、分館推薦の委員による実行委員会を組織し、企画運営にあたった。新成人の実行委員には、記念誌の取材を通じて郷土学習の場をつくり、地域への理解と愛着を深めてもらった。 ○記念写真撮影 ○記念式典 上郷地区からのお祝いとして、上黒田獅子舞 ○郷土学習 上郷の郷土料理(おやき)郷土料理を考える会の指導 ○郷土料理出品 下北五平もちの会、郷土料理を考える会				【総括と今後の方向付け】 地域でお祝いすることの表現として何が適切か。伝統文化に限らず、何が良いか検討が必要。		
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	郷土料理を考える会	市・地	新規			13	14,266		開催会場
その他	上郷の郷土料理にはどんなものがあるのかを考え、現代風にアレンジし、伝承に寄与する。	実施内容	(1)野底山さくら祭りに出品 4月18日 飯田女子高等学校調理クラブの皆さんと共同出店し、懐かしおやきとアップルやきもちの2品を販売した。事前に合同試作会を行い、郷土料理を考える会のレシピである「りんごのやきもち」を調理クラブ生徒がアレンジし、チーズを加えてデザート風の「アップルやきもち」になった。当日は完売した。共同試作、出店の中で、郷土料理をどのようにアレンジしたら伝承されるか考えることができ、また、調理クラブ生徒と郷土料理を考える会の交流ができた。 (2)上郷地区文化祭への出品 11月14日、15日 テーマを「おしやれなすいとん」にして出品した。文化祭来場者に対して、郷土料理を懐かしむ機会を、若者に対しては「すいとん」を知る機会を提供した。 (3)成人式への出品 焼きもちを一口サイズにして提供した。女子高調理クラブ有志も参加し、共同で調理し配膳した。 (4)次年度の野底山さくら祭りにも飯田女子高調理クラブと共同出店予定。				【総括と今後の方向付け】 郷土料理を現代風にアレンジするという取組みが高校生に受けている。調理クラブの顧問からは、どうしたら伝承されるかを考えることが勉強になり、郷土料理を考える会の皆さんとお話しをすることで、コミュニケーション能力が高まるとという2点の意義を見出している。郷土料理の伝承のみならず、多世代が繋がる取組みとしても展開していきたい。		
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	まちづくり拠点施設建設に向けた取組み	0円	継続					通年	開催会場 上郷公民館ほか
その他	新たに整備される公民館について、より利用しやすくするよう検討を行う。	実施内容	平成27年10月、上郷地域として必要な公民館機能をまとめ、飯田市に基本計画を提出した。その後、基本設計を始め、現在は市担当課と細部について協議中。 平成28年度実施設計。29年度に現施設解体見込み。				【総括と今後の方向付け】 現施設が使えない期間の、公民館関係会議、活動場所の確保。他地区公民館を利用することが困難な地元クラブ(お年寄り)の活動維持への配慮が必要。		

# 上郷公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域づくりフォーラム	市・地	継続	1	66		14,266	2月27日	上郷公民館
企画事業	<p>地域住民を対象に、地域課題の共有と解決方法を考える。</p> <p>実施内容</p> <p>(1)前回宣言のふりかえり 生活安全委員会、公民館青少年健全育成部の取組み</p> <p>(2)基調講演 「えっ、小学校1学年3クラス?!」講師 小塩篤史氏</p> <p>(3)5分科会 「ふるさとの小さな幸せみ〜つけた!」、「地域の大人と子どもが顔見知りになるために」、「上郷をどんな地域にしていきたいか考えよう!」、「リニア開通による地域の変動」、「現在の自治会と組合をどう思っていますか?」</p> <p>(4)フォーラム上郷宣言2016の採択</p> <p>この日に学んだこと、実行委員・参加者の意見を反映させ、個人、団体として次のステップに繋がる宣言を採択した。以下宣言全文。</p> <p>「今後の人口減少を受け止め、上郷の現状を捉え、理想的な未来をつくっていききたい。そのためには、みんなで話し合う環境をじわじわと、つくっていくとが必要です。だから！私たちが、友人や知り合いを1人誘って、集会・サークル活動などに参加します。」</p>	<p>地域住民が広く集い、身近な地域課題・生活課題について情報交換や話し合いなどを通じて学習交流し、改善に向けた取り組みを考える機会として実施。まちづくり委員会、小中学校PTA、消防団、商工会ほか各種団体に実行委員会を組織した。</p> <p>テーマ「地域ぐるみで子どもを育てる・地域で子どもが育つ」を考えよう！」</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>基調講演では、数字で上郷を上郷を戻ることができ来場者にとって新鮮に映った。今後の人口減少傾向を知り、人口構造変化の苦しい中で、あるべき地域の姿を描き、そこに向かって地域づくりをすすめていくことを学べた。</p> <p>全体の参加人数が少なく、分科会によっては少数での意見交換になったが、分科会自体は活発に意見交換がなされた。</p>	<p>宣言について</p> <p>①参加者数が前回より半減したこと、②ただ、やはり多くの住民で話し合うことが必要である、③小さい規模での繋がりをづくり(例:近所の方、組合外の方を行事にお誘いする)、その数が多くなった結果、交流の場、話し合いの場が生まれ、多くの住民が参加する環境ができていくことを実行委員で確認し、左記の宣言が作られた。持続可能な地域に向けて普遍的な宣言となったこと、そして宣言の趣旨を一定数の実行委員が認識できたことが最大の成果だった。</p>	<p>評価</p>				

# 上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	<p>乳幼児学級(ひよこちゃん)</p> <p>入園前の乳幼児とその親を対象として、①子育てに関する学び②遊びなどの体験を通じての親子のふれあい③こども同士の交流による成長④親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニティ醸成などを目的に実施。</p>	市費	継続	12回	48	48	4	1月1回	保育園ほか
学級・講座	<p>小学校PTA共催講演会</p> <p>学齢期の子を持つ親を対象に、子育ての悩みを解消するための学習や親子のふれあいを促す機会とする。また、地域の方の参加も呼びかけ、地域が一体になって子ども教育について考える機会とする。</p>	市・地	継続	1	45	45	462	1月30日(土)	上村コミュニケーションセンター
学級・講座	<p>小学校PTA共催講演会</p> <p>小学校PTAと連携調整を図り、「基本的な生活習慣の習得」を目標とし、保護者の意識向上と課題解決に向けた講座を展開する。小学校の生活科・総合学習発表と遠山中1学年の総合学習発表と教育講演を一連の会として実施。</p>	市・地	継続	7	26	26	10	10月27日～11月6日	上村小学校・中郷集会所
学級・講座	<p>霜月祭に対する関心を高め、実際に祭りの担い手として参加することによりふるさと意識の醸成を図る</p>	市・地	継続	1	77	77	2,063	3月10日(木)、16日(水)	実施内容参照
学級・講座	<p>遠山森林塾(遠山郷2地区合同事業)</p> <p>地域住民を対象に、山との営みと共に歩んできた郷土を再学習し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。</p>	市・地	新規	1	77	77	2,063	3月10日(木)、16日(水)	実施内容参照

## 上村公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	遠山2地区合同人形劇フェスタ市内観劇バスツアー2015	市・地	継続	1	58		68	8月6日	飯田文化会館
	親子を対象に、子どもだけでは参加できない市内中心部で行われる公演を鑑賞する機会の提供と集団行動での社会的性を身につけることを目的に実施	南信濃公民館・図書分館と共催し、平日で保護者が連れて行くことが困難なフェスタ開幕日に、地区公演とは違う雰囲気の人形劇を観賞できるようなコースを設定した。セントラルパークの散策は学年の縦割りグループごとの自由行動とし、上級生が下級生を引率しまとめた。 共催：図書分館 内容：飯田文化会館にてワッパン公演を観賞～丸山公民館にて昼食～美術博物館でプラネタリウム鑑賞～セントラルパークにて散策						【総括と今後の方向付け】 今年度で7回目の実施で、南信濃公民館とは5回目。子どもたちも楽しみにおいて大勢の参加があった。地区内とは異なる環境で観劇すること、また学校を離れたところで子どもたちが集団行動を行うことにより、人形劇観劇に加え貴重な社会体験もできた。今後も南信濃公民館・図書分館と協力し、取り組んでいきたい。	
学級・講座	世代間交流事業	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	郷土に伝わる伝統文化にふれ、自分たちの住む地域を見つめ直すきっかけとする	地区費	継続	3回	27		27	実施内容参照	上村小学校・保育園
学級・講座	かみっこお楽しみ会	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	親子を対象に、本の読み聞かせ、工作・お菓子作りの体験を通して親子の交流を深め、集団行動での社会性を身につけることを目的に実施	図書分館と共催し、保育園児・小学生を対象に、おやすやしめ縄飾り作りなど、地域の伝統文化にふれる機会を提供する。 ・12/22・・・上村保育園おやす作り ・1/8・・・上村小学校小正月飾り ・1/13・・・上村小学校松送り、七草粥作り	地区費	継続	3	57		462	実施内容のとおり
学級・講座	人形劇フェスタ2015 上村地区公演	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に、身近な場所で行われる観劇機会を提供し、独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	地区費 【6/13】読み聞かせと「てるてる坊主」づくり 【10/24】読み聞かせと「お団子」づくり 【3/12】読み聞かせとピンゴ大会	他会計	継続	1	182		462	7日(金)・9(日)
文化事業	人形劇フェスタ2015 上村地区公演	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に、身近な場所で行われる観劇機会を提供し、独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	地区費 【6/13】読み聞かせと「てるてる坊主」づくり 【10/24】読み聞かせと「お団子」づくり 【3/12】読み聞かせとピンゴ大会	他会計	継続	1	182		462	7日(金)・9(日)
文化事業	人形劇フェスタ2015 上村地区公演	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に、身近な場所で行われる観劇機会を提供し、独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	地区費 【6/13】読み聞かせと「てるてる坊主」づくり 【10/24】読み聞かせと「お団子」づくり 【3/12】読み聞かせとピンゴ大会	他会計	継続	1	182		462	7日(金)・9(日)
文化事業	人形劇フェスタ2015 上村地区公演	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に、身近な場所で行われる観劇機会を提供し、独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	地区費 【6/13】読み聞かせと「てるてる坊主」づくり 【10/24】読み聞かせと「お団子」づくり 【3/12】読み聞かせとピンゴ大会	他会計	継続	1	182		462	7日(金)・9(日)

# 上村公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	かみむら総合文化祭・健康まつり	市・地	継続		200		462	7月6日(日)	上村小学校体育館
	目的	上村まちづくり委員会・健康福祉委員会と共催で開催。地域の方々が芸術文化へ関心を高める機会を図る。また、小学生・中学生との関わりを大切に、子どもの頃から芸術文化へ触れて興味を持つきっかけとして実施する。まちづくり委員会と共催。実行委員会を組織し、各委員会が役割分担をして実施。					数量的成果 (項目名と数値) 良かった75%、普通25%、未記入0% 【総括と今後の方向付け】		
文化事業	実施内容	地区住民を対象に、身近な場所で芸術文化に親しむことを、また地区の文化活動の成果発表の場と住民交流の場を通じて住民の交流を図る。					【総括と今後の方向付け】 昨年度同様7月の中旬に実施したが、日程的に暑い時期であったが、天候が悪く涼しかったので、飲食の販売については昨年度より増加した。市の職員が有志で実施しているバンドの演奏では上村地区歌を演奏してくれ盛り上がった。住民の芸術文化に触れる機会として今後も無理のない組み立てをしながら継続していききたい。		
	目的	新成人・地区実行委員会を対象に、地区をあげて新成人を祝福し、ふるさとを改めて感じてもらう機会とする					【総括と今後の方向付け】 昨年度より統合遠山中学校としての卒業生が該当となり、2地区区合同で実施。2地区の実行委員会連携して成人式の運営を実施することができた。また、中学校当時取り組んでいた「ブッポウソウ保護活動」が現在も地域で続けられている事、当時関わられた田畑先生の思いを映像にて放映し地域へ感謝の気持ちを伝えることができた。新成人は2年生から同じ学校で学び、上村・南信濃の区分としての感覚はないため、事前打ち合わせから当時の式典含め、スムーズに実施できた。今後も2地区区合同事業として遠山地区が一体となり継続していききたい。		南信濃地域交流センター
体育事業	事業名	0円	継続	1	18		462	5月10日(日)	上村コミュニティセンター
	目的	地区住民を対象に、ニュースポーツを知る機会の提供と、健康づくりへの意識向上を図る					【総括と今後の方向付け】 平日の夜から昨年度は土曜日、今年度は日曜日の昼間にすることで、参加しやすさを図った。囲碁ボールは上村地区にも浸透してきたが、安全にできて交流も図れるスポーツのため今後も実施したいが、そこに何か新しい誰でもできるニュースポーツをプラスしていきたい。		
体育事業	事業名	地区費	継続	1	41		462	9月12日(日)	中山スカイパークレットゴルフ場
	目的	地区住民を対象に、競技による健康増進と、参加者同士の交流と親睦を図る					数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 27ホールあり、高齢者には全ホール回ると体力的に負担があるのは今後の検討課題であるが、成績だけでなく親睦も目的としている。分館対抗戦では選ばれてはななく全員が参加できるくじ引きの方式を採用している。事前に分館で練習会を開催しているところもあり、親睦という目的をより効果的に達成するには、各分館での呼びかけが重要となる。		

# 上村公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	かみむら大運動会	地区費	新規	平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同でプログラムを検討し、学校・地域との連携を図った。	1	200	462	10月10日(土)	462	10月10日(土)	上村小学校グラウンド
	目的 地区住民を対象に、住民が運動会を通じて住民相互の交流と親睦、健康増進を図る	地区費	新規	平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同でプログラムを検討し、学校・地域との連携を図った。	1	200	462	10月10日(土)	462	10月10日(土)	上村小学校グラウンド
体育事業	公民館卓球大会・第22回小学生卓球大会	地区費	継続	上村卓球クラブの後援、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小学生と一般の部で行う。南信濃地区の和田小学校にも声を掛け、参加者の増加を図る。	1	35	2,063	2月27日(土)	2,063	2月27日(土)	上村小学校体育館
	目的 小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る	地区費	継続	上村卓球クラブの後援、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小学生と一般の部で行う。南信濃地区の和田小学校にも声を掛け、参加者の増加を図る。	1	35	2,063	2月27日(土)	2,063	2月27日(土)	上村小学校体育館
体育事業	冬季スポーツ大会(囲碁ボール+ウォーキング)	市・地	継続	保健福祉委員会と連携し、ニュースポーツに併せてウォーキング・ストレッチを実施	1	21	462	3月5日(土)	462	3月5日(土)	上村コミュニティセンター
	目的 地区住民を対象に、身体を動かすことが少ない冬の運動の機会の提供と、健康づくりへの意識向上を図る	市・地	継続	保健福祉委員会と連携し、ニュースポーツに併せてウォーキング・ストレッチを実施	1	21	462	3月5日(土)	462	3月5日(土)	上村コミュニティセンター
広報事業	館報「かみむら」発行	地区費	継続	地域内の出来事や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発行。	年4回		400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月15日	400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月15日	開催会場
	目的 地区住民を対象に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を目的に発行	地区費	継続	地域内の出来事や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発行。	年4回		400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月15日	400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月15日	開催会場
その他	若い衆で地域を語らまいか！(2地区合同 飯田ムスト大(2地区合同 飯田ムスト大(2地区合同 飯田ムスト大(2地区合同	市費	継続	H23年度より展開している上村の「若い衆で地域を語らまいか！」を活動母体に、東京農工大学の知見を取り入れながら学習交流活動を実施。	6	85	462	実施内容参照	462	実施内容参照	開催会場 実施内容参照
	目的 上村地区に住む20代から40代の住民を対象に、地域での心配事や意見、学習会を通して地域を自らのこととして考えられる人材を育成していくことを目的とする。	市費	継続	H23年度より展開している上村の「若い衆で地域を語らまいか！」を活動母体に、東京農工大学の知見を取り入れながら学習交流活動を実施。	6	85	462	実施内容参照	462	実施内容参照	開催会場 実施内容参照





# 南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	高齢者学級「いこいの広場」 高齢者講演会の開催 ①講演会「最期まで輝く人生のために」 ～次の世代にいのちをバトンしよう～ 講師：二木はま子先生(看取りの文化研究所長) ②学習会 マイナバンパー制度について 講師：飯田市民課	市費	継続	1	110	110	905	3月2日	南信濃地域交流センター
学級・講座	65歳以上の高齢者を対象に、健康づくりと交流の場作りを図る。 【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会を中心に月一回の高齢者ふれあいサロンが設置されたため、健康学習などの事業は再編を行った。高齢者同士の声かけなどにより多くの参加者を得ることができた。次年度に認知症などをテーマにした講座展開を図るため、今回は今後の生き方をテーマに、実際にエンディングノートを記入してもらいながら、今後の生き方を考えるきっかけづくりを行うことができた。高齢化率が市内で一番高いこの地域にとって、生涯現役で暮らしていくための学習を更に深めていきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書分館との合同事業 ①4/17 読み聞かせ 会場：学習交流センター 5名 ②6/9 大人の読み聞かせ 会場：学習交流センター 15名 ③7/13、7/24 七夕飾り 会場：学習交流センター 15名 ④7/23 大人のための絵手紙教室 会場：学習交流センター 10名 ⑤8/4 みんなで読書の習慣を身につけよう 会場：学習交流センター 21名 ⑥8/6 人形劇フェスタ2015バスツアー 会場：文化会館他 46名 ⑦11/4 絵本読み聞かせ 会場：学習交流センター 7名 ⑧12/19 クリスマス会 会場：学習交流センター 45名 ⑨1/23 正月遊びお楽しみ会 会場：学習交流センター 19名 ⑩3/25 郷土の資料を読んでもよう！ 会場：学習交流センター 30名	市・地	継続	11	213	50	1,601	実施内容参照	南信濃学習交流センター
学級・講座	地域住民を対象に、手芸や折り紙、工作を通じて学習と交流の場づくりを図る。 【総括と今後の方向付け】 各回、南信濃図書分館と企画して実施した。読み聞かせや紙芝居などを事業の中に組み込むことで、子供たちが本に親しんでもらえるような内容とした。また、子供たちに主体性を持ってもらうよう、裏方や読み聞かせなどを行っていただいた。地域の高齢者とのふれあいの機会も設けたことで、世代間交流にもつながりが持った。参加者の反応も好評で、次年度以降も多くの参加が得られるような内容を検討していきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	夏休み子ども講座 保護者アンケート等から地域資源を活用した連続講座を実施。 対象：小学生 ①7/27 つかいほいおをみん家で作ろう！ 会場：学習交流センター 参加者：27名 ②7/28 コーティネーショントレーニング 会場：海洋センター 講師：ICOT小平さん 参加者：25名 ③7/29 大切な人に手紙を送ろう＆郵便局の仕事探検 会場：学習交流センター他 講師：遠山郵便局長 村澤さん 参加者：25名 ④7/30 鹿肉カレー料理教室 会場：地域交流センター 講師：片町彰さん 参加者：15名 ⑤7/31 遠山の自然・生き物を学ぼう”遠山自然体験隊” 会場：和田地区内 講師：美術博物館四方さん 参加者：29名 ⑥8/3 使った残そう地域の資源。木沢小学校で昔遊びとお掃除 会場：木沢小学校 講師：木沢活性化協議会の皆さん 参加者：19名 ⑦8/4 みんなで読書の習慣を身につけよう&絵手紙講座 会場：学習交流センター 講師：図書分館の皆さん 参加者：21名 ⑧8/5 山の木を使った木工教室 会場：学習交流センター 講師：森林組合の皆さん 参加者：36名 ⑨8/7 フェスタデコレーション講座 会場：地域交流センター 参加者：28名	市・地	継続	8	225	42	52	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元を愛着が持てる人づくりを目指す。 【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の連続講座として今年度は9回実施した。事前に保護者と小学生に何を学び学ばせたいかのアンケートを実施し地域資源を活用した講座の組み立てを行った。昨年度に引き続き地域内ボランティアを募集し、地域子どもを育てるといった取り組みに位置付けた。また、新たに連絡帳を作成し、子ども感想、保護者からのコメントなど家庭と講座での様子を伝えるツールも取り入れた。講座の準備、あいさつなどは上級生を中心に実施し、講座での学びだけではなく、心身ともに成長につながった。各講座とも多くの参加者が得られ好評であり、その後の保護者からも継続を要望する声があがっている一方で、長期休暇中の居場所づくりが課題となっている。 今後、この課題に対してどのような地域での仕掛けがよいか検証するとともに、子どもにとって地域を学ぶことの大切さを保護者・地域を交え検討していきたい。								



# 南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	女性学級	市費	継続	6	39	20	785	実施内容参照	実施内容参照
	地域の女性を対象に、地域の課題に目を向けた、学習・交流の機会の提供を図る。							【総括と今後の方向付け】 参加者が固定してきており、若い女性の参加が少ないことなどから、昨年度から女性学級といった名称での事業は少なく、他の講座に軸を置いて展開を図った。しかしながら女性の視点による学習テーマも必要であるため、多くの地域の声を聞く中でテーマ設定を行っていききたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	平和学習事業	市費	継続	1	92	1	1,601	8月29日	南信濃学習交流センター
	地域住民を対象に、地域と戦争などの歴史的背景を学び平和学習の推進を図る							【総括と今後の方向付け】 戦後70年を超えて、今戦争のことについて語る事が出来る方が少なくなってきたという現状がある。地域と戦争、特に歴史的に関わりの深い満蒙開拓の歴史を地域で紐解き、次世代に伝えていくことが必要であり、この様な地道な学習活動を地域で継続的に行うことが大切である。今後、戦争体験者などの話を聞き取り、記録として残し、資料収集だけではなく活用するきっかけづくりを行っていききたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	夏休み子ども映画のタベ	地区費	継続	1	100	100	121	7月31日	南信濃学習交流センター
	地域住民を対象に、芸術鑑賞することで、感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにするような機会の提供を図る。							【総括と今後の方向付け】 長期休暇に合わせた事業であり、多くの親子の参加があった。大勢の人と大きなスクリーンで映画を見ることの意義など、大きな費用を投じて実施している事業であるため、テーマの設定や主旨をしっかりと参加者に落とし込めるような事業としていききたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	生活改善 盆の取り決め	地区費	継続	1	—	1,601	1,601	7月～8月	各世帯で実施
	冠婚葬祭の簡素化について、住民意識の高揚を図る							【総括と今後の方向付け】 「新盆見舞い」は各家で行う風習であり、公民館が積極的に結論を導く問題ではない。しかしながら継続した生活改善の取り組みを行うことにより、新盆世帯の負担軽減や住民意識の高揚につながってきている。各分館が主体的に関わりを持ち行っている事業であるため、まちづくり委員会とも連携し継続的に行っていききたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin遠山郷	地区費	継続	1	130	1,601	1,601	7月18日	かぐらの湯交流ホール
	市民を対象に、音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらうことを目指す							【総括と今後の方向付け】 南信濃振興公社とチームモッセとの共催により昨年度に引き続き実施した。普段聴くことのできない演奏を間近で聴くことができ、次年度以降も継続して欲しいとの声が上がっている。また中学生がオーブニング演奏で参加するなど地域の特色を活かした公演づくりができたため、次年度以降もより多くの方が演奏に触れる機会を創出したい。	

# 南信濃公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山地区成人式(2地区合同開催)	市・地	継続	1	40	40	15	1月10日	南信濃地域交流センター
	<p>新成人・地区実行委員を対象に、地区をあげて新成人を祝福し、ふるさとを改めて感じてもらう機会とする</p> <p>【総括と今後の方向付け】                      昨年度より統合遠山中学校としての卒業生が該当となり、2地区区合同で実施。2地区の実行委員が連携して成人式の運営を実施することができた。また、中学校当時取り組んでいた「フットボール保護活動」が現在も地域で続けられている事、当時関わられた田畑先生の思いを映像にて放映し地域へ感謝の気持ちを伝えることができた。新成人は2年生から同じ学校で学び、上村・南信濃の区分として感覚はないため、事前打ち合わせから当時の式典含め、スムーズに実施できた。今後も2地区合同事業として遠山地区が一体となり継続していきたい。</p>	市・地	継続	1	40	40	15	1月10日	南信濃地域交流センター
文化事業	<p>南信濃地区公演                      南信濃地域交流センター会場にて文化委員が中心となり実施。                      8/7 和田つ子ミラクル7・人形劇団ばんび                      南信濃地域交流センター交流ホール 参加者112名                      ◆ 人形劇観劇バスツアー 参加者46名                      フェスタで賑わう街中の様子や雰囲気を感じること、人形劇のまちを改めて知ってもらう機会として実施。遠山2地区の子どもたちの交流の輪を広げるため、上村地区と合同開催した。                      8/6 飯田文化会館「ヨシダ人形劇」観劇→飯田市美術博物館(フライング観賞)→フェスタセントラルバーク散策</p>	市・地	継続	2	158	158	1,601	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	<p>地域住民を対象に、芸術鑑賞することで、感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにするような機会の提供を図る。</p>	市・地	継続	1	89	89	1,601	10月11日	南信濃運動場
体育事業	<p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p>	市・地	継続	1	89	89	1,601	10月11日	南信濃運動場
体育事業	<p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p>	市・地	継続	1	89	89	1,601	10月11日	南信濃運動場
体育事業	<p>遠山クラブ、橋北、夜川瀬、南和、南部、木沢、本町の6チームが参加。1チーム2試合のリーグ戦及び決勝戦。御射山ソフトとして親しまれ、恒例の行事である。地区ごとや中学生チームの参加で7チームが熱戦を繰り広げた。1チーム最低2試合ができるように、変則トーナメント方式で開催している。                      優勝 南和 準優勝 南部・木沢</p>	市・地	継続	1	89	89	1,601	8月23日	南信濃運動場
体育事業	<p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p>	市・地	継続	1	89	89	1,601	8月23日	南信濃運動場

# 南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第62回南信濃地区野球大会	地区費	継続	1	68	68	1,601	8月15日	南信濃運動場
	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	新町、西部、本町・南和田、木沢・八重河内の4チームが参加。トーナメント方式。盆野球として親しまれ、昭和24年から始まった歴史ある大会である。各チーム選手集めに苦慮しているが、お盆に帰省している方もメンバーに加わり実施してきている。 優勝：新町チーム 準優勝：木沢・八重河内チーム	【総括と今後の方向付け】 伝統を受け継ぐ野球大会であり、帰省した方も参加できるのが特徴である。参加チームの代表と体育委員会を中心にした実行委員会方式で行い、運営も全て持ち回りで行われている。次年度以降も計画していきたい。	評価					
体育事業	南信濃剣道大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域住民を対象に、スポーツを通じたコミュニケーション機会の提供を図る。	地区費	継続	-	-	-	34	2月13日 → 中止	B & G海洋センター
体育事業	和田剣道クラブとの連携事業として実行委員会体制で実施。 ■個人戦 ■素振り・面打ち採点 【インフルエンザ流行のため中止】	【総括と今後の方向付け】 和田剣道クラブは10数年活動を休止していたが、地元剣道経験者らにより平成22年から小学生を中心に活動が再開された。村時代から武道大会(柔道・剣道・弓道)として行われていたが、各部の活動が停滞で休止となった。剣道大会の復活から他の競技も盛り上がりを見せる様に活動を支援していきたい。	評価						
体育事業	南信濃公民館マレットゴルフ大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	地区費	継続	1	37	37	1,601	10月31日	天仁の杜
体育事業	オープン参加のマレットゴルフ大会。 南信濃マレットゴルフ同好会・体育委員会の共催事業。 マレットゴルフを通じた健康増進、世代間交流の機会として実施。	【総括と今後の方向付け】 マレット愛好会の皆さんを中心に運営がスムーズに行われた。健康づくりの視点では目的を達成しているものの世代間交流といった部分では再度日程調整するなど検討していく必要がある。	評価						
広報事業	館報「やまなみ」の発行	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域住民を対象に、地域の課題に対する関心を高めることを目的とする。	地区費	継続	4	-	-	1000部	通年	-
広報事業	シリーズで掲載する内容のほか、特集ページでは広報委員が情報発信するべき地域の話題をとらえて掲載している。年4回発行。 第173号 6月30日発行 特集：地域福祉プロジェクト 第174号 9月30日発行 特集：つながる未来へ 三遠南信自動車道 特別号 運動会特集号 ※運動会中止の為発刊せず 第175号 1月31日発行 特集：南信濃地区成人式 第176号 3月31日発行 特集：高齢化社会に向けて シリーズ：「石仏シリーズ」「こんにちからは赤ちゃん」「ファミリーアルバム」「てんぐのくしゃみ」「熱々カップル」	【総括と今後の方向付け】 毎号特集記事に力を入れ、その時々にあった話題を掲載し、過去活動してきた取り組みを再度掘り起こすなど、より地域住民に親しみが持てる紙面づくりを意識している。次年度以降、効果的に情報発信ができるように、文章講座などを実施し、委員の技術向上を図りたい。	評価						

# 南信濃公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	若者プロジェクト会議(2地区合同)	飯田トムス大(事業)	市・地	10	63	12	1,601	実施内容参照	実施内容参照
	南信濃若者プロジェクト会議を活動母体に、東京農工大学の知見を取り入れながら活動を実施。 ①若者プロジェクト会議の開催 5/27・7/9・10/27 場所:南信濃地域交流センター 内容:市政懇談会の提言検討、子育て環境の整備についてほか ②市政懇談会分科会 7/22 若者をキーワードに分科会を企画 ③遠山2地区合同会議 1/9 場所:南信濃地域交流センター 講師:東京農工大学 林准教授 ④次期基本構想小委員会への参加 若者かわ地域基本構想策定委員として企画 ④他地域との交流 ・3/13 場所:上村コミュニケーションセンター 内容:大鹿村・清内路・上村・南信濃の若者同士の情報交換会・交流会							【総括と今後の方向付け】 地域を担う若者が集い語り行動に移していく取り組みとして平成24年度から南信濃若者プロジェクト会議が設置された。子どもの居場所づくりを重点テーマと置き、公民館が実施する長期休暇中の連続講座を中心にモデル事業を組み立てた。また、市政懇談会では若者の分科会を企画し、中学生・高校生を交えた討論会を開催した。これらの取り組みは中学校生徒会にも波及し、若者が取り組んできたことが少しずつ次世代に浸透してきている。次年度は地域基本構想の策定などに関わりながら、具体的な行動をどの様に創り上げていくかを中心に検討し、若者の力を最大限に活かせるよう引き続き支援を実施していきたい。	
その他	地域の若者を対象に地域を自らのこととして考えられる人材を育成していくことを目的とする。	実施内容						評価	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第18回南信濃芸術祭	地区費	継続	1	340	340	1,601	11月20日から11月23日	南信濃地域交流センター
その他	地域の住民を対象に、芸術の振興と交流拡大の機会の提供を図る。	実施内容	日ごろの作品を地域の方々に鑑賞してもらおう成果発表の場として実施。計画から準備、片付けまで実行委員会体制による運営を行った。 会場:南信濃地域交流センター 展示内容:油彩画・水彩画・水墨画・デッサン・彫刻・切り絵・貼り絵・陶芸・工芸・面・染色など約140人・約300点出品					【総括と今後の方向付け】 地域内の社会教育団体や地域内の芸術家を中心に実行委員会体制で主体的に運営を行なっている。他地域と異なり芸術作品展示に特化した取り組みであるが、多くの来場者をお迎えすることができた。今後も発表の機会を作ることで意欲的な作品づくりと主体的な運営が行えるよう支えていきたい。	

# Aブロック公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	旧市5地区野球大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	1	100	100	8チーム	5月17日	押洞運動場
ブロック事業	旧市5地区の市民を対象に野球を通じての交流を目指す。							【総括と今後の方向付け】 準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の貴重な交流の場となっているので、雨天中止などならないよう来年度も予備日も設け、できるかぎり開催していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロックニア・レディースソフトボール大会	他会計	継続	2	150	75	5チーム	実施内容参照	開催会場
ブロック事業	OBソフト、レディースソフトのチームの試合に通じての交流と親睦。 春季大会：5月24日 秋季大会：11月3日							【総括と今後の方向付け】 各地区ともシニアの団体があがるため、自主的に運営をしている。引き続き実施していきたい。	押洞運動場
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロック女性バレーボール大会	他会計	継続	2	120	60	5チーム	実施内容参照	開催会場
ブロック事業	各館所属のバレーボール団体のリーグ戦による交流試合。 春季大会 期日：6月24日・7月1日 場所：丸山小学校体育館 5チーム参加 秋季大会 期日：10月14日・21日 場所：丸山小学校体育館 5チーム参加							【総括と今後の方向付け】 各公民館所属のグループの練習の成果発表の機会、交流につながっている。ただ、昨年度よりも出場チーム数が減少しているのが気になる。次年度以降も当番館を中心として実施していきたい。	実施内容参照
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	旧市5地区少年野球大会	他会計	継続	1	70	70	2チーム	12月6日	開催会場 飯田東中学校
ブロック事業	「橋北・橋南合同チーム」と「羽場・丸山・東野合同チーム」の参加で大会を行った。 旧市5地区少年野球チームを対象に野球のレベルアップと交流を指す。							【総括と今後の方向付け】 企画運営を自主的に各少年野球チームの保護者がおこなっている。丘の上の児童も減少傾向にあり、来年度も旧市5地区全体で2チームとなる。本大会とは別に「丘の上大会」という大会も開催されているため、今後の存続も含め、次年度以降の実施方法の検討をしていく必要がある。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロック広報・館報研修会	他会計	継続	1	33	33	50	6月14日	開催会場 橋北公民館
ブロック事業	事前に各館に調査をし、「1.館報、広報の特徴や自慢できること」「2.創刊号及び通算号数」「3.年間発行回数」「4.広報部員(委員)の数と構成」「5.現在の館報、広報を作り上げていく上での、課題や問題点」「6.他地区へ聞いてみたい事」をまとめたものを資料としたうえで、情報交換を行った。 終了後は、広報委員が交流する機会を設け、懇親会を実施した。							【総括と今後の方向付け】 広報・館報を作っているうえで「何が大切なのか」が分かりやすい研修内容で、参考になった。昨年度に引き続き、研修の後に懇親会を実施したが、良い交流の機会になったと思われ、来年度以降も情報交換という部分と交流という部分の両方を大切に、継続して実施していきたい。	橋北公民館







## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
22以前				21. 7公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市公民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校(7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24			スクエアダンス 普及	社会教育法公布
25			青年演劇 コンクール(郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法(学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級(8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレエ公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館8館並立 (専任主事8人) 公民館条例制定			第1回町村合併1市7ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34		ラジオ婦人学級 開設		告示「公民館の設置運営に 関する基準」 社会教育法一部改正
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館9館並立 となる (社教主事1人公民館 主事9人) 使用料条例			4月川路村編入合併 6月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第1回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第2回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省：進展する社会と公 民館
39	地区公民館12館並立 地区公民館使用規則	青年学級(6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の3ヶ 村、市に合併
40		青年学級(11) 母親文庫(14グループ)	歩こう会始まる	
41			母親バレーボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき 姿・今日的指標」発表
43	旧市、5地区館設置で 16館並立となる (公民館主事14人)	青年学級減少(5)	成人式8月実施 早起き野球、体操祭さ かん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭(市連青)	

## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
45		文部省囑託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事を補職 1人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委嘱事業[公民館運営基準研究]始まる 地区市民運動会さかん	
47	県民運動広場管理 社会教育指導員 設置 1人 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭 始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市公民館運営基準 研究報告書作成	高齢者教室開設(2) 市民セミナー開始 主事会報創刊10月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 (新方式) 松尾新井分館設置	市民セミナー 全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係を設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始まる 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室(6)	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大会、社会教育課から公民館へ	市財政悪化 夜間照明施設9ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所宿直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務局設置
51	飯田市公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が教育機関として独立、市公民館に管理係、指導係が置かれる	松尾でモデルセミナー 座光寺でモデル婦人学級 母と子の公民館活動はじまる(旧市5館)	趣味の教室さかん 市公民館開館記念 行事として郷土日本画家遺作展及び遺作集刊行 OB野球大会	学校施設開放始まる
51	副館長制に	高齢者教室(16)	社会教育課から公民館へ	
52	下久堅公民館竣工	セミナー学習活発となり、各地で地域課題への取組みが広がる。 市民大学講座、乳幼児学級始まる。	優良公民館として文部大臣表彰受賞	市民憲章制定 第3次全国総合開発計画策定
53	旧市ではじめての単独館羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市内で開催	やまびこ国体 市制40周年 第2次基本構想・基本計画策定 教育次長制生まれる
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざした大学講座開設の動き	人形劇カーニバル始まる	地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設置 飯伊がモデル定住圏に指定される 中教審「地域社会と文化について」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地域計画づくりの動きも表われる	健康学習がブームに	

## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始まる	高齢者の文集づくりさかん	中教審、生涯教育答申 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学30周年 成人男性を対象とした学習も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査 「地域文化の振興に関する調査」が行なわれる
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマにいくつかのプロジェクト事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言
60	橋北、橋南公民館独立 市公主事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備 セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚 教育研究事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り組む 情報活用能力 育成講座	世界フェス開催 主事全員がフェス事務局を兼務 フェス終了後カーニバル事務局が文化会館へ移行	人形劇場竣工 文化会館竣工 生涯学習モデル市町村の指定を受け「生涯学習のまちづくり推進本部」設置
元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業始まる (むこう3ヶ年)	郷土日本画家6人遺作展 成人式1月開催に変更	
2			地域文化フォーラム企画課から事務局移管 人形劇サークル創設 育成事業 飯田市公民館大会学習 交流都市構想の発表集会を兼ねて開催	
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制	県公民館大会、飯田市で開催	新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定

## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
5	新山本公民館竣工	補助事業で「青年塾」「男女共同参画塾」実施	成人式を青年塾の活動発表の場に模様替え 飯田市公民館活動史刊行 体制研究委員会で分館活動の研究	上郷町と合併 飯伊地域が地方拠点都市に指定される 浜松とのりんご交流始まる 女性室設置
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」 で研究と実践が行なわれる	「はたち」のイメージソングづくり、成人式で発表	21 飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がつくられる シャルルヴィルメジュール市などへ主事2人視察研修参加
7		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」 「地域課題発見」「市民ネットワーク」 「分館補助金制度」「委員報酬」 「市民参加とワークショップ」 「公民館建設」で実践と研究が行なわれる	戦後50年で、平和を祈念した一連の行事「満州移民の集い」「平和フォーラム」などが行なわれる。 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新(キック)に基づき、機構改革論議に阪神大震災、主事からもボランティアに参加
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動家の話を聞く研修会実施(月1度ペース)	青年塾のテーマを国際交流とし、マレーシアに訪問。 異文化セミナー開講 郷土日本画家遺作展開催、遺作集発行	機構改革により生涯学習課市公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」 「市民ネットワーク」「条件整備」に加え 「中心市街地活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	異文化セミナー「わいわいサロン」開設 狭間壮「心のうたコンサート」(公民館発足50年記念) 青年塾マレーシア、三遠南信、飯田(りんご)の交流を体験	公民館制度発足50周年。 多くの公民館で50周年記念事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の教育文化活動を調査
10		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」 「市民ネットワーク」「条件整備」 「情報研究」で研究と実践が行われる	青年塾マレーシア、アウトドア体験(上久堅、大平)、こだわり体験(上久堅風土舎、下久堅大原さわやか三穂生活改善グループ、浜松はたちの講座)	分館事業補助金を全分館に交付 人形劇カーニバルが20回でひとまず終了し「新たな人形劇の祭典」としてスタート
11		主事会プロジェクト「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」 「情報研究」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	旧市公民館へiMAC配置 インターネットを活用した情報交換開始
12	社会教育法改正	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」 「市民ネットワーク」「地域課題」 「情報研究」	学社連携・融合の推進が課題	社会教育法改正により運審は任意設置制に(飯田市では、従来通り) 国のIT政策 全国的に荒れた成人式話題
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」 「情報ネットワーク」「地域課題」	成人式地域開催	各公民館でIT講習会開催

## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
14		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「情報研究」「市民ネットワーク」「条件整備」「自然環境学習」「青年塾OB」 体制研究委員会で「分館事業補助金」「運営審議会のあり方」について見直し検討はじまる	第40回記念飯田市民公民館大会開催 天竜峡夏期大学講座開講50周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市民公民館HPがリニューアルされ、(財)高度映像情報センターの公共HP運動でgoodsiteに選ばれる。
15	公民館の設置及び運営に関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館の組織内へ	主事会プロジェクト 「分館活動」「自治研究」「条件整備」「情報研究」 研究プロジェクト 「地域自治組織研究」	人形劇フェスタ5周年 今田人形発祥300周年	1市3村による任意合併協議会設立。併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が行われる。 飯田市歴史研究所オープン。 飯田市文化芸術振興基本方針策定準備会スタート。
16	公民館条例改正 (運審任期2年,使用料改定) -4月施行- 公民館主事の支所職員兼務 -4月発令-	・主事会プロジェクト 共通テーマ:「住民自治を前提としたこれからの公民館活動」 ・館長会 「飯田市民公民館の基本原則と今後の方向」についてまとめ、教育委員会へ提出	県公民館大会、下伊那(阿智村)で開催。飯田市民も実行委員会へ参画。 各地区で地域づくフォーラム等開催し、自立への動き始まる。	10/28牧野光朗市長就任。文化経済自立都市を目指す。 1市2村(上・南信濃村)による法定合併協議会設立、併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が庁内プロジェクトで進められる。 わがまちの“憲法”を考える市民会議が発足。
17	上村・南信濃合併に伴い、20地区公民館、106分館体制に。 体制研究委員会を中心に、地域自治組織発足に向けて集中的に検討し、新たな公民館ビジョンを方向付けする。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」	県公民館運営協議会主催公民館ステップアップ研修会を飯田市民で開催。	10/1上村、南信濃村と合併地育力向上連携システム整備事業PJ発足。 「公民館は、地育力向上の主要な拠点として、まちづくり委員会の中で他の委員会の活動と積極的に連携して活動していく。」とする市の基本方針が出る。
18	地域自治組織の発足に向けて、飯田市民公民館条例の一部を改正。地区公民館の運営審議회를廃止するとともに、同施行規則の一部を改正し、専門委員会の名称、委員の人数、役職、任期などは公民館長が定め、専門委員は、公民館長が委嘱することに改める。  教育基本法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」  館長会 定例館長会において、年間を通して、各地区の地域自治組織の検討状況や事例の研修、市長を始め関係機関との意見交換の場を設けた	「飯田の子どもを考える市民のつどい」を、市民の皆さんや専門知識のある方々による実行委員会を組織して開催。	「地育力向上連携システム推進計画」が教育委員会により策定される。
19	公民館専門委員会がまちづくり委員会に入る	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考える」「地域活性化」	原田泰治と子どものふれあい絵画教室in飯田、第5回郷土日本画家遺作展を開催、遺作集を発行	4/1 地域自治区、地域協議会、まちづくり委員会からなる新しい地域自治組織が発足。
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち30周年記念世界人形劇フェスティバル、最後のアフニス夏の音楽祭を開催。	

## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭に代わり、新たに「オーケストラと友に音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画が策定される。
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」  東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「これからの地域づくりのあり方と公民館の役割」に関する共同学習を実施する。また、各公民館の役員を対象に公民館の役割や主事に関する意識調査を実施する。	県公民館運営協議会主催「長野県公民館館報関係者研修会」が飯田市内で開催。	館長会及び主事会での検証、東京大学との共同学習などを踏まえ、「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割」についてまとめる。
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」  東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「飯田市の公民館分館の役割と位置付け」に関する共同学習を実施する。川路、龍江、鼎、上郷、橋南地区の分館や団体の活動状況を調査した。	完全復元伊能図全国巡回フロア展in南信州飯田を、第25回の節目を迎える「飯田やまびこマーチ」に併せた記念行事として開催。主催は第25回飯田やまびこマーチ実行委員会とし、運営を飯田市内公民館が担った。	
24	地方分権一括法の施行により、公民館運営審議会の委員の任命委嘱基準を公民館条例に規定した。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」  東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をもとに報告会(分館役員研修会)を実施した。	第50回記念飯田市内公民館大会開催(併催：ムトス飯田交流会・第28回ムトス飯田賞表彰式)。  小中連携・一貫教育が竜東中学校、鼎中学校のモデル校区で実施される。  県館長総会・研修会、飯田市内で開催。	公民館貸館マニュアル改訂。  日本公民館学会飯田集会開催。  未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究集会開催。
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」  東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において住民アンケートを実施した。	小中連携・一貫教育が全中学校区で始まる。  アジア人形劇フェスティバル開催。  第51回飯田市内公民館大会記録的豪雪により中止。	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」が始まる。  フィリピンレガスピプロジェクト始まる。(3年間)
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」  東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結果報告会を実施した。	小中連携・一貫教育2年目。	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託。  解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会開催。



## 飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
27		主事会プロジェクト 「人形劇」 「新成人」 「役割研究」 「地域×高校生共育」  館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる～学校との連携の取組を直して～	県公民館運営協議会主催「長野県公民館主事会研修・総会」を飯田市で開催  戦後70年記念事業として市公及び各地区で展開	下伊那テーゼ50周年記念フォーラムを阿智村で開催  解体新書塾を飯田市公民館大会に合わせて開催

## 飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
1	37年	11月13日	飯田市公民館	公民館と学習活動	立正大学 藤田秀雄
	主な内容： 公民館活動の充実のために地域の人たちの知恵を結集しよう。				
2	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
	主な内容： 学習の相談相手になれる公民館にしよう。				
3	39年	8月7～8日	飯田東中学校	山と農村の問題	前都立大教授 戒能通孝
	主な内容： この年は飯田で開催の第13回長野県公民館大会に集中。				
4	40年	11月28日	飯田市役所	アジア情勢と日本	信大助教授 山岡利七
	主な内容： 生活に役立つ学習活動に答える公民館にしよう。				
5	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
	主な内容： 地域課題の増加、活動の反省公民館の姿勢の確認のための事例交換。				
6	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 生活課題の学習、施設の確保、市民の自主学習のために公民館の機能を活性化しよう。				
7	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
	主な内容： 前年と同じ				
8	44	12月14日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
	主な内容： 前年と同じ				
9	45	12月6日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農協短大教授 美土路達雄
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化。				
10	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
	主な内容： 前年と同じ				
11	47	12月3日	文化会館	これからの公民館活動	国立市公民館長 徳永功
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化、施設の充実公民館3階建論。				
12	48	12月2日	市役所勤福センター	学習文化活動をどう発展させるか	名大教授 小川利夫
	主な内容： 社会教育機関としての公民館職制の改善(体制の問題点)施設の充実。				
13	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立、地域と生活課題に根ざす学習活動の定着。				
14	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市議会代表 市老連代表 市連婦代表 市連青代表
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立。				
15	51	12月12日	飯田市公民館	公民館の歴史30年を反省する社会教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
	主な内容： 主体者である住民と、援助者である教育機関(公民館)の関わりあい。教育機関としての行財政充実。				
16	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
	主な内容： 公民館活動の見直し。住民の求める社会教育活動と公民館の関わり。				
17	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
	主な内容： 教育機関として充実させていくためのリーダー養成県公民館大会が開催されたため半日で修了。				
18	54	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	名大教授 室井力
	主な内容： 基本構想に基づく基本計画をどう進めていくか。住民参加の意義。				

## 飯田市民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
18	55	7月27日	飯田市民館	民衆と学問	明治大学教授 後藤総一郎
	主な内容: 地域づくりをする上での公民館の独自性。地方の時代、文化の時代といわれる中での公民館活動のあり方。				
19	56	7月26日	飯田市民館	海外援助について考える ～ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から～	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇
	主な内容: 地域課題を解決していくためには諸団体バラバラでは解決できない。その連携の可能性についてと、行政の役割。				
20	57	7月25日	飯田市民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄
	主な内容: 前年と同じ				
21	58	7月24日	飯田市民館	伊那谷の民俗芸能	東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄
	主な内容: 芸能文化の歴史的意義と伝承の重要性。地域づくりとしての芸能。				
22	59	7月29日	飯田市民館	教育・文化の側面から地域の活性化を図る公共施設の専門化類似化に公民館が教育機関としてどう対処していくか	静岡県掛川市長 榛村純一
	主な内容: ニューメディア(理念)の地域づくり人づくり。				
23	60	7月7日	飯田市民館	教育活動の実践方策の研究討議 個性 的で魅力ある地域づくりのために	立教大学教授 室俊司
	主な内容: 夜明け前の暮らしの文化。文化創造の学習の広場。地域の文化と自治体社会教育。				
24	61	9月7日	飯田市民館	地域課題、生活課題を解決するために、自治能力の向上と共同体づくりに努める。私にとっての公民館	立命館大教授 木津川計
	主な内容: 「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとっての文化。生きる喜びを何に求めるか。				
25	62	3月6日	飯田市民館	「私にとっての公民館」「地域にとっての公民館」とは何か地方からの国際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎
	主な内容: 行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムトス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムトス受賞者などの立場から実践発表を行う。				
26	63	3月5日	飯田市民館	魅力ある地域づくりを考える家庭教育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都市整備課長 一杉 喜朗
	主な内容: 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う「魅力ある地域づくり」にむけて公民館は何かができるか、分科会別に研究。別に家庭教育学級などの参加者の分科会も設営する。				
27	元年	3月4日	飯田市民館	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟
	主な内容: 公民館のプロジェクト事業としてはじめた魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農工商が結びつく町」を題材に分科会。助言者に調査に入った農文協職員を迎える。				
28	2	2月24日	飯田市民館	学習交流の活性化と 人づくり、まちづくり	シンポジスト: 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会:長谷部三弘
	主な内容: 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う学習交流都市構想の発表集会として位置付け、構想についてのシンポジウムと先進事例の発表会、地域の特色ある活動の展示発表を行う。				
29	3	3月1日	鼎公民館	生涯学習時代の公民館活動	愛知大学教授 小川利夫
	主な内容: 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う公民館委員、学級講座参加者グループ活動など公民館との関わり別の分科会を設ける。				

## 飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
30	4	3月7日	鼎公民館	足元から今日的課題を考える	元松川町社教主事 松下 拡
	主な内容： これからの公民館活動が、時代に即した活動になるために「環境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の5つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。				
31	5	2月27日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	動物写真家 宮崎学
	主な内容： 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。				
32	6	2月26日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	元日本モンキーセンター所長 河合雅雄
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。				
33	7	2月25日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	地域計画プランナー 佐野章二
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」という今日的課題の分科会を今井信五(しろま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほか「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。				
34	8	2月23日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	写真家 ジョニー・ハイマス
	主な内容： 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しみ、地域を拓くというテーマで地域での私たちにとって大切なものは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。				
35	9	2月22日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	お茶の水女子大学教授 藤原 正彦
	主な内容： 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行った。1部では、鼎名古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の「食塾」、丸山公民館の「食のふれあい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。				
36	10	2月21日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	登山家 田部井 淳子
	主な内容： 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づくり」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分館活動」の6つ。				
37	11	2月20日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	哲学者 内山 節
	主な内容： 2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」				
38	12	2月28日	飯田市公民館	21世紀にどう入っていくか	国立民族学博物館教授 端 信行
	主な内容： 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。分科会「ウォーキング事業を通じた和の広がり」「地域子ども達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅力を語り合う」「エコマネーって何？」				
39	13	2月17日	飯田市公民館	明日への展望 ～地域づくりの拠点公民館～	北海道大学教育学部 鈴木敏正、姉崎洋一 宮崎隆志
	主な内容： 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムなど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」				

## 飯田市公民館大会の経過

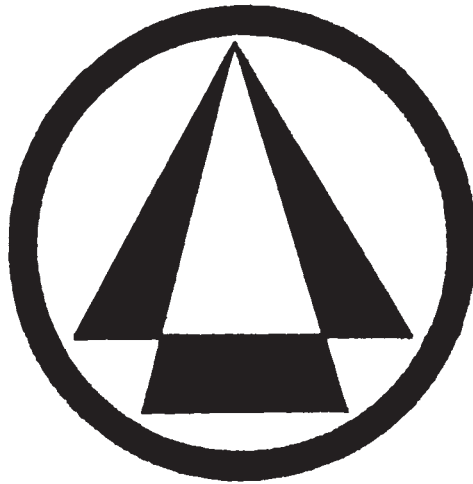
No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
40	14	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「公民館活動と地域づくり」 講師:NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男
				主な内容:「飯田市公民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育てと地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活動をすすめる秘訣を考える」
41	15	2月15日	飯田市公民館	テーマ 今、心を結ぶふるさとづくりを 講師 全体会講師なし
				主な内容: これまでの公民館活動を振り返り、原点に立ち返って地域の未来やこれからの公民館活動を考える機会とする。全体会の記念講演は行わず、分科会のみとした。分科会「文化・体育事業を通して、これからの公民館活動を考える」「公民館報研修会」「住民自治を育てる公民館」「地域の自治活動と公民館」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の活用から地域ぐるみの環境学習へ」「子どもが伸びる地域の力」「ゲームや交流体験を通して異なる文化に生きる人たちの共生について考える」
42	16	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「新しい公民館の創造」 講師:市長講演 牧野 光朗 「地育力の向上と公民館」 基調講演: 東京大学大学院教育学研究科教授 佐藤 一子 「これからの公民館の果た役割」
				主な内容: 地域自治組織と公民館との関係が問われている状況をふまえてこれからの時代に対応した新しい公民館のあり方を議論する大会とした。市長講演、基調講演からつながる分科会を構成。分科会「住民自治力を培う公民館」「これからの子育て」「安全安心のまちづくり」「これからの文化事業を考える」「公民館報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」
43	17	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「新たな公民館ビジョンの構築に向けて」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授 堀内秀雄 「地域自治組織とこれからの公民館の役割」
				主な内容: 地域自治組織の導入等を控え時代の変化に対応した「新たな公民館ビジョン」づくりを進めており、これからの新たな役割を共に考える機会として実施。高坂詢氏をコーディネーターに迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎氏、山田安世氏によるパネルディスカッションを実施。
44	18	2月25日	飯田市公民館	テーマ:「新しい地域づくりの時代に向けて」 ～地域自治組織における公民館活動～ 講師:東京学芸大学名誉教授・日本公民館学会前会長 小林文人 「新しい自治の時代に」ー公民館創造の原点から学ぶものー
				主な内容: 地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何かできるのか、考えあう機会として、全体会を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれから」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」
45	19	2月24日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動のあり方」 ーまちづくり委員会における公民館の主体性と連携の立場からー コーディネーター:長谷部三弘(ひさかた風土舎代表)、 パネリスト:小市昭夫(信濃毎日新聞社編集局報道部次長) 下平隆司(前竜丘自治協議会長) 菅沼輝美(橋南地区主任児童委員)
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、課題を明確にすることにより、今後、より地域の中で役立つ公民館として、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的としてパネルディスカッション及び分科会を実施した。分科会は、「子どもは地域で育てよう」「公民館報と地域広報の役割」「学社連携の取り組みについて」「自然・歴史・文化などの地域資源をどのように活用するか」「地域における分館活動の位置づけと実践」「高齢者の知恵や経験を地域に活かす～仲間づくりから始まる地域貢献とそれを支える公民館のあり方～」の6分科会を開催。
46	20	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動」 講師:基調講演 「これからの公民館のあるべき姿」 飯田女子短期大学講師・元松川町社会教育主事 松下 拡 ※基調講演は、従来公民館が果たしてきた役割や大切にしてきた理念を再確認することにより、今後の公民館活動のあり方を考える礎とした。
				主な内容: 今後、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的として基調講演及び分科会を実施した。分科会においては、実践事例をとりあげ、これからの公民館活動に活かしていけるように活発な意見交換を行った。分科会は「地域コミュニティを見直してみよう」「公民館報・広報等による情報の発信と共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資源を地域づくりにどう活かすか」「住民にとって最も身近な分館や地区単位の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。

## 飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
47	21	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「明日から何をするか」 講師:松本大学総合経営学部観光 ホスピタリティー学科教授 白戸 洋 ※住民主体の地域自治が期待されるなか、公民館の活動が地域を担う人づくりにとどの ように貢献しているのか確認し、今後の公民館活動のあり方を考える。
				主な内容: 公民館を取り巻く課題を明確にし、公民館が担うべき役割や方向性を確認することを目的に開催する。基調講演は、松本大学の白戸洋先生にご講演いただく。分科会では、各地区の実践事例をとりあげ、今後の公民館活動に活かすべく情報や意見交換を行った。なお分科会は、「生き活きた地域における文化祭づくりに向けて」「心身の健康とスポーツで地域づくり・人づくり」「親しんで読んでもらえる、魅力ある広報・館報づくり」「連携して取り組む、子どもの健全育成」「地域を元気にする活動を考える」の5つのテーマで開催。
48	22	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「分権と自治の時代の公民館の役割」 講師:東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤
				主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、東京大学との調査・学習の結果から見えてきた課題などを共有することで、今後の公民館活動をより有意義なものにすることを目的に開催する。基調講演は、東京大学大学院の牧野教授を講師に迎え、飯田市公民館との共同学習から見えてきたこれからの公民館の役割について、全国的な事例を交えながら提言いただく。分科会は「公民館とはどんなところ?」「歩くことを通じた地域の魅力再発見」「運動会が地域に果たす役割」「さまざまな情報媒体を生かした広報活動」「もっとも身近な分館活動」の5つのテーマで開催。
49	23	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「感動と感謝が紡ぐ地域・集落の絆」 講師:豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長) パネルディスカッション 「学びと交流から活力ある地域にするには」 パネラー 豊重哲郎氏(基調講演講師) 牧野 篤氏(東京大学大学院教授) 長谷部三弘氏(ひさかた風土舎代表) コーディネーター 荻野亮吾氏(東京大学大学院特任助教)
				主な内容: 生活に一番身近なコミュニティとして「分館活動や分館が無い地区の分館的な活動」の重要性を再確認することで、公民館の学びと交流から地域の絆を育み、心豊かで暮らしやすい地域づくりの実践に結びつけることを目的に開催する。基調講演には、全国的に注目される鹿児島県鹿屋市の通称「やねだん」、柳谷自治公民館の館長(町内会長)である豊重哲郎氏をお招きして、自立した地域づくりの実践と人材育成の哲学に学んだ。パネルディスカッションは、基調講演への会場からの質問票と事前に設定する意見交換テーマで組み立てた。
50	24	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「今、公民館を問い直す ～住民自治を育む公民館の新たな挑戦～」 実践発表会 ①「東日本大震災復興から学んだもの」 石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科 准教授) ②「これからの地域と学校の連携」 長谷部豊子氏(東京都国分寺市立本多公民館運営審議会 元委員長) 中森美都子氏( 同 本多公民館 元館長) ③魅力ある分館活動の秘訣 三村伊津子氏(松本市町内公民館長会 元会長) ④公民館学習から始まる住民主体の地域づくり 井原岩江氏(阿智村伍和公民館 館長)
				主な内容: 第50回目の節目の大会で、初めてムトス飯田交流会と併催で開催した。全体会では、これまでの公民館の歩みを振り返るDVDの上映と、各地の実践者による実践発表を行った。その後行われた分科会では、実践発表の講師が助言者等として関わり、実践発表の内容を深める組み立てのものも設定した。分科会は「震災復興を通じたまちづくりと公民館」「地域と学校をつなげる公民館の役割」「魅力ある分館活動」「地域づくりの意識を育む公民館」「公民館活動に込められた願い」「ムトスで広がる市民活動」の6つのテーマで開催した。
51	25	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師:吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
				主な内容: 第50回の昨年度に引き続き、ムトス飯田学習会を併催。リニア中央新幹線ルート・駅位置確定や三遠南信自動車全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を創るために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に計画した。基調講演は水俣市在住で地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「将来を見据えた地域づくり」「人形劇フェスタを通じた地域づくり」「地域で育てたい子どもの姿」「環境を学び、生かす」「次代を担う若者の地域参加」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6つのテーマを計画した。

## 飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
52	26	2月17日	飯田市公民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師:吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	<p>主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「“人”が支える地域づくり」「次世代につなげる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムトス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。</p>			
No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地域みがき」のすすめ ～これからの地域づくりを考える～』 講師:小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)
	<p>主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん! 私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」「誰もがお互いを大切にしよう地域に!」「身近な自然に目を向けよう」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。</p>			



平成 27 年度 飯田市公民館活動記録

発行 平成 28 年 3 月 31 日

編集 飯田市公民館

〒395-0085 飯田市吾妻町 1 3 9 番地

☎0265-22-1132 FAX 0265-22-1022

E-mail: iccc01@city.iida.nagano.jp



再生紙を使用しています。